



県の基本理念となる「清流の国ぎふ憲章」で、これまで掲げてきた「知」「創」「伝」に加えて、「清流の国ぎふ」文化祭2024で目指した「共生・共創社会」の実現を願い、新たに「共」の一文字を加えました。
その思いを込めて、挟土秀平氏が揮毫し、長良川の玉砂利・砂を使って制作した作品です。
作品下部には、清流をイメージしたデザインが施されています。

清流の国ぎふ憲章

～ 豊かな森と清き水 世界に誇れる 我が清流の国 ～

岐阜県は、古来、山紫水明の自然に恵まれ、世界に誇る伝統と文化を育んできました。豊かな森を源とする「清流」は、県内をあまねく流れ、里や街を潤しています。そして、「心の清流」として、私たちの心の奥底にも脈々と流れ、安らぎと豊かさをもたらしています。

私たちの「清流」は、飛騨の木工芸、美濃和紙、関の刃物、東濃の陶磁器など匠の技を磨き、千有余年の歴史を誇る鵜飼などの伝統文化を育むとともに、新たな未来を創造する源になっています。

私たち岐阜県民は、「清流」の恵みに感謝し、「清流」に育まれた、自然・歴史・伝統・文化・技をふるさとの宝ものとして、活かし、伝えてまいります。

そして、人と人、自然と人との絆を深め、世代を超えた循環の中で、岐阜県の底力になり、100年、200年先の未来を共に築いていくため、ここに「清流の国ぎふ憲章」を定めます。

「清流の国ぎふ」に生きる私たちは、

知 清流がもたらした

自然、歴史、伝統、文化、技を知り学びます

創 ふるさとの宝ものを磨き活かし、

新たな創造と発信に努めます

伝 清流の恵みを新たな世代へと守り伝えます

そして、

共 ふるさとへの愛着と誇りを胸に、

一人ひとりが輝く未来を共に築きます



第39回国民文化祭 第24回全国障害者芸術・文化祭

「清流の国ぎふ」文化祭2024

ともに・つなぐ・みらいへ ～清流文化の創造～

2024年10月14日(月・祝)～11月24日(日)

公式記録



音声コード
Uni-Voice

専用読み取り装置やスマホアプリを利用して情報を音声で聞くことができます。



開会式

発刊にあたって

「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会会長
岐阜県知事

古田 肇



「ともに・つなぐ・みらいへ ～清流文化の創造～」のキャッチフレーズのもと、42日間にわたり開催してまいりました、「第39回国民文化祭」及び「第24回全国障害者芸術・文化祭」である「『清流の国ぎふ』文化祭2024」は、無事かつ成功裏に閉会することができました。

これはひとえに、国内外からご参画いただいた文化関係者はもとより、市町村や文化団体をはじめとする大会関係者及びご来場いただいた方々など、すべての皆さまのご支援、ご協力の賜物であり、心から感謝申し上げます。

本大会では、天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、能登半島地震、豪雨災害からの復興を祈念した開会式を皮切りに、県内全42市町村で330もの多彩な文化プログラムを開催してまいりました。

これらにより、本県のアイデンティティである清流が育んだ「清流文化の更なる創造、発信」とともに、延べ280万人を超える方々に国内外から世代を超えて参加いただいたことで、「文化の大交流」を実現いたしました。

そして、県内各地で地域に対する愛着と誇りの醸成、さらには、「共生・共創社会」の実現に向かう転機になったことと思います。

「『清流の国ぎふ』文化祭2024」は閉会しましたが、清流文化に終わりはありません。「まつりで終わらないまつり」がもたらしたものは続きます。

「文化」の持つつながりや広がり、そしてその力に改めて思いを致し、また新たな^{とき}を共に刻んでいきたいと思います。

最後に、本大会の成果が、未永く、文化振興に留まらず、住民協働による地域資源の磨き上げや、誰もが参加できる地域の絆づくりなどに大いに生かされていくとともに、本書が広くご活用いただけることを切に願ひまして、発刊のことばといたします。

発刊にあたって	p.1
目次	p.2
大会概要	p.4

開会式

開場 / プロローグ	p.8
天皇皇后両陛下 御臨席	p.10
式典	p.11
主催者挨拶	p.12
天皇陛下のおことば	p.15
開幕の儀	p.16
Interlude (式典からオープニングステージへ)	p.17
オープニングステージ「君が明日と呼ぶものを」～ともに・つなぐ・みらいへ～	p.18
序の章 源泉～「ここから」	p.18
第一章 源流～「世界に認められた清流文化」	p.20
第二章 廻流～「世界が願う平和への奏で」	p.23
第三章 交流～「世界に開かれた清流文化の創造」	p.25
明日への章 清流～「君が明日と呼ぶものを」ともに・つなぐ・みらいへ	p.27
エピローグ	p.31
天皇皇后両陛下 出演者との御交流	p.32

事業

事業目次 (分野別事業一覧)	p.34
文学	p.38
音楽・舞踊	p.45
美術	p.65
メディア芸術	p.93
伝統芸能	p.99
演芸	p.108
食文化	p.122
森林・花文化	p.134
歴史文化	p.145
産業文化	p.159
国際交流	p.170
文化一般	p.177
中止	p.213

閉会式

開場	p.216
プロローグ	p.216
開式	p.218
Interlude	p.218
グランドフィナーレ	p.219
エピローグ	p.222

開催までのあゆみ

「清流の国ぎふ」文化祭 2024 実行委員会 設立総会・第1回総会	p.224
ロゴマーク及びポスター原画入賞者表彰式&トークショー	p.224
「清流の国ぎふ」文化祭 2024 実行委員会 第2回総会	p.225
カウントダウンボード除幕式	p.225
「清流の国ぎふ」文化祭 2024 PR イベント ～君が明日と呼ぶものを～	p.226
大会旗引継ぎ	p.226
～「清流の国ぎふ」文化祭・総文祭 2024～ 2つの文化祭 PR イベント in マーサ 21	p.227
「清流の国ぎふ」文化祭 2024 実行委員会 第3回総会	p.227
「清流の国ぎふ」文化祭 2024 PR イベント in 柳ヶ瀬	p.228
首都圏 PR イベント (文化庁主催)	p.228
市町村キャラバン	p.228

広報・県民運動

清流文化地域推し活動「チーオシ」	p.230
ともに・つなぐ・みらいへ→PR2.0 プロジェクト	p.238
「#わたしの清流文化」プロジェクト	p.240
「君が明日と呼ぶものを」全県運動	p.240
PR 活動	p.241
屋内屋外広報・ウェブサイト等	p.242
配布物等	p.246

感謝状贈呈

記録

開会式次第・閉会式次第	p.250
表彰 文部科学大臣賞	p.252
国民文化祭の協賛事業、障害者芸術・文化祭のサテライト開催事業	p.255
応援事業	p.256
ロゴマーク・ポスター原画の募集	p.265
協賛企業・団体等一覧	p.266
主な経過	p.268
基本構想検討会議	p.270
実行委員会	p.271
企画委員会	p.277
事業編集会議	p.278
開閉会式実施本部	p.278
実行委員会事務局	p.281

第39回国民文化祭 第24回全国障害者芸術・文化祭

「清流の国ぎふ」文化祭 2024

10月14日(月祝)～11月24日(日) 42日間開催

「清流の国ぎふ」文化祭 2024とは

第39回国民文化祭と第24回全国障害者芸術・文化祭の統一名称で、各種の文化活動を全国規模で発表・共演・交流する祭典です。岐阜県では、国民文化祭は平成11年度(第14回大会)以来25年ぶり2回目、全国障害者芸術・文化祭は平成14年度(第2回大会)以来22年ぶり2回目の開催となりました。

期間中は県内全42市町村で330の事業を開催しました。

キャッチフレーズ

ともに・つなぐ・みらいへ ～清流文化の創造～

「清流の国ぎふ」文化祭 2024の目指すもの

1 内なる深化(identityの探求)

(1) 地域の発見・発信

(2) 自然と文化との関わり

(3) 「文化的処方」(アート体験による身体と心のケア)

(4) 伝統技術の保存・継承

2 外への発信(open)

(1) オールジャパンの交流

(2) 世界に開かれた交流

3 能登半島地震からの学び(復興祈念)

これらを通して、地域への愛着と誇りを再確認しながら、一人ひとりがともに輝く「共生・共創社会」の実現を目指します。

開会式

開催日：令和6年10月14日(月祝) 15:30～18:10
会 場：岐阜メモリアルセンター で愛ドーム

事業(330事業)

文 学：12事業 音楽・舞踊：37事業

美 術：53事業 メディア芸術：10事業

伝 統 芸 能：17事業 演 芸：27事業

食 文 化：22事業 森林・花文化：22事業

歴 史 文 化：27事業 産 業 文 化：19事業

国 際 交 流：12事業 文 化 一 般：72事業

※天候不良により、3事業が中止となりました。

閉会式

開催日：令和6年11月24日(日) 14:00～15:30
会 場：長良川国際会議場メインホール さらさ～ら

実施状況

(1)参加者数(延べ数) (人)

区分	来場者	スタッフ	ボランティア	出演者・出展者	合計
開閉会式	4,689	546	－	1,675	6,910
全国文化交流事業	34,906	1,651	551	10,337	47,445
地域文化発信事業	2,723,886	16,050	2,457	64,853	2,807,246
実行委員会	120,586	986	63	1,196	122,831
県	1,526,553	10,849	303	20,522	1,558,227
市町村	986,341	3,622	2,039	39,724	1,031,726
文化団体	90,406	593	52	3,411	94,462
合計	2,763,481	18,247	3,008	76,865	2,861,601

(2)出演者・出展者数(延べ数) (人)

区分	県内	県外	合計
開閉会式	1,560	115	1,675
全国文化交流事業	4,101	6,236	10,337
地域文化発信事業	59,290	5,563	64,853
実行委員会	819	377	1,196
県	19,373	1,149	20,522
市町村	36,150	3,574	39,724
文化団体	2,948	463	3,411
合計	64,951	11,914	76,865

(3)出展数 (点)

区分	県内	県外	合計
全国文化交流事業	8,153	13,141	21,294
地域文化発信事業	53,355	6,047	59,402
実行委員会	378	84	462
県	3,615	284	3,899
市町村	48,478	5,466	53,944
文化団体	884	213	1,097
合計	61,508	19,188	80,696

大会概要

ロゴマーク



職人の業と清流の恵みを受けて作られる美濃和紙の波打つような一巻と、川の流れるを重ねてデザインしています。場所ごとに色合いを変える清流、時の流れ、清流のある景色をイメージしています。

また、隠し絵風に入れられた人の輪郭は、脈々と受け

継がれていく文化の継承という側面を組み込んだものです。清流文化がその時代に合わせて進化し続けるようお願いが込められています。

ロゴマーク制作者 喜多祐子

ポスター



物語の考案 日比野克彦 総合プロデューサー

ポスター原画制作者 不破彩心
県立岐阜各務野高等学校2年(制作時)

岐阜の美しい「清流」と「人」を描いた作品です。

このポスターの1コマからはじまる「清流が文化をつないでいく」物語を展開。

ストーリー仕立てのアニメやポスターを高校生が約1年半かけて制作しました。

(プロジェクトの詳細はP.238へ)

マスコットキャラクター



ミナモ(「清流の国ぎふ」マスコットキャラクター)

「清流の国ぎふ」文化祭2024の参加者や応援する県民に、法被を着た「ミナモ」がエールを送っている姿を表現しています。青色のラインは、清流の川が輝きながら流れ、未来に向かって夢が広がっていく様子を表しています。

総合プロデューサー



日比野克彦

開閉会式総合演出家



小島紀夫

応援大使



竹下景子〔俳優〕



紺野美沙子〔俳優〕



伊藤英明〔俳優〕



大前光市〔義足のダンサー〕



開会式

令和6年10月14日（月祝）
岐阜メモリアルセンター で愛ドーム

開場／プロローグ

清流文化地域推し活動（ちーオシ）の中心となって進めてきた42市町村のコミュニケーターが一堂に会し、開会式会場で
の披露を目指して製作してきた「ちーオシスタチュー」が紹介されました。
また、「脳トレ!ミナモ体操」や“清流の国ぎふ”フェスティバル・オーケストラの演奏が幕開けを迎えるときを醸成しました。



日比野総合プロデューサーの進行で、それぞれの「ちーオシスタチュー」を紹介する42市町村のコミュニケーター



開式前の緊張をほぐすように「脳トレ!ミナモ体操」をリードする高田保氏と松岡邦明氏（協力:（一社）岐阜県レクリエーション協会）



「清流の国ぎふ」の自然を背景に、岐阜の土で製作されたオカリナの演奏を届ける宗次郎氏と“清流の国ぎふ”フェスティバル・オーケストラ



県内のアマチュア演奏家にNHK交響楽団メンバーを加えて特別編成されたオーケストラの指揮を振る沢田完氏（音楽監督）

天皇皇后両陛下 御臨席

管弦楽の演奏が作り出す荘厳な雰囲気の中、約3,000人の観覧者が歓迎して天皇皇后両陛下が御臨席されました。



開会式会場へ御臨席された天皇皇后両陛下



天皇皇后両陛下を拍手で歓迎する観覧者

式典

令和6年に発生した能登半島地震等への哀悼の意を表した黙とうに続き、復興を願う伝統芸能を披露いただくなど、前年開催された石川県への思いを重ねて42日間の開幕を飾る式典を執り行いました。



開式に先立ち行われた黙とう



能登半島地震からの「復興へ向けた希望の響き」を届けた御陣乗太鼓(御陣乗太鼓保存会・石川県輪島市)



国歌斉唱(代表歌唱)
森和美氏(郡上おどり保存会)



国歌斉唱

主催者挨拶

文部科学大臣 あべ 俊子



まず、能登半島地震及び今夏に各地で発生した豪雨災害により、亡くなられた方々に深く哀悼の意を表しますとともに、ご遺族と被害に遭われた方々に心からお見舞いを申し上げます。

本日、天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、「『清流の国ぎふ』文化祭 2024」が盛大に開催されますことをお慶び申し上げます。

文部科学省においては、文化芸術立国の実現に取り組んでいるところであり、本文化祭の開催を通して、文化芸術の振興と共生社会の実現がより一層図られることを期待いたします。

また、本文化祭に当たり、格別の御尽力をいただいた岐阜県、開催市町村、文化関係団体をはじめ、関係する全ての皆様に深く感謝申し上げますとともに、大会の成功を心から祈念しまして、挨拶といたします。

厚生労働大臣 福岡 資麿



挨拶に先立ちまして、本年1月に発生した石川県能登地方を震源とする地震及びこの夏に発生した豪雨災害により、亡くなられた方々の御冥福を心からお祈りするとともに、ご遺族と被害に遭われた方々にお見舞いを申し上げます。

本日、天皇皇后両陛下の御臨場を仰ぎ、「『清流の国ぎふ』文化祭 2024」として、「第24回全国障害者芸術・文化祭」と「第39回国民文化祭」が同時に開催されるに当たり、一言御挨拶申し上げます。

全国障害者芸術・文化祭は、文化芸術活動への取組を通して、障害のある方々が自己を表現し、より一層の自立と社会参加を実現するとともに、国民の障害への理解を深めることを目的として、毎年開催しています。

また、全国障害者芸術・文化祭は、平成29年から国民文化祭と一体的に開催しており、すべての方が、ともに、楽しみや感動を分かち合う祭典となっています。

岐阜県の全国障害者芸術・文化祭においては、本大会のキャッチフレーズである、「ともに・つなぐ・みらいへ ～清流文化の創造～」のもと、魅力あふれる様々な催しが県内全域で開催されます。展覧会や舞台公演をはじめ、ワークショップやフォーラム等、障害の有無に関わらず、多様な人々がともに参加し、楽しむことのできる内容となっています。作り手の方だけではなく、その御家族や御友人、作品や発表を楽しみに御来場される多くの皆様と一緒に、大会を盛り上げていただきたいと思います。

ここ「清流の国ぎふ」において、すべての方がお互いを尊重しながら、ともに芸術を楽しむあたたかい土壌が育まれ、全国にも芽吹いていくことを願っています。

厚生労働省としても、引き続き、地域の文化芸術活動の支援拠点を整備するなど、障害のある方々の文化芸術活動を推進してまいります。

結びになりますが、本大会の開催に当たり、格別の御尽力をいただきました岐阜県、開催市町村、文化関係団体、障害者関係団体をはじめ、関係する多くの皆様に深く感謝を申し上げますとともに、本大会の成功を心から祈念して、私の挨拶といたします。

岐阜県知事 古田 肇



ご挨拶に先立ち、本年1月に発生した石川県能登地方を震源とする地震及びこの夏に発生した豪雨災害により、亡くなられた方々に深く哀悼の意を表しますとともに、ご遺族と被害に遭われた方々に心からお見舞いを申し上げます。

本日ここに、天皇皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、「『清流の国ぎふ』文化祭2024」として、「第39回国民文化祭」及び「第24回全国障害者芸術・文化祭」を開催できますことは、岐阜県民にとりまして、誠に光栄であり、この上ない喜びであります。

また、全国各地からご来場の皆さま、そして、海外からご来場の皆さま、本日は「清流の国ぎふ」にようこそお越し下さいました。県民を代表いたしまして、心から歓迎申し上げます。

本県は、古来より山紫水明の自然に恵まれ、豊かな森を源とする「清流」が県内をあまねく流れています。その「清流」は、里や街を潤し、飛騨の木工芸、美濃和紙、関の刃物、東濃の陶磁器など「匠の技」を磨き、千有余年の歴史を誇る鵜飼、ユネスコ無形文化遺産「山・鉾・屋台行事」、「風流踊」など、世界に誇る伝統と文化を育んできました。

「清流」は、自然と人、人と人、地域と地域、そして時代と時代をつなぐ、我々岐阜県民にとってのアイデンティティであり、魅力の源です。

そして、「文化」は、「もともとそこに在るものを尊ぶ力」であるとともに、そこから「価値を新たに生み出すもの」である、と言われております。

本大会では、地域文化の「推し」運動、大自然の中でのアート体験、文化芸術活動によって身体と心のケアを図る「文化的処方」などを通じ、更に深く地域に根付いた「清流文化」を生み出してまいりたいと思います。

加えて、国内のみならず、世界に開かれた文化交流を進めるとともに、能登半島地震からの復興を祈念しつつ、向う42日間、300を超える多彩なプログラムを展開してまいります。

そして、皆さまとともに地域への愛着と誇りを再確認し、一人ひとりが輝く「共生・共創社会」の実現を目指してまいりたいと思います。

最後に、本大会の開催にあたり、格別のお力添えとご支援をいただきました全ての関係者の皆さまに心から感謝申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

天皇陛下のおことば



挨拶に先立ち、令和6年能登半島地震と、各地の大雨や台風などにより亡くなられた方々に改めて深い哀悼の意を表しますとともに、御遺族と被災された方々にお見舞いをお伝えいたします。災害からの復旧と復興が進み、被災された方々が安心できる生活が一日も早く戻ることを願っております。

第39回国民文化祭、第24回全国障害者芸術・文化祭「『清流の国ぎふ』文化祭2024」の開会式に、皆さんと共に出席できることをうれしく思います。

岐阜県は、古くから「飛騨の山、美濃の水」を意味する「飛山濃水」の地と呼ばれており、緑あふれる山々や豊かな森林が育む清流を始め、四季折々の変化に富んだ美しい自然を有しています。また、我が国の中央部に位置し、古くから交通の要衝となっていた岐阜の地では、東西の文化の交流などを通じて、県内各地に多彩な伝統と文化が根付き、今なお大切に受け継がれていると聞きます。

岐阜県においては、平成11年に第14回国民文化祭が、また、平成14年には第2回全国障害者芸術・文化祭が開催されました。私も当時、皇后と共に第14回国民文化祭の開会式に出席し、県内各地の様々な催しを見たことを懐かしく思い出します。

この度、この岐阜の地で、再び国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭が開催されます。今大会では、皆さんの日頃の文化芸術活動の成果や、地域資源の魅力を国内外に広く発信するとともに、障害のある人もない人も、世代や地域を超えて誰もが参加できる新たな交流を創り出すことにより、人と人とのつながりや生きがいを生み出すことを目指していると聞いています。このように、国内外から人々が集い、豊かな交流が広がることは誠に喜ばしく、関係者の皆さんの尽力に対し、心から敬意を表します。

今回の取組を通じ、地域の伝統や文化の魅力が再認識されるとともに、文化芸術活動の裾野が広がり、新たな文化の創造につながっていくことを期待しております。終わりに、「『清流の国ぎふ』文化祭2024」が大きな成果を収めることを願い、私の挨拶といたします。

開幕の儀

会場に浮かぶ「ちーオシスタチュー」に明かりが灯り、42日間にわたる「清流の国ぎふ」文化祭2024の幕が開きました。



清流の精たちとともに水の流れをつくると「水車」が回りはじめ「清流文化の灯台」に明かりが点灯



「ちーオシスタチュー」に明かりが灯るとともに、舞台には清流が出現（水車守り・美術進行協力：県立長良高等学校演劇部）

Interlude (式典からオープニングステージへ)

「文化芸術は生きる力である」という
日比野総合プロデューサーからのメッセージ



人生を精一杯に生きることの大切さを歌唱するシャンソン歌手の遠藤伸子氏と歌を手話と舞踊で表現する子ども達（かやの木芸術舞踊学園）



35年前にマドンナ（長良川のほとりで生まれた設定）をつとめた映画の一幕を懐かしむ竹下景子氏（応援大使／総司会）

オープニングステージ 「君が明日と呼ぶものを」～ともに・つなぐ・みらいへ～ 序の章 源泉～「ここから」

空宙から降り注ぐ一滴ひと滴の水滴が集まり川となり、海へ、そして再び空へ。公式ポスター「ここから」から、「清流の国ぎふ」の創造の世界がはじまりました。



岐阜の土音が誘う中で、「我ら宇宙の子」、「我ら清流の子」、とメッセージを届ける山崎直子氏（岐阜かかみがはら航空宇宙博物館アンバサダー）



公式ポスター「ここから」をイメージした舞踊で、光に誘われるように登場した「清流少女」（かやの木芸術舞踊学園）



“清流文化の光届け人”として光を届ける大前光市氏（応援大使）



「ここから」を朗読する古田桃香氏（県立岐阜北高等学校放送部）



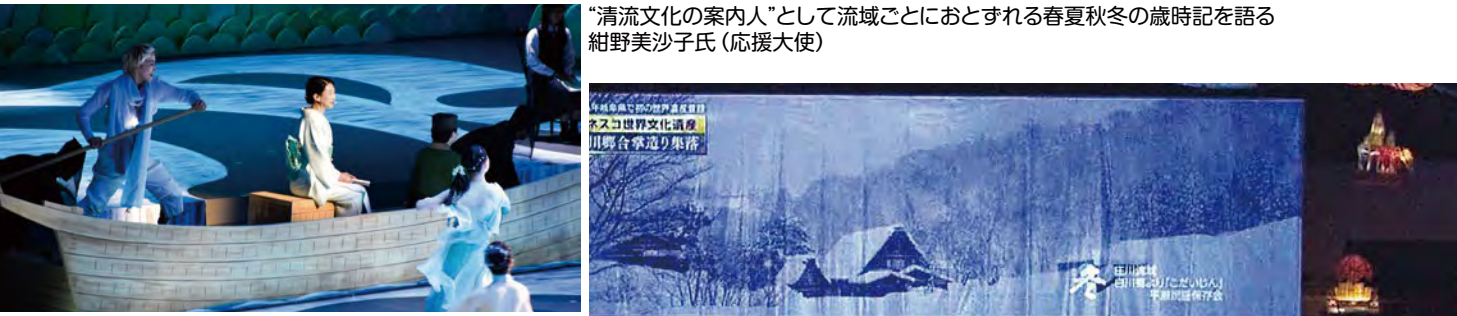
PRポスター「らしさ」の情景を流麗なチェロの演奏で表現する清水陽介氏



「清流少女」に引き寄せられるように集まってきた「清流人」たち（かやの木芸術舞踊学園）

第一章 源流～「世界に認められた清流文化」

山々から湧き出た水が清流となり分水嶺を経て、それぞれの海を目指し世界へと広がる水のように。
それぞれの個性が世界に認められた「清流の国ぎふ」の文化芸術、清流文化の源が春夏秋冬の彩りを届けました。



庄川流域・冬／白川郷より「こだいじん」（平瀬民謡保存会：白川村）



宮川流域・春／高山祭より「屋台囃子」（八幡鳳凰臺囃子保存会：高山市）



飛騨川流域・夏／下呂温泉祭より「龍神」（龍神火まつり実行委員会：下呂市）



木曽川流域・秋／蛭川杵振り花馬祭りより「杵振り踊り」（杵振り花馬祭り奉賛会：中津川市）



揖斐川流域・秋／谷汲踊りより「谷汲踊」（谷汲踊保存会：揖斐川町）



春の訪れを花みこし（美濃市）をモチーフとして表現

長良川流域・冬～春／清流の国ぎふ創作オペラより「紙すきの歌」（平成11年に岐阜県で開催の国民文化祭で初演）
合唱：ながら児童合唱団、ぎふ児童合唱団 舞踊：かやの木芸術舞踊学園



「寿式三番叟」を舞う
(垂井曳舳保存会)



「地歌舞伎大國ぎふ」を解説する葛西聖司氏(地芝居大國ぎふ応援大使)



「絵本太功記十段目 尼ヶ崎閑居の場」の一場面を披露
(岐阜歌舞伎保存会、気良歌舞伎保存会)



「歌舞伎十八番 勸進帳」勸進帳の国民文化祭バージョンの読み上げ(白雲座歌舞伎保存会)



「菅原伝授手習鑑 車曳の場」の一場面を大人と子どもが同時に披露
(鳳凰座歌舞伎保存会、常盤座歌舞伎保存会)



「戎詣恋釣針 釣女」の一場面を披露
(串原歌舞伎保存会)



一斉に大見得を切り「地歌舞伎大國ぎふ」の魅力を披露(協力:岐阜県地歌舞伎保存振興協議会)

第二章 廻流～「世界が願う平和への奏で」

時代が巡れど人々の平和を願う思いは変わらない。あまねく、かたよらず、かわりなく。
岐阜県を舞台に繰り広げられた歴史や先達から継承する精神とともに清流文化を創造しました。



“清流文化の心届け人”として
語りと太鼓の実演などを届ける
伊藤英明氏(応援大使)



心を込めて揃いの音を届ける恵那のまつり太鼓



観世流シテ方・山崎正道氏、幸清流小鼓方・後藤嘉津幸氏とともに小鼓を打つ詠鼓氏
幸若舞「敦盛」一節、能「鶴飼」より[詞章] 鶴ノ段



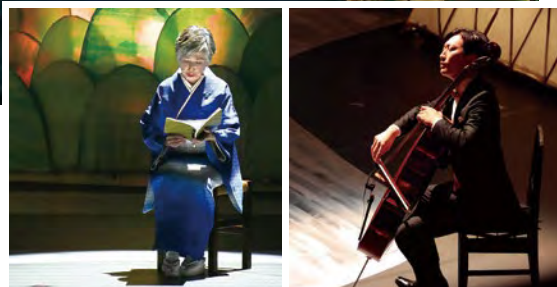
幽玄絵巻「鶴飼」の世界を創作舞踊で表現するかやの木芸術舞踊学園



石田三成、徳川家康が戦況を見つめる関ヶ原の戦いの様子をマーチングで表現する県立岐阜商業高等学校吹奏楽部（衣裳・小道具協力：関ヶ原町）



岐阜関ヶ原古戦場記念館



平和への願い込めたチェロの音色に、平和への想いを重ねて朗読をする竹下景子氏（岐阜関ヶ原古戦場記念館アンバサダー）



石田三成の心情を詠唱に込めるテノール歌手の城宏憲氏



杉原千畝が愛した日本歌曲とショパンの演奏に重ねて、千畝がピザにサインした部屋の様子を上映



ピアノ・粥川愛氏



二十五絃箏・日原暢子氏

第三章 交流～「世界に開かれた清流文化の創造」

海へと巡る清流は世界へと広がり、多様な文化と出会い友好関係を築きあげていく。世界に認められた岐阜の踊りが、世界との交流の輪を大きく広げました。



ポーランドからの友人を迎えるダンサーたち



伝統舞踊を披露するポーランド国立民族合唱舞踊団「シロンスク」



郡上踊「かわさき」の披露
(郡上おどり保存会、岐阜県ミセスフォークダンス協会、
岐阜県民踊連盟)



全出演者が一緒になって郡上踊「春駒」を踊り大交流を実現



最前列に座るみなさんも障がいの有無に関わらず飛び入り参加

明日への章 清流～「君が明日と呼ぶものを」ともに・つなぐ・みらいへ



清流の国ぎふ憲章「知」「創」「伝」に重ねたメッセージを伝える応援大使のみなさん



応援大使に見守られて「ともに、つなぐ、みらいへ」を朗読する古田桃香氏(県立岐阜北高等学校放送部)



テーマソング「君が明日と呼ぶものを」を合唱するTAJIMI CHOIR JAPAN 多治見少年少女合唱団とシニアコア

人のいのちを輝かせる文化芸術、その光を未来へつなぐことの大切さを会場全体で体感。
世界に開かれた清流文化の大交流、「清流の国ぎふ」文化祭 2024の幕が開いた感動を共有しました。



客席からも大合唱に加わる、小・中・高校生



42市町村の「ちーオシスタチュー」が描かれたハート型の
“清流ウイングハート”が会場を飛行



御席に飛行してきた“清流ウイングハート”を手に出演者にお応えされる天皇后両陛下



精一杯演技切った高揚感の中、天皇后両陛下をお見送りする全出演者

エピローグ



御陣乗太鼓保存会（石川県輪島市）



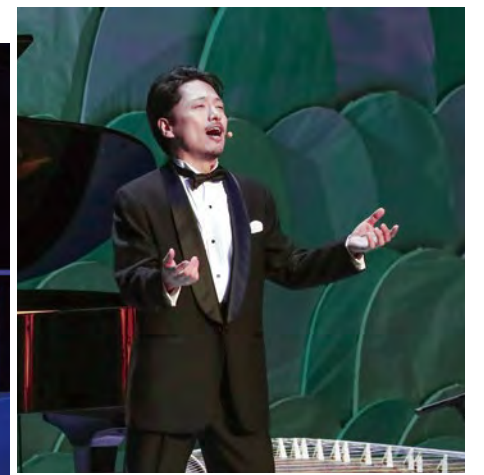
ポーランド国立民族合唱舞踊団「シロンスク」



「チェロと二十五絃箏のための君が明日と呼ぶものを」
チェロ・清水陽介氏 二十五絃箏・日原暢子氏



「ノクターン 第20番 嬰八短調 遺作」ピアノ・粥川愛氏



「星は光りぬ」テノール・城宏憲氏
ピアノ・粥川愛氏

天皇皇后両陛下 出演者との御交流



出演者と御交流をされる天皇皇后両陛下



事業

文学

001 紺野美沙子名誉館長朗読会 p.38

002 狂俳の祭典 p.39

003 清流の国ぎふショートショート文芸賞 表彰式・講演会 p.39

004 連句の祭典 p.40

005 川柳の祭典 p.40

006 家族の絆 愛の詩 p.41

007 清流の国ぎふ「短歌の祭典」古今伝授の里・郡上 p.41

008 全国高等学校ビブリオバトル2024岐阜県大会 p.42

009 奥の細道むすびの地「大垣」芭蕉蛤塚忌全国俳句大会 p.42

010 坪内逍遙のふるさと 朗読の祭典 p.43

011 第60回岐阜市文芸祭 一般の部 p.43

012 第32回可児市文芸祭 p.44

音楽・舞踊

013 清流の国ぎふ「邦楽・尺八」祈りの世界 p.45

014 「清流の国ぎふ」文化祭2024岐阜邦楽大会 p.45

015 邦楽三曲演奏会 p.46

016 邦楽の集い「深秋の響演」 p.46

017 ひと・むすぶ・こえ～愛と平和を歌う合唱フェスティバル p.47

018 清流の国ぎふ千人の第九コンサート p.48

019 大正琴の祭典 p.49

020 社交ダンスの祭典 p.49

021 未来への奏で ～羽ばたいて～ p.50

022 国際音楽交歓コンサート2024岐阜公演 p.50

023 サラマンカホール開館30周年記念
「スタニスラフ・ブーニン ピアノ・リサイタル」 p.51

024 吹奏楽の祭典 p.51

025 マーチングバンドの祭典 p.52

026 ギター・マンドリンフェスティバル2024 in MOTOSU p.52

027 ぎふ洋舞フェスティバル in 可児 p.53

028 合唱の祭典 p.53

029 オーケストラの祭典 p.54

030 フォークダンスフェスティバル p.54

031 岐阜県障害のある人もない人も共に生きる
清流の国づくり県民大会(ふれあいハートフルステージ) p.55

032 ジュニア文化祭プレミアム(第38回ジュニア文化祭) p.55

033 鼓和-CORE-ドラムパフォーマンス LIVE in 本巣 p.56

034 第9回清流ふれ愛コンサート「視覚障害文化伝承祭」..... p.56

035 垂井町にゆかりある演奏会 p.57

036 歌い継ごう、日本の童謡 p.57

037 第16回筑前琵琶演奏会 p.58

038 SEKI Music Night 2024 p.58

039 あつまれ!せきのおと p.59

040 第2回恵奈人による恵那の音楽祭 p.59

041 たじみ街あるき音楽祭 p.60

042 世代を越えたコンサート
～昭和・平成・令和のみんなが知っている歌～ p.60

043 下呂市音楽祭 p.61

044 インクルーシブな楽器演奏会及びストリート・ピアノ演奏会 p.61

045 第37回岐阜市民芸術祭 洋楽の部 p.62

046 さんぽde野外ライブ p.62

047 野々田万照&楽市JAZZ楽団meets大前光市 p.63

048 垂井町音楽祭 p.63

049 「清流の国ぎふ」文化祭2024 第72回中津川市民音楽祭 p.64

美術

050 皇居三の丸尚蔵館特別協力
PARALLEL MODE：山本芳翠
PARALLEL MODE：オディロン・ルドン p.65

051 いろんなみんなの展覧会～大地に、つどう。～ p.66

052 キラキラハッピー作品展(東濃特別支援学校作品展)土岐市 p.67

053 キラキラハッピー作品展(東濃特別支援学校作品展)瑞浪市 p.67

054 キラキラハッピー作品展(東濃特別支援学校作品展)多治見市 p.67

055 恵那特別支援学校作品展
～恵那・中津川の自然～中津川市 p.68

056 恵那特別支援学校作品展
～恵那・中津川の自然～恵那市 p.68

057 清流の国 文化探訪「南飛騨 Art Discovery」 p.69

058 挟土秀平 展覧会&トークショー p.70

059 エイブル・アート展 p.71

060 可児市つながるふくしアート展 p.71

061 可児市つながるふくしマルシェ p.72

062 ふれあいアートフェスタ p.72

063 第12回書道パフォーマンス大会「天下布書」 p.73

064 清流の国ぎふ芸術祭 特別企画
「芸術文化シンポジウム～アートを楽しむ～」 p.73

065 第38回岐阜日本画展 p.74

066 てくてくアートぎふ p.74

067 第45回記念岐阜県書作家協会会員展・
街なか書道体験・筆文字で書く「わたしのゆめ」 p.75

068 神戸町日比野五鳳記念美術館秋季展 p.75

069 ポスターで歩む歴史と未来 清冽水ポスター展
～U40ポスターコンクール／国際招待ポスター展～ p.76

070 絵手紙体験 p.76

071 特別展「生誕130年荒川豊蔵展」 p.77

072 中山道広重美術館特別企画展 p.77

073 第13回熊谷守一大賞展 p.78

074 伊藤正道原画展 p.78

075 アートまるケット「つなぐ人 日比野克彦」 p.79

076 第76回岐阜市美術展覧会 p.79

077 パラスポーツイベント等における障がい者芸術作品展示 p.80

078 坪内節太郎展 ー芝居をみるー p.80

079 各務原市美術展 p.81

080 ありのまま展 ～こころの声、色と形に～ p.81

081 障がい者文化芸術作品展 p.82

082 本巣市文化祭 p.82

083 笠松町美術展 p.83

084 飛水クラブぎふ作品コンクール p.83

085 山県市ふくし・あーと作品展 p.84

086 第31回岐阜市「オンリーワンわたしたちの芸術祭」..... p.84

087 第25回神戸町美術展 p.85

088 養老町文化フェスティバル p.85

089 アートいびがわ p.86

090 手作り作品展 p.86

091 大野町芸術祭2024 p.87

092 あゆみ館芸術作品展 p.87

093 美濃加茂市つながるふくし作品展 p.88

094 白川町ふるさとふれあい展 p.88

095 ふれあい福祉作品展 p.89

096 郡上市民芸術文化展 p.89

097 障がい者ふれあい作品展 p.90

098 第43回可児市美術展 p.90

099 第82回多治見市美術展 p.91

100 多世代交流作品展 p.91

101 障がい者アート展in飛騨市図書館展示の森 p.92

102 ふれあい芸術教室 p.92

メディア芸術

103 みる きく かたる ぎふの映画文化
～もっと映画をすきになる もっと岐阜をすきになる～ p.93

104 清流の国ぎふ eスポーツフェス FOCUS 全国学生選手権 p.94

105 DX時代のメディア表現ー新しい日常から芸術を思考する p.94

106 日下部民藝館特別展「落合陽一 どちらにしようかな、
ヌルの神様の言うとおり:円環・曼荼羅・三巴」 p.95

107 全日本写真連盟 第51回岐阜支部展 p.95

108 第46回ぎふアジア映画祭 国民文化祭特別企画 p.96

109 第50回全日本写真連盟岐阜県本部展 p.96

110 「清流の国ぎふ」DX推進フォーラム p.97

111 Ogaki Mini Maker Faire 2024 p.97

112 ふれあいIT×芸術ラボ p.98

伝統芸能

113 清流の国ぎふ 地芝居・伝統芸能フェスティバル p.99

114 第27回岐阜県文楽・能大会もとす2024 p.100

115 岐南地芝居公演 p.100

116 子ども歌舞伎特別披露 p.101

117 可児歌舞伎公演 p.101

118 中津川地歌舞伎フェスティバル p.102

119 かしも明治座ー芝居小屋での特別展・地歌舞伎特別公演 p.102

120 常盤座ー芝居小屋の特別公開・地歌舞伎特別公演 p.103

121 第23回岐阜県獅子芝居公演 p.103

122 三番叟ーいわいごとの舞をめぐる p.104

123 地歌舞伎フェスティバル in 下呂温泉 p.104

124 小木棒の手ざんまい p.105

125 知・創・伝 文化芸能フェスティバル
ぎふ雅楽合同演奏会 p.105

126 ぎふ長良川の鵜飼 水上座敷 p.106

127 山県市重要無形民俗文化財舞台公演会&体験会 p.106

128 関市無形文化財獅子舞大会 p.107

129 春日神社における能・狂言 p.107

演芸

130 舞台「マカニーとエルド」「赤いアスターと時空の旅」..... p.108

131 清流の国ぎふ芸術祭アート体験プログラム
ーアートラボぎふー 特別企画 p.109

132 演劇の祭典 p.109

133 太鼓の祭典 p.110

134 いろんなみんなのステージイベント p.110

135 新作!舞踊「関ヶ原」～舞踊家集団「弧の会」と
パイプオルガンの共演 p.111

136 人形劇・アラ・カルト in わのうち p.111

137 風流踊フェスタ ～次世代への継承～ p.112

138 民謡・民舞の祭典 p.112

139 新作オペラ「胡蝶の楽園」 p.113

140 オペラ「カルメン」(オリジナル日本語版公演) p.113

141 清流の国ぎふ創作オペラ(3話)
①「白鮎の祈り」②「風車の涙」③「森の雫」 p.114

142 飛騨市伝統文化オータムフェスティバル p.114

143 ぎふ市民劇 道三 ー斎藤道三の半生ー p.115

144 津海市文化フェスティバル p.115

145 美濃市民文化祭 p.116

146 演劇「戦国最強の武将・可児才蔵伝説」 p.116

147 オペラ貞奴@恵那峡もみじまつり p.117

148 清流の国ぎふ創作朗読劇「本郷村善九郎」 p.117

149 岐南町美術展・芸能大会・岐南町文化祭 p.118

150 瑞穂市文化協会祭 p.118

151 北方町文化祭 p.119

152 第65回神戸町文化祭 p.119

153 池田町文化祭 p.120

154 関市文化祭 p.120

155 八百津町文化祭 p.121

156 瑞浪市文化祭 p.121

食文化

157 岐阜県農業フェスティバル p.122

158 全国農福連携マルシェ in ぎふ p.123

159 「清流の国ぎふ」食文化継承・発展シンポジウム p.123

160 茶道の祭典 p.124

161 薬草フォーラム p.124

162 薬草メニューフェア p.125

163 薬草の魅力めぐりツアー p.125

164 揖斐川歴史民俗資料館 薬草文化展 p.126

165 小瀬鵜飼の実演 p.126

166 「清流の国ぎふ」鮎料理フェア p.127

167 食育の啓発展示 p.127

168 ぎふの味・伝承名人認定コンクール作品展示 p.128

169 ぎふカルチャーマルシェ p.128

170 市民大茶会 p.129

171 食品の安全・安心シンポジウム p.129

172 食品ロス削減啓発ポスター・標語展示 p.130

173 調理技術コンクール p.130

174 里山収穫祭 p.131

175 上之保ゆず祭り……………p.131

176 わいわい館マルシェ……………p.132

177 霜月茶会……………p.132

178 食育ボランティアと連携した郷土食を紹介するパネル展 p.133

森林・花文化

179 ぎふ木育オータムイベント……………p.134

180 華道の祭典……………p.134

181 秋のローズフェスティバル……………p.135

182 盆栽展……………p.135

183 いけばな「昔と今」……………p.136

184 裏木曽の森林文化伝承の集い……………p.136

185 ぎふの花でおもてなし花飾り……………p.137

186 ぎふ木遊館 ギャラリー企画展……………p.137

187 ぎふ森の恵み感謝祭……………p.138

188 フラワーデザイン体験レッスン……………p.138

189 木と遊ぼう、自然のワークショップ……………p.139

190 中部山岳国立公園体験プログラム……………p.139

191 ぎふフラワーフェスティバル……………p.140

192 ぎふ森フェス……………p.140

193 第53回 岐阜公園 菊人形・菊花展……………p.141

194 岐南町菊花展……………p.141

195 羽島美濃菊展……………p.142

196 養老公園 木の工作教室……………p.142

197 養老公園 ひょうたんワークショップ……………p.143

198 森林に親しむ各種森林教育プログラム……………p.143

199 岐阜県百年公園 木育ワークショップ……………p.144

200 森林文化アカデミー翔楓祭(学園祭)……………p.144

歴史文化

201 大関ヶ原祭2024……………p.145

202 関ヶ原合戦祭り2024……………p.145

203 特別展「ポケモン化石博物館」……………p.146

204 みずなみ化石フェスタ〜パレオパラドキシア大集合〜 p.146

205 特別展「広重・英泉の木曾海道六拾九次を辿って
中山道を旅してみた」……………p.147

206 特別展「広重・英泉の木曾海道六拾九次を辿って
中山道を旅してみた」講演会……………p.147

209 秋季特別展「関ヶ原ーよみがえる天下分け目の戦いー」 p.148

210 文化財と華道の競演展、大正・昭和体験ツアー……………p.148

211 全国武将隊フェスティバル in わのうち……………p.149

212 水月窯窯焚き体験……………p.149

213 永保寺五峰庵公開と茶会……………p.150

214 円空の足跡を訪ねる円空印めぐり……………p.150

215 美濃源氏土岐氏復活祭……………p.151

216 「清流の国ぎふ」文化祭2024関連特別展「つなぐ」……………p.151

217 岐阜県歴史資料館企画展 原三溪展……………p.152

218 岐阜県歴史資料保存協会 創立50周年記念シンポジウム
「歴史資料の保存と新たな地域文化の創造に向けて」 p.152

219 山県市文化・歴史講演会……………p.153

220 第18回信長学フォーラム……………p.153

221 タルイピアセンター第59回企画展 垂井と刀剣の世界Ⅱ p.154

222 歴史講演会「古代池田地域の歴史的特質ー「壬申の乱」の
大海人皇子の「湯沐邑」と設置の背景ー」……………p.154

223 とみか歴史シンポジウム……………p.155

224 博物館・文化財保護センター連携企画展「寺院跡からみた
岐阜の歴史ー古代・中世寺院跡総合調査の成果よりー」 p.155

225 国指定重要文化財・願興寺本堂解体修理工事現場見学会 p.156

226 技で魅せる!文化財3選〜小木棒の手・水月窯・五峰庵〜 p.156

227 恵那の歴史文化体験ツアー……………p.157

228 高山陣屋歴史体験プログラム……………p.157

229 企画展「陣屋町高山」展……………p.158

産業文化

230 空宙博特別企画展 月への挑戦
ーアポロ計画から50年、人類は再び月を目指すー……………p.159

231 第13回美濃焼祭^{みのやきまつり}……………p.160

232 瑞浪市陶磁資料館特別展
「美濃近代窯業の開拓者 曽根磁甕園製陶所」……………p.160

233 第81回たじみ陶器まつり……………p.161

234 「美濃桃山陶、どう料理する?」シンポジウムと特別展示 p.161

235 「匠の国ぎふ」の技を支える道具展……………p.162

236 関の刃物体験……………p.163

237 古式日本刀鍛錬・研磨外装技能一般公開……………p.163

238 飛騨の匠文化祭……………p.164

239 岐阜県発明くふう展……………p.164

240 第21回ぎふ技能フェスティバル……………p.165

241 ものづくり岐阜テクノフェア2024……………p.165

242 ソフトピアジャパン文化祭「ソフこい祭り」……………p.166

243 おおのフェスタ2024……………p.166

244 津保川産業祭……………p.167

245 八百津町産業文化祭……………p.167

246 東白川村産業文化祭 秋フェスタ'24……………p.168

247 飛騨の家具®フェスティバル……………p.168

248 土木遺産を巡る親子バスツアー……………p.169

国際交流

249 海外・国内大交流プログラム
ー踊りでつながる岐阜と世界ー……………p.170

250 国際陶磁器フェスティバル美濃'24……………p.171

251 ヘレンド社との交流事業(ハンガリー)……………p.172

252 展覧会「Ways of Earth」(ハンガリー)……………p.172

253 ポーランド・シロンスク県との交流……………p.173

254 フランス・アルザス欧州自治体との交流……………p.173

255 中国・江西省との交流……………p.174

256 モロッコとの交流……………p.174

257 ウズベキスタンとの交流……………p.175

258 ONSEN・ガストロノミーウォーキング(フランス)……………p.175

259 リトアニアNOW2024……………p.176

260 海外交流ガラコンサート(ハンガリー)……………p.176

文化一般

261 文化的処方プログラム……………p.177

262 昔の遊びを伝えよう 伝承遊びフェスティバル……………p.178

263 ぎふ清流レクリエーションフェスティバル2024……………p.178

264 ねんりんピック岐阜2025開催1年前イベント……………p.178

265 文化芸術共創プログラム……………p.179

266 総文祭成果発表〜未来へつなぐ高校生の思い〜……………p.180

267 お香の祭典……………p.180

268 将棋フェスティバル in 瑞穂……………p.181

269 シンポジウム 脳科学者 茂木健一郎と考える健幸な生活
ー将棋が脳トレに!?ー……………p.181

270 きものの祭典……………p.182

271 小倉百人一首競技かるた全国大会……………p.182

272 全日本健康マージャン交流大会……………p.183

273 マンカラ交流大会 〜安ハボードゲームまつり〜……………p.183

274 美濃の国文化芸術大祭……………p.184

275 囲碁の祭典……………p.184

276 県産品販売フェア……………p.185

277 岐阜市産業・農業祭〜ぎふ・信長まつり〜……………p.185

278 文化の発信〜研究者と岐阜を熱く語ろう!〜 in 岐阜大学 p.186

279 絵本作家「みやにしたつや先生」に学ぶ……………p.186

280 せき桐ヶ丘芸術祭……………p.187

281 「清流の国ぎふ」文化祭2024 なかつがわ総合文化祭 p.187

282 アートで変革「異彩を、放て。」講演会
ー「普通」じゃない、それは同時に、可能性。ー……………p.188

283 恵那の食・芸術・文化の祭典……………p.188

284 どぶろく祭……………p.189

285 日本ライン・KISOGAWA River to Summit 2024 p.189

286 献血啓発に係る作品等の展示……………p.190

287 アクア・トト ぎふ 特別企画展
ワイルドアマゾン〜アマゾン最高!〜……………p.190

288 河川環境楽園 キッズハロウィンパラダイス……………p.191

289 まじわる新聞・まじわるラジオ……………p.191

290 ふれあい福祉フェア……………p.192

291 岐阜県社会科(地理歴史科・公民科)
課題追究学習作品展……………p.192

292 岐阜県児童生徒科学作品展……………p.193

294 オアシスグリーンパークマーケット……………p.193

295 水環境スタディ in 各務原浄化センター……………p.194

296 ぎなんフェスタ……………p.194

297 AYA世代のがん長期療養支援ネットワーク事業……………p.195

298 コミュニティセンターサークル発表会……………p.195

299 リバーサイドカーニバル……………p.196

300 障がい者雇用推進フェア……………p.196

301 市民ライターラジオ……………p.197

302 アクア・トト ぎふ 夜の水族館……………p.197

303 各務原マーケット日和……………p.198

304 岐阜市ゼロカーボンフェスタ……………p.198

305 清流の国ぎふづくり「自然共生」事例発表会……………p.199

306 岐阜県手話言語条例・
障がい者の意思疎通手段理解啓発イベント……………p.199

307 ぎふ羽島駅前フェス……………p.200

308 1型糖尿病パネル展……………p.200

309 「清流の国ぎふ」SDGsフェスティバル2024……………p.201

310 人と自然の共生を! in 笠松……………p.201

311 ヘルプマーク普及啓発イベント……………p.202

312 こころの健康フェスティバル……………p.202

313 チャレンジ企画 “がんばれ若鮎”
「岐阜でみつけた未来の星」第7弾……………p.203

314 養老フェスタ2024……………p.203

315 福祉ふれあいボランティアフェスティバル……………p.204

316 ふれ愛の家げんき祭……………p.204

317 中山道赤坂宿まつり……………p.205

318 安八ふれあい祭り2024……………p.205

319 清流長良川あゆパーク 秋イベント……………p.206

320 岐阜県百年公園 オータムフェスティバル……………p.206

321 坂祝町ふるさとまつり……………p.207

322 おいでよふる里まつり……………p.207

323 飛水峡ウォーキング……………p.208

324 関にし秋の祭典 in 洞戸……………p.208

325 まなびピア川辺……………p.209

326 景観シンポジウム……………p.209

327 ぎふ棚田塾ツアー……………p.210

328 下呂市文化祭……………p.210

329 国名勝指定記念 白水滝シンポジウム……………p.211

330 巡回人権啓発展……………p.211

331 水環境スタディ in 浄水場……………p.212

332 脱炭素社会ぎふを支える人づくりツアー(秋コース) ……p.212

333 岐阜県高等学校総合文化祭……………p.213

中止

207 中山道往来 〜なかせんどううおーく〜……………p.213

208 中山道往来 〜なかせんどううおーく〜……………p.213

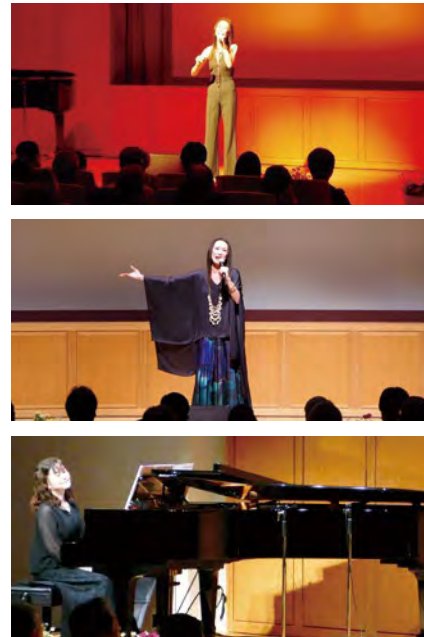
293 各務原公園 秋の交通安全フェスティバル……………p.213

001

紺野美沙子名誉館長朗読会

岐阜市

開催日 令和6年11月3日(日祝) 会場 岐阜県図書館



実施状況

岐阜県図書館紺野美沙子名誉館長朗読会として「茨木のり子の世界～昭和の名曲とともに～」を開催しました。

ピアニスト・黒木由香氏による、「清流の国ぎふ」文化祭2024にふさわしい一曲、ラヴェルの「水の戯れ」の演奏で始まり、茨木のり子の代表作「わたしが一番きれいだったとき」、「自分の感受性くらい」、「倚りかからず」をはじめとして、恋する気持ちがあふれている作品「あほらしい唄」など、7編の詩を文化祭の応援大使でもある紺野名誉館長の朗読でお聞きいただきました。

歌手・蘭燃氏が素敵な歌声を響かせながら客席から登場し観客を驚かせた「夢で逢えたら」、県内の美しい清流の写真とともにゆったりとしたピアノ演奏が心地よい「川の流れるように」などの昭和の名曲が、茨木のり子の詩の世界を彩りました。

紺野名誉館長が最後に朗読したのは、茨木のり子が夫に寄せた愛の詩「泉」、「存在」。そして、蘭燃氏の力強い歌声と黒木氏のピアノで「愛の讃歌」が演奏され、感動的なフィナーレを迎えました。

来場者には、文学と音楽、映像のコラボレーションによって、「茨木のり子の世界」を深くお楽しみいただきました。

また、図書館閲覧室内では、関連図書展示として茨木のり子の詩集などの展示・貸出を行いました。

主催 岐阜県図書館

002

狂俳の祭典

岐阜市

開催日 令和6年10月26日(土) 会場 岐阜市文化センター



実施状況

多くの狂俳愛好者が集い、岐阜にちなんだ若鮎や鷗鶯^{うがかり}、長良川、岐阜城などのお題を交えて、事前に投句(応募)のあった事前句の表彰式と発表会を行いました。

表彰式では、一般の部4,558句、小中学生の部978句の中から選ばれた句の表彰を行いました。その後、選者によって選ばれた句を読み上げる発表会を行いました。

また、祭典当日の午前中に美濃和紙や郡上踊などのお題から句を作り、投句をして、午後にはその中から選者が良い句を選んで発表する、当座句の発表会も行いました。当日の作句にもかかわらず、1,130句の投句がありました。

事前句、当座句ともに、どれもユーモア溢れた素晴らしい句ばかりで、選者が選んだ句を発表していくと、観客席からは、笑いや共感の声などが聞こえ、会場全体が選者の発表に聞き入っていました。

さらに祭典のフィナーレとして、岐阜県に伝わる民謡である、岐阜のお祝い歌「おぼば」の踊りを披露し、大会の最後を華やかに彩りました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、岐阜市、「清流の国ぎふ」文化祭2024岐阜市実行委員会、東海郷流会

003

清流の国ぎふショートショート文芸賞 表彰式・講演会 岐阜市

開催日 令和6年10月27日(日) 会場 岐阜県図書館



実施状況

岐阜県文芸祭記念大会として開催した「清流の国ぎふショートショート文芸賞」の表彰式・講演会を開催しました。

4月1日から6月7日までの期間に400字詰め原稿用紙3枚以内のショートショート作品を募集し、全国から579名849作品の応募がありました。また、岐阜県出身の直木賞作家・米澤穂信氏を特別審査員としてお招きしました。

表彰式では文芸大賞、特別審査員賞受賞者に選出された各1名に対して、米澤氏から賞状が授与されました。さらに式では参加した優秀賞受賞者、入選者の紹介を行い、会場から拍手が送られました。また、来場者には入選以上の52作品、審査員の総評・講評が掲載された作品集を配布しました。

その後、米澤氏による講演会「短編小説の組み立て」を開催しました。講演会後のQ&Aでは、多くの参加者が質問を行い、米澤氏が一つひとつ丁寧に答えました。全体を通して、来場者の文芸に対する理解がより一層深まり、大変充実した時間となりました。

【プログラム】

表彰式・特別審査員(米澤穂信)による作品講評、講演会・Q&A

【受賞者】

文芸大賞1名、特別審査員賞1名、優秀賞10名(うち6名参加)、入選40名(うち17名参加)

主催 公益財団法人岐阜県教育文化財団

004 連句の祭典

岐阜市

開催日 令和6年10月27日(日)

会場 じゅうろくプラザ



実施状況

松尾芭蕉、各務支考ゆかりの岐阜の地で、講演や全国から集まった連句愛好家の方々による実作会を行い、参加者同士の交流を図りました。実作会においては参加者5名で一つの座をもち、捌のリードにより日ごろの研さんの成果を発揮し、短歌行一折の連句作品を和気あいあいと巻きました。

また、事前に国内外から広く連句作品を募集(応募総数427巻)し、選者による審査を行い、受賞作品を決定。祭典にて受賞作品の表彰を行いました。

【プログラム】

- 開会式 ・開会の挨拶 ・主催者挨拶 ・列席者紹介
- 表彰式 ・選者紹介 ・賞状授与
- 講演 演題 芭蕉の句の詠み方 ～発句と連句～
講師 豊橋技術科学大学教授 中森康之
- 実作会 参加者121名(22都道府県、国外1)
- 閉会式 ・主催者代表挨拶 ・次期開催地引継式(長崎県五島市)
・次期開催地代表挨拶 ・閉会の挨拶

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、岐阜市、「清流の国ぎふ」文化祭2024岐阜市実行委員会、一般社団法人日本連句協会、岐阜県連句協会

005 川柳の祭典

岐阜市

開催日 令和6年11月10日(日)

会場 岐阜市民会館



実施状況

全国から広く募集した川柳の作品のうち、事前投句4題・上位各10句と当日投句3題・各60句の入選作品を参加者の前で披露し、この中から入賞候補作品21句、さらに入賞作品10句を決定し表彰式を行いました。

選者の句の披露に対し選ばれた方が呼名すると、周りから大きな歓声と拍手があり、会場全体で盛り上がりました。

麗澤大学非常勤講師・江畑哲男氏を講師に迎えて行った記念講演は、川柳を楽しむ者として改めて日本語の魅力に対する理解を深め、川柳を学びなおすリカレントの場となりました。

また、岐阜特別企画として「みらいの」川柳人育成を目指し、高校生以下を対象に「学生川柳」を募集し、県内の小学校4校、中学校3校、高校5校から150名231句の応募がありました。

祭典の開催にあたっては地域を越え、開催経験のある愛知の川柳社に支援をしていただいたほか、高校生、大学生ボランティアと「ともに」祭典をつくり次世代に川柳の魅力を「つなぐ」ことができました。

【プログラム】

- 次期開催地挨拶、開会式、岐阜特別企画「学生川柳」発表、
- 講演「日本語の魅力、川柳の魅力」江畑哲男(麗澤大学非常勤講師)、
- 披露・選評(事前投句及び当日投句)、表彰式、閉会式

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、岐阜市、「清流の国ぎふ」文化祭2024岐阜市実行委員会、川柳の祭典実行委員会、岐阜県川柳作家協会、一般社団法人全日本川柳協会

006 家族の絆 愛の詩

養老町

開催日 令和6年11月17日(日)

会場 養老町民会館



実施状況

25回目の節目を迎えた「家族の絆 愛の詩」は、2,030篇の応募があり、全国から家族愛をテーマにした心温まる愛の詩が集まりました。審査員8名による公平な審査のもと受賞者を決定し、祭典当日は入賞作品の表彰と朗読を行いました。

表彰式には、全国各地から参加があり、文部科学大臣賞、国民文化祭実行委員会会長賞をはじめとする各賞の表彰を行いました。また、「家族の絆 愛の詩」の本の帯を書いていただいた北畑光男氏による現代詩普及のための記念講演を開催しました。

メインイベントである詩の朗読では、表彰者がスクリーンに映し出された詩に合わせて作品の朗読を行い、観客は詩の情景を味わいました。

最後のアトラクションでは、ひょうたん笛演奏者・彼末れい子氏とピアノ演奏者・村上数枝氏による演奏会を行いました。これまでの「家族の絆 愛の詩」とはまた違った雰囲気となり、特別感のある有意義な祭典となりました。

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、養老町、養老町教育委員会、「清流の国ぎふ」文化祭2024養老町実行委員会、養老町愛の詩募集実行委員会、日本現代詩人会、一般社団法人日本詩人クラブ、岐阜県詩人会

007 清流の国ぎふ「短歌の祭典」古今伝授の里・郡上 郡上市

開催日 令和6年11月2日(土)～3日(日祝)

会場 郡上市総合文化センター、
古今伝授の里フィールドミュージアム一帯



実施状況

2日(土)の「短歌大会」では、全国から応募された1,231首の短歌から、優秀な作品を発表、表彰するとともに、選評を通じて作品を鑑賞しました。歌人・島田修三氏による記念講演「和歌から短歌へ」では、短歌の変遷と特徴、魅力が紹介されました。

3日(日祝)の「郡上東氏ゆかりの和歌文学に親しむ」では、中世の当地の領主一族・東氏が武家歌人であったことから、古今伝授(御所伝授)の場面の再現や、東氏ゆかりの史跡案内を行いました。和歌文学と香りの講座では、座学に続き、香り袋を制作しました。ほかにも、和歌文学館企画展を監修者が案内しました。

両日を通じて、全国の短歌愛好家らが短歌の魅力を再認識し、相互の交流が促される場となりました。

【短歌大会・選者】

大西久美子、小川恵子、小塩卓哉、桐山五一、黒岩剛仁、桑田靖之、後藤すみ子、後藤左右吉、佐佐木幸綱、清水春美、鈴木竹志、高木佳子、中沢直人、藤原龍一郎、三島麻亜子、吉田淳美

【郡上東氏ゆかりの和歌文学に親しむ・出演者等】

星と森披露講習会、勝亦志織、小川栄一郎、小塩卓哉、今津和也

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、郡上市、郡上市教育委員会、「清流の国ぎふ」文化祭2024郡上市実行委員会

008

全国高等学校ビブリオバトル2024岐阜県大会 岐阜市

開催日 令和6年11月10日(日)

会場 岐阜県図書館



実施状況

「ビブリオバトル」とは発表者がおすすめの本を持って集まり、一人ずつおすすめの本を紹介し合っ、一番読みたくなった本を投票で決める、コミュニケーションゲームです。第9回となる今大会では、県内16の高校から21名の生徒が参加しました。

予選を勝ち抜いた4名が決勝戦に進み、70名を超える観客の前で自分のおすすめの本の魅力を熱く発信しました。

投票の結果、岐阜東高等学校1年・長屋星来氏が紹介した「夏と花火と私の死体」(乙一著)が最も読みたくなった本である「チャンプ本」に選ばれました。

休憩時間では本の好きな参加者が交流を深め、本との出会い、人との出会いを楽しみました。

発表者からは「違う高校の子ともつながることができ、人と話すのってこんなに楽しいんだ!と、とても幸せな気持ちになった」「いろんなジャンルの本と出会えて、新しい友達もできた」「自分の推し本をみんなに語ることができてうれしかった」などの感想をいただきました。観戦者からは「自分とは違う年代の方たちの視点を楽しむことができた」「好きなものを熱く語る姿がとても素敵だった」「生徒達が生き生きと本を紹介する姿や本を通して仲間が増えていく姿はいつ見てもうれしくなる」などの感想をいただきました。

主催 岐阜県

009

奥の細道むすびの地「大垣」^{こうちょうき}芭蕉蛤塚忌全国俳句大会 大垣市

開催日 令和6年10月20日(日)

会場 大垣市総合福祉会館、蛤塚周辺



実施状況

【芭蕉蛤塚忌】

大垣女子短期大学の学生がオープニングアトラクションとして、サックスの四重奏を披露しました。演奏者も俳句を披露するなど、盛り上がりを見せました。その後主催者と当日選者による句流し及び献花を行い、約100名の参加者と松尾芭蕉の遺徳を偲びました。

【プログラム】

・開会挨拶 ・献句披露 ・祝辞 ・句流し、献花

【全国俳句大会】

午前中に当日投句の受付を行い、午後に事前及び当日に募集した俳句についての表彰、記念講演会などを開催し、約300名に参加いただきました。

【プログラム】

・開会のことば、あいさつ、講師・選者紹介
・事前投句の部(A・B・C作品)表彰・撮影・講評
・記念講演 堀本裕樹
・当日投句の部 各賞発表・表彰・講評

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、大垣市、大垣市教育委員会、「清流の国ぎふ」文化祭2024大垣市実行委員会、「大垣」全国俳句大会実行委員会

010

坪内逍遙のふるさと 朗読の祭典

美濃加茂市

開催日 令和6年10月26日(土)~27日(日)

会場 みのかも文化の森



実施状況

美濃加茂市内外から計12団体が集まり、2日間にわたって地元の中中学生や市外の高校生による朗読、手話を使った朗読など年齢や手法にとらわれないさまざまな朗読を披露し、それぞれの作品の世界へ観覧者を引き込みました。

26日(土)には、市が創設している坪内逍遙大賞の第19回受賞者である、翻訳家・演劇評論家の松岡和子氏による「シェイクスピア劇の翻訳」と題した講演会も開催しました。講演会では、自身の28年にもわたるシェイクスピア劇の翻訳についての解説やエピソード、現代と昔の表現の違いなどをお話いただきました。

また、会場外でもホール内の様子を見ることができるようサテライトブースを設置し、休憩時間には文化祭や朗読の祭典の紹介映像を流すなど一般来館者にも楽しんでいただきました。

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、美濃加茂市、「清流の国ぎふ」文化祭2024美濃加茂市実行委員会

011

第60回岐阜市文芸祭 一般の部

岐阜市

開催日 令和6年11月9日(土)~17日(日)

会場 ハートフルスクエアG



実施状況

岐阜市民の創作意欲を高め、文芸創作活動の振興とともに、地域文化の向上を図ることを目的として、広く市民から作品を募集し、優秀作品を展示するとともに作品集を出版しました。

短編・児童文学・現代詩・歌詞・短歌・俳句・川柳・連句・狂俳の9ジャンルで、6月1日~7月15日に作品を募集。のべ1,638名(県内921名、県外717名)、3,227点の応募があり、その中から文芸祭賞・市長賞・市教育委員会賞(各賞につき各ジャンル1点ずつ計27点)、秀逸(計16点)、入選(計138点)、佳作(計247点)の作品を決定しました。

開催期間中には、その内入選以上の作品181点を展示し、開催に合わせて発売した作品集には400点を掲載しました。

17日(日)には表彰式を開催。表彰式の直前には、関連事業である「岐阜市民芸術祭」から邦舞部門の公演「舞踊万華鏡」(本公演は12月8日)のプレイベントも開催し、会場を盛り上げました。その後、ジャンル毎に各研修室で審査員による講評会を開催しました。

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、岐阜市、「清流の国ぎふ」文化祭2024岐阜市実行委員会、岐阜市文芸祭実行委員会、公益財団法人岐阜市教育文化振興事業団

第32回可児市文芸祭

可児市

開催日 令和6年11月24日(日)～12月1日(日)

会場 可児市文化創造センターala



実施状況

文芸への創作意欲を高め、文芸活動の振興を図るとともに芸術文化のかおり高いまちづくりを進める目的で、さまざまな分野の文芸作品を募集し、展示するイベントを開催しました。

一般の部では、県内外から短編小説、随筆、現代詩、短歌、俳句、川柳、狂俳、俚謡の8部門で2,570点、小中学生の部では詩・作文、短歌、俳句の3部門で2,586点の応募があり、上位入賞作品を展示しました。

自らの思いや感情と向き合いながら、豊かな創造力や表現力で魅力あふれる作品の数々に、来場された多くの方々が足を止めてじっくりと鑑賞し、その世界観に魅了されていました。

個人を取り巻く環境に関わらず、どんな方でも参加いただける機会となり、多くの方々が文化芸術を介して人のつながりを感じられるものとなりました。

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、可児市、「清流の国ぎふ」文化祭2024可児市実行委員会、可児市文芸祭企画運営委員会



013

清流の国ぎふ「邦楽・尺八」祈りの世界

岐阜市

開催日 令和6年10月20日(日)

会場 サラマンカホール



実施状況

日本の伝統文化芸術である「箏、三絃、尺八」の三曲を受け継ぐ人たちが全国から集い、日本の心を奏でる美しい音色を響かせ、共演・交流を深めました。「鶴の巢籠」などレベルの高い演奏で交流することができ、「演奏者も観客も学び合うことができた」との声をいただきました。
また、戦争・大地震・津波・大雨等の犠牲者への哀悼と被災避難者への励まし、核兵器廃絶、世界平和への祈りを込めた感動的な演奏会となりました。

【主なプログラム・出演者】

- | | |
|-------------------|-------------------------|
| ① 岩田悠&岩田明(岐阜県) | ② HARU kids 箏 club(岐阜県) |
| ③ 岐阜県尺八こども教室 | ④ グループ友雅(愛知県) |
| ⑤ 松本富有樹&松本求名(大分県) | ⑥ 琴古流尺八日本竹道洞門会(京都府) |
| ⑦ 京都無住庵尺八道場(京都府) | ⑧ 尺八西園流本曲会(愛知県) |
| ⑨ 菊川片羽(東京都) | ⑩ 普化明暗(岐阜県) |
| ⑪ 旧史光会 国枝吟光(岐阜県) | ⑫ 竹友社羽島不破尺八道場(岐阜県) |
| ⑬ 岐阜県三曲連合会 | |

県内7団体、県外6団体の計87名に演奏いただきました。①、②は箏、④は三絃、⑤は古楽ギターと尺八のデュオ、そのほかは尺八のみの演奏です。

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、岐阜県三曲連合会

014

「清流の国ぎふ」文化祭2024岐阜邦楽大会

羽島市

開催日 令和6年10月27日(日)

会場 不二羽島文化センター



実施状況

第102回岐阜邦楽協会大会を文化祭事業として開催しました。
開催の1年以上前から準備を行い、古曲、新曲などの三曲合奏、珍しい相生の曲と六段の調の打合(合奏)、大正琴、謡曲、民謡での舞踊、歌、剣舞などを披露しました。
文化祭テーマソング「君が明日と呼ぶものを」を箏・十七絃・三絃・胡弓で演奏し、会場と舞台が一体となり大きな声で歌い大変盛り上がり、涙ぐむ観客もいらっしゃいました。
最後は、有志により郡上節(かわさき)を尺八と三絃で演奏し、歌・踊りの会場からの飛び入り参加もあり、文化祭にふさわしいフィナーレとなりました。

【プログラム】

- ・八千代獅子 ・北の漁場 他 ・辰巳の左禰 他
- ・打合せ相生の曲・六段の調 ・祭花二番 ・まの川 ・長良川艶歌 他
- ・長良川恋唄 他 ・黒田節 他 ・日本歌曲集 ・君が明日と呼ぶものを
- ・天竜流し 他 ・夕顔 ・伊勢音頭 他 ・北海無法松 他
- ・郡上節(かわさき)～合同共演～

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、岐阜邦楽協会

015 邦楽三曲演奏会

岐阜市

開催日 令和6年11月2日(土)

会場 岐阜市文化センター



実施状況

「未来につなぐ、和のひびき」をスローガンに伝統文化・邦楽三曲(箏・三絃・尺八)の演奏を行いました。次世代を担う、小学校1年生、児童合唱団、高等学校箏曲部、東京藝術大学音楽部1年生(昨年の全国高校生邦楽コンクール第1位)、大学の邦楽部など若い世代から、最高齢は87歳と幅広い年代の参加者により、古典曲から現代曲、岐阜県民の歌、文化祭テーマソング「君が明日と呼ぶものを」を演奏しました。

435名の来場者から大きな拍手をいただき、伝統文化の1つである邦楽三曲を多くの方にお聴きいただく機会となりました。

【プログラム】

- ・六段の調 ・岐阜県民の歌、君が明日と呼ぶものを
- ・ミレニウム・ロード ・飛鳥の夢 ・合奏曲ちようちょ
- ・平調 蹴鞠の調べ ・残光の彼方へ ・戯曲 ・一杯 ・燦めく季節
- ・北海民謡調 ・越後獅子 ・翔き ・道灌

【出演団体】

岐阜県邦楽三曲会(21社中)、岐阜大学邦楽部、県立岐山高等学校箏曲部、愛知県立江南高等学校箏曲部、児童合唱団かかみのキッズ
計25団体 264名

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、岐阜県邦楽三曲会

016 邦楽の集い「深秋の響演」

岐阜市

開催日 令和6年11月24日(日)

会場 サラマンカホール



実施状況

平成11年に初めて岐阜県で開催した国民文化祭で披露された、県出身の作曲家・藤掛廣幸氏の交響詩「山河緑照」を25年の時を経て再び国民文化祭で演奏し、来場者約700名を楽しませました。

県邦楽連盟に加盟する岐阜正絃社、邦楽・囃子 祐の会、国風音楽会 清風会、三味線奏の会、宮城社 芙蓉会、現代邦楽会みさと笛 岐阜雅の会の6社中から約100名が出演。社中ごとに美しい音色を奏でました。フィナーレを飾った「山河緑照」は、人間国宝の尺八奏者・野村峰山氏も加わった合同演奏で行われ、迫力の音色が会場に響き渡りました。

文化祭に合わせて新設された「ジュニアの部」所属の県内の小・中学生約60名による「さくらさくら」や「日本の四季」の演奏もあり、子ども達が稽古の成果を存分に発揮しました。

【プログラム・出演団体】

- ・秋の歳時記(岐阜正絃社) ・長唄囃子 近江のお兼(邦楽・囃子 祐の会)
- ・四季の高山(国風音楽会 清風会) ・日本の四季(ジュニアの部)
- ・春夏秋冬、秋のこぼれび(三味線 奏の会) ・春の海幻想(宮城社 芙蓉会)
- ・笠編みうた変奏曲、山寺の和尚さん、紙すきの唄(現代邦楽会みさと笛 岐阜雅の会)
- ・山河緑照(合同演奏)

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、岐阜県邦楽連盟

017 ひと・むすぶ・こえ～愛と平和を歌う合唱フェスティバル

岐阜市

開催日 令和6年11月4日(月休)

会場 サラマンカホール



実施状況

作曲家・信長貴富氏を音楽監督に迎え、「愛と平和」をテーマに、合唱による「こえ」で人と人をむすぶ合唱フェスティバルを3部構成で開催しました。

第1部「きすなをむすぶ」では、県内外から4つの合唱団が出演し、世界をつなぐ歌声と題した子ども達による合唱と、岐阜県が誇る「郡上節」を信長氏が合唱曲に編曲した新編曲「郡上おどり幻想」の初演を行いました。

第2部「祈りをむすぶ」では、東京混声合唱団によるスラヴ音楽の合唱と、バリトン歌手・宮本益光氏による「Fragments-特攻隊戦死者の手記による-」の独唱が響きました。

第3部「交響する声たち」では、オーケストラによる演奏のもと、七宗町の片麻岩を題材とした宮本益光作詩・信長貴富作曲の新曲「二十億年前の石」の初演などにより、世代や団体の枠を超えたさまざまな声が交響し、愛と平和を高らかに歌い上げました。

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会

018 清流の国ぎふ千人の第九コンサート

岐阜市

開催日 令和6年11月17日(日) 会場 岐阜メモリアルセンター



実施状況

公募により集まった合唱団と岐阜県出身の4名のソリスト、そして岐阜県を代表するオーケストラである岐阜県交響楽団によるコンサートを開催しました。

文化祭にふさわしくお祭り気分を盛り上げる「管弦楽のためのラプソディ」の演奏で始まり、合唱団と来場者を巻き込んで大いに盛り上がりました。続く「交響曲第9番 二短調 作品125」では、岐阜会場、可児会場、飛騨会場の3つの練習会場で練習を重ねてきた合唱団が、マエストロ・井村誠貴氏の指揮のもと、心を一つにして壮大な歌声を響かせました。合唱団は小学校低学年から80代の

方までと年齢層も幅広く、初めて参加される方や県外から参加される方もいました。また、第九初心者の方の参加も多い中、皆で力を合わせ未来への希望と平和への願いを高らかに歌い上げることができ、感動的なコンサートとなりました。

【プログラム】

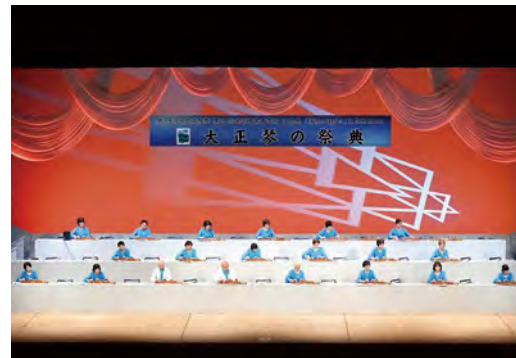
外山雄三「管弦楽のためのラプソディ」
ベートーヴェン「交響曲第9番 二短調 作品125」

主催 清流の国ぎふ千人の第九実行委員会、公益財団法人岐阜県教育文化財団

019 大正琴の祭典

岐阜市

開催日 令和6年10月20日(日) 会場 長良川国際会議場



実施状況

全国各地から大正琴愛好者が集い、「令和6年全国子供大正琴コンクール」の最終選考会である「子供の部」と「一般の部」の2部構成で開催しました。

「子供の部」では、ソロ部門とアンサンブル部門を年齢によって区分した4部門にて審査を行い、44団体196名の応募の中から一次選考会の上位者16団体87名が最終選考会に出演しました。コンクールに向けて練習を重ねてきた成果が存分に発揮され、来場者の心に響く演奏となりました。演奏技法の向上を多くの方に認識していただくことができ、次世代への大正琴音楽文化の継承に繋がるものとなりました。

「一般の部」では、県内をはじめ、全国の愛好者17団体499名が、多彩なジャンルのアンサンブル演奏を披露し、岐阜の地から大正琴の魅力を発信しました。幅広い年齢層の愛好者たちが集結、会場全体を大正琴の音色で包み見事な合奏を披露して、地域・世代を超えた交流を深めることができました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、岐阜市、「清流の国ぎふ」文化祭2024岐阜市実行委員会、公益社団法人大正琴協会

020 社交ダンスの祭典

岐阜市

開催日 令和6年10月20日(日) 会場 岐阜メモリアルセンター



実施状況

全国各地から社交ダンス愛好者が集い、ジュニアダンスコンテストやビギナーズカップコンテスト、グランドシニアカップコンテストなどさまざまな年齢、レベルなどのダンスを競技形式で披露、さらにウィールチェアダンスやブラインドダンスを演技形式で発表しました。

また、今回の特別企画として、中部6県対抗戦のチームマッチと、全日本トップ選手によるデモンストレーションを行いました。中部6県対抗戦のチームマッチでは、各県から選出された代表出場者が、プロフェッショナル、アマチュアに分かれて演技を披露。全日本トップ選手によるデモンストレーションでは、普段はなかなか見ることができない、元全日本ラテンアメリカンチャンピオンの織田慶治、理子組、全日本アマチュアスタンダードチャンピオンの五月女光政、叡佳組が演技を披露しました。

どの種目も、華やかで迫力のある演技で会場の観客が見入っていました。世代を超えて、ダンスを通じた交流の輪を広げることができました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、岐阜市、「清流の国ぎふ」文化祭2024岐阜市実行委員会、岐阜県ボールルームダンス連盟

021 未来への奏で ～羽ばたいて～

本巢市

開催日 令和6年10月20日(日)

会場 本巢市民文化ホール



実施状況

本巢市の4校(根尾学園、本巢中学校、糸貫中学校、真正中学校)の生徒が合唱を披露しました。各学校ともに日ごろの練習の成果が発揮され、力強い歌声が会場に響きました。

また、オカリナ奏者・宗次郎氏との共演では、文化祭テーマソング「君が明日と呼ぶものを」を総勢304名で合唱し、未来への夢と希望を多くの方に届けることができました。

【アクト1 ～ともに～】 生徒による合唱

根尾学園 ①新たな命(オカリナ演奏) ②地球星歌～笑顔のために～

本巢中学校 ①How wonderful living together!

②生きてるって素晴らしい

糸貫中学校 ①明日へ ②君をのせて

真正中学校 ①翼をください ②HEIWAの鐘

【アクト2 ～つなぐ～】 宗次郎オカリナ演奏

【アクト3 ～未来へ～】 生徒全員による合唱(宗次郎と共演)

①羽ばたいて ②君が明日と呼ぶものを

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、本巢市、「清流の国ぎふ」文化祭2024本巢市実行委員会

022 国際音楽交歓コンサート2024岐阜公演

岐阜市

開催日 令和6年10月23日(水)

会場 サラマンカホール



実施状況

スターシャ氏(ソプラノ)、グエン・カック・ホア氏(バリトン)、フォルカー・ツヴェチュケ氏(ピアノ)、フランチェスコ・チボレッタ氏(ピアノ)、ジャック＝ピエール・マラン氏(チェロ)、アンドレア・ベルティエーノ氏(ヴァイオリン)といった世界的に活躍されているアーティストを岐阜県に招き、県内最高峰の音楽ホールであるサラマンカホールにてコンサートを開催しました。

多くの方々に馴染みのある曲目(バッハ：G線上のアリア、ショパン：プレリュード 第7番 作品28、ベートーヴェン：エリーゼのために など)を披露し、県内の小学生を含む596名(うち出演者22名)の観客が一体となり、大変な盛り上がりを見せました。

また、地元から県立大垣桜高等学校合唱部が特別出演し、文化祭テーマソング「君が明日と呼ぶものを」など3曲の素晴らしい合唱を披露するとともに、アンコールでは出演者と一緒「ふるさと」を合唱しました。

海外の一流の演奏家との共演は、学生たちにとって貴重な機会であり、将来の音楽文化を担う若者の育成に繋がる公演となりました。

主催

岐阜県、岐阜県教育委員会、公益社団法人国際音楽交流協会

023 サラマンカホール開館30周年記念「スタニスラフ・ブーニンピアノ・リサイタル」 岐阜市

開催日 令和6年10月26日(土)

会場 サラマンカホール



実施状況

平成6年4月、サラマンカホールのこけら落としのリサイタルを行ったピアニストのスタニスラフ・ブーニン氏が、開館30周年の記念の舞台に再び立ちました。

ケガと病気を乗り越え令和5年に10年ぶりに再起したブーニン氏は、持ち込んだFAZIOI社のピアノで前半にショパン作曲の小品4曲(「ノクターン第20番 嬰ハ短調「遺作」」、「ボロネーズ第1番 嬰ハ短調 作品26-1」、「前奏曲 変ニ長調 作品28-15「雨だれ」」、「ワルツ第9番 変イ長調 作品69-1「告别」」)と、ブーランク作曲の「3つの小品」作品48を、後半にブーニン氏が幼少期より大好きだと語るシューマン作曲の「色とりどりの小品」作品99より11曲と、「アラベスク 八長調 作品18」を熱演しました。アンコールにはショパン作曲の「マズルカ 作品67-4」とブーランク作曲の「ノクターン第8番」の2曲を演奏し、幕を閉じました。

700名を超える来場者が、ブーニン氏の演奏姿を見守り、旋律に耳を傾けました。

主催

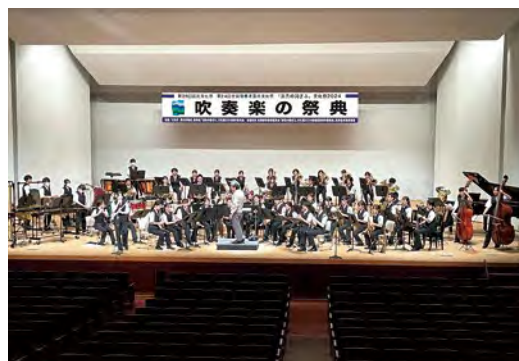
サラマンカホール

024 吹奏楽の祭典

各務原市

開催日 令和6年10月27日(日)

開催会場 プリニーの市民会館



実施状況

アマチュア団体とプロの吹奏楽団による、2部構成の吹奏楽演奏会を披露しました。

第1部では、岐阜県を代表する中学・高校吹奏楽部、地元を代表する各務原市民吹奏楽団、そして東海地方を代表する高校吹奏楽部である愛知工業大学名電高等学校の合計6団体が、オリジナルからポップスまで多彩な演奏を繰り広げました。

第2部では、日本を代表する世界的指揮者である下野竜也氏指揮の「広島ウインドオーケストラ」の特別演奏会を開催。岐阜県ゆかりの作曲家であり、平成11年に岐阜県で開催された国民文化祭「吹奏楽の祭典」での委嘱作品である、兼田敏作曲「吹奏楽のためのバラードV」、吹奏楽の名曲であるアルフレッド・リード作曲「アルメニアン・ダンス」などを演奏し、下野氏のタクトから生み出される演奏が来場者を魅了しました。

【プログラム・出演団体】

第1部 一般公募団体による演奏

多治見市立北陵中学校、大垣市立東中学校、県立土岐商業高等学校、県立長良高等学校、各務原市民吹奏楽団、愛知工業大学名電高等学校

第2部 広島ウインドオーケストラ特別公演

指揮 下野竜也

演奏 広島ウインドオーケストラ

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、各務原市、「清流の国ぎふ」文化祭2024各務原市実行委員会、岐阜県吹奏楽連盟

025 マーチングバンドの祭典 岐阜市

開催日 令和6年11月3日(日祝)

会場 岐阜メモリアルセンター



実施状況

「清流の国に集い・舞い・響かそう未来のマーチ」をテーマに、県内外の小学生から高校生、一般の方が参加する18団体が演奏演技を披露し、世代や地域を超えた交流を深めました。また、出演団体の今後の作品作りの一助になるよう、マーチングバンドの著名な指導者である阿佐美圭祐氏と内藤淳一氏の2名に講評をしていただきました。

会場内では小さな子どもから大人までの幅広い年齢層の来場者が、曲に合わせて手拍子をするなどして、熱心に鑑賞する場面も見られました。

【出演団体(出場順)】

県立羽島北高等学校吹奏楽部、岐阜ジュニアマーチングバンドThe Diamind、かかみの音楽フォレストさくらマーチングバンド、可茂ジュニアマーチングバンド BraviArts、奥田ジュニアマーチングバンド、関市立関商工高等学校 The Grant Hero's、高山西高等学校ウインドアンサンブル部、遊学館高等学校吹奏楽部、仁愛女子高等学校マーチングバンド・ドラムコー、小松市立矢田野小学校マーチングバンドクラブ Blue Winds、綾北"Mercury winds"、愛知工業大学名電高等学校吹奏楽部、JOKERS Drum&Bugle Corps、東邦高等学校マーチングバンド部、岐阜市立徹明さくら小学校エンジョイバンド、四條畷学園高等学校 Burning Bravers、東海大学付属高輪台高等学校吹奏楽部、県立岐阜商業高等学校吹奏楽部

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、岐阜市、「清流の国ぎふ」文化祭2024岐阜市実行委員会、一般社団法人日本マーチングバンド協会、岐阜県マーチングバンド協会

026 ギター・マンドリンフェスティバル2024 in MOTOSU 本巣市

開催日 令和6年11月10日(日)

会場 本巣市民文化ホール



実施状況

全国のカンター・マンドリン演奏団体から参加希望団体を募集し、県内の11団体を含む19団体による演奏会を行いました。演奏者は469名、来場者は451名となり、会場は大変な賑わいとなりました。

各出演団体による演奏のほか、岐阜県マンドリン協会・岐阜県クラシックギター協会のメンバーでフェスティバルオーケストラを結成し、根尾の淡墨桜を題材にした新曲「SAKURA」(倉知竜也氏作曲、委嘱作品)を披露しました。また、著名なマンドリニスト・藤川亜依里氏によるゲスト演奏や、中学生など学生団体の参加もあり、地域や年代の枠を越えたさまざまな人との交流を図るとともに、多くの方にギター・マンドリン音楽の魅力を伝えることができ、大変充実したフェスティバルとなりました。

【プログラム】

10:00 開演&第1ステージ(4団体演奏)
11:15 第2ステージ(5団体演奏)
12:30 第3ステージ(ゲスト マンドリニスト・藤川亜依里、ピアノ・松田龍)
13:45 第4ステージ(5団体演奏)&第5ステージ(5団体演奏)
16:22 第6ステージ(フェスティバルオーケストラ2024 指揮者・倉知竜也)
17:00 閉会

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、本巣市、「清流の国ぎふ」文化祭2024本巣市実行委員会、岐阜県マンドリン協会、岐阜県クラシックギター協会

027 ぎふ洋舞フェスティバル in 可児 可児市

開催日 令和6年10月20日(日)

会場 可児市文化創造センターala



実施状況

全国各地から舞踊団体が集い、洗練された洋舞の世界を堪能できるステージ公演を開催しました。

第1部では県内9団体の個別プログラムを上演しました。それぞれの個性を生かしてイキイキと演じるステージで観客を魅了しました。

第2部では交流の部として、全国より推薦された4団体が高度な技術と表現で、珠玉の演舞を披露。

第3部では、合同作品「ORIBE-ism〜3つの流れ〜」を上演。義足のダンサーであり、文化祭応援大使の大前光市氏を招き、4名のゲストダンサーと岐阜県洋舞家協会の各団体の精鋭総勢70名以上のキャストが、戦国時代から江戸時代初期に活躍した岐阜県出身の古田織部をモチーフに、迫力のある表現で演じました。

岐阜県ならではのダンスの競演を心から楽しむことができ、来場された方々と素敵な時間を共有できました。

【プログラム・出演】

第1部：岐阜県の部 県内9団体
第2部：交流の部 岩手県、福島県、茨城県、埼玉県の4団体
第3部：合同作品 大前光市、ゲストダンサー4名、県内9団体

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、可児市、「清流の国ぎふ」文化祭2024可児市実行委員会、ぎふ洋舞フェスティバル実行委員会

028 合唱の祭典 多治見市

開催日 令和6年10月20日(日)

会場 バロー文化ホール



実施状況

県内の団体を含む9都府県から12団体と公募メンバーが参加し、それぞれの多彩な魅力を発信し、各合唱団との交流を行いました。

第1部では、約130名の子ども達によるステージや全国から公募で集まった合唱団、「清流の国ぎふ総文2024(第48回全国高等学校総合文化祭)」で結成された高校生合唱団による公演を行い、それぞれの魅力を十分に発揮した演奏会となりました。

第2部では、全国トップレベルの合唱団がそれぞれ個性豊かな素晴らしい公演を行い、最後に今回の合唱の祭典のために創作した曲を約300名のメンバーで歌いあげ、圧巻のステージを披露しました。

【出演】

第1部 子ども達によるステージクワイア、鳥取市少年少女合唱団、尾道女声合唱団まどか、倉敷コール・クライネ、合唱団「つれもていこら」、女声合唱栗東カレンデュラ、少年少女合唱団 地球組、清流の国ぎふ総文合同合唱団
第2部 TAJIMI CHOIR JAPAN 多治見少年少女合唱団とシニアコア、合唱団MIWO、合唱団ノース・エコー、松原混声合唱団、合唱団京都エコー、創作曲合同合唱クワイア

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、多治見市、多治見市教育委員会、「清流の国ぎふ」文化祭2024多治見市実行委員会、一般社団法人全日本合唱連盟、岐阜県合唱連盟、岐阜県少年少女合唱連盟、岐阜県女声コーラス連盟

029 オーケストラの祭典

高山市

開催日 令和6年10月27日(日)

会場 飛騨・世界生活文化センター



実施状況

岐阜県を含む29の都府県から総勢222名の方が参加し、特別編成のオーケストラを結成しました。「オーケストラで奏でる清流の響き」をテーマに、全国から集まったオーケストラに親しむアマチュア奏者が各自で練習を重ね、「清流の響き」を奏でることで交流を図りました。

第1部では歓迎演奏として、県内の奏者や公募した高山市民奏者によって結成されたホストオーケストラが、リスト「ハンガリア狂詩曲第2番」、シベリウス「「カレリア」組曲」を披露しました。その後、第2部では特別演奏として、県内を含む全国から集まった奏者によって結成された144名のフェスティバルオーケストラが、マーラー「交響曲第1番二長調」を披露しました。

市内で100名以上の規模のオーケストラが演奏する貴重な機会となり、来場された多くの方々は、壮大で迫力ある演奏に耳を傾け、楽しんでいました。

【プログラム・出演者】

第1部：リスト「ハンガリア狂詩曲第2番」、シベリウス「「カレリア」組曲」
第2部：マーラー「交響曲第1番二長調」
指揮者：井崎正浩
コンサートマスター：平光真弥
出演者：県内115名、県外107名

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、高山市、「清流の国ぎふ」文化祭2024高山市実行委員会、公益社団法人日本アマチュアオーケストラ連盟、岐阜県アマチュアオーケストラ連盟

030 フォークダンスフェスティバル

下呂市

開催日 令和6年11月9日(土)～10日(日)

会場 下呂交流会館



実施状況

9日(土)は岐阜県民踊大会を開催し、日本のフォークダンスとも言うべき「民踊」を主に、大会を盛り上げました。県内を中心に約150名の民踊愛好家が集まり、それぞれの団体が日ごろの練習の成果を発表しました。

また、この日は理学療法士・堀川能興氏によるプレップ(ダンスのステップの一種)ダンスによる認知症予防、寝たきり防止をテーマにした体操講座も行い、多くの受講者が楽しみながら健康体操を踊り自身の健康増進を図りました。その後、郡上踊、白鳥おどりなど参加者が自由に民踊を楽しめる時間を設け、初心者から上級者まで幅広く民踊を楽しんでいただきました。

10日(日)はフォークダンスフェスティバル本体大会を開催しました。遠くは大阪、京都、埼玉など全国各地からフォークダンス愛好家が22団体、約500名が集まり、日ごろの練習の成果を発表しました。ポーランド、ハンガリー、チェコ、スウェーデン、スペイン、カナダ、メキシコ、フィリピン、イングランドなどさまざまな国のフォークダンスが披露され観客を魅了しました。

発表の後は参加者全員がフォークダンスを楽しむ時間を設け、20代から70代まで幅広い世代でフォークダンスを通じた交流を図ることができました。

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、下呂市、「清流の国ぎふ」文化祭2024下呂市実行委員会

031 岐阜県障害のある人もない人も共に生きる 清流の国づくり県民大会(ふれあいハートフルステージ)

岐阜市

開催日 令和6年11月4日(月休)

会場 ぎふ清流文化プラザ



実施状況

第1部では「岐阜県障害のある人もない人も共に生きる清流の国づくり条例」に基づき、長年にわたり、共生社会の実現に向けて県民の模範となる取組みを行っている方や、先進的、画期的な取組みを行っている方の表彰式を行い、個人2名、事業者2社を表彰しました。

第2部では音楽コンサートを開催しました。楽器による曲当てクイズや、出演者と合唱する参加型のコンサートのほか、障がいのある出演者によるトークショーもあり、「障がいと向き合い、乗り越えてこられたお話には深く感銘を受けた」との声をいただきました。和太鼓演奏では、250名の観客がその迫力に魅了されていました。

【プログラム、出演団体】

第1部 表彰式「岐阜県障害のある人もない人も共に生きる清流の国づくり表彰」
【個人】・土屋明之(岐阜県芸術文化会議会長、(公財)岐阜県教育文化財団・岐阜県障がい者芸術文化支援センター相談役)
・春見鉄男((一社)岐阜県手をつなぐ育成会 前理事長)
【事業者】・(株)大垣共立銀行 ・(株)JAぎふはっぴいまるけ
第2部 ふれあいハートフルステージ～ともに楽しむ秋の調べ～
【出演者】・富田安紀子 ・縁音 ・ごちゃまぜアートの会

主催

岐阜県、岐阜県障害者社会参加推進センター

032 ジュニア文化祭プレミアム(第38回ジュニア文化祭)

岐阜市

開催日 令和6年11月9日(土)

会場 ぎふ清流文化プラザ



実施状況

県内の小・中・高校生を中心として各分野で活躍する5団体(158名)と過去2回ジュニア文化祭に出演した箏曲演奏家・鹿野竜靖氏のグループを招いて開催しました。各団体が日ごろの練習の成果を発揮し、見事な演奏・演技により、観客を魅了しました。

鹿野氏の演奏では、本人作曲の岐阜にちなんだ曲を、東京藝術大学の3名(テノール・箏・尺八:内2名は県出身者)と演奏し、その音色の美しさに、観客は心を奪われていました。

また、司会・幕間のインタビューを担当した県立長良高等学校放送・写真部をはじめ、運営補助を務めた県立岐阜総合学園高等学校・県立大垣桜高等学校のみなさんの尽力により、ジュニアが担うジュニア文化祭となりました。

【出演団体】

県立岐阜盲学校高等部 The Star Light Club Band(バンド演奏)
本荘雨乞い踊りを育てる会(岐阜市)(伝統的な踊り)
上石津もんでこ太鼓保存会(大垣市)
「鹿野竜靖・清流を彩る箏の音」～テノール・尺八とともに～(ゲスト演奏)
清流の国ぎふ総文吟詠剣詩舞チーム
(県立岐阜総合学園高等学校・県立大垣桜高等学校)
県立岐阜商業高等学校吹奏楽部(マーチングバンド)

主催

岐阜県青少年文化活動育成推進協議会、公益財団法人岐阜県教育文化財団

033 鼓和ーCOREードラムパフォーマンス LIVE in 本巢 本巢市

開催日 令和6年11月24日(日) 会場 本巢市民文化ホール



実施状況

鼓和(ドラムパフォーマンス団体)と「美濃もとす太鼓」が共演する舞台を開催し、約400名の方に来場いただきました。加えて、鼓和の協力のもと、公演前に本巢市立糸貫中学校吹奏楽部の生徒達とともにワークショップを実施しました。来場者は日ごろ目にすること、手にすることができないさまざまな打楽器に触れ、その魅力を存分に味わっていました。

第1部は、鼓和によるLEDドラムパフォーマンスとして「大地のリズム」を含む全7曲を披露しました。

第2部は、「美濃もとす太鼓」が登場し、「歓喜の歌」を含む全6曲を披露。会場内の来場者を数名舞台へ招き、即興で指揮をしたりドラムを演奏したりする余興も行いました。アンコールも2曲披露し、最後は実行委員長(藤原市長)のドラムの音頭で、来場者のみなさんと一緒に一本締めにて終演しました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、本巢市、「清流の国ぎふ」文化祭2024本巢市実行委員会

034 第9回清流ふれ愛コンサート「視覚障害文化伝承祭」 岐阜市

開催日 令和6年12月8日(日) 会場 ぎふ清流文化プラザ



実施状況

障害者週間にあわせて、障がいの有無に関わらず、みんなが一緒に楽しめる「第9回清流ふれ愛コンサート」を開催しました。

第1部は、瞽女唄うたいの広沢里枝子氏が、伝統芸能として無形文化財に指定されている瞽女唄を披露し、第2部はフォークデュオ片銀村(ペンギン村)による「昭和」に思いを寄せた懐かしの昭和歌謡、第3部は日本視覚障害者団体連合音楽家協議会のみなさんの箏による邦楽を演奏し、来場者は次々と奏でられる多種の音楽に酔いしれました。

【プログラム】

- 第1部 広沢里枝子
演奏曲 1.門付唄／かどづけうた 瞽女松坂 こぜまつざか 2.祭文松坂／さいもんまつざか 山椒大夫
- 第2部 片銀村(ペンギン村)
演奏曲 1.亜麻色の髪の乙女 2.思い出の渚 3.雨の物語
4.さよならをするために 5.白いブランコ
- 第3部 日本視覚障害者団体連合音楽家協議会
演奏曲 1.みだれ みだれ 2.唐砧 からぎぬた 3.北海民謡調 ほっかいみんようちょう

主催 NPO法人音楽座ぎふ、公益財団法人岐阜県教育文化財団

035 垂井町にゆかりある演奏会 垂井町

開催日 令和6年10月27日(日) 会場 垂井町文化会館



実施状況

文化祭を機に垂井町を知ってもらおうと、町内の小・中学生から年配の方まで参加して取り組み、演奏会を開催しました。

歴史と自然の豊かな垂井町を歌で紹介しようと、町内で活動する合唱3団体が町にまつわるオリジナル曲を発表。

町内の小・中学生やプロ・セミプロアーティストがピアノなどを演奏し、町の音楽文化を発信することができました。

また、町在住・在勤者により「My Tarui合唱団」を結成し、混声3部合唱で文化祭テーマソング「君が明日と呼ぶものを」を合唱しました。

【プログラム】

- ・オープニングセレモニー
- 「君が明日と呼ぶものを」～My Tarui合唱団～
- ・第1部 垂井町を歌で紹介しよう!
- 1 垂井音頭 2 半兵衛のうた 3 マンボ・ふるさと
- ・第2部 ひよこ演奏会
- 町内の小・中学生によるピアノ演奏
- ・第3部 Taruiアーティスト演奏会
- 音楽の部門で垂井町が応援する若手アーティストによる演奏

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、垂井町、垂井町教育委員会、「清流の国ぎふ」文化祭2024垂井町実行委員会

036 歌い継ごう、日本の童謡 海津市

開催日 令和6年11月9日(土) 会場 海津市OCT文化センター



実施状況

歌手であり、童謡・歌謡研究家でもある合田道人氏の歌とトークショーを開催しました。

「椰子の実」「七つの子」「こいのぼり」「ちょうちょう」「しゃぼん玉」など、誰もが知る童謡の知られざる謎を、ピアノの伴奏にのせて、時には歌い、時には語りながら次々と披露。意外と間違えて覚えている歌詞の話や童謡の誕生秘話、実は存在した幻の2番など、軽妙なトークと来場者との対話で会場全体が引き込まれ、子どもから年配の方までたくさんの笑い声につつまれました。

また、大垣出身の作曲家・江口夜詩や地元の曲、そして平和の大切さにも触れながら、切々と歌い上げる合田氏の姿に感極まる方もいらっしゃいました。合田氏からは「童謡や唱歌が次世代に受け継がれていってほしい」と、熱い思いが語られました。

最後は来場者と「赤とんぼ」「ふるさと」の大合唱となり、温かい雰囲気包まれ終演を迎えました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、海津市文化協会

037 第16回筑前琵琶演奏会 八百津町

開催日 令和6年10月26日(土) 会場 八百津町中央公民館



実施状況

テーマを「平家物語の名場面をみんなで味わう」とし、「平家物語」の中でも人気の高い2つの名場面「熊谷と敦盛」と「那須与一」に焦点を当て、八百津町在住の筑前琵琶演奏家・田中旭泉氏による筑前琵琶演奏2曲を披露しました。

また、地元の読み聞かせボランティアのみなさんによる「絵本 青葉の笛」の朗読、町内の小・中学生を中心に軽快な太鼓のリズムと共に披露した「那須与一」の群読など、最初から最後まで間断なくさまざまな出演者によるさまざまな「形」で、平家物語の名場面を表現し、来場者を魅了しました。

会場には、町内外から168名の方が訪れ、筑前琵琶の演奏などを楽しみ、古典の世界への親しみを深めました。

【プログラム】

- 第1部 「熊谷と敦盛」 琵琶演奏のほか「青葉の笛」の歌、朗読、フルート演奏を披露
- 第2部 「那須與市」 琵琶演奏のほか「那須与一」の群読を披露

【出演者】

田中旭泉(琵琶演奏家)
読み聞かせボランティア「おはなしランド」のみなさん
演奏会出演に申込んだ八百津町の小・中学生のみなさん
子ども琵琶倶楽部所属 中垣葵、中垣結

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、八百津町、八百津町教育委員会、「清流の国ぎふ」文化祭2024八百津町実行委員会

039 あつまれ!せきのおと 関市

開催日 令和6年11月9日(土) 会場 関市文化会館



実施状況

関市内の10の団体と14名の個人が参加し、団体、個人それぞれの楽器の演奏や、合唱、ダンスなど音楽というテーマでつながった大規模なイベントを開催しました。

第1部は中学校、高校の吹奏楽部員、社会人の吹奏楽経験者など年齢も性別も、キャリアも全く違う100名近くの演奏者がステージ上で各自が事前に練習した曲を演奏しました。初めて共演したとは思えないハーモニーに来場者は大いに盛り上がり、手拍子や振付と一緒に踊るなど、客席を巻き込んだ全員が楽しめるステージになりました。

第2部では合唱とダンスも加わり、文化祭テーマソング「君が明日と呼ぶものを」や、平成24年に開催された「ぎふ清流国体」のテーマソング「はばだけ、未来へ」、「関市民のうた」の3曲を演奏。歌詞をスクリーンに映し出すことにより、ホールすべてがステージになったような雰囲気となり、会場にいる方全員が参加者であると感じられる一体感のあるイベントになりました。

出演者も来場者も大満足で、多くの方から好評を得ることができました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、関市、「清流の国ぎふ」文化祭2024関市実行委員会、さくらウインドオーケストラ

038 SEKI Music Night 2024 関市

開催日 令和6年11月1日(金)～2日(土) 会場 関市文化会館



実施状況

関市アーティストバンク登録アーティストによるロビーコンサートを2夜連続で開催しました。

第1夜はJAZZ Nightとし、ataganとDear Blues、今岡友美氏が出演、第2夜はCLASSIC Nightとし、久米隆司氏、所克頼氏、山内敦子氏、山崎力愛氏による上演を行いました。ライトアップなど夜の雰囲気を大切に会場づくり、開演前、休憩中にはソフトドリンクを提供し、癒しの空間を演出しました。

来場いただいた方々には、ジャズとクラシックの素敵な音色と幻想的なひとときを楽しんでいただきました。

【出演者】★：関市アーティストバンク登録アーティスト

- JAZZ Night
 - 第1部 atagan
 - ★永田こーせー、憲生、オビナタユウサク、杉浦秀明
 - 第2部 Dear Blues & 今岡友美
 - ★名古路一也、中嶋美弥、山下佳孝、今岡友美
- CLASSIC Night
 - 第1部 ★久米隆司
 - 第2部 ★所克頼、共演者 山内敦子、山崎力愛

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、関市、「清流の国ぎふ」文化祭2024関市実行委員会

040 第2回恵奈人による恵那の音楽祭 恵那市

開催日 令和6年10月14日(月祝) 会場 恵那文化センター



実施状況

令和6年は、恵那市の先人・佐藤一斎の「言志録」上梓から200年目に当たります。ベートーヴェンの「交響曲第9番」初演の年でもあり、このような節目の年に恵奈人による恵那の音楽祭として、「第九」全楽章演奏を企画しました。恵那市民を中心とした「恵奈祝祭合唱団」と、この日のために特別に編成されたプロのオーケストラ「恵奈祝祭管弦楽団」による演奏会となりました。

まず、プレコンサート・レクチャーとして、恵那市出身の音楽家である古山和男氏が、第九が作曲された時代背景として、当時の政治体制や権力への反発、自由を求める民衆の心情が描かれていることを説明。貴族文化を象徴する旋律や、騎馬隊のリズムなどに対して、民衆の歌、体制を否定する「語り」が現れ、歓喜をたえる旋律につながる音楽にどう表現されているのかを、要所でオーケストラの演奏を交え、各楽章の解説をしました。

来場者は、解説を熱心に聞いた後、生のオーケストラによる「第九」全楽章演奏の美しい音色に耳を傾けました。第4楽章で独唱と約100名の合唱が加わると、迫力のある音楽が会場いっぱいに響き渡り、出演者に惜しみない拍手が送られました。

【プログラム】
プレコンサート・レクチャー「第九を面白く聴くために」 講師：古山和男
ベートーヴェン作曲「交響曲第9番 二短調」演奏
合唱：恵奈祝祭合唱団 約100名 オーケストラ：恵奈祝祭管弦楽団

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、恵那市、恵那市教育委員会、「清流の国ぎふ」文化祭2024恵那市実行委員会、恵奈人による恵那の音楽祭実行委員会

041 たじみ街あるき音楽祭 多治見市

開催日 令和6年10月27日(日) 会場 多治見駅南駅前広場、虎渓用水広場、プラティ多治見、多治見駅南北連絡線、多治見市役所駅北庁舎、パロー文化ホール、ヤマカまなびパーク



実施状況

JR多治見駅を中心とした7会場で、多治見市内外の音楽家や、子どもから大人まで多世代の市民が演奏に参加し、音楽を楽しんでいただけの1日となりました。

【イベント内容】

集まれ!たじみ吹奏楽、COLLABORATIONマルシェ、Just For the Curious、しまん家 music school students session!!、Dance Studio COCO Performance、Pā Hula Kanikapila Hawaiian Lūau、植村理穂による駅ピアノライブ、子どもピアノコンサート、ア・ピアチェーレ弦楽四重奏団演奏会、ウォン・ウィンツァン(p) & 劉薇 Liu Wei (vn) ジョイントコンサート、なかよしファミリー・グループ対抗!みんなで楽しく歌合戦、子どものための打楽器体験～打楽器にチャレンジしよう～、打楽器パフォーマンス

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、多治見市、多治見市教育委員会、「清流の国ぎふ」文化祭2024多治見市実行委員会

043 下呂市音楽祭 下呂市

開催日 令和6年11月17日(日) 会場 下呂交流会館



実施状況

下呂市内の22の音楽団体、約300名が参加し、さまざまなジャンルの音楽とのコラボをテーマにした音楽祭を開催しました。大正琴と合唱、三味線と太鼓など、普段一緒に活動しない団体がタッグを組んでさまざまな曲を演奏しました。また、下呂市出身のソプラノ歌手・下垣真希氏に特別出演いただき、会場はさらに盛り上がり、フィナーレでは吹奏楽の演奏に乗せて、文化祭テーマソング「君が明日と呼ぶものを」を出演者、来場者全員で合唱し感動の大団円を迎えました。

【プログラム】

- ・下呂特別支援学校湯ヶ峰太鼓：山びこ太鼓、豊年太鼓、他
- ・萩原御前太鼓：祝い太鼓、飛躍、鯉が昇る
- ・合唱：さんぽ、カントリーロード、チム・チム・チェリー、他
- ・Goo連帯：まめかな!、日本国憲法第104条、夢の途中
- ・大正琴(with合唱)：野に咲く花のように、ふるさと、他
- ・三味線(with大正琴、太鼓、フォークダンス)：高山音頭、郡上節、他
- ・下垣真希：ふるさと、七つの子、だれも寝てはならぬ、他
- ・吹奏楽：ケセラセラ、祝典序曲(作品96)、他
- ・フィナーレ：君が明日と呼ぶものを

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、下呂市、「清流の国ぎふ」文化祭2024下呂市実行委員会

042 世代を越えたコンサート～昭和・平成・令和のみんなが知っている歌～ 高山市

開催日 令和6年10月14日(月祝) 会場 飛騨・世界生活文化センター



実施状況

身近に音楽を鑑賞でき、芸術文化に触れる機会の創出を目指し、「昭和・平成・令和」の世代を越えて歌い継がれている選りすぐりの名曲を、地元で活動している高山市民吹奏楽団と、高山市出身でプロ活動をしているメンバーで演奏しました。

本格的な舞台照明と曲のイメージにあわせた映像を流すことにより、耳で聞き、目で感じ、家族揃って楽しめるコンサートとなりました。

文化祭テーマソング「君が明日と呼ぶものを」の歌と演奏のオープニングから始まり、昭和20年代の名曲からアイドル全盛期のポピュラー音楽、平成・令和のヒット曲まで、さまざまなジャンルの楽曲の演奏と解説、一部ヴォーカルも入れて披露し、演奏者と来場者が一体となって盛り上がりました。

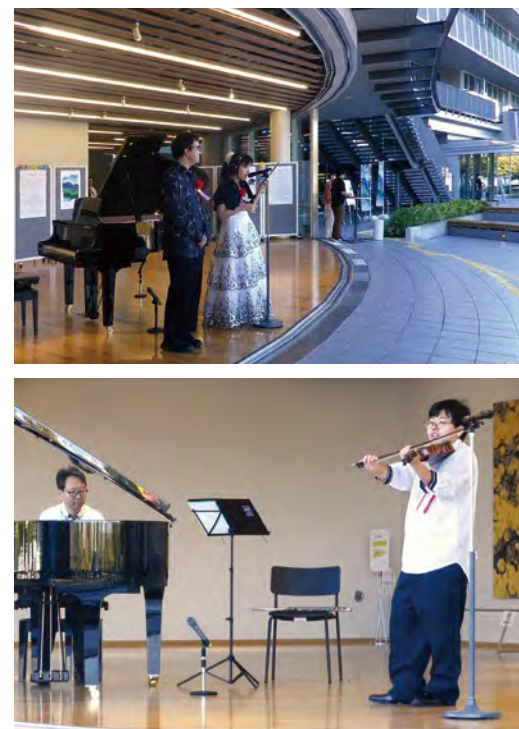
【プログラム】

- オープニング 君が明日と呼ぶものを
第1部 Hit Song Playback 90's コレクション
東京ブギウギ、長崎の鐘 他
第2部 ジャパニーズ・グラフィティーV
青い山脈、花は咲く、アイドル 他

主催 飛騨コンソーシアム

044 インクルーシブな楽器演奏会及びストリート・ピアノ演奏会 岐阜市

開催日 令和6年10月20日(日) 会場 岐阜市役所



実施状況

障がいのある方への理解を深めるイベントとして、市民が自由に弾ける岐阜市役所のピアノを利用した、障がいのある方による演奏会を開催しました。

雨天のため翌日に延期となりましたが、出演者のメッセージや曲目などを紹介しながら演奏し、終了後は、参加者に演奏の感想などを伺いました。

市民交流スペース「ミナト」の窓ガラスを開放し、庁舎北側スペースで観客がベンチに座って鑑賞するスタイルにしたことにより、野外ライブのような開放的な場所での演奏会となりました。

【プログラム】

- ・須賀梨帆、川添光留
ピアノ演奏とバイオリンとのアンサンブル
- ・安福久恵(ピアノ演奏)
Scriabin作曲 練習曲 作品2 作品3 作品42より
- ・Takupapa(岡村伎真、岡村国男)(ピアノ演奏)
①タクパパのきらきら星変奏曲 原曲：モーツァルト 編曲：岡村国男
②3つのジムノペティ 作曲：エリック・サティ
- ・澤佑哉、松尾真理(ピアノ演奏+歌唱)
イタリア歌曲 他

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、岐阜市、「清流の国ぎふ」文化祭2024岐阜市実行委員会

045 第37回岐阜市民芸術祭 洋楽の部 岐阜市

開催日 ①令和6年10月27日(日) ②11月24日(日) 会場 岐阜市文化センター



実施状況

①洋楽部会推薦リサイタルシリーズVol.14
14回目となるリサイタルシリーズでは、これまでの岐阜市新進演奏家コンサート出演者の中から、岐阜市民芸術祭洋楽部会が推薦した3名が演奏を披露し、美しい音色を会場内に響かせました。

【出演者】
永山萌(ピアノ)、陣野貴斗(サクソフォン)、小窪晶子(ピアノ)

②第23回公開オーディションによる岐阜市新進演奏家コンサート
9月8日(日)に開催した公開オーディションにて、エントリーのあった17組の中から選ばれた8名が出演し、さまざまな楽器などによる演奏を披露しました。

【出演者】
中村有里(マリンバ)、棚橋亜子(声楽)、高田桃子(フルート)、
端山花純(ピアノ)、長尾桃子(フルート)、佐藤奈那江(声楽)、
熊澤拓志(ピアノ)、小坂千尋(声楽)

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、岐阜市、
「清流の国ぎふ」文化祭2024岐阜市実行委員会、岐阜市民芸術祭実行委員会、
公益財団法人岐阜市教育文化振興事業団

046 さんぽde野外ライブ 岐阜市

開催日 令和6年11月3日(日祝) 会場 みんなの森 ぎふメディアコスモス、柳ヶ瀬グラッスル35、
OKB岐阜中央プラザ、円徳寺、岐阜市文化センター



実施状況

中心市街地に複数のライブ会場を設け、市民に演奏発表の場と回遊しながら気軽に音楽と触れ合う機会を提供することで、文化によるにぎわいを創出することを目的に開催しました。

10時から16時までは5会場で、岐阜県を中心に活動する一般公募アーティスト40組(193名)が、各会場8組、1組45分の演奏をしました。

みんなの森ぎふメディアコスモスではマリンバ・オカリナ・リコーダーなど個性豊かなライブ、柳ヶ瀬グラッスル35では弾き語りを中心とした演奏、OKB岐阜中央プラザではフォーク・クラシック・即興・カバー曲まで幅広いジャンルの音楽、円徳寺では、サクソ・ウクレレ・バンドなどの演奏、岐阜市文化センターではドラムを使った迫力ある演奏を楽しんでいただきました。

また、16時から17時には岐阜市文化センターにて、岐阜市を代表する市民ジャズ・ビッグバンド「楽市JAZZ楽団」が、プロサクソ奏者・粥川なつ紀氏と三輪一登氏と共に演奏しました。文化祭テーマソング「君が明日と呼ぶものを」のアレンジも初披露しました。

【出演団体】
・一般公募アーティスト 40組
・楽市JAZZ楽団

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、岐阜市、
「清流の国ぎふ」文化祭2024岐阜市実行委員会、さんぽde野外ライブ実行委員会

047 野々田万照&楽市JAZZ楽団meets大前光市 岐阜市

開催日 令和6年11月16日(土) 会場 岐阜市民会館



実施状況

岐阜市文化会館を活動拠点とする市民ジャズ・ビッグバンド「楽市JAZZ楽団」は、岐阜市出身・在住のプロサクソ奏者・野々田万照音楽総監督らとともに、定期公演のほかにも地域や学校などに出向き演奏活動を行っています。

今回は、義足のダンサーであり文化祭応援大使の大前光市氏をゲストに招き、楽団オリジナル曲「夢幻～信長と濃姫～」をジャズとダンスのコラボレーションで披露しました。

そのほかにも歌手を目指す地元の小学生をボーカルとして迎えて、文化祭テーマソング「君が明日と呼ぶものを」をビッグバンドアレンジで披露するなど、ブローマ、世代を越えた交流を図る充実した公演となり、来場者からも非常に高い評価をいただきました。

【プログラム】
1部 野々田万照&スペシャルコンボ
～スタンダードジャズの名曲～
2部 野々田万照&楽市JAZZ楽団こーもらんつ16with大前光市
～信長と濃姫をテーマにした楽団オリジナル曲とダンスのコラボレーション、文化祭テーマソングのビッグバンドアレンジなど～

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、岐阜市、
「清流の国ぎふ」文化祭2024岐阜市実行委員会、
一般財団法人岐阜市公共ホール管理財団

048 垂井町音楽祭 垂井町

開催日 令和6年11月2日(土)～3日(日祝) 会場 垂井町文化会館



実施状況

垂井町内で音楽活動する小学生から年配の方まで幅広い年齢層の23団体361名が参加し、器楽・吹奏楽・邦楽・合唱の4部による音楽祭を開催し、参加者、来場者は音楽の魅力に引き込まれました。

ファイナルセレモニーとして、文化祭テーマソング「君が明日と呼ぶものを」を町オリジナルの混声3部合唱譜とギター演奏用の楽譜を作譜し、この機会に結成したMy tarui合唱団とギター奏団が演奏しました。また、全員合唱「岐阜県民の歌」を来場者と一緒に歌い上げました。

合唱団、ギター奏団も初めての経験で、大変充実した音楽祭となりました。

【プログラム】
・第1部
合唱3団体、器楽3団体、邦楽4団体、吹奏楽3団体
・第2部
邦楽4団体、合唱3団体、器楽2団体、吹奏楽1団体
・ファイナルセレモニー
「君が明日と呼ぶものを」～My Tarui合唱団・ギター奏団～
全員合唱「岐阜県民の歌」

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、垂井町、
垂井町教育委員会、「清流の国ぎふ」文化祭2024垂井町実行委員会

049 「清流の国ぎふ」文化祭2024 第72回中津川市民音楽祭 中津川市

開催日 令和6年11月17日（日）

会場 中津川文化会館



実施状況

中津川市音楽連盟所属の17団体のほか、障がい者福祉施設の合唱団や中学・高校の吹奏楽部など非加盟団体7団体の計24団体が参加し、日ごろ練習を重ねてきた楽曲を披露しました。

音楽祭の最後には、中津川市民吹奏楽団の演奏により、会場の来場者と出演者全員で、文化祭テーマソング「君が明日と呼ぶものを」を合唱し幕を閉じました。

【出演者】

飛翔の里生活の家ふるさと合唱団、コーラスリラ、中津川少年少女合唱団、コーラス虹、コーラス白雪草、コーラスたんぽぽ、コーラスやまなみ、コールエスカルゴ、コーラスサイネリア、ボーカルアンサンブル宙、中津川合唱団満天星、KOTOことクラブ、中津川リコーダーアンサンブル、メイドインジャパン、琴音、mezzo fresco、FJO、楽団是より木曽路、中津川吹奏楽クラブ、県立中津高等学校吹奏楽部、県立中津商業高等学校吹奏楽部、県立中津川工業高等学校吹奏楽部、旭ヶ丘吹奏楽団、中津川市民吹奏楽団

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、中津川市音楽連盟

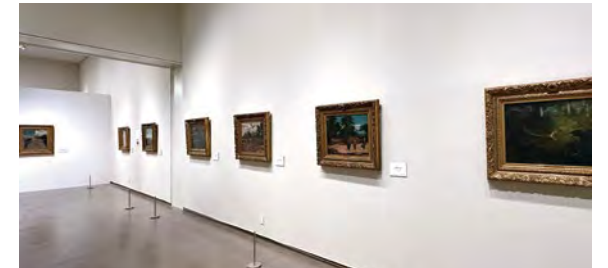
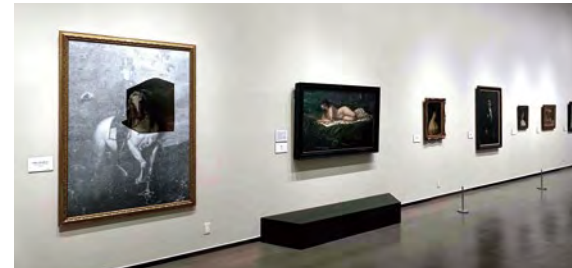


050 皇居三の丸尚蔵館特別協力 PARALLEL MODE：山本芳翠
PARALLEL MODE：オディロン・ルドン

岐阜市

開催日 令和6年9月27日（金）～12月8日（日） 会場 岐阜県美術館

皇居三の丸尚蔵館特別協力 PARALLEL MODE：山本芳翠ー多彩なるヴィジュアル・イメージー



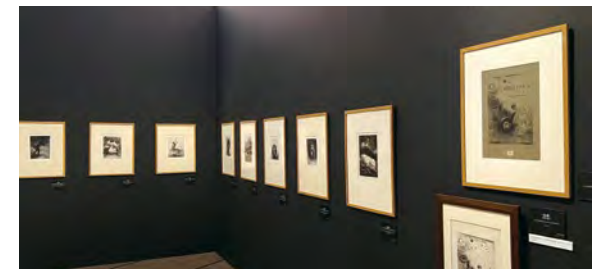
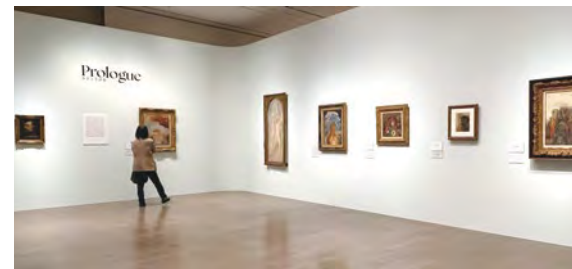
実施状況

19世紀後半から20世紀初頭にかけてフランスと日本を舞台に活躍した岐阜出身の洋画家山本芳翠を紹介する展覧会を開催しました。
山本芳翠（1850-1906）は、美濃国恵那郡野志村（現・岐阜県恵那市明智町）生まれの近代洋画家です。京都で南画を学んだ後、横浜で五姓田派に入門しました。その後1878年パリ万国博覧会事務局雇として渡仏し、以降約10年間フランスで画家として活動しながら、ジャン＝レオン・ジェロームに師事し本格的な油彩画技法を身につけました。帰国後は生巧館画学校における後進育成や、明治美術会や白馬会の創設に関わる一方で、伊藤博文らと沖縄（琉球）や日清・日露戦争に巡視・従軍画家として関与します。さらに新聞挿絵や日本で初めてのオペラ舞台装飾に携わるなど、西洋

の油彩画技術を社会のさまざまな場面で利用し、多彩な活動を行いました。
約30年ぶりの回顧展となった本展覧会では、国民文化祭を契機とする皇居三の丸尚蔵館の地方展開の一つとして同館の全面協力を得たほか、国立博物館収蔵品貸与促進事業を利用し東京国立博物館及び文化財活用センターの特別協力や、地元恵那市の後援、山本芳翠顕彰会の協力など、国内外各所蔵者の協力により220点超の作品を展示しました。会場には約140年ぶりに公開された作品など、初期から晩年までの代表作が一堂に会するまたとない機会となりました。会期中に開催した記念講演会や鑑賞会とともに県内外から多くの来館者が集いました。

主催 岐阜県美術館、文化庁、岐阜新聞社、岐阜放送、中日新聞社

PARALLEL MODE：オディロン・ルドンー光の夢、影の輝きー



実施状況

19世紀末から20世紀初頭を代表する画家オディロン・ルドンを紹介する大回顧展を、山本芳翠展と同時開催しました。
オディロン・ルドン（1840-1916）は、フランス南西部の港湾都市ボルドーに生まれ、ジャン＝レオン・ジェロームらに学んだ後、画家として歩み始めました。近代諸科学の発展による技術革新がもたらした社会構造の変化や、自らに起きた出会いや別れといった感傷を、まるで癒すかのように創造の源とし、繰り返されるイメージの中から独自の表現世界を築き上げていきました。木炭、版画、パステル、油彩と画材を持ち替えながら生み出されたその芸術は、夢幻の可能性を秘め、時代や地域を超えて人々を惹きつけていきます。日本においても、ルドンが生きていた時代から今もな

お、美術や文学、音楽、漫画に至るまで、幅広い分野に影響を与え続けています。本展覧会では、ルドンの作品を読み解きながら、作品にみられる始原の光と独立した影が創り出す色彩が変容していく世界へといざないました。光が色となりその輝きを変化させながら描き出された作品から、ルドンが何を見て、何を大切にしていたのか、ルドンと出会う場となりました。
展覧会は330点超の作品によって構成され、国内過去最大規模の大回顧展として実現しました。また、岐阜県美術館が1982年の開館以来収集してきたルドンコレクションの全貌を公開する初めての機会として、国内外から注目を集めました。

主催 岐阜県美術館、岐阜新聞社、岐阜放送、中日新聞社

051 いろいろなみんなの展覧会～大地に、つどう。～ 岐阜市

開催日 令和6年10月11日(金)～15日(火)

会場 ぎふ清流文化プラザ



実施状況

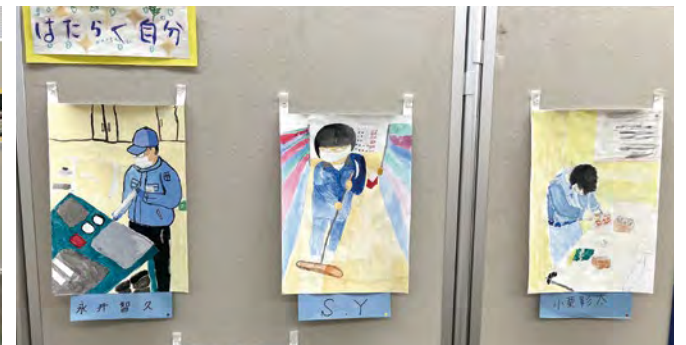
障がいのある方の作品展や庭園企画を中心に、誰もが参加し、楽しむことのできるアートフェスティバルを開催しました。
岐阜県ゆかりの障がいのある作家26名の作品約200点を展示した企画展「つどう あらわれ」では、作品展示のほか、作家や作品への理解を深める取り組みも行いました。また、最終日には天皇后陛下が会場を御覧になり、5名の作家にお声がけされました。
作品制作風景の上映や作家による実演、作品づくりの追体験コーナーでは、来場者が切り紙作家の手さばきに驚く姿や、作家と交流して手づくりの釣り堀を楽しむ様子が見られました。また、作品をさまざまな角度から楽しむため、少人数のグループで作品鑑賞会を行い、対話や身振りにより感想を伝え合いました。視覚障がい者や大学生などが参加し、「作品の見方が変わった」、「身体を使うことで違った感じ方ができた」などの感想をいただきました。

庭園企画では、人と人、人と自然の関係性を感じられる空間づくりをコンセプトに、支え合ったり、ゆるく繋がったりする関係性を三叉(3本の自然木を三角錐状に組み合わせたオブジェ)で表現しました。全国から集結した庭師やtomoniアートサポーター、福祉施設、大学生などの協力により、庭園内に多数の三叉を設置しました。来場者は三叉のトンネルをくぐったり、ブランコやハンモックに揺られたりする体験や、滝の音や木のおいを感じる体験を楽しみました。
また、さまざまな人が自分らしく参加し輝けるファッションショーを開催し、車いすユーザーを含む9名のモデルが、自ら制作した衣装などを着用し、生演奏に合わせてランウェイを歩き、大勢の観客から喝采を浴びました。このほか、はがきサイズの作品展や、マルシェなどに多くの方がつどいました。

052～054 キラキラハッピー作品展(東濃特別支援学校作品展) 土岐市、瑞浪市、多治見市

開催日 令和6年10月17日(木)～23日(水)

会場 土岐市役所



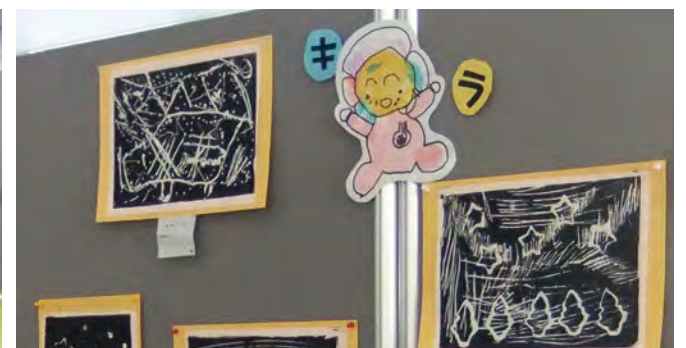
開催日 令和6年11月1日(金)～8日(金)

会場 瑞浪市総合文化センター 他



開催日 令和6年11月13日(水)～19日(火)

会場 多治見市役所駅北庁舎



実施状況

県立東濃特別支援学校に通う土岐市、瑞浪市、多治見市在住の児童生徒による作品を、3市で巡回展示しました。事業名の「キラキラハッピー」は、「みんながキラキラ笑顔でハッピーでいられますように…」というメッセージが込められた同校オリジナルキャラクター「キラッピー」に由来しています。
小学部2年生は、手のひらで桜をデザインした手提げバッグ、小学部6年生は、自分がイメージした鬼の版画、中学部1年生は、自身

が所属している委員会のポスター、中学部3年生は、スチレン版画の作品、高学部1年生は、陶器のお面、高学部2年生は、粘土で作った猫のランプシェードと働く自分をイメージした水彩画ポスターを全部で30点展示しました。
どれも個々の豊かな感性を十分に発揮した素晴らしい作品となり、各会場とも多くの方に来場いただき、来場者は作品に見入っていました。

055 056 恵那特別支援学校作品展 ～恵那・中津川の自然～ 中津川市、恵那市

開催日 令和6年10月22日(火)～29日(火) 会場 中津川市ひと・まちテラス



開催日 令和6年11月1日(金)～10日(日) 会場 恵那文化センター



実施状況

県立恵那特別支援学校の児童生徒が製作した作品の展示会や製品の販売作業体験会を、中津川市と恵那市にて開催しました。

作品の展示会では、恵那・中津川の自然「四季」をテーマに、児童生徒123名が製作した彩り豊かな絵画や貼り絵、フラワーアート、紙粘土で製作した作品など、さまざまな魅力あふれる作品を数多く展示しました。

ロックビレッジバザール(製品販売会)では、この日のために生徒達が製作した陶器、木工製品やたおり製品など、魅力ある製品が数多く並び、販売会場には入りきれないほどの来場者が訪れ大盛況でした。

生徒達は、「いらっしゃいませ」と元気な声でお客さんと呼び込んだり、自分達が作った製品の魅力をお客さんに伝えたりして、活気のある販売会となりました。

作業体験会は、ストラップづくりや木工加工作業のほか、はたおり体験やビルクリーニング、コースターづくりなど、授業の中で行っている作業を生徒達が丁寧に説明しながら参加者に体験していただきました。

訪れた方に楽しんでもらおうと、一生懸命笑顔で対応している生徒達の姿がとても印象的でした。このイベントを通して、訪れた多くの方に、障がいのある方の素晴らしさや優れた特性を知っていただくことができました。また、多くの方に作品を鑑賞していただいただけでなく、販売会や体験会を通じた来場者との交流は、生徒達にとっても学びの成果の発信の場として良い機会となりました。

057 清流の国 文化探訪「南飛騨 Art Discovery」 下呂市

開催日 令和6年10月19日(土)～11月24日(日) 会場 南飛騨健康増進センター 一帯



弓指寛治 民話、バイザウェイ Photo by Osamu Nakamura



西澤利高 すべての魂があって すべての魂はひとつだった Photo by Osamu Nakamura



楽市楽座 ぎふ提灯絵付け体験(和傘CASA) Photo by Osamu Nakamura

実施状況

21組のアーティストによる作品の展示、パフォーマンスイベントを行ったほか、「岐阜の匠」、「健康」、「福祉」、「食」をテーマとした体験型・交流型マルシェ「楽市楽座」を開催しました。

作品展示では、岐阜県出身のアーティストを含む17組のアーティストが、豊かな自然を舞台に、地域に伝わる体験記や民話を題材とした作品や、地元の素材を活用した作品などを会場一帯に展示しました。

パフォーマンスイベントでは、ボイスパーフォーマー・巻上公一氏と、創作和太鼓集団「鬼太鼓座」などによるコンサートや、ダンサー・田中泯氏による公演などを行い、この場所ならではの特別なパフォーマンスを披露しました。

マルシェでは、県内各地から集まった出店者による、地元食材を使った料理や、伝統技法を駆使した物品の販売などのほか、和傘の絵付けワークショップなど体験型のマルシェも行いました。

イベントの運営にあたっては、地域住民や全国各地からボランティアサポーターが集まり、作品制作や運営の補助を行いました。ボランティアサポーターからは、「アーティストや来場者との交流を通じて、南飛騨という地域の魅力を実感できた」という声をいただきました。

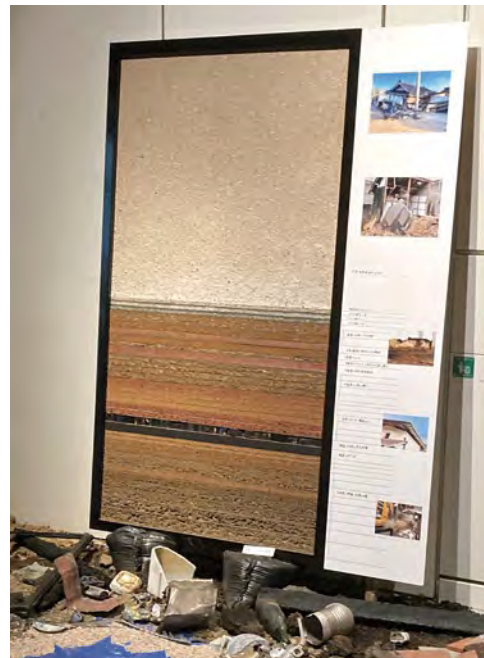
期間中、11,000人を超える方に来場いただき、アートを通じて南飛騨の魅力を広く発信するとともに、地域の活性化につながる取組みとなりました。

058 挾土秀平 展覧会&トークショー

岐阜市

開催日 【展覧会】令和6年11月2日(土)～17日(日)
【トークショー】令和6年11月4日(月休)

会場 岐阜県図書館



「能登 人と自然の積層」
※能登半島地震の復興を祈念し、被災地の土壁等を使用した作品



実施状況

日本の伝統的な左官技能を現代アートに昇華し、新たな世界を切り拓いている高山市出身の左官・挾土秀平氏の作品展覧会と岐阜県図書館名誉館長であり文化祭応援大使の紺野美沙子氏とのトークショーを開催しました。

4日(月休)に開催したトークショーは2部構成で、第1部は「伝統の仕事 土壁の魅力」と題し、挾土氏の修行時代からの歩みや、印象深かった仕事のエピソードなどが紹介されました。NHK大河ドラマ「真田丸」の題字など有名な作品の制作過程や思い出を語っていただき、会場は大いに盛り上がりました。

第2部は「挾土秀平展」の見どころの解説があり、来場者は興味深く聞き入っていました。

展覧会では、令和6年に発生した能登半島地震からの復興を願う「能登 人と自然の積層」を新作として展示しました。作品には、能登の砂や土、被災のため取り壊された民家の壁やガラス、瓦などが使用されました。

このほかにも、「桶狭間の戦い」や「本能寺の変」を題材にした土壁作品などを展示しました。多彩な土と鉱物で美しい模様を付けた泥だんご作品も展示し、子どもから大人まで、多くの方に作品を鑑賞いただきました。

来場者からは、「作品を間近で見ることができて、遠くから訪問した意味があった」「このような作品を初めて知り感動した」など、展覧会を喜ぶ多くの声をいただきました。

主催 岐阜県

059 エイブル・アート展

可児市

開催日 令和6年10月30日(水)～11月6日(水)

会場 可児市文化創造センターala



実施状況

人々の創造的な関係性を創出し、多様な価値観を包摂した文化づくり・社会づくりのため、奈良市の「たんぼの家」所属のアーティスト、荒井陸氏、平井和樹氏、前田考美氏、山野将志氏の4名の作品を129点展示しました。アーティストが表現を生み出すプロセスや舞台裏を、映像資料や道具を通じて紹介しました。

関連企画として、作家・前田考美氏の公開制作や、岐阜県障がい者芸術文化支援センター(TASCぎふ)による参加型ワークショップ「オープン・アトリエ」も開催。また、地域作家の作品展示や障がい者施設のクッキー販売など、多くの展示をさらに理解できるプログラムも開催しました。

期間中は、可児市内外から多くの方に来場いただき、アートの魅力を多角的に伝えるだけでなく、障がい者支援や地域文化の発展にも寄与する取組みとなりました。

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、可児市、「清流の国ぎふ」文化祭2024可児市実行委員会、公益財団法人可児市文化芸術振興財団、障がい者芸術可児市実行委員会

060 可児市つながるふくしアート展

可児市

開催日 令和6年10月30日(水)～11月6日(水)

会場 可児市文化創造センターala



実施状況

可児市内の障がい者の方々が制作した作品を展示しました。日ごろの成果や実力を披露できる場となるように、年齢や作品のテーマ、大きさの規格などは設けず、より多くの方に参加していただけるように作品募集を行いました。

また、可児市身体障害者福祉協会、市内障がい者施設、各小中学校などとも連携し、作品を募りました。絵画、陶芸、手芸、書など、さまざまな種類の57作品が集まり、個性あふれる楽しい空間となりました。

出品者の方からは「普段は大勢の人に見てもらえることがないので展示できて嬉しい」、障がい者施設の方からは「広い場所で作品を展示することで、芸術に携わる楽しさ、作品を通じて誰かに認めてもらう喜びを知ってもらうきっかけになった」との声をいただきました。

市民の集いの場である会場に展示することで、作品を通して障がいのある方もない方も含めた相互交流ができ、障がい者に対する理解と認識を深める機会となりました。

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、可児市、「清流の国ぎふ」文化祭2024可児市実行委員会、障がい者芸術可児市実行委員会

061 可児市つながるふくしマルシェ 可児市

開催日 令和6年11月2日(土)～4日(月休) 会場 可児市文化創造センターala



実施状況

可児市内の障がい者施設などで作られた授産品を販売するマルシェを開催しました。

市内の障がい者施設・就労施設などから応募のあった3事業所が参加し、クッキーやかりんとうなどの商品の袋やポップに障がい者の方が描いた絵を使用するなど、それぞれの事業所の魅力あふれる授産品を販売しました。

「㊦エイブル・アート展」「㊦可児市つながるふくしアート展」の近くで開催したことで、老若男女問わず多世代の方に立ち寄っていただき、障がい者に対する理解と認識を深める機会となりました。

また、障がい者施設の方からは「せっかく商品を作っても販路が限られているため、授産品のPRの良い機会になった」との声をいただくなど、障がい者の社会参加の促進を図ることができたとともに、広く事業所のことを知ってもらえきっかけづくりとなりました。

【参加団体】
(特非) Twinkle「マイカ」
(福) 可児市社会福祉協議会「ふれあいの里可児」
(福) 大和社会福祉事業センター「ハートピア可児の杜」

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、可児市、「清流の国ぎふ」文化祭2024可児市実行委員会、障がい者芸術可児市実行委員会

062 ふれあいアートフェスタ 高山市、岐阜市、大垣市、可児市 他

開催日 令和6年10月14日(月祝)～11月24日(日) 会場 高山市民文化会館、アクティブ G、ソフトピアジャパン センタービル、可児市文化創造センターala 他



実施状況

障がいのあるアーティストの作品を広く紹介することを通じて、多くの方に障がい者の多様性と共生社会に対する理解を深めていただくとともに、障がいのあるアーティストの自立支援と生きがいづくりに役立てることを目的とした作品展を開催しました。

展示作品は、平成9年から収集してきた障がいのあるアーティストの作品の原本または複製画で、県内各地の公共施設などにそれぞれの地域の作家の作品を中心に、のべ427点の作品を展示しました。そのほか、県内4社のローカル鉄道(養老鉄道、長良川鉄道、樽見鉄道、明知鉄道)では、文化祭期間を通して各車両や一部の駅舎で作品を展示しました。

また、デジタルデータ化した830点の作品を、県や市町村の公共施設のデジタルサイネージで放映しました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、一般財団法人岐阜県身体障害者福祉協会

063 第12回書道パフォーマンス大会「天下布書」 岐阜市

開催日 令和6年10月27日(日) 会場 旧岐阜高島屋前わくわく広場



実施状況

岐阜県書作家協会会員が指導する児童生徒39名、県内の高校書道部17校の参加があり、それぞれ日ごろの練習の成果を存分に発揮し、書の楽しさ、書の魅力を広く発信することができました。

第1部の小中学生大字揮毫では、園児から中学3年生までの子ども達が、1m×1.2m又は2m×1.2mの紙に、大きな筆で思い思いの文字を書きました。ステージ上で作品を披露する子ども達の明るい笑顔や誇らしげな表情に、観覧者から温かい拍手が送られました。

第2部の高校生書道パフォーマンスでは、3.3m×4mの大きな紙に、高校生が音楽に合わせて、書と色彩やダンスを披露しました。どの高校も工夫を凝らした作品ばかりで素晴らしく、その迫力や美しさに、会場は称賛の声と盛大な拍手に沸きました。最後に岐阜女子大学書道部が模範揮毫を行い、高い技術と表現を披露し、大会を締めくくりました。

今後の書道文化・書芸術を担う若者にとって、貴重な体験の場となりました。

【出演団体】
岐阜県書作家協会会員の指導する児童生徒 39名、県内の高校書道部(大垣養老・海津明誠・各務原西・可児・加納・岐南工業・岐阜・岐阜北・岐阜女子・岐阜総合学園・岐阜東・済美・関商工・羽島・羽島北・飛騨高山・武義)、岐阜女子大学書道部

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、岐阜県書作家協会

064 清流の国ぎふ芸術祭 特別企画「芸術文化シンポジウム～アートを楽しむ～」 岐阜市

開催日 令和6年11月4日(月休) 会場 岐阜県庁



実施状況

日本画家・千住博氏をお迎えし、「アートを楽しむ」と題した芸術文化シンポジウムを開催しました。

基調講演では、「世界は色彩に満ちている」と題し、千住氏に旧石器時代の洞窟壁画から現代アートまでの世界芸術の変遷について、分かりやすく語っていただきました。

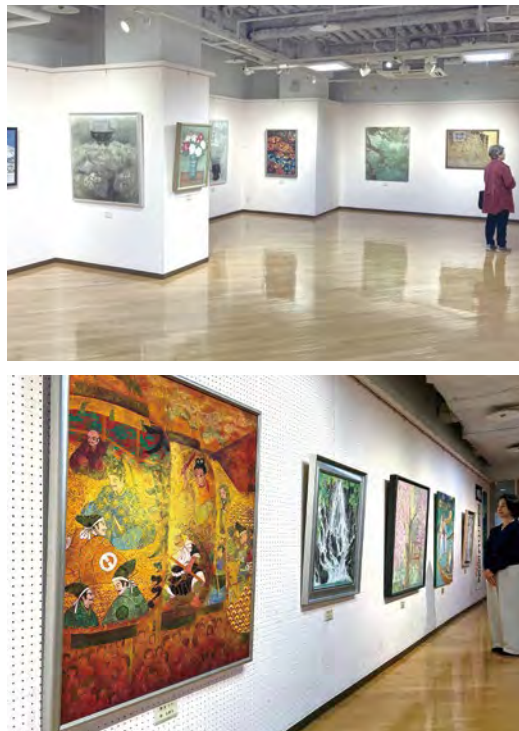
その後のパネルディスカッションでは、これまで「清流の国ぎふ芸術祭」に関わっていただいた、全国的に著名な方々に登壇いただき、ご自身の最近の作品について紹介いただいたほか、県内各地の文化を清流が繋いでいることなど、岐阜県の芸術文化の可能性について、楽しく語り合っていました。

【登壇者】
基調講演
千住博(日本画家、日本芸術院会員)
パネルディスカッション
千住博(日本画家、日本芸術院会員)
宮田亮平(金工作家、日本芸術院会員、文化庁前長官)
四方幸子(キュレーター、批評家、美術評論家連盟会長)
神戸峰男(彫刻家、日本芸術院会員)

主催 岐阜県

065 第38回岐阜日本画展 岐阜市

開催日 令和6年11月14日(木)～20日(水) 会場 シネックスホール



実施状況

日展、院展、創画会に所属する60余名の日本画家が、昭和61年に会派を超えて岐阜日本画協会を結成。日本画の研鑽と発展を主眼として活動しており、会員相互の発表の場として、岐阜日本画展を毎年開催しています。

今回は文化祭の一事業として「岐阜」をテーマとして、20号～80号のサイズを1点、サムホール1点と一人2点の作品を出品しました。

鶴飼、岐阜公園、金華山、梅林公園、飛騨の雪山など、大作・力作が多数揃い、来場された方々からは、「良い絵に出会えた」「心安らぎ無心になった」「岐阜の自然の素晴らしさに感動した」など、出展した会員にとって、大変励みになる喜び・称賛の言葉を多数いただきました。

7日間の開催で、550名に来場いただき、大変な盛況で終わることができました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、岐阜日本画協会

066 てくてくアートぎふ 岐阜市

開催日 令和6年11月16日(土)～24日(日) 会場 アートギャラリー水の音、アートギャラリー水無月、ギャラリー小さい家、後藤画廊、長江洞画廊、田口美術、柳ヶ瀬画廊



実施状況

岐阜市内にある7つの画廊で同時に展覧会を開催し、展覧会から展覧会への回遊を楽しんでいただきました。

また、展覧会をより楽しんでいただくための鑑賞支援として、公式パンフレットの制作・配布、作家・画廊スタッフによるギャラリートークの開催、公式サイトとSNSでの見どころトークの配信を行いました。

【プログラム】

- ・アートギャラリー水の音「新しきが花」展(展示作家：坂井良美、早川文彩、帆刈晴日)
- ・アートギャラリー水無月「志賀龍太 個展 日は好日「ケーキが焼けるまで」
- ・ギャラリー小さい家「田代裕基 個展「氣」」
- ・後藤画廊「長谷川喜久 林真 福本百恵 三人展」
- ・長江洞画廊「杉山佳 個展 ー集めて並べるー」
- ・田口美術「寺倉京古 個展」
- ・柳ヶ瀬画廊「文化の日 熊谷守一展」

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、タウンミュージアムぎふ

067 第45回記念岐阜県書作家協会会員展・街なか書道体験・筆文字で書く「わたしのゆめ」 岐阜市

開催日 令和6年11月22日(金)～24日(日) 会場 みんなの森 ぎふメディアコスモス



実施状況

【第45回記念岐阜県書作家協会会員展】

231名の方から出品があり、自由な構想による半切(34.5×136cm)サイズ以下の作品を展示しました。会派を越えて日ごろの創作の成果を発表する場として昭和55年から毎年開催しており、今回は無限に広がる書の広がりを伝える多彩な作品がそろう、書道関係者以外にも会場に足を運んでいただき約900名の方に来場いただきました。

【街なか書道体験】

「みんなの森 ぎふメディアコスモス」への来場者を対象に、令和7年度のカレンダーの印刷用紙に自分の好きな文字を書き、書いた作品を持ち帰っていただきました。小さな子どもから年配の方々まで、800名を超える方に参加いただきました。

【筆文字で書く「わたしのゆめ」】

3名の先生方による席上揮毫を行いました。間近で見ている子ども達の目は、真剣そのもので、揮毫者の書き進める筆の動きを一生懸命追っていました。また、63名の小・中学生が、34.5×45.3cmの紙に将来やりたいことや夢を書きました。一心に書く姿が見られ、タブレットに打ち込む文字では表し尽くせない筆文字独自の表現が生まれました。さらに、マーブリング(比重の軽い絵の具を水面にたらし、水面にできた模様を写しとる技法)の体験も行い、作品を持ち帰っていただきました。約200名の来場者が真剣な子ども達の姿を見守っていました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、岐阜県書作家協会

068 神戸町日比野五鳳記念美術館秋季展 神戸町

開催日 令和6年11月2日(土)～12月2日(月) 会場 神戸町日比野五鳳記念美術館、神戸町中央公民館



実施状況

神戸町出身で、親子二代で日本芸術院会員に選ばれた日比野五鳳氏と日比野光鳳氏の作品を展示しました。第1展示室に五鳳氏の作品、第2展示室に光鳳氏の作品を展示し、県外からお越しの方や、書に携わっている方など多くの方に来館いただきました。

また、11月10日(日)には、神戸町日比野五鳳記念美術館開館40周年記念事業も開催し、同館名誉館長・日比野博鳳氏の講演を2回行いました。「かな書の系譜 五鳳と光鳳」と題し、五鳳氏、光鳳氏にまつわる貴重なお話などをしていただきました。参加いただいた全国各地の水穂会の社中約150名が、博鳳氏の講演を熱心に聞く姿が見られました。また、講演会終了後には、本展示をみなさんに鑑賞していただきました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、神戸町、神戸町教育委員会、「清流の国ぎふ」文化祭2024神戸町実行委員会

069 ポスターで歩む歴史と未来 清冽水ポスター展 ～U40ポスターコンクール／国際招待ポスター展～ 大垣市

開催日 ①令和6年11月9日(土)～18日(月)
②令和6年11月10日(日) 会場 ①大垣市多目的交流イベントハウス
②大垣市奥の細道むすびの地記念館



実施状況

全国の満40歳未満の若者を対象に、岐阜県と大垣市に深い縁のある「水」をテーマとしたポスターコンクールを開催しました。
デジタルデータによる一次審査にて、入選作品61点を選出し、その後紙に印刷した作品での最終審査により、上位入賞作品(8点)を選出しました。上位入賞者8名へは、表彰式で賞状の授与を行い、入選作品61点は、大垣市内の展覧会場で一般の方に披露しました。表彰式後はデザインディスカッションを行い、一般公開にて審査員と受賞者の意見交換などを行いました。
国際招待ポスター展では、世界で活躍するデザイナーから応募された20ヵ国69点を会場に展示しました。会場へは、遠く関東方面から来館もあり、多くの方にご覧いただきました。
また、「人に伝わるデザインのアイデアを考えよう」のテーマで、高校生、大学生、一般の方を対象にワークショップを行いました。

【プログラム】
①U40ポスターコンクール／国際ポスター招待展
②ワークショップ／デザインディスカッション

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、認定特定非営利活動法人日本国際ポスター美術館

070 絵手紙体験 可児市

開催日 令和6年10月19日(土)～20日(日) 会場 可児市文化創造センターala



実施状況

合言葉は、「ヘタでいい、ヘタがいい」、「描けば自分が楽しく、送れば相手を元気に」。老若男女問わず来場される方々に、絵手紙体験や展示を通じて、絵手紙文化のすばらしさに触れていただくイベントを開催しました。
2日間で来場者約450名、体験者140名と多くの方が来場し、会場では、日常生活のつづやきを綴る方や季節の訪れを表現する方、これからやりたいこと、食べたいものを描く方など、来場された方々が思い思いの絵手紙を描き、笑顔あふれる和やかな雰囲気に包まれました。
全国各地で体験教室やオンライン講座などさまざまな形で絵手紙文化を発信して活躍している絵手紙団体により、文化祭を通じて、気軽にいつからでも始められる「絵手紙」の第一歩としての機会を来場者に提供することができました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、可児市、「清流の国ぎふ」文化祭2024可児市実行委員会、絵手紙体験可児市実行委員会

071 特別展「生誕130年荒川豊蔵展」 多治見市

開催日 令和6年9月14日(土)～11月17日(日) 会場 岐阜県現代陶芸美術館



実施状況

美濃のやきもの、「志野」と「瀬戸黒」の二つの重要無形文化財の保持者(いわゆる人間国宝)であった岐阜県出身の荒川豊蔵(1894-1985)は、桃山時代の志野が美濃で焼かれていたことを、自ら発見した陶片により実証しました。この展覧会では、現代に続く美濃陶芸の先駆者であり、近代日本の陶芸をリードした荒川豊蔵の人となり、生誕130年の機会に振り返りました。
展示では、初期から晩年までの軌跡をたどりながら、陶芸をはじめ書画や収集の品々、交友や暮らしがうかがえる作品や資料など約180点を紹介。若き頃画家を志した荒川が、終生絵を描くことを愉しんでいた姿にも触れながら、荒川豊蔵芸術の神髄に迫りました。
展覧会の関連催事として、国立工芸館館長・唐澤昌宏氏による記念講演会や当館学芸員によるギャラリートーク、荒川豊蔵の茶碗による呈茶のほか、荒川豊蔵が作った水月窯(多治見市)の絵付けワークショップ、荒川豊蔵資料館(可児市)の学芸員による特別ギャラリートークなど、荒川豊蔵ゆかりの地ならではの企画も実施。近隣の関係施設とも荒川豊蔵に関する展示や紹介での連携をとり、「美濃の荒川豊蔵」を地域全体で振り返る展覧会となりました。

主催 生誕130年荒川豊蔵展実行委員会

072 中山道広重美術館特別企画展 恵那市

開催日 令和6年10月3日(木)～12月8日(日) 会場 中山道広重美術館



実施状況

「浮世絵おじさんフェスティバル」と題して、秋季特別企画展を開催しました。浮世絵に登場する、味わい深い名もなき人々を親しみを込めて「おじさん」と呼び、新しい魅力や着眼点を提案する企画です。来場者は、一つひとつの浮世絵の中に個性豊かな「おじさん」を発見し、興味深く見入っていました。
また、「恵那市こども版画コンクール20周年記念広重賞作品展」を同時開催しました。平成16年度から恵那市教育委員会と(公財)中山道広重美術館の共催で始まった「恵那市こども版画コンクール」は、令和5年度で20周年を迎えました。本展では、コンクールの最高賞となる広重賞を受賞した作品20点を前期・後期に分けて展示しました。
さらに、開催にあわせ、記念誌「広重賞 恵那市こども版画コンクール 20年のあゆみ」も発行しました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、恵那市、恵那市教育委員会、「清流の国ぎふ」文化祭2024恵那市実行委員会、公益財団法人中山道広重美術館

073 第13回熊谷守一大賞展

中津川市

開催日 令和6年10月12日(土)～20日(日) 会場 アートピア付知交芸プラザ



実施状況

洋画家・熊谷守一の生誕地で、郷土が生んだ孤高の画家である熊谷守一の偉業を讃えること、未来を担う創造性豊かな作家の発掘と絵画の新たな可能性を拓くことで文化の高揚を図ることを目的に展示会を開催しました。

全国から応募があった184作品の中から厳正な審査により選ばれた、大賞1点、優秀賞2点、奨励賞5点を含む入選作品58点を展示しました。

審査員からは、「出品作品は主題や技法、完成度とも豊かで高いレベルの審査となった」との言葉をいただき、質の高い優れた芸術を多くの方に鑑賞いただける展示会となりました。

表彰式では、大賞・優秀賞の受賞者を含め全国各地の入選者にお越しいただき、出席された奨励賞以上の方には、市長から表彰状と目録を授与しました。

式典後には講評会を開催し、審査員の村田真宏氏から入賞作品を中心に講評いただき、参加者との対話や、絵画芸術に関する質疑応答の場を設けたため、より参加者の方々に絵画への興味を持っていただくことができました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、中津川市、中津川市教育委員会、「清流の国ぎふ」文化祭2024中津川市実行委員会

074 伊藤正道原画展

高山市

開催日 令和6年10月19日(土)～11月30日(土) 会場 飛騨・世界生活文化センター



実施状況

広告・出版・パッケージなど幅広い分野のイラストレーションを手がけ、絵本作家としても数多くの作品を残された伊藤正道氏(1956-2012)の原画展を開催しました。

14回目となるこの原画展は、伊藤氏の代表的キャラクターである「マフィーくん」と「ジオじいさん」が登場する絵本をはじめ、伊藤氏が実際に旅したイギリス・ロンドンの街並みや風景を描いたシリーズなど、30年以上にわたる伊藤氏の活動の軌跡を辿る展示会となりました。

雑誌や企業広告などで描かれた原画やインタビュー動画を上映するコーナーにより、幅広い分野で活躍された伊藤氏の足跡やイラストレーターとしての仕事を紹介することができました。

展示場内には、キャラクターのフィギュアやモニュメントもあり、写真撮影ができるコーナーも設置するなど、小さな子どもから大人まで楽しめ、好評を博しました。

主催 飛騨・世界生活文化センター活用推進協議会

075 アートまるケット「つなぐ人 日比野克彦」

岐阜市

開催日 令和6年9月27日(金)～12月8日(日) 会場 岐阜県美術館



実施状況

アートまるケットでは、同時開催の「PARALLEL MODE:オディロン・ルドン―光の夢、影の輝き―」に関連して、「つなぐ人 日比野克彦」と題して、ルドンのゆかりの地をアーティストで岐阜県美術館長の日比野克彦氏が巡り、来館者に紹介しました。

今回、南仏にあるフォンフロワ修道院の全面協力により、同修道院に残るルドンの大作をVR技術によって岐阜で紹介する、世界初のプロジェクトが実現しました。

オディロン・ルドン(1840-1916)が70歳のときに同修道院に滞在し制作した大作「昼」と「夜」は、ルドン晩年の代表作です。作品は現在も制作時と同じ場所に設置され、当時のルドンの交友関係を伝えています。この特別な空間に、日比野氏はルドンと同じように滞在し、感じたことをヴァーチャル空間に表現してきました。そのVRペインティングを見ながら、会期中、ライブペインティングとして、新しいドローイングを行いました。参加者はVRゴーグルを使って修道院と岐阜県美術館を行き来しながら、ルドンの表現世界を楽しみました。

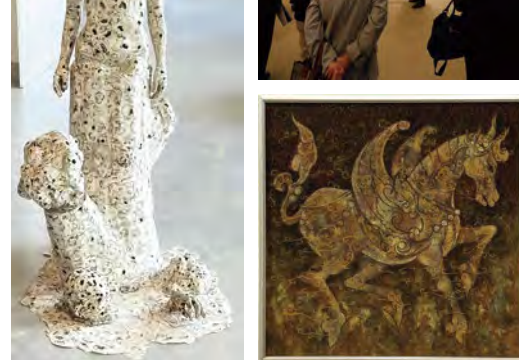
11月3日(日祝)には記念講演会「ルドンさんに会ってきました」を開催し、多くの来場者にルドンの魅力を伝えました。

主催 岐阜県美術館

076 第76回岐阜市美術展覧会

岐阜市

開催日 令和6年10月5日(土)～14日(月祝) 会場 みんなの森 ぎふメディアコスモス、岐阜市民会館



実施状況

日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真・グラフィックデザインの計7部門において、広く公募した作品と審査員・委嘱作家の作品による展覧会を開催しました。

出品は355名、456点となり、9月30日(月)に行われた審査会を経て、一般出品327点と審査員・委嘱出品91点の、全部で418点が会場を彩りました。初日となる10月5日(土)にみんなの森ぎふメディアコスモスにて開場式を行い、式後に各部門でギャラリートークを開催しました。

学校帰り、仕事帰りの方も鑑賞できるよう最終日を除き、午後7時まで開場。最終日には表彰式を行い、式後に各部門でギャラリートークを開催しました。

結果として、日本画・洋画・彫刻・写真・グラフィックデザイン部門のみんなの森ぎふメディアコスモス会場で7,957名、工芸・書部門の岐阜市民会館会場で853名、両会場で計8,810名に来場いただき、大いに賑わいました。

【入賞入選数内訳】
・市展賞 7点 ・市長賞 7点 ・優秀賞 12点
・奨励賞 83点 ・入選 218点

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、岐阜市、「清流の国ぎふ」文化祭2024岐阜市実行委員会、岐阜市美術展覧会実行委員会、公益財団法人岐阜市教育文化振興事業団

077 パラスポーツイベント等における障がい者芸術作品展示 岐阜市

開催日 令和6年10月14日(月祝)～11月24日(日) 会場 岐阜県福祉友愛アリーナ、岐阜県福祉友愛プール、岐阜メモリアルセンター



実施状況

岐阜県パラスポーツ大会秋大会の会場や県有施設において、障がい者に対する理解と関心を深めるため、障がいのある方の芸術作品の展示を行いました。岐阜県では、障がいのある方の芸術的才能を掘り起こし、育み、その豊かな感性、輝く才能に裏打ちされた絵画等作品の社会的な活用を図るため、「ふれあいアートステーション・ぎふ」を設置して作品を募集しています。今回は、集められた絵画作品のうち、歴代の知事賞受賞作品を展示しました。各会場では、スポーツを楽しむ幅広い年代の方々にお越しいただき、気になる作品の前で立ち止まり、細かく描き込まれた発想力豊かで色鮮やかな作品をじっくりと鑑賞される方も多くいらっしゃいました。参加者からは、「パッと目を引く作品ばかりで、見ていて楽しかった」、「細かい部分まで描き込まれていてすごい」との声もいただき、大変好評でした。

【展示作品】

ふれあいアートステーション・ぎふ 知事賞作品
「Fairy Tale」星屋康丞、「幸せの予感」清水日菜子
「KEMOのパーク」安藤優花、「干し柿にしている」高橋正道
「スパティフィラム」西脇秀威、「僕たちの地球」伊藤翼

主催 岐阜県

078 坪内節太郎展 ―芝居をみる― 各務原市

開催日 令和6年10月19日(土)～11月9日(土) 会場 各務の舞台「村国座」



実施状況

各務原市出身の画家坪内節太郎が描いた歌舞伎のスケッチ原画40点を、国指定重要有形民俗文化財である、各務の舞台「村国座」で展示しました。村国座は、昭和51年に71歳の節太郎が訪れているゆかりのある場所であり、芝居を愛した節太郎の作品を芝居小屋の中で紹介することができました。展示は、「村国座」を鑑賞する方のために、視界を遮らない高さの展示壁を組み立て、かつ展示物の視点を低くすることで、どなたでもご覧になることができる配置としました。舞台上には、今年上演された子ども歌舞伎の最終演目「新版歌祭文 野崎村」の道具を配し、平成24年の同演目の映像を流すことで「ART×歴史」をテーマにした空間を体験できる、心地よい鑑賞の場を提供できました。関連事業「クロストーク―歌舞伎絵をみる―」では、歌舞伎ソムリエ・おくだ健太郎氏と担当芸員との対話から、歌舞伎と節太郎のスケッチについて深く知っていただける機会となりました。来場者は、子ども歌舞伎に参加した地元の子供達をはじめ、節太郎作品の愛好者、村国座の見学者など、県内外からさまざまな方にお越しいただきました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、各務原市、各務原市教育委員会、「清流の国ぎふ」文化祭2024各務原市実行委員会

079 各務原市美術展 各務原市

開催日 令和6年10月19日(土)～27日(日) 会場 各務原市産業文化センター



実施状況

各務原市民の芸術活動の成果を発表するとともに身近に文化を感じられる場を創出するため、美術展を開催しました。日本画の部6点、洋画の部35点、彫刻・工芸の部23点、デザイン・イラストレーションの部11点、書の部26点、写真の部46点の計147点の作品を展示しました。これらの作品はいずれも、創作者一人ひとりが日々の努力を積み重ね、技術を磨き、創意工夫を凝らして仕上げたものです。多様な分野の作品が一堂に会することで、観る人々に幅広い芸術表現や独自の視点を提供し、豊かな感性を刺激する内容となりました。日本画や洋画、彫刻・工芸といった伝統的な部門の表現から、デザイン・イラストレーションや写真といった現代的な表現まで、さまざまな表現が1つの会場に揃うことで、訪れた方々は多様な芸術の奥深さを感じ取ることができました。どの作品からも創作者の熱意や工夫が感じられ、来場者にとっても実りある時間となりました。公開期間の最終日には、表彰式と講評会を開催し、審査員の先生から直接アドバイスなどを聞くことができました。この美術展を通じて、多くの方が新たな視点で芸術に触れ、創作への意欲が高まるきっかけとなりました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、各務原市、「清流の国ぎふ」文化祭2024各務原市実行委員会

080 ありのまま展 ～こころの声、色と形に～ 各務原市

開催日 令和6年10月26日(土)～11月7日(木) 会場 各務原市役所本庁舎



実施状況

障がいに対する理解を深めるとともに障がいのある方の自立と社会参加を促進する目的で、障がい児者の文化芸術活動を地域に発信する各務原市内障がい児者のアート作品展を開催しました。今回の作品展は、「各務原市と言えば、飛行機!」の発想から、飛行機をテーマに作品を募集、展示しました。魅力的な作品が揃い多くの方に観覧いただきました。26日(土)は、参加型イベントとして、ファシリテーターと共に複数の方と一緒に展示作品を鑑賞する対話型鑑賞会や、岐阜県ダウン症の会ダンス講師・野原渚氏による楽しく体を動かすフィットネスダンスを行いました。27日(日)は、大きな紙に自由に創作できる場としてオープンアトリエを行いました。参加者からは、「障がいの有無に関わらず一緒に楽しい時間を過ごせてよかった」との声をいただきました。そのほか、事業所の自主製品販売を行うなど、それぞれの魅力を広く発信することができました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、各務原市、「清流の国ぎふ」文化祭2024各務原市実行委員会

081 障がい者文化芸術作品展

瑞穂市

開催日 令和6年11月2日(土)～4日(月休) 会場 瑞穂市民センター



実施状況

瑞穂市在住の障がい児者・障がい福祉サービス事業所や団体などから、多くの作品を応募いただき、展示を行いました。
21の個人・団体から応募があり、作品数は35を超え、さまざまなジャンルの作品が出揃い、会場を作り上げることができました。
瑞穂市文化協会祭と同時開催し、多くの方に来場いただきました。
障がい児者の自由な発想と感性を生かした、思い溢れる作品を沢山の方に観ていただき、地域の障がい児者の理解や啓発にも一役を担う場となりました。
また、来場した方々は一つひとつの作品をじっくりと鑑賞し、「素晴らしい作品」「とても上手で見入ってしまった」などの感想もいただきました。
今回の作品展出展に向け、一生懸命作品制作に取り組んでいる障がい児者の姿を見ることができました。
また、完成した作品を前にして、「頑張ったよ」との気持ちを表現するなど、作品展を通じて、やりがいを感じていただくことができました。

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、瑞穂市、瑞穂市教育委員会、「清流の国ぎふ」文化祭2024瑞穂市実行委員会、瑞穂市文化協会、瑞穂市社会福祉協議会

082 本巣市文化祭

本巣市

開催日 令和6年11月2日(土)～3日(日祝) 会場 本巣公民館、糸貫ぬくもりの里、真正公民館・真正体育センター、根尾学園



実施状況

本巣市は合併20周年を迎えました。この文化祭では、合併前の本巣町・真正町・糸貫町・根尾村の各地域で行われていた作品展示をそのままに継承し、20年前と変わらず、地域の特性を活かしたままの伝統ある作品展示を行っており、のべ約3,000名の方に来場いただきました。
本巣・真正・糸貫・根尾の各地域の公民館が中心となって、市内で活動する文化団体、幼稚園、小・中学校、義務教育学校の児童生徒などの作品展示を行いました。さらに、今回は特別に身体障がい者の催しとして、真正体育センターにて特別展示会を開催しました。(障がい者出展数32点 書道と絵画)
出展者とその家族や友人が各会場に来場され、お互いの作品の品評をしたり、作品を見て楽しそうに談笑する様子など、文化の薫る光景を見ることができました。

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、本巣市、「清流の国ぎふ」文化祭2024本巣市実行委員会

083 笠松町美術展

笠松町

開催日 令和6年11月2日(土)～4日(月休) 会場 笠松中央交流センター、笠松町民体育館



実施状況

笠松町の芸術・文化の普及と発展を目的に美術展を開催しました。
町内在住・在勤の方、町内の中学生、小規模授産所、町出身者及び町内で学習している方が多数の作品を出展しました。
日本画、水墨画、洋画、版画、書、彫塑・工芸、写真、デザインの部門を設け、笠松中央交流センター1階には彫塑・工芸(陶芸)、2階には書、写真、デザイン、彫塑・工芸(ステンドグラス)を展示しました。笠松町民体育館2階には、日本画、水墨画、洋画、版画、彫塑・工芸、ポスターなど、154名から出展された251点の作品を展示しました。
今回の美術展では、文化祭を盛り上げるため作品展示に加えて、町内の小学生を対象とした3R(リデュース、リユース、リサイクル)をテーマとしたポスター展示も行いました。
会場を訪れた方々は、展示された力作に熱心に見入っていました。

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、笠松町、「清流の国ぎふ」文化祭2024笠松町実行委員会、笠松町美術展実行委員会

084 飛水クラブぎふ作品コンクール

岐阜市

開催日 令和6年11月5日(火)～8日(金) 会場 OKBふれあい会館



実施状況

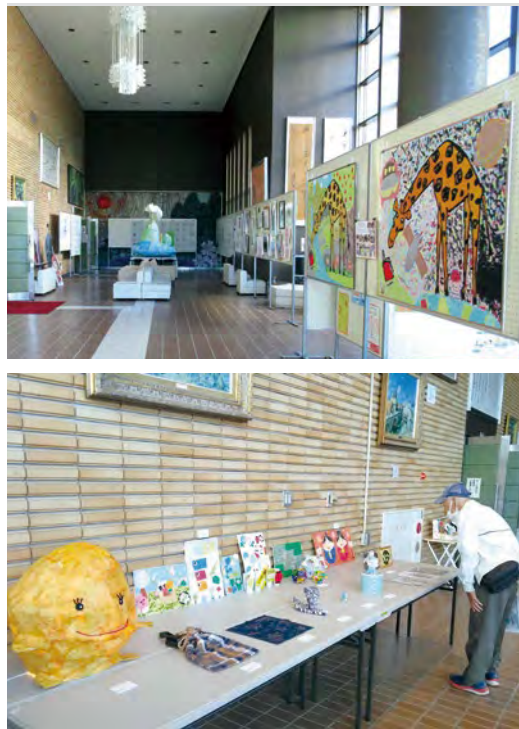
県内クラブ会員の応募作品のうち、優秀作品の作品展を開催しました。どの作品も、日ごろの活動を通じて創作された力作ぞろいでした。
創作活動を通じて、生きがい・健康づくり、社会活動を促進するとともに、明るく活力ある長寿社会づくりを推進して、より多くの高齢者の方に創作活動を広めるきっかけとすることができました。
【展示内容】 各部門の優秀第1席～優秀第5席及び奨励賞・佳作作品
美術作品(6部門)：日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真
文芸作品(3部門)：短歌、俳句、川柳
【応募作品数】
美術作品(90点)：日本画(11)、洋画(13)、彫刻(7)、工芸(20)、書(14)、写真(25)
文芸作品(89点)：短歌(29)、俳句(48)、川柳(12)

主催

一般財団法人岐阜県老人クラブ連合会

085 山県市ふくし・あーと作品展 山県市

開催日 令和6年11月9日(土)～24日(日) 会場 美山コミュニティセンター



実施状況

県立山県高等学校(福祉類型2年)の生徒13名と障がい者の方の居場所づくりを推進する「ききょうの会」のメンバーが山県市在住の絵本作家・高島純氏の「きりん」の絵を使い一緒にマスキングテープを貼り付けて2つの作品を楽しく制作しました。それぞれ「しぜん」と「うちゅう」という生徒達のイメージがあり、同じデザインでも雰囲気の違いが生まれました。

募集案内を見て出展いただいた方や個人出展に協力いただいた9事業所からの作品を合わせて42作品を展示しました。

緻密な作業である切り絵や貼り絵、自分の好きな絵や小物の作品、99歳の方が書かれた俳句、旅先の写真、表計算ソフトの「Excel」で描いた絵画など個性豊かな作品が出展され、来館された方に楽しんでいただきました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、山県市、「清流の国ぎふ」文化祭2024山県市実行委員会

086 第31回岐阜市「オンリーワンわたしたちの芸術祭」 岐阜市

開催日 令和6年11月21日(木)～12月4日(水) 会場 ハートフルスクエアG、みんなの森 ぎふメディアコスモス



実施状況

障害者週間(12月3日～9日)に合わせ、障がいのある方の芸術活動を発表する場として、ハートフルスクエアGで作品展示や障がい者関連施設によるバザー、両会場で障がいのある方もない方も楽しめる音楽演奏や演劇などを行いました。

【出演団体】
[ハートフルスクエアG]
菱賀会 小笠原家茶道古流、コール白山と濱島秀行、アンサンブルさくら、玉木鶯洞先生と楽達会、ついきさとみとフラス、ダンスチームピース、セルフィーユ、ハーラウ・ワレア・ホアヘレ、ぎふ長良川カロムクラブ、FC岐阜、NPO法人和の未来、岐阜各務原児童合唱団、フラサークルティアレ、女声合唱団沙羅、岐阜県立長良高等学校コーラス部、遠藤伸子、ながらメロディーパレット、郡上踊り月乃会、英集会ひだまり、ミスタートリック、勝笑演芸一座、楽天一座

【みんなの森 ぎふメディアコスモス】
ぎふの森学園ラーニングプラス、岐阜市障害者生活支援センターあんさんぶる♪、タクババ、りほ&ひかるん、サリカアート、福百合園、アンダンテ、岐阜交響楽団レディースカルテット、アンサンブルさくら、Pure★Dream Angels、劇団ドキドキわくわく

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、岐阜市、「清流の国ぎふ」文化祭2024岐阜市実行委員会、第31回岐阜市「オンリーワンわたしたちの芸術祭」実行委員会

087 第25回神戸町美術展 神戸町

開催日 令和6年10月5日(土)～20日(日) 会場 神戸町日比野五鳳記念美術館



実施状況

神戸町の芸術文化(美術活動)の振興普及を図るため、町内外から作品を公募し、創作活動に励む方々に発表する機会を提供する美術展を開催しました。町内の方はもちろん、町外の方や、地元の中学校の美術部員からも多く出展していただきました。また、委嘱作家の方や審査員の先生の作品も展示しました。

今回は従来の応募に加え、神戸町に関するテーマの作品を募集しました。また、25周年記念賞を設け各部門で、25周年記念賞、町展賞、町長賞、議長賞、教育長賞各1名、奨励賞若干名の方が受賞しました。

5日(土)に表彰式を開催し、審査委員長から審査総評をいただきました。また、表彰式終了後に、審査員の作品総評会を開催しました。

【出展数】	
絵画の部	59点
書の部	23点
写真の部	30点
彫塑工芸の部	20点
合計	132点

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、神戸町、神戸町教育委員会、「清流の国ぎふ」文化祭2024神戸町実行委員会

088 養老町文化フェスティバル 養老町

開催日 令和6年10月19日(土)～11月24日(日) 会場 養老町中央公民館



実施状況

開催期間を通して展覧会などさまざまな催しを開催しました。

「第58回養老町美術展」では、養老町内外から募集した一般の部(日本画・水墨画、洋画デザイン、書、写真、彫塑工芸、手芸)合計152点、町内の小中学校から選ばれた少年の部(絵画、書道・書写、工作)合計503点の作品を展示しました。同時に町内の保育園、こども園、計11園の園児の作品を90点、各地域の子ども会の活動として作成された壁新聞を16点展示しました。

また、「第47回養老町美術協会展」では84点、「第27回養老教職員作品展」では27点の出展があったほか、町教育委員会による「養老町文化財企画展示」では、町内日吉地区の遺跡から出土された土器などの展示があり、普段は目にする機会の少ない、興味深い展示となりました。

期間中には町茶華道協会が「華道展」と「お茶席」を開催し、作品展示に花を添えていただいたほか、中庭では、養老菊花会による「菊花展」、町吹奏楽連盟による「吹奏楽祭」を開催し、多くの来館者がありました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、養老町、養老町教育委員会、「清流の国ぎふ」文化祭2024養老町実行委員会、養老町文化フェスティバル実行委員会

089 アートいびがわ

揖斐川町

開催日 令和6年10月25日（金）～27日（日） 会場 揖斐川町地域交流センターはなもも



実施状況

揖斐川町文化協会の会員や町内外からの公募による美術展（日本画、洋画、彫刻工芸、書道、写真、絵手紙）、文芸展（短歌、俳句、川柳、狂俳、連歌）、生活文化展（盆栽）の3つの部門で計1,191点の応募作品の展示と、県立揖斐特別支援学校の生徒の絵画、工芸などの作品を展示しました。

26日（土）には、木の実、小枝など自然素材を使って「いきものをつくる」ワークショップや、「わたしの好きな一文字」と題した毛筆体験など、27日（日）には、抹茶を味わう呈茶や短歌教室など芸術や文化への関心を深めることができる催しを開催したほか、各部門の優秀作品に対し表彰を行いました。

また、26日、27日を通じて町内の障がい者福祉施設や授産施設で製造されているパン、竹炭、手づくりせっけんなどの製品も販売しました。

参加された方々が、文化に触れ親しみ、また障がい者芸術に触れる機会となりました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、揖斐川町、揖斐川町教育委員会、「清流の国ぎふ」文化祭2024揖斐川町実行委員会、揖斐川町文化協会

090 手作り作品展

垂井町

開催日 令和6年11月2日（土）～3日（日祝） 会場 垂井町文化会館



実施状況

垂井町内の障がい者福祉施設「あゆみの家」、「けやきの家」の利用者の作品を展示・販売しました。

「あゆみの家」のブースでは、利用者によって丁寧に作られた人気の手作りお菓子やアクセサリ、写真立てなどの工芸品雑貨を販売しました。

「けやきの家」のブースでは、利用者が一针一针丁寧に縫い上げた刺し子による、のれんや甚平などの展示品や、トートバッグ、ペットボトル入れなどのほか、みつろうラップやキーホルダーなどの雑貨を販売しました。

同会場にて「垂井町音楽祭」を開催したため、開演前や休憩時間を利用して、出演者や来場者など、多くの方に手に取ってもらい、利用者の方々の成果を披露することができました。

また、それぞれの事業所の紹介や、普段販売しているお店の紹介も行い、障がい者福祉施設でどのような活動を行っているか、情報発信及び交流活動にも繋げることができました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、垂井町、垂井町教育委員会、「清流の国ぎふ」文化祭2024垂井町実行委員会

091 大野町芸術祭2024

大野町

開催日 令和6年11月3日（日祝）～4日（月休） 会場 大野町総合町民センター



実施状況

県立大垣工業高等学校太鼓部によるオープニング演奏からはじまり、施設内では地元団体による郷土の先人達の紹介や大野町内の園児及び小・中学生の作品の展示、そのほか各種文化団体などによる日ごろの活動成果や町内の観光・歴史・文化などを広く知っていただくための作品の展示を行いました。

3日（日祝）は県立大垣商業高等学校吹奏楽部による映画音楽・ジャズ・ソウル・アニメなど計14曲の迫力あるすばらしい演奏が、来場者を驚かせました。

また4日（月休）には、大野町からも多くの生徒が通う県立池田高等学校・県立本巣松陽高等学校の2校による合同演奏会を行いました。生徒達自らで進行を行い、客席の方々も楽しく参加できる笑顔があふれるあたたかい合同演奏会となりました。

2日間を通して町民一人ひとりの文化・芸術への高揚を図ることができました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、大野町、大野町教育委員会、「清流の国ぎふ」文化祭2024大野町実行委員会

092 あゆみ館芸術作品展

御嵩町

開催日 令和6年10月12日（土）～11月24日（日） 会場 あゆみ館、御嵩町役場、御嶽宿わいわい館、御嵩町社会福祉協議会、子育て支援センターぽっぽかん、東濃信用金庫 御嵩支店



実施状況

御嵩町の障がい福祉サービス事業所「あゆみ館」の利用者が作るパンやクッキーの販売、施設内のサークルによる楽器演奏の披露などを行いました。

当日は利用者だけでなく町民も含めて327名に会場にいただき、日ごろの活動成果を広くアピールする場となりました。

また利用者やその家族、協力事業所の利用者などが作った美術作品を募り、町内6会場で展示を行いました。展示作品は絵画や書道、合同作品などジャンルを問わない多様なものとなり、また会場も福祉事業所のみでなく、役場、観光案内所、銀行など多くの方の目に止まる場所であったため、障がい者の方々が作る作品の魅力を広く周知できる展示となりました。期間中、お気に入りの展示作品を一つ選んで投票できる仕組みを設けたところ、433件投票いただきました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、御嵩町、「清流の国ぎふ」文化祭2024御嵩町実行委員会、御嵩町障がい者支援多機能事業所「あゆみ館」

093 美濃加茂市つながるふくし作品展

美濃加茂市

開催日 令和6年10月16日(水)～31日(木) 会場 みのかも文化の森



実施状況

美濃加茂市の障がい児者に対する理解を深め、あわせて障がい児者の意欲を促し福祉の増進を図ることを目的として作品展を開催しました。市内の障がい児者や特別支援学校、障がい者関係団体などに、絵画、工芸品、手芸品などの広いジャンルで作品募集を行い、8名・6団体から出品された46作品を展示しました。それぞれ制作者・制作団体の思いや願いがこもった魅力あふれる作品が並び、和やかな雰囲気の会場となりました。

会期中は768名の方に会場いただき、「ていねいできれいな作品ですね」との感想や「これからもがんばってください」などの激励の声をいただき大変好評でした。

作品を出品していただいた方、作品展のチラシを制作していただいた障がい福祉事業所の方、団体の出展ブースを準備していただいた方、作品を見に来ていただいたみなさんが作品展を通じてお互いが「つながる」ことができました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、美濃加茂市、「清流の国ぎふ」文化祭2024美濃加茂市実行委員会

094 白川町ふるさとふれあい展

白川町

開催日 令和6年11月1日(金)～4日(月休) 会場 白川町町民会館



実施状況

白川町内のサークルや個人、団体、保育園、小・中学校から募集した作品や、絵本作家を招いたワークショップで参加者が制作した絵本の展示のほか、海山交流事業の参加者の声をまとめた企画展示を行いました。

合計279点となり、子どもから年配の方まで4日間で280名の方に来館いただきました。小学生の作品を見て、「すごくいい案!私も真似して作ってみようかな」という声や、大人の作品を見て、「これどうやって作っているのかな。すごい!」という声をいただくなど、町民の作品を多くの方に見ていただける機会となりました。

【出展数】	
保育園	89点
小学校	62点
中学校	36点
一般	42点
飛び出す絵本	49点
海山交流	1点
合計	279点

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、白川町、白川町教育委員会、「清流の国ぎふ」文化祭2024白川町実行委員会

095 ふれあい福祉作品展

美濃市

開催日 令和6年11月7日(木)～10日(日) 会場 美濃市中央公民館



実施状況

美濃市在住の障がいのある方の作品を募集し、作品展を開催しました。障がいの有無に関わらず、文化芸術に親しむ共生社会の実現を発信する場とするため、市内の美術・工芸に取り組む方々の作品を展示する「美濃市美術展」と同時開催としました。

市民32名が参加し、出展数は43点となり、大変充実した展示となりました。絵画、ちぎり絵、陶芸、手芸など幅広い分野の作品が出品され、日ごろの研鑽の成果を発揮することができました。

会期中に両企画展を訪れた方はのべ313名となり、短い会期にも関わらず多くの方に足を運んでいただき、障がいの有無に関わらず、文化芸術に親しんでもらうことができました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、美濃市、「清流の国ぎふ」文化祭2024美濃市実行委員会

096 郡上市民芸術文化展

郡上市

開催日 令和6年11月9日(土)～10日(日) 会場 やまと総合センター



実施状況

郡上市民の自己表現と芸術文化を通じた交流の機会として、市民から募集した作品の展覧会を開催しました。作品展示では、郡上市文化協会が毎年主催している「郡上市美術展」をベースとし、募集分野に絵画、彫刻、陶芸、工芸、書、写真などに加えて、「自由表現」を設けて多様な作品を受け付け、一般公募に加えて市内で活動する芸術家や、学校、障がい者自立支援事業所などから合計712点の作品が出品されました。

また、作品展示に加えて、市内出身の芸術家による作品の制作実演や、特別支援学校、社会福祉協議会、障がい者自立支援事業所による物品販売・喫茶サービスも行いました。

2日間で1,120名が来場し、展示作品を鑑賞した来場者同士で感想を話し合い、制作実演の様子を熱心に見学するなど、来場した方々に芸術文化に触れるひとときを楽しんでいただきました。

【出品数】	
一般の部	166点
郷土芸術家と委嘱作家	24点
小中学校(特別支援学校含む)	476点
障がい者自立支援事業所	46点
合計	712点

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、郡上市、郡上市教育委員会、「清流の国ぎふ」文化祭2024郡上市実行委員会

097 障がい者ふれあい作品展

関市

開催日 令和6年11月16日(土)～21日(木) 会場 わかくさプラザ



実施状況

関市内の18の事業所と8名の個人が参加し、合計100点以上の作品をわかくさプラザのロビーに展示しました。図書館の利用者など多くの市民が訪れる場所での展示であったため、多くの方にこの作品展を鑑賞いただくことができました。

気に入った作品を3点投票するアンケートを行い、100名以上の方に回答いただきました。アンケートでは、「どの作品も素晴らしく、順位をつけがたい」「素敵な作品ばかりで素晴らしかった」「独特の色使いがされているものなど個性的な作品がならんでいて見るだけで楽しかった」などの称賛の声をいただくなど、来場者を引き付ける作品を多数展示することができました。

アンケートで投票を受けた出品者は、自分の作品が評価されて喜びと自信をつけることができました。また、本人に限らず「家族や関係者にとっても嬉しかった」との声もいただきました。

作品を出品した方、周囲の方、鑑賞する方の全てが楽しむことができる一体感のあるイベントとなりました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、関市、「清流の国ぎふ」文化祭2024関市実行委員会、関市障害者団体連合会

098 第43回可児市美術展

可児市

開催日 令和6年11月20日(水)～24日(日) 会場 可児市文化創造センターala



実施状況

可児市美術展は、豊かな人間性を育て、芸術・文化のかおり高いまちづくりを進めるため、市制施行年である昭和57年から始まりました。今回は特別賞を設けるなどして、県内外から洋画、日本画、書、彫塑工芸・デザイン、写真の5部門248点の作品が出展され、1,216名の方に来場いただきました。

どの作品もとても繊細かつ丁寧で、来場された多くの方は、個性豊かな力作に圧倒されながらも、一つひとつの作品をじっくりと楽しんで鑑賞していました。

多種多様な作品があふれる中、高校生からの応募も多く、栄えある入賞作品に選出されるなど、美術展を大いに盛り上げてくれました。

また、多くの作品を通じて、老若男女問わず心豊かに芸術に触れる機会を共有することができました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、可児市、「清流の国ぎふ」文化祭2024可児市実行委員会、可児市美術展企画運営委員会

099 第82回多治見市美術展

多治見市

開催日 令和6年10月25日(金)～27日(日) 会場 パロー文化ホール



実施状況

82回の開催実績を誇る多治見市美術展は、多治見市の秋の芸術行事として定着しており、毎年多くの出品があります。今回は会場の大規模改修工事が終了したパロー文化ホール(多治見市文化会館)で行いました。日本画・洋画・工芸・彫塑・写真・書道・デザインの7部門に、県内外から応募のあった304点の全ての作品を展示しました。

一般出品者以外に、市内外の中・高校生や専門学校生の応募が多数あり、多治見市の文化芸術の発信拠点で催事を開催できたことで、未来の文化の担い手である若い世代の文化芸術活動の発信の場としても開催の意義がありました。

また、文化祭の開催を記念し、今回に限り各部門に、「清流の国ぎふ」文化祭2024特別賞を設け、表彰しました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、多治見市、「清流の国ぎふ」文化祭2024多治見市実行委員会

100 多世代交流作品展

多治見市

開催日 令和6年11月1日(金)～25日(月) 会場 多治見市総合福祉センター



実施状況

多治見市総合福祉センター内にある老人福祉センター、障害者福祉センターを利用する方が制作した作品を展示しました。館内を利用するさまざまな年代の方の交流の場となることを目的として開催しました。

展示会場の看板は両センターの利用者による共同作業で制作し、切り絵、ちぎり絵、塗り絵などの絵画作品、編み物、布ぞうりなどの手芸作品のほか、絵手紙、ペン習字、俳句などさまざまなジャンルの作品を展示しました。それぞれの作品の制作を通じて、多世代にわたる交流が生まれ、作品展でその成果を発信することができました。

また、展示会場は出品者やその家族、館内利用者など多くの方で賑わい、力作ぞろいの作品を前に多くの交流が生まれました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、多治見市、「清流の国ぎふ」文化祭2024多治見市実行委員会、多治見市社会福祉協議会

101 障がい者アート展in飛騨市図書館展示の森 飛騨市

開催日 令和6年10月14日（月祝）～11月24日（日） 会場 飛騨市図書館



実施状況

障がいのある方が制作した作品や、被写体となった写真の展示を行いました。誰でも心地よく参加できることを目指し、重度の障がいをお持ちの方に配慮した駐車スペース、トイレの設置、休憩スペースを確保し、車いすやハンディをお持ちの方やその家族の方が心から楽しめるイベントとなりました。

本写真展では、あかりんぐ（重度心身障がい児者の保護者会）のみなさんに参加いただき、障がいやハンディがあっても十分にイベントを楽しんでいる様子が被写体として表現されており、関係者から高い評価が得られました。

本写真展により、障がいへの理解と関心を深め、多様性を認めた差別のない社会の普及啓発を行うことができました。

期間中は1,000名以上の方に来場いただき、多くの方に写真をご覧いただきました。また、アンケートを兼ねた感想ノートを設置し、たくさんの意見をいただくことができ、満足度の高いイベントとなりました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、飛騨市、「清流の国ぎふ」文化祭2024飛騨市実行委員会

102 ふれあい芸術教室 岐阜市、大垣市

開催日 【第1回】令和6年10月19日（土）
【第2回】令和6年11月2日（土） 会場 【第1回】マーサ21
【第2回】ソフトピアジャパン センタービル



実施状況

県内在住の障がい者の方を対象に、芸術活動に取り組むきっかけづくりと技術の向上を目指して開催しました。

マーサ21にて、「㊦ ふれあい福祉フェア」開催期間中に、作品を鑑賞に訪れた障がい者の方など24名が参加し、バステルやスタンプを使ったメッセージカードを作りました。

また、ソフトピアジャパンセンタービルにて、「㊦ ふれあいアートフェスタ」の会場内に特設スペースを作り、アート作品の展示と、ちぎり絵の制作をしました。17名の参加者は講師の先生が染めて用意した美濃和紙を使って見本を確認しながら、おいしそうな柿が実っている畑の風景を制作しました。

【第1回】 講師 山本みどり
内容 メッセージカードづくり
【第2回】 講師 辻喜久恵
内容 ちぎり絵

主催 一般財団法人岐阜県身体障害者福祉協会

103

みる きく かたる ぎふの映画文化
～もっと映画を好きになる もっと岐阜を好きになる～ 岐阜市、飛騨市、関市

開催日 令和6年10月19日(土)、20日(日)、26日(土)、
11月2日(土)、4日(月休)、10日(日)、
16日(土)、17日(日)、23日(土祝)

会場 ロイヤル劇場、CINEX、地域交流センター船津座、
シネックスマーゴ、岐阜県図書館、岐阜県美術館



開催日	上映作品	会場	トーク出演者
10月19日(土)	台風クラブ	ロイヤル劇場	中島歩
10月20日(日)	違う惑星の変な恋人	CINEX	中島歩、木村聡志
10月26日(土)	がんばっていきまっしょい	ロイヤル劇場	田中麗奈、磯村一路
11月2日(土)	はなれ瞿女おりん	ロイヤル劇場	立花珠樹
11月4日(月休)	雑魚どもよ、大志を抱け!	地域交流センター船津座	白田あさ美、足立紳
11月10日(日)	キツツキと雨	ロイヤル劇場	沖田修一
11月16日(土)	怪獣ヤロウ! ※先行上映	シネックスマーゴ	ぐんぴい、八木順一郎
11月17日(日)	ゴジラVSデストロイア	ロイヤル劇場	八木順一郎
11月23日(土祝)	目の見えない白鳥さん、アートを見にいく	岐阜県図書館・岐阜県美術館	白鳥建二、三好大輔 対話型鑑賞ゲスト：日比野克彦

実施状況

全国でも希少な常設上映している35ミリフィルム専門映画館、岐阜市のロイヤル劇場では、「がんばっていきまっしょい」の上映会と俳優・田中麗奈氏、岐阜県出身の磯村一路監督によるトークイベントを行いました。劇場や35ミリフィルム映画の魅力などを語っていただき、会場は大いに盛り上がりました。

飛騨市の地域交流センター船津座では、飛騨市でオールロケを敢行した「雑魚どもよ、大志を抱け!」の上映会と足立紳監督と俳優・白田あさ美氏によるトークイベントを行いました。おふたりには飛騨市の魅力や撮影の思い出などを語っていただき、上映会では涙を流す参加者もいらっしゃいました。

関市のシネックスマーゴでは、「怪獣ヤロウ!」の先行上映会と関

市出身の八木順一郎監督とお笑いコンビ「春とヒコーキ」のぐんぴい氏らによるトークイベントを行いました。ロケ地となった県内の魅力や撮影秘話などを面白可笑しく語っていただき、会場は笑いの渦に包まれました。

県図書館では、「目の見えない白鳥さん、アートを見にいく」の上映会と岐阜県出身の三好大輔監督と全盲の美術鑑賞者・白鳥建二氏によるトークイベントを行い、その後、県美術館に移動し日比野克彦館長も交えて対話型鑑賞を実施しました。「アートを見るとはどういうことか」を考える大変充実した鑑賞会となりました。

104 清流の国ぎふ eスポーツフェス FOCUS 全国学生選手権 岐阜市

開催日 令和6年11月2日(土)～3日(日祝)

会場 ぎふ清流文化プラザ



実施状況

人気ゲーム「VALORANT」を種目とし、全国から学生チームが集ったeスポーツ選手権を2日間開催しました。国民文化祭のプログラムとして、eスポーツイベントが開催されるのは全国で初めてとなります。

選手権には全国から20チーム(100名)が参加し、オンライン予選の結果、4チームが「ぎふ清流文化プラザ」での準決勝戦へ出場しました。それぞれのチームが日ごろの練習の成果を十分に発揮し、熱戦を繰り広げ、次世代を担うeスポーツプレイヤーの発掘の機会となりました。

選手権のほかにも、ゲストと学生チームの交流試合を開催し、学生のみならずにとってオフラインの環境で憧れのプレイヤーと対戦する貴重な機会となりました。

また、1階の文化芸術県民ギャラリーでは、さまざまなeスポーツに触れられる体験会を開催し、子どもから大人まで幅広い年代の方が来場され、eスポーツの魅力を広く発信しました。

【出演者】

【学生チーム】CIMA、LilyKumash、岐阜亭堂、AC1
【MC/解説】OooDa、篠原光、yukishiro、TORANECO
【ゲスト】伊織もえ、西井綾音、maripo、xnfri、SurugaMonkey、善悪菌、mittiii、rion、neth
【ウォッチパーティー】ade

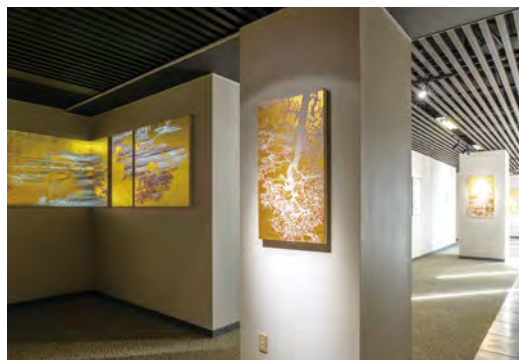
主催

公益財団法人岐阜県教育文化財団、一般社団法人岐阜県レクリエーション協会

105 DX時代のメディア表現—新しい日常から芸術を思考する 大垣市

開催日 令和6年11月1日(金)～7日(木)

会場 ソフトピアジャパン ワークショップ24



実施状況

「DX=デジタル・トランスフォーメーションの将来」を主題にした展覧会を開催し、この主題に対して、ふたつの原点から思考しました。ひとつはインターネットに象徴されるメディア技術の原点。もうひとつは情報科学芸術大学院大学(IAMAS)が所在するソフトピアジャパンの想像力の原点です。ふたつの原点の象徴として展示した作品が、世界的なメディア・アーティストである藤幡正樹氏(東京藝術大学名誉教授)の作品「Light on the Net」です。平成8年にソフトピアジャパンと藤幡氏の共同研究で制作された本作は、物理的な照明装置の筐体とウェブサイトから構成される作品で、現代アート的美術史において、インターネットを活用したアート作品の嚆矢(物事の始まり)と位置づけられています。光の明滅による非言語的なコミュニケーションから、間合いや、接触を通じた現在のDXでは省かれがちな体験が自覚されました。

このほかにも絵画、有線放送、ラジオ、時報といったオールドメディアを主題としながら、デジタルによる表現を凝らした作品が、メディア技術の温故知新を来場者に問いかけました。

主催

情報科学芸術大学院大学(IAMAS)

106 日下部民藝館特別展 「落合陽一 どちらにしようかな、ヌルの神様の言うとおり:円環・曼荼羅・三巴」 高山市

開催日 令和6年9月14日(土)～11月4日(月休)

会場 日下部民藝館



実施状況

コンピューターサイエンティスト・メディアアーティストの落合陽一氏と日下部民藝館は、計算機自然という新しい自然における新しい民藝や計算機自然に成り立つ表現を求めて共同で探索し、メディアアートとして作品化し展示をするプロジェクトに令和3年から取り組んでいます。この特別展では「次世代を見据えた文化芸術の創造」という枠組みで参加し、文化祭のテーマ「内なる深化」で掲げる4つの探求に合致する文化プログラムを開催しました。

【地域の発見・発達】

落合陽一氏が飛騨高山で活動する人々とともに地域をフィールドワークして、展覧会のモチーフを探索しました。

【自然と文化との交わり】

落合氏の探求する計算機自然という概念によって、デジタルとアナログ、人工と自然、人間と計算機が融合し、新たな創造性と世界観を生み出しました。

【伝統技術の保存と継承】

飛騨高山の長い歴史の中で培われ、現在も代表的な産業や伝統工芸として続く木工文化が、現代アートと結びつくという試みを行いました。

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、公益財団法人日下部民藝館

107 全日本写真連盟 第51回岐阜支部展 岐阜市

開催日 令和6年10月29日(火)～11月3日(日祝)

会場 岐阜市民会館



実施状況

全日本写真連盟は、写真を通じて会員相互の親睦を図りながら、写真技術の向上に努める全国組織の写真団体です。連盟の1支部である岐阜支部の会員10名は、撮影会や個人で撮影した写真作品を発表する場として例会を開催し、作品の意見交換を行い、指導者の講評を聞き、時には写真コンテストにも応募して会員相互の写真技術の向上をめざし切磋琢磨しています。

令和6年は、昭和47年の支部創立から51周年を記念し、51回目となる写真展を開催しました。展示内容は、自由作品、テーマコーナー、特設展の3つの展示コーナーで構成しました。自由作品では、毎年恒例の県内外の自然風景や祭りなどを展示。さらに、岐阜県の祭りやイベント、風景をテーマとしたテーマコーナーや、ベテラン作家による金華山と長良川を題材にした特設展も設けました。

作品総数は59点、展示枚数は100枚に達し、その効果もあって、来場者や写真愛好家との親密な交流が生まれました。岐阜県の美しい自然や風景、その営みが映る作品を観覧いただき、多くの来場者に好評を博し、盛大に終了することができました。

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、全日本写真連盟岐阜支部

108 第46回ぎふアジア映画祭 国民文化祭特別企画 岐阜市

開催日 令和6年11月4日(月休)

会場 岐阜市文化センター



実施状況

日ごろ市民の目に触れる機会が少ないアジアの多彩な映画を上映することで、アジア各国の文化風習などを紹介しました。市民ボランティアとの協働で創りあげてきた本映画祭は、今回で46回を数えます。

令和6年度は、特別企画として日本映画「少女は卒業しない」の上映と中川駿監督、原作者で岐阜県出身の小説家・朝井リョウ氏を招いてのゲストトークを開催しました。

高校の卒業式を間近に控え、それぞれの想いを抱えた少女たちが一歩踏み出す姿を描いた本作は高い普遍性を持ち、上映終了後には観客から拍手が起きました。

上映後には監督と原作者のトークで、映画化に至った裏話や制作秘話、二人の創作への取り組み方など興味深い話を聞くことができ、観客との質疑応答も活発に行われるなど、映画の上映と併せ充実した機会を提供することができました。

【プログラム】

- 1部：「少女は卒業しない」上映
- 2部：中川駿(監督)×朝井リョウ(原作者)ゲストトーク

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、岐阜市、「清流の国ぎふ」文化祭2024岐阜市実行委員会、一般財団法人岐阜市公共ホール管理財団

109 第50回全日本写真連盟岐阜県本部展 岐阜市

開催日 令和6年11月12日(火)～17日(日)

会場 岐阜県美術館



実施状況

全日本写真連盟は、1926年に朝日新聞社の後援を受けて創立された写真愛好家のための全国組織です。会員は全国で1万名、岐阜県では約150名が在籍し、写真団体としては全国最大の組織で、岐阜県本部ではさまざまなコンテスト、写真展を開催しています。

50回目を迎える今回の本部展は、県下11支部(ギフフォトクラブ、フォト飛水、岐阜、写楽、リアル関、飛騨、フォト可茂、フォトアート岐阜、フォト加子母、写友あすなろ、フォト写心)が参加し、盛大に写真展を開催しました。

これと併せて、第27回残そう飛山濃水写真コンテスト、第4回岐阜の自然写真コンテスト、第2回創作アートフォトコンテスト、さらに、岐阜県と中国江西省の友好交流35周年を記念して令和5年に中国江西省を訪問して撮影した写真愛好家写真展もあわせて開催しました。北は青森県、南は沖縄県からも応募していただき、写真の総点数は、200点にものぼりました。県内では最大規模の写真展となり、観覧者は700名を超え、多くの方から称賛の声をいただきました。

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、全日本写真連盟岐阜県本部

110 「清流の国ぎふ」DX推進フォーラム 岐阜市

開催日 令和6年11月14日(木)

会場 岐阜県庁



実施状況

DXが進展した後の世界を展望する機会として、日本の経済・産業システムの第一線で活躍し、現在は東京大学未来ビジョン研究センター客員教授を務める西山圭太氏とオリンピックやコンサートの演出などさまざまな領域で活躍するアーティスト、プログラマー、コンポーザーの真鍋大度氏による講演会を開催しました。

西山氏による講演では「DXの思考法」をテーマに、最新の技術動向の紹介のほか、DXがもたらすビジネスの現場におけるコミュニケーション、意思決定プロセス、サービスの変革などについてお話しいただきました。

また、真鍋氏には、「生成AI時代の芸術：テクノロジーが切り拓く表現の新地平」をテーマにAIの進歩で広がる表現方法についてお話しいただいたほか、講演中に生成AIで画像を制作・披露いただくなど、臨場感あふれる講演となりました。

参加者からは「自分の仕事で生成AIをどう活用すべきかが分かった」「生成AIが芸術文化に与える影響を肌感覚で理解することができた」などの声をいただき、会場に設けた情報科学芸術大学院大学(IAMAS)やDXを進める県内企業による取組紹介の場では、講演終了後も多くの方が話を聴く姿が見られるなど、産業・文化の両面で先進事例に触れる機会となり、大変好評をいただきました。

主催

岐阜県、岐阜県DX推進協議会

111 Ogaki Mini Maker Faire 2024 大垣市

開催日 令和6年11月16日(土)、23日(土祝)～24日(日)

会場 ソフトピアジャパン センタービル



実施状況

全世界で開催される幅広いものづくり文化の祭典「Maker Faire」を2日間にわたり開催しました。

県内からの14組を含め、全国から116組、総勢約400名の出展者が参加し、電子工作・ロボット・科学・手工芸・音楽など多様なジャンルにわたる作品を、展示・プレゼンテーション・ワークショップなど多彩な形態で発表しました。

参加者は中部地域を中心に全国から5,000名を超え、東京を除く国内開催では最大規模となりました。出展者は年代・性別ともに多様で、会場では親子連れの姿が目立ち、幅広い層へのものづくり文化の浸透が感じられました。

アンケートでは約250件の回答をいただき、高評価を得ることができました。大多数の来場者から「ものづくりへの興味・関心が高まり、次回も参加したい」と回答いただいたことから、本イベントを通して地域内外におけるものづくり文化の発展に大きく貢献することができました。

また、当日イベントに参加できない方のため、イベントの周知も兼ねたメタバース会場でのプレイベントも開催しました。3名の出展者によるプレゼンテーションに続いて登壇者・主催者との交流会も開催し、好評を博しました。

主催

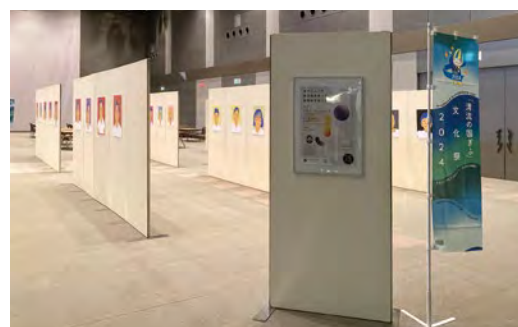
Ogaki Mini Maker Faire 2024実行委員会

112 ふれあいIT×芸術ラボ

大垣市、高山市

開催日 【教室】大垣会場：令和6年6月16日（日）、
7月21日（日）、8月25日（日）
高山会場：令和6年8月4日（日）、18日（日）
【展示】令和6年11月2日（土）～4日（月休）

会 場 【教室】大垣会場：ソフトピアジャパン
センタービル
高山会場：高山市総合福祉センター
【展示】ソフトピアジャパン センタービル



実施状況

障がいのために創作活動が困難な方に対して芸術に触れる機会を提供するため、情報科学芸術大学院大学（IAMAS）の協力により、IT機器を活用して絵画制作を行う体験教室を開催しました。講師にデザイン会社経営の中村親也氏を招き、自身の顔写真データをタブレット内で似顔絵風に加工しました。ほとんどの方がIT機器を利用した創作活動は初めてでしたが、講師の丁寧な指導の元、参加者全員が作品を完成させることができました。大垣会場と高山会場の2会場で計5日にかけて開催し、合わせて53名に参加いただきました。

制作した作品は11月2日（土）から4日（月休）まで、ソフトピアジャパンに設けた専用ブースで展示したほか、文化祭期間中に県内公共施設のデジタルサイネージで「ふれあいアートフェスタ」の作品と一緒に放映しました。

同じ配色でありながら、一人ひとりの個性が表現されているなど、好評を博した展示会となりました。

主 催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、
一般財団法人岐阜県身体障害者福祉協会



113

清流の国ぎふ 地芝居・伝統芸能フェスティバル 県内各地

開催日 令和6年9月1日(日)～11月24日(日)

会場 ぎふ清流座 他



実施状況

「ぎふ清流座」をはじめ、県内各地の芝居小屋や舞台で地歌舞伎、文楽・能狂言、獅子芝居の47の公演が開催されました。

どの地芝居団体も日ごろの稽古の成果を十分に発揮し、化粧や衣裳を身にまとった子どもから大人まで幅広い世代が舞台上で熱演を繰り広げました。

さらに県内だけでなく、愛知県、石川県の地芝居団体に出演いただき、観客からはおひねりや大向こう(掛け声)が飛び交うなど役者と観客が一体となった舞台となり、地芝居を通じての県を超

えた交流が行われたほか、歌舞伎俳優・市川笑三郎氏、中村獅童氏にも特別に出演いただくなど豪華な内容となりました。

また、地芝居・伝統芸能フェスティバルとあわせて、県内各地の公演を巡る「地芝居スタンプラリー」を開催し、県内外の方が岐阜の地芝居を観覧するきっかけになるなど、期間中、のべ約13,500人が来場し、岐阜県が誇る地芝居の魅力を全国に向けて広く発信しました。

主催

岐阜県、公益財団法人岐阜県教育文化財団

114 第27回岐阜県文楽・能大会もとす2024 本巣市

開催日 令和6年11月3日(日祝)

会場 本巣市民文化ホール



実施状況

県内各地に伝承されている文楽と能狂言の保存と、それらの活動を通じた地域の活性化を目的に、各保存会と県内5市町が一体となって開催しました。

また、令和6年は市制20周年を迎えた本巣市での開催となり、市を挙げて盛り上げてきました。5団体(84名)の参加があり、各団体が日ごろの研鑽の成果を発揮し、各地域に伝わる伝統芸能の魅力を発信しました。文楽や能・狂言など、各団体が特色のある演目を上演し、市内外から来場いただいた多くの方にお楽しみいただきました。

【プログラム・出演団体】

- ・「傾城阿波の鳴門 順礼歌の段」 真正中学校真桑文楽同好会(本巣市)
- ・「壺坂靈験記 山の段」 真桑文楽保存会(本巣市)
- ・「伊達娘恋緋鹿子 火の見櫓の段」 大井文楽保存会(恵那市)
- ・「傾城阿波の鳴門 順礼歌の段」 室原文楽保存会(養老町)
- ・狂言「餅酒」 能「羅生門」 能と狂言の保存会(本巣市)

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、恵那市、本巣市、「清流の国ぎふ」文化祭2024本巣市実行委員会、養老町、第27回岐阜県文楽・能大会もとす2024実行委員会

115 岐南地芝居公演 岐南町

開催日 令和6年11月9日(土)～10日(日)

会場 岐南町伏屋獅子舞会館



実施状況

岐阜県重要無形民俗文化財である伏屋の獅子芝居をはじめ、県内の獅子芝居や地歌舞伎、文楽をあわせて上演する公演を開催しました。

9日(土)は岐南町伏屋獅子舞保存会と愛知県一宮市から島文楽保存会が出演しました。獅子芝居と文楽で同じ演目「傾城阿波の鳴門 順礼歌の段」を上演し、見比べ公演を行いました。

10日(日)は関市から関市獅子舞保存会が「仮名手本忠臣蔵 七段目 祇園一力茶屋の場」を、岐阜市から岐阜歌舞伎保存会が「菅原伝授手習鑑 車曳の場」を上演しました。また岐阜歌舞伎保存会と岐南町伏屋獅子舞保存会が協同で「青砥稿花紅彩画 稲瀬川勢揃いの場」を上演し、獅子舞も登場するオリジナルの演出が大変好評でした。

両日ともに幕間に岐阜の地芝居や支える人たちに焦点を当てた解説講演を行ったほか、岐南町有形民俗文化財である伏屋の地芝居衣装や、解説パネルの展示も行い、大変多くの来場者で賑わいました。

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、岐南町、「清流の国ぎふ」文化祭2024岐南町実行委員会、岐南町伏屋獅子舞保存会

116 子ども歌舞伎特別披露 揖斐川町

開催日 令和6年10月20日(日)

会場 揖斐川町地域交流センターはなもも



実施状況

揖斐祭りでは例年5月4日(試案)と5日(本案)に芸軸を舞台に奉納される子ども歌舞伎を、揖斐川町地域交流センターはなももの舞台全体を使って披露し、伝統芸能の魅力を広く発信しました。

揖斐川町の子ども歌舞伎は、100年以上地域の方々によって引き継がれており、上町、下町、中町、下新町、上新町が輪番で「十八番」の外題を上演しています。今回は「いび祭り子ども歌舞伎保存会」と連携し、令和6年の当番町である中町を含む地元の小中学生を中心とした役者9名と、「いび祭り子ども歌舞伎塾」の塾生による義太夫(太夫、三味線、口上)4名が「鏡山旧錦絵」を見事に演じ、訪れた来場者を魅了しました。上演後には、歌舞伎を演じた役者らが来場者をお見送りし、来場者から役者に励ましやお褒めの言葉がかけられました。

また、ロビーにおいて歌舞伎塾展として義太夫教室、歌舞伎メイク、活動写真の展示、フोटスポットを設け、伝統芸能を身近に感じていただくことができました。

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、揖斐川町、揖斐川町教育委員会、「清流の国ぎふ」文化祭2024揖斐川町実行委員会

117 可児歌舞伎公演 可児市

開催日 令和6年11月3日(日祝)

会場 可児市文化創造センターala



実施状況

古くから地元の素人役者達によって神社の祭礼や芝居小屋などで演じられてきた地域に根付いた「地歌舞伎」の公演を開催しました。

第一幕では「白浪五人男・こども版」を上演。可児市内で歌舞伎公演の出演者を公募し集まった市の未来を担う子ども達が、五人の盗賊の活躍を描いた「白浪五人男」になりきり熱演しました。

第二幕では「白浪五人男・おとな版」を上演。市の現在を守る五人男として、市長ら地元代表者が名乗りを自己紹介にアレンジして登場しました。

第三幕では、可児の伝統を受け継ぐ可児歌舞伎が「傾城阿波の鳴門」、通称「どんどろ」を上演。長年にわたり地歌舞伎公演を行ってきた可児歌舞伎による舞台に来場者は釘付けになりました。

可児市ならではの地歌舞伎公演を多くの来場者が楽しみ、市民らが作り上げた素晴らしい舞台に客席からは歓声と拍手が沸き起こりました。

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、可児市、「清流の国ぎふ」文化祭2024可児市実行委員会、地歌舞伎可児市実行委員会

118 中津川地歌舞伎フェスティバル 中津川市

開催日 令和6年10月14日(月祝)～12月1日(日) 会場 中津川市内



実施状況

中津川市内5団体の歌舞伎保存会(蛭川、加子母、常盤座、東濃歌舞伎中津川、坂下)による地歌舞伎の特別公演と、当地域では初めての試みとなる新作歌舞伎を創作し、初披露しました。また、文化財に指定される芝居小屋の特別公開や、地歌舞伎に関する特別展示など、市の地歌舞伎文化のさまざまな魅力を堪能するフェスティバルを開催しました。

地歌舞伎の特別公演では、地元の歌舞伎保存会や住民が一丸となり、芝居小屋などで地歌舞伎公演を熱演しました。また、地域の中山道の歴史を題材に新たな新作歌舞伎を地域と市が連携して創作し、吉例清流歌舞伎中津川公演にて東濃歌舞伎中津川保存会が初披露しました。芝居は、歌舞伎通だけでなく、初めて地歌舞伎を見る方でも、分かりやすく楽しめる内容としたこともあり、来場者の方から大好評をいただく公演となりました。

芝居小屋の特別公開では、普段は見られない舞台裏や大道具などを案内人がガイドしたり、芝居小屋の歴史に関する特別展示なども行いました。また、多くの方が訪れる市の施設である「ひと・まちテラス」などで、地歌舞伎の歴史や道具の展示、絵画の展示会なども開催して、市内外の多くの方に地歌舞伎に触れていただく機会となりました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、中津川市、「清流の国ぎふ」文化祭2024中津川市実行委員会、中津川市内各歌舞伎保存会

119 かしも明治座ー芝居小屋での特別展・地歌舞伎特別公演 中津川市

開催日 令和6年10月14日(月祝)～11月24日(日) 会場 かしも明治座



実施状況

岐阜県指定有形文化財である芝居小屋「かしも明治座」を舞台に、「かしも明治座」130周年の歴史を紹介する特別展や、芝居小屋の見学や体験などができる特別展、地元の歌舞伎保存会による地歌舞伎公演「加子母歌舞伎特別公演」を開催しました。

特別展では、「かしも明治座」130周年の歴史の紹介に加えて、芝居小屋の舞台裏や大道具セット、普段は入れない舞台裏の奈落やスッポンなども特別に公開・案内し、来場者の方に芝居小屋を楽しく、深く学んでいただく機会となりました。

地歌舞伎の特別公演では、地域の小学生から大人まで幅広い年代の男女が役者として参加し、大道具や照明などの裏方も含め、地域住民が一丸となり公演を開催しました。当日は県内外から多くの来場者が訪れ、公演だけでなく名物の朴葉寿司など、地元グルメも楽しみながら地歌舞伎公演を楽しんでいただきました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、加子母歌舞伎保存会、かしも明治座、中津川市、中津川市教育委員会、「清流の国ぎふ」文化祭2024中津川市実行委員会

120 常盤座ー芝居小屋の特別公開・地歌舞伎特別公演 中津川市

開催日 令和6年10月19日(土)～11月24日(日)の土・日曜日 会場 常盤座



実施状況

中津川市の指定文化財である芝居小屋を舞台に、案内ガイドによる特別公開を行いました。

芝居小屋の舞台裏や大道具セット、普段は入れない舞台裏の奈落なども特別に公開・案内しました。また、地歌舞伎の振付のひとつである「見得を切る」をガイドから教えてもらい、ツケ打ちに合わせて花道で実演するなど、地歌舞伎を体で感じる体験なども楽しんでいただきました。

11月10日(日)には地元の歌舞伎保存会による地歌舞伎公演「常盤座歌舞伎保存会特別公演」を開催しました。歌舞伎保存会や地域住民が中心となり、3つの公演を上演しました。

また、常盤座歌舞伎保存会では後継者育成にも力を入れており、地元の子ども達による子ども歌舞伎も上演しました。

当日は県内外から多くの来場者が訪れ、公演だけでなく地元名物の五平餅などのグルメも楽しみながら公演を楽しんでいただきました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、常盤座歌舞伎保存会、中津川市、中津川市教育委員会、「清流の国ぎふ」文化祭2024中津川市実行委員会

121 第23回岐阜県獅子芝居公演 中津川市

開催日 令和6年11月3日(日祝) 会場 かしも明治座



実施状況

岐阜県の獅子芝居公演は、県の伝統文化である獅子芝居の魅力を発信するとともに、伝統文化の保存と承継及び地域文化の発展に寄与することを目的として、平成13年から県内各地で開催しており、中津川市では5年ぶりに開催しました。

獅子芝居は主役の女形が獅子頭を被って芝居を演じる伝統芸能で、江戸時代の中頃に三河地方から伝えられました。獅子頭を被った主役の独特の所作が笑いを誘う、古くから庶民に親しまれた芸能です。

県内5つの保存会が、歴史ある芝居小屋で獅子芝居を披露し、ときには勇ましく、ときにはユーモラスな獅子の動きに、会場に集まった観客が魅了されました。

【演目・出演団体】
 ・ちゅうしんぐらうしだんめ いちりきや ぼ 横道獅子舞保存会(恵那市)
 ・忠臣蔵七段目 一力茶屋の場 横道獅子舞保存会(恵那市)
 ・はいせいあわ なるとしゅんれいうた だん 岐南町伏屋獅子舞保存会(岐南町)
 ・傾城阿波の鳴門 巡礼唄の段 岐南町伏屋獅子舞保存会(岐南町)
 ・せきとりせんりょうのぼりいながわうち だん 白山比咩神社獅子舞保存会(恵那市)
 ・関取千両幟 稲川内の段 白山比咩神社獅子舞保存会(恵那市)
 ・くす ぼひめ こわか 岩村町獅子舞保存会(恵那市)
 ・葛の葉姫の子別れ 岩村町獅子舞保存会(恵那市)
 ・しんれいやぐち わたし 加子母獅子芝居保存会(中津川市)
 ・神霊矢口の渡 加子母獅子芝居保存会(中津川市)

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、中津川市、中津川市教育委員会、「清流の国ぎふ」文化祭2024中津川市実行委員会、第23回岐阜県獅子芝居公演実行委員会、岐阜県獅子芝居協議会

122 三番叟ーいわいごとの舞をめぐって 瑞浪市

開催日 令和6年11月9日(土)

会場 瑞浪市総合文化センター



実施状況

日本の伝統芸能として伝承されてきた祝言の舞「三番叟」に光を当て、舞の上演とシンポジウムを通じて芸能の中にいきづく祈りのカタチを再考することを目的に開催しました。

第1部は、「祝言の舞上演」と題し、瑞浪市内2団体と香川県高松市の認定NPO法人農村歌舞伎祇園座保存会が、舞踊としての三番叟の4上演を行い、さまざまな形の舞が観覧者を魅了しました。

第2部は、「芸能のなかにいきづく祈り」をテーマとしたシンポジウムで、伝統芸能に精通した4名の有識者から、三番叟に関わる興味深い話題を提供いただき、参加者が三番叟の見識を深めるきっかけとなりました。

【プログラム・出演団体】

- 第1部 祝言の舞上演：半原操り人形浄瑠璃保存会(瑞浪市)
鶴城笹踊り育成会(瑞浪市)
認定NPO法人農村歌舞伎祇園座保存会(香川県高松市)
松川流二世家元 松川竜之介(愛知県豊田市)
- 第2部 シンポジウム：安田文吉(南山大学名誉教授・東海学園大学客員教授)
安田徳子(岐阜聖徳学園大学名誉教授)
金子健(武蔵野大学文学部准教授)
小栗幸江(岐阜県地歌舞伎保存振興協議会会長)

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、瑞浪市、「清流の国ぎふ」文化祭2024瑞浪市実行委員会

124 小木棒の手ざんまい 多治見市

開催日 令和6年10月26日(土)

会場 多治見市役所、多治見市立精華小学校、JR多治見駅北口虎溪用水広場



実施状況

江戸時代から多治見市諏訪町に伝わる「小木棒の手」。「小木棒の手」の流派は「無二流」といい、型や姿勢がとてきれいな流派です。棒の手は、県内では多治見市諏訪町にしか伝承されておらず、毎年10月には地元の氏神諏訪神社の祭礼に奉納されます。この技や歴史を今に伝える「小木棒の手保存会」に出演いただき、「小木棒の手」三昧の一日を提供しました。

午前は精華小学校で土曜学習(多治見市教育研究所主催。小・中学生対象)とコラボ。保存会の方々は迫力ある演舞を披露した後、参加した子ども達一人ひとりに演舞指導を行いました。最後に子ども達が習得した技や舞を実演発表し、見事な舞を見せてくれました。

午後の特別披露は、多くの人が行き交うJR多治見駅の北口にある虎溪用水広場に場所を移し、保存会の方々が「小木棒の手」を舞い、演舞しました。観覧席を埋め尽くした方々は、迫力のある舞や大きなかけ声、華麗な技に見入っており、かけ声も飛びほどもでした。一連の演舞が終わった後も拍手は鳴り止まず、特別にアンコールの披露となりました。この伝統神事のすばらしさや歴史の深さを会場のみなさんと共感することのできるイベントとなりました。

【プログラム】

- 午前：土曜学習「わがまち 多治見大好き講座」「小木棒の手」を体験しよう
午後：「小木棒の手」特別披露(出演 小木棒の手保存会)

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、多治見市、多治見市教育委員会、「清流の国ぎふ」文化祭2024多治見市実行委員会

123 地歌舞伎フェスティバル in 下呂温泉 下呂市

開催日 ①令和6年10月20日(日)
②令和6年11月2日(土)～3日(日祝)

会場 ①鳳凰座
②白雲座



実施状況

①鳳凰座では文化祭に合わせた特別公演を行い、県内外から約400名の来場者が訪れました。歌舞伎の上演だけではなく、地域の伝統文化を知ってもらうため、下呂市小坂町の津島神社の獅子芝居も特別出演し、会場を盛り上げました。

【プログラム】

- 第1幕：仮名手本忠臣蔵 七段目 一力茶屋
第2幕：金蔵獅子(津島神社獅子舞)
第3幕：菅原伝授手習鑑 車曳(子ども歌舞伎)

②白雲座では県内外から約700名の来場者が訪れ、海外の方も散見されました。白雲座の子ども歌舞伎には上原小学校の子ども達の出演に校長先生も役者として加わり、会場を大いに盛り上げました。

【プログラム】

- 第1幕：歌舞伎十八番の内 勧進帳
第2幕：菅原伝授手習鑑 車曳(子ども歌舞伎)
第3幕：弁天娘女男白浪 浜松屋店先の場
(3日(日祝)は第1幕と3幕順番入れ替え)

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、下呂市、「清流の国ぎふ」文化祭2024下呂市実行委員会

125 知・創・伝 文化芸能フェスティバル ぎふ雅楽合同演奏会 高山市、本巣市

開催日 ①令和6年11月10日(日)
②令和6年11月17日(日)

会場 ①高山市民文化会館
②本巣市民文化ホール



実施状況

県内の雅楽団体が一堂に会し、53年ぶりとなる「雅楽合同演奏会」を開催しました。飛騨地区、美濃地区の二か所で、全26団体、総勢200名が出演し、両会場ともに多くの来場者にお越しいただきました。また、雅楽の演奏だけでなく、これまでの活動をもとに岐阜県の雅楽について動画で紹介しました。

飛騨地区では8団体が参加し、美濃地区では本巣市立外山小学校の児童が本巣伝承の催馬楽「席田」の大合唱や本巣市立外山小学校の児童らによる「振鈴」の披露など、どちらも日ごろの総合学習の成果を地域に向けて発信する機会となりました。演奏会の最後には出演者全員による「越殿楽大合奏」を行い、岐阜の雅楽を発信することができました。

【プログラム】※飛騨、美濃共通

- 第一部：動画「岐阜県の雅楽」
第二部：岐阜伝承の催馬楽「席田」、「美濃山」
第三部：振鈴三節、迦陵頻、胡蝶、青海波、越殿楽大合奏

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、知・創・伝 文化芸能フェスティバル実行委員会

130 舞台「マカニーとエルド」「赤いアスターと時空の旅」 岐阜市

開催日 令和6年10月19日(土)～10月20日(日) 会場 ぎふ清流文化プラザ



マカニーとエルド



赤いアスターと時空の旅



マカニーとエルド



赤いアスターと時空の旅

実施状況

19日(土)は「マカニーとエルド」公演を開催しました。絵本「そろれっしゃがやってきた」の世界を、老若男女、国籍、障がいの有無に関わらず集まったアーティストが、それぞれの方法で表現し、出演者も観客も、そこにいた誰もがつながり、響き合い、最高の舞台となりました。愛Wishプロジェクト、文化祭応援大使の大前光市氏、ぎふ児童合唱団をはじめ、多くの方に出演していただきました。

20日(日)は「赤いアスターと時空の旅」公演を開催しました。「赤いアスター」の花言葉は「変化」です。時空をこえた先にある、おなじみの物語の世界。その主人公たちに出会うことで成長

していくお話です。手話演技に、字幕、音声などを付け、舞台上の情報保障を充実させた誰もが楽しめる演出で、デフキッズ・プロジェクトに出演していただきました。

どちらの公演も大きな反響を呼び、「マカニーとエルド」を観た方からは、「素晴らしかった」「自分もまだまだ動ける気がした」など、「赤いアスターと時空の旅」を観た方からは、「音楽、ダンス、最高だった」「子ども達が楽しそうに演じる姿に感動した」などの感想をいただきました。

主催 公益財団法人岐阜県教育文化財団

131 清流の国ぎふ芸術祭アート体験プログラム -アートラボぎふ- 特別企画 岐阜市

開催日 令和6年10月19日(土)～20日(日) 会場 岐阜県庁



実施状況

コスチュームアーティスト・ひびのこづえ氏と一緒に、ちいさな生き物のブローチをつくるワークショップでは、2日間で87名に参加いただき、大人も子どもも、真剣にものづくりに励む時間となりました。最初に描いたデザイン画を忠実に再現すること、作品のポイントになる部分は先に手がけること、そして一切妥協をしないことなどを、ひびの氏から教えていただき、個性的で、世界で一つだけの素敵な作品を完成させることができました。

ひびの氏の素敵な衣装を身にまとった2人のダンサーによるパフォーマンス「Rinne」では、2日間で287名に観覧いただきました。コミカルけど妖艶な姿のパフォーマンスに観客は引き込まれていきました。開放感あふれる空間で、突然ダンサーが観客席を歩き回ったり、脱いだ衣装が観客の頭上を漂ったりするなど、出演者と観客の距離感が近く、大人も子どもも楽しんでいただくことができました。

主催 岐阜県

132 演劇の祭典 岐阜市

開催日 令和6年10月19日(土)～11月17日(日) 会場 岐阜市民会館、岐阜市文化センター、みんなの森 ぎふメディアコスモス、ドリームシアター岐阜、アトリエ・ゼロ



実施状況

まちかどの「小さな」劇場から、市民会館のような「大きな」ホールまで、県内外で活動する劇団の公演から、高校生や初めて演劇に挑戦する県民による公演まで、幅広いジャンルと年齢層でエネルギーあふれる舞台を上演しました。

計10作品にのべ3,000名以上の方が来場し、演劇の魅力を肌で感じ、その感動を共有していただくことができました。

【上演演目】

- ・合同公演「『霜夜に紡ぐ』～美濃郡上凌霜隊ものがたり～」
- ・まちかど演劇祭 劇団のりしろ「マーマレードをたっぷりと」
- ・劇団ラッキー・キャッツ「ユリス」
- ・まちかど演劇祭 劇団Du「君がため」
- ・高校合同公演「高校生によるミュージカル劇「ガンバ!」」
- ・朗読劇「浜田広介童話集「ある島のきつね」「泣いた赤おに」「りゆうの目のなみだ」
- ・まちかど演劇祭 劇団やるせない「傷は浅いぞ」
- ・青森県立青森中央高等学校演劇部「もしイタ～もし高校野球の女子マネージャーが青森の「イタコ」を呼んだら」
- ・劇団ジャブジャブサーキット「正劇オセロと貞奴」
- ・まちかど演劇祭 紅茶高専メランジェ「家族ごっこ」

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、岐阜市、「清流の国ぎふ」文化祭2024岐阜市実行委員会、特定非営利活動法人岐阜県演劇協会

133 太鼓の祭典

羽島市

開催日 令和6年10月20日(日)

会場 不二羽島文化センター



実施状況

全国各地から集まった伝統・創作太鼓団体(31団体・421名)が日ごろの練習の成果を存分に発揮し、和太鼓の魅力を広く発信しました。

オープニングは、日本太鼓財団岐阜県支部合同チームによる躍動感あふれる太鼓演奏で始まりました。

第1・2部は、全国から選ばれた太鼓団体が、全国各地でさまざまな歴史や地域文化と共に、継承・発展してきた太鼓演奏を披露しました。

第1部終了後の休憩時間には、舞台上に太鼓体験コーナーを設け、多くの来場者が太鼓の試し打ちを楽しむ姿が見られました。

第3部は、ゲスト団体である志賀疾風太鼓保存会、三代目源流、尾張新次郎太鼓保存会、御諏訪太鼓保存会、九州 音鼓組によるレベルの高い太鼓演奏に、会場全体が魅了されました。

多くの方に来場いただき、大変充実した催しとなりました。

【プログラム・出演団体】
 オープニング：日本太鼓財団岐阜県支部合同チーム
 第1部・第2部：公募団体(26団体)
 第3部：ゲスト団体(5団体)

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、羽島市、羽島市教育委員会、「清流の国ぎふ」文化祭2024羽島市実行委員会、公益財団法人日本太鼓財団

134 いろんなみんなのステージイベント

岐阜市

開催日 令和6年10月24日(木)、11月10日(日)

会場 ぎふ清流文化プラザ



不思議な再会



ゆめぼっけ・スペシャルコンサート

実施状況

県ゆかりの障がいのあるアーティストによる2つのステージイベントを開催しました。

10月24日(木)には、「岐阜ろう劇団いぶき」と「県立長良高等学校演劇部」による手話演劇「不思議な再会」を上演しました。離ればなれになった4人の座敷わらしがさまざまな出会いや別れ、そして再会を経験する物語を手話演劇という形で行いました。手話演劇では、台詞の意味を単に手話で直訳するのではなく、演者自らが表情なども使って全身で表現することで、台詞の持つイメージを情感豊かに伝えます。合同稽古を重ね、表現方法を全員が共有したことで、物語の伝えたいことを来場者に届けることができました。さらに、ピアノ&パーカッション・古田大地氏による手話演技の抑揚に合わせた即興の音楽演奏が舞台を華やかに彩り、誰もが楽しむことのできる唯一無二の舞台公演となりました。

11月10日(日)には、「ゆめぼっけ・スペシャルコンサート」を上演しました。

第1部では、障がいのある演奏家集団「ゆめぼっけ」によるピアノソロ演奏、ピアノ&ボーカル・石塚まみ氏とパーカッション・石川智氏によるデュオのほか、俳優・花田孝文氏扮する「ときめき新聞社」記者の前で、ゆめぼっけのメンバーが得意技を次々に披露する音楽劇「ゆめぼっけの家」により会場を盛り上げました。

第2部では、俳優・中井貴恵氏による絵本の朗読を行い、ピアノの音色とともに絵本の世界を表現しました。

公演の最後は、ゆめぼっけと30名以上のコーラス隊による歌声でラストを飾りました。

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、公益財団法人岐阜県教育文化財団

135 新作!舞踊「関ヶ原」～舞踊家集団「弧の会」とパイプオルガンの共演

岐阜市

開催日 令和6年11月23日(土祝)

会場 サラマンカホール



実施状況

紋付袴で舞う日本舞踊家集団「弧の会」により「関ヶ原合戦」が新たな表現で甦りました。「弧の会」と囃子方集団「若獅子会」は流派を超え新しい日本舞踊の創造を目指す集団。これにサラマンカホールならではのパイプオルガン(演奏:大平健介、作曲:谷川賢作)が交わり、さらに新しい日本の伝統が創造されました。敗者への哀れみ、死者への鎮魂を描き、戦国の世を終わらせ、泰平の時代を切り開いていった時代の転換点「関ヶ原」を12名が舞踊で描き観客を魅了しました。

【プログラム】
 ・創作舞踊「若獅子」
 ・パイプオルガン：バッテリーリア 八長調(J.C.ケルル)
 前奏曲 八短調BWV546(J.S.バッハ)
 ・囃子組曲「鷹と獅子」
 ・新作舞踊「関ヶ原」

【出演】
 日本舞踊家集団 弧の会
 邦楽囃子方集団 若獅子会
 大平健介(パイプオルガン)

主催

サラマンカホール

136 人形劇ア・ラ・カルト in わのうち

輪之内町

開催日 令和6年11月16日(土)

会場 輪之内町文化会館、輪之内町立図書館



実施状況

プロ4団体のほか、岐阜県に隣接する7県、後催県の長崎県及び地元2団体の計14団体の人形劇団が一同に集い、5つの会場で個性豊かで特徴的な人形劇を披露しました。

開会式では、町内子ども園児が合唱を披露し、大きな拍手が送られました。平成11年に岐阜県で開催した国民文化祭を契機に誕生した輪之内町の人形劇団わっふるは、小学生の人形劇団たんぼぼとコラボし、当時の創作人形劇をリメイクし、再演しました。

人形劇団むすび座の「オズのまほうつかい」上演後には、長崎県諫早市への引継式を行い、マスコットキャラクターを交換しました。また、材料を町内の障がい福祉サービス事業所から調達し、親子で楽しめる「タオルわんちゃん作り」ワークショップを開催しました。

中学生がボランティアとして参加したことにより、地元への興味や関心を高め、地域の子どもから大人までが楽しめる人形劇文化を広める機会を提供することができました。

【出演】
 人形劇団むすび座、人形劇団京芸、人形劇団パン、人形芝居燕屋、アマチュア劇団(人形劇団わっふる&人形劇団たんぼぼ 他9団体)

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、輪之内町、輪之内町教育委員会、「清流の国ぎふ」文化祭2024輪之内町実行委員会

137 風流踊フェスタ ～次世代への継承～ 郡上市

開催日 令和6年10月20日(日) 会場 郡上市総合文化センター



実施状況

郡上市8団体(学校2校を含む)に加え、県外からも3団体が出演し、郷土色豊かな風流踊を披露しました。オープニングでは、県立郡上特別支援学校の生徒の和太鼓演奏により盛大に幕を開け、午前の部では秋田県の「西馬音内の盆踊」と新潟県の「綾子舞」、午後の部では京都府の「京都の六斎念仏」と、郡上市の「郡上踊」「寒水の掛踊」「白鳥の拝殿踊り」「白鳥おどり」「石徹白民踊」を披露し、来場者から盛大な拍手が送られました。公演中は、鑑賞の助けとなるようステージ横のスクリーンに曲名や歌詞を表示しました。

また、「次世代への継承」というテーマに基づき、各風流踊の披露では大人と子どもが共演し、会場外のロビーでは、子どもを対象とした継承活動を紹介するパネル展示を行いました。

市内と県外の団体が一堂に会して風流踊を披露することで、出演団体にとっては刺激となり、来場者にとっては、ユネスコ無形文化遺産を含む各地の風流踊を一度に鑑賞できるまたとない機会となりました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、郡上市、郡上市教育委員会、「清流の国ぎふ」文化祭2024郡上市実行委員会

138 民謡・民舞の祭典 高山市

開催日 令和6年10月20日(日) 会場 高山市民文化会館



実施状況

県内の団体を含む11の府県から30団体(個人)総勢550名に参加いただき、「民謡・民舞の伝統を飛騨高山の地から未来へ」のテーマのもと、各出演団体(者)が日ごろの研鑽の成果を存分に発揮し、全国各地の民謡・民舞と、地元飛騨地域の民謡・民舞をお互いに披露し合うことで交流を図りました。

開幕では、高山市内の出演団体が合同で地元の祝い唄「めでた・港」を披露し、華々しい幕開けとなりました。

午前の部と午後の部では、全国の出演団体(者)がそれぞれの地域で受け継がれている民謡・民舞を披露し、演目ごとに大きな拍手が送られました。

閉幕では、市内の出演団体と、民謡・民舞をクラブ活動の中で取り組んでいる児童生徒達が「飛騨やんざ」を披露し、他地域の出演団体(者)や来場者も一緒に踊り、会場が一体感に包まれました。

【プログラム・出演】

開 幕：「めでた・港」5団体
午前の部：公募出演団体(者)11団体(個人)
午後の部：公募出演団体(者)12団体(個人)
閉 幕：「飛騨やんざ」11団体

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、高山市、「清流の国ぎふ」文化祭2024高山市実行委員会、「清流の国ぎふ」文化祭2024民謡・民舞の祭典実行委員会

139 新作オペラ「胡蝶の楽園」 各務原市

開催日 令和6年11月10日(日) 会場 プリニーの市民会館



実施状況

日本を代表するオペラ歌手やプロのオーケストラによる生演奏とともに、各務原市内小学1年～中学2年28名による「ジュニア・アーツ・アカデミー」と、このオペラのために結成した市民を中心とした一期一会の混声合唱団「かかみがはら未来合唱団」が同じステージに立ち、新作オペラを上演しました。

素晴らしい歌唱とともに、音響・照明、舞台美術や衣装など豪華なプロの制作陣により創られた舞台は、聴くだけでなく目で見て楽しむことができました。また、手話を取り入れたり字幕表示を行うことで、障がいのある方にもお楽しみいただける公演となりました。

プロの音楽家の綺麗で迫力ある歌声を間近に感じることができ、共演した市民のみならず大変感動していました。また、プロの出演者からも、「市民と交流する機会となりとても楽しかった」と好評でした。来場者のみなさんには、本格的なオペラを鑑賞できる貴重な機会を提供することができました。

【出演者等】

キャスト：吉田連、和下田大典、村松恒矢、芝野遥香、安江秋、丸尾有香、丹呉由利子、東原貞彦、岡田美優、園田卓也、原優一、吉田叶倫、三浦克次
指揮：坂本和彦 演奏：G・Dream21レディースオーケストラ
合唱：かかみがはら未来合唱団、かかみがはらジュニア・アーツ・アカデミー

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、各務原市、「清流の国ぎふ」文化祭2024各務原市実行委員会、公益財団法人かかみがはら未来文化財団

140 オペラ「カルメン」(オリジナル日本語版公演) 高山市

開催日 令和6年11月24日(日) 会場 飛騨・世界生活文化センター



実施状況

出演者・スタッフ総勢57名で、構想から2年近くに及ぶ練習や舞台、小道具造りなどの準備をして本番を迎えました。観客は出演者・関係者を含め約300名となり、感動と祝福の拍手で場内は歓喜に包まれました。

市民参加型という珍しく、新しいスタイルで開催し、2幕と4幕で踊られるフラメンコは地元の教室で指導している先生方とその仲間たちが演じました。自分達で舞台や衣装を作り、演技も考えてオペラを完成させました。例えば、1幕の兵隊の衣装は参加者の衣装部の方々が製作し、2幕の背景画は絵の得意な参加者が描きました。また、2幕の立ち絵には地元の画家による作品を飾り、3幕には同じ画家による芸術的な月の絵を採用しました。小道具の銃やサーベルも市民が製作しました。さらに観客である市民が親しみやすくするため、オリジナルの日本語だけではなく「めでた」や飛騨弁のセリフ・コントを劇中に取り入れ、観客から絶賛の声をいただきました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、ひだたかやまオペラ

141 清流の国ぎふ創作オペラ(3話) ①「白鮎の祈り」②「風車の涙」③「森の雫」 美濃市、岐阜市、恵那市

開催日 ①令和6年9月8日(日) ②令和6年10月20日(日) ③令和6年11月24日(日)
会場 ①美濃市文化会館 ②岐阜市民会館 ③恵那文化センター



①白鮎の祈り



②風車の涙



③森の雫

実施状況

岐阜県オリジナルの創作オペラは、平成11年に岐阜県で開催された国民文化祭を契機に、県内各地に伝わる民話や伝説、歴史などをテーマにキャストやスタッフ、企画を県民自らがづくり上げ、毎年開催しています。
文化祭では、県内3地域(美濃、岐阜、中津川)に伝わる民話などを基にした創作オペラを上演しました。

【プログラム等】

①「白鮎の祈り」

清流長良川を舞台に、濃尾地震で被災した兄妹の物語。命や自然の大切さ、人間愛をテーマとした創作オペラを、電子オルガンの生演奏により上演しました。

②「風車の涙」

鶯田神社(岐阜市東鶯)本殿に彫られた木彫りの籠にまつわる「尾なし龍伝説」をモチーフに、龍の化身と足の不自由な女の子の物語。30名のオーケストラと日本舞踊を組み合わせ、臨場感あふれる舞台を上演しました。

③「森の雫」

中津川市加子母地域にある「合体木」にまつわる昔話を基にした木曾義仲の奥方とその子どもの義王丸の物語を、ピアノと電子オルガンによる生演奏を加え上演しました。また恵那市制20周年の記念も兼ねた上演としました。

主催

公益財団法人岐阜県教育文化財団、美濃音楽劇の会、白鮎の祈り実行委員会
ランド創作オペラ「風車の涙」実行委員会、恵那音楽劇の会

143 ぎふ市民劇 道三 一斎藤道三の半生一 岐阜市

開催日 令和6年11月4日(月休) 会場 長良川国際会議場



実施状況

岐阜市芸術文化協会会員と有志が集まり、戦国の風雲児で岐阜のまちづくりに貢献した英雄「斎藤道三」を題材とした舞台公演を行いました。演劇・邦楽・邦舞・洋楽・洋舞・合唱といった、さまざまなジャンルが融合した芸術文化を発信しました。

【出演】

・演劇 配役45名、足軽役12名／サクラ ミュージカル カンパニー
・邦楽 三味線：半澤敏彦、筑紫菊友会、和奏楽 津軽三味線 里奏会
箏：箏曲 岐阜正絃社、箏(こと)きらら、
箏曲生田流今尾圭子箏ぐるーぷ
尺八：岐阜県邦楽三曲会
篠笛：現代邦楽会みさと笛 岐阜雅の会
・洋楽 管弦楽：公益社団法人岐阜県交響楽団
ソリスト：加藤くみ子
合唱団：「道三」井之口合唱団
・邦舞 一般社団法人装賀きもの学院、学校法人岐阜済美学院 済美高等学校
・洋舞 モダンダンスワークス 猿(baku)、島田恵舞踊研究所
ca-coダンス工房、dance saltY's

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、岐阜市、
「清流の国ぎふ」文化祭2024岐阜市実行委員会、岐阜市芸術文化協会、
公益財団法人岐阜市教育文化振興事業団

142 飛騨市伝統文化オータムフェスティバル 飛騨市

開催日 令和6年10月27日(日) 会場 飛騨市文化交流センター



実施状況

地歌舞伎や能といった伝統芸能に加え、吹奏楽や合唱、民謡などの飛騨市内の多種多様な文化団体が一堂に会し舞台披露などを行う、飛騨市ではこれまでになかった大きな伝統文化の大会を開催しました。

70周年を迎えた神岡江戸木遣保存会の木遣歌で盛大に開会し、その後、藤橋会による飛騨能「藤橋」、飛騨市文化協会文化少年部による和太鼓や民謡、詩吟などの発表、古川中学校合唱部による「となりのトトロ」などの合唱、飛騨市河合町歌舞伎保存会による「白浪五人男」「釣女」と舞台披露が続き、大トリは古川中学校・神岡中学校吹奏楽部が務め、「銀河鉄道999」などの曲を披露しました。

ホールの外では、古川中学校美術部による作品展示、飛騨市文化協会による呈茶体験や生け花・飛騨独楽展示などの伝統文化親子教室や、古川町商工会・神岡商工会議所による飲食バザー、また、同会場で「㊦ 昔の遊びを伝えよう 伝承遊びフェスティバル」、㊦ ぎふ清流レクリエーションフェスティバル2024」も行われ、大いに盛り上がりました。

市内外の方々に市の伝統文化を発信でき、また、ジャンルも年齢も異なる多様な文化団体同士での交流を生み出すことができたことで、市の文化の新たな発展へ向かっていくきっかけとなりました。

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、飛騨市、
「清流の国ぎふ」文化祭2024飛騨市実行委員会

144 海津市文化フェスティバル 海津市

開催日 【文化祭】令和6年10月19日(土)～31日(木) 【音楽祭】令和6年11月3日(日祝)
【企画展】令和6年10月19日(土)～11月10日(日) 会場 海津市OCT文化センター、
海津市歴史民俗資料館



実施状況

海津市文化協会と協力し、市民による舞台発表や作品展示を行いました。
「音楽祭」では、「かいづっち合唱団」が合唱ミュージカルに初挑戦したほか、このために結成した「海津市民吹奏楽団」が「アルセナール」など7曲を披露しました。最後は「かいづっち合唱団」と「海津市民吹奏楽団」がコラボして2曲披露した後、「世界に一つだけの花」を会場のみなさんと一緒に大合唱して締めくくりました。

「企画展」では、海津市出身の俳人・丹羽百毅の作品を中心に海津市にまつわる俳諧文化を紹介しました。

【文化祭】

舞台発表・作品展示・茶席・花展

【音楽祭】

第1部 「かいづっち合唱団」
第2部 「海津市民吹奏楽団」
第3部 「かいづっち合唱団」・「海津市民吹奏楽団」のコラボステージ

【企画展】

俳諧文化の紹介
美濃派俳諧再和派二十五世道統 丹羽百毅と海津の俳諧文化

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、海津市、
「清流の国ぎふ」文化祭2024海津市実行委員会、海津市文化協会

145 美濃市民文化祭

美濃市

開催日 令和6年10月20日(日)～11月24日(日)

会場 うだつの上がる町並み、
美濃市健康文化交流センター、美濃市文化会館、
吉田工房、町並みギャラリー山田家住宅



実施状況

美濃市内各地でさまざまな文化イベントを開催しました。オープニングイベントでは、花みこしや海外アーティストが製作した衣装をまとった市内園児などによるバレードや、仁輪加、神楽の披露、山車などの展示を行い、多くの人で賑わいました。そのほかにも、音楽や芸術、芸能に触れる機会を提供し、今後の文化の発展に寄与するものとなりました。

【プログラム】

- ・オープニング・タイムスリップうだつの上がる町並み
- ・町並み美術館～寄合アートプロジェクトMINO～
国内外アーティストを招いた美濃和紙の作品展
- ・子どもとアート
和紙を使った作品展示、ワークショップ
- ・ひまわりコンサート
大山大輔氏の演出による「こうもり」とミュージカル「ぞうれっしゃがやってきた」の公演
- ・市民芸能祭
市内20団体による太鼓、詩吟、民謡、箏曲、舞踊、横笛などさまざまな活動発表
- ・第九市民合唱文化祭フィナーレコンサート
大阪交響楽団による演奏のもと、一般募集した市民によるベートーヴェン交響曲第九番「歓喜の歌」の合唱

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、美濃市、
「清流の国ぎふ」文化祭2024美濃市実行委員会

147 オペラ貞奴@恵那峡もみじまつり

恵那市

開催日 令和6年11月10日(日)

会場 恵那峡ウッドデッキ広場



実施状況

オペラ貞奴「大井ダム編」として、コンサート形式で野外オペラ公演を開催し、100年前の大井ダム建造にフォーカスした新たな楽曲を中心に披露しました。各務原市などからソリスト5名と演奏者3名、MC&ナレーション、合唱メンバー10名、名古屋市から作曲家&指揮者、恵那市の合唱グループから6名、映像・音響・会場スタッフ5名が参加しました。また、神奈川県茅ヶ崎市から交流団体のメンバー12名が駆けつけ、エンディング・テーマを一緒に歌い上げました。会場のみなさんも、プログラムに掲載した歌詞を見ながら一緒に口ずさむ様子が見られました。

当日は天候に恵まれ、また恵那市観光協会にも協力いただき、「恵那峡もみじまつり」の会場で、来場者の方々に充実した芸術文化の交流&発信をするイベントとなりました。音楽ステージであると同時に、恵那峡という場所の由来や歴史なども学べる、より深く充実した秋の観光・文化的体験の一日を提供できました。

【プログラム】

- もみじまつりメドレー 編曲：大谷泰史
- オペラ貞奴「大井ダム編」 作曲：菰田尚子

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、
創作オペラ「貞奴」プロジェクト

146 演劇「戦国最強の武将・可児才蔵伝説」

御嵩町

開催日 令和6年10月27日(日)

会場 御嵩町中公民館



実施状況

御嵩町文化協会ステージ発表会の一環として、御嵩座による「戦国最強の武将・可児才蔵伝説」を上演しました。

脚本、演出、出演、舞台スタッフなどを全て御嵩座会員と応援者で担い、3歳から80代までの約20名で、舞台をつくり上げました。

練習は5月からスタート。6ヶ月間で計15回という粘り強い練習を重ね、当日は最高のでき上がりとなりました。

舞台は、御嵩で生まれ戦国最強の武将と言われた可児才蔵の一生を、「才蔵の母が御嵩にたどり着く場」「才蔵が修行に出る場」「才蔵が修行から帰った場」「関ヶ原合戦へ見送る場」「関ヶ原合戦の場」「広島への旅立ちの場」の6場面で構成しました。特に関ヶ原合戦での才蔵の活躍の場面では、観客から「いいぞ」「がんばれ」との声がかり盛り上がりました。また、各場面の紹介スライドを舞台横のスクリーンに映したため、「話がよく分かった」と好評でした。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、
御嵩町、「清流の国ぎふ」文化祭2024御嵩町実行委員会、御嵩町文化協会

148 清流の国ぎふ創作朗読劇「本郷村善九郎」

高山市

開催日 令和6年11月10日(日)

会場 飛騨・世界生活文化センター



実施状況

江戸時代に飛騨国で起きた百姓一揆「大原騒動」を題材に、若きリーダー善九郎の清冽な青春を描いた創作朗読劇「本郷村善九郎」を上演しました。

原作は高山市出身の小説家である江馬修著「本郷村善九郎」、監修は「大原騒動」の歴史研究の第一人者である高山市郷土史家の林格男氏、台本・演出は「みずほ朗読の会 朋」(瑞穂市)代表の三島幸司氏が担いました。

「みずほ朗読の会 朋」を中心に、荘川村芝居開明座(高山市)、劇団ラッキー・キャッツ(岐阜市)、演劇集団紅茶組(岐阜市)、国立岐阜工業高等専門学校演劇部(本巣市)などから集まった10代から80代まで計24名が出演しました。

地域や所属団体の垣根を超えた出演者は、4月から8ヶ月にわたり週1回の稽古を重ねました。また、5月には「大原騒動」ゆかりの地を視察するなど、一緒に舞台をつくり上げることを通じて交流を深め、刺激し合い、台本のセリフに込められた当時の百姓達の心情と真摯に向き合って舞台づくりに励んできました。

午前・午後の2回公演を計508名に鑑賞いただきました。臨場感あふれる音響や照明、そして善九郎ゆかりの地などがスライドで映し出される中、出演者のセリフとナレーションで代官と対峙する飛州三郡の百姓を力強く、かつ情感豊かに演じ、100分間の公演後のカーテンコールでは観客のみなさまから大きな拍手が送られました。

主催 公益財団法人岐阜県教育文化財団

149 岐南町美術展・芸能大会・岐南町文化祭

開催日 令和6年11月2日(土)～4日(月休) 会場 岐南町中央公民館



実施状況

岐南町の文化団体の日ごろの成果を発表する場として岐南町美術展と芸能大会、岐南町文化祭を開催しました。

美術展では岐南町文化協会会員の作品を展示し、絵手紙や己書など多彩な作品が並びました。芸能大会では同会員のほか、町内のクラブサークルや特別出演として、日本伝承アーティストの天風-アマツカゼ-、ピアニスト・大橋千賀子氏が舞台発表を行いました。

岐南町文化祭では、町内のクラブサークルなどの作品展示のほか、作品やパンの即売会、アカペラのミニ発表会なども行い、多彩な作品展示や舞台発表で大変充実したまちの文化祭となりました。

【出展者・出演者】

- ・美術展：(岐南町文化協会) 縁の絵手紙、己書楽笑会
- ・芸能大会：(特別出演) 天風-アマツカゼ-、大橋千賀子
(岐南町文化協会) 岐南町太極拳少林寺クラブ、南音頭保存会、華山会、若扇会、eile、
岐南町伏屋獅子舞保存会、夢飛翔太鼓
(クラブサークル) 岐南篠笛サークル、
太極拳木曜会・リフレ太極拳

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、岐南町、「清流の国ぎふ」文化祭2024岐南町実行委員会、岐南町文化協会、岐南町文化祭実行委員会

151 北方町文化祭

開催日 令和6年11月2日(土)～3日(日祝) 会場 北方町ホリモク生涯学習センターきらり



実施状況

49の団体と個人4名の参加により、美術工芸の部と音楽芸能の部を開催しました。

美術工芸の部(作品展示)では、文化祭に先立ってアートプログラム(体験活動)を開催し、そこで製作した陶芸、木彫り、書道、生け花、とんぼ玉など63名の作品を展示しました。そのほかにも、義務教育学校の児童生徒による書道や絵などの展示、スポーツ少年団のPRコーナーや、編み物や切り絵、糸掛けアートの展示など、さまざまなジャンルの展示があり、訪れた方の目を引いていました。

また、音楽芸能の部では、こども園と保育園の園児達、そして趣味を究める年配の方々による、踊りや剣詩舞、合唱、フラダンス、楽器演奏、書道パフォーマンスなど、華やかで元気なステージを2日間にわたって開催しました。

参加者や来場者がともにつながって、文化の広がりを感じる文化祭となりました。

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、北方町、北方町教育委員会、「清流の国ぎふ」文化祭2024北方町実行委員会、北方町文化協会

150 瑞穂市文化協会祭

開催日 令和6年11月2日(土)～4日(月休) 会場 ココロかさなるCCNセンター、市民センター



実施状況

瑞穂市文化協会に所属するクラブが参加し、展示発表部門と舞台発表部門を開催しました。

展示発表部門では、2日(土)から4日(月休)まで市民センター球技場に作品を展示しました。木彫、日本画、洋画、水墨画、生け花などの作品展示のほか、茶道では立礼式の呈茶コーナーを設けて振る舞いました。

舞台発表部門は、2日(土)、3日(日祝)に演奏、演舞などをココロかさなるCCNセンターのサンシャインホールで披露しました。邦楽、洋楽、伝統古典曲から現代曲、邦舞、フラダンス、太極拳演技など幅広い分野で発表。日ごろの練習の成果を披露し、舞台演出の水準も高く、見ごたえのある舞台となりました。

また、4日(月休)には特別参加として朝日大学体育会吹奏楽部が東海大学付属高輪台高等学校吹奏楽部とのジョイントコンサートを行い、迫力ある曲目で感動的なコンサートとなりました。

【プログラム(参加クラブなど)】

- ・展示発表部門 10クラブ 86作品
- ・舞台発表部門 27クラブ 345名
(特別参加) 朝日大学体育会吹奏楽部30名、
東海大学付属高輪台高等学校吹奏楽部80名

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、瑞穂市、「清流の国ぎふ」文化祭2024瑞穂市実行委員会、瑞穂市文化協会

152 第65回神戸町文化祭

開催日 令和6年10月19日(土)～20日(日) 会場 神戸町中央公民館、町民体育館



実施状況

19日(土)は、教育委員会表彰、青少年健全育成大会、生涯学習講演会を開催しました。生涯学習講演会では、スーパーヒーロー「しおりさん」を講師でお招きし、講演と音楽ライブを行いました。

20日(日)は、文芸ごうど表彰式、地元中学校の吹奏楽部による演奏、町文化団体連絡協議会、ごうどスポーツクラブのチアユースによる学習発表会を開催しました。

また、会場では、両日を通して各種団体の作品展示も行いました。出演者として次世代を担う子どもから年配の方まで、幅広い年代の方が参加し、踊り、民謡、和太鼓など多彩な演目が揃い、絵画、書、生け花など多彩な出展があり、充実した文化祭となりました。

【出演団体】

- 神戸町立神戸中学校吹奏楽部、T・Mピオラ、新舞踊なでしこ、津軽三味線クラブ、神心流吟舞道クラブ、童謡コーラス、チアユースエンジェル、チアユースジュニア、チアユースソルナ、薔薇(ローズ)太鼓クラブ、神戸山王太鼓保存会、神戸ハーモニカファミリー、壽光寿見の会、コーラスメイトローズ、民謡金曜クラブ、歌謡クラブ、神戸町民謡(謡)保存会

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、神戸町、「清流の国ぎふ」文化祭2024神戸町実行委員会

153 池田町文化祭

池田町

開催日 令和6年10月26日(土)～27日(日) 会場 池田町中央公民館



実施状況

池田町内で生涯学習活動を行っている芸術文化団体が、日ごろの研鑽の成果を発表する大きな舞台として開催しました。特に今回は「清流の国ぎふ」文化祭2024の一事業として、張り切って池田町文化活動の魅力を発信に臨みました。また、町内小中学校からの出品もあり、会場所狭しと作品が並びました。

26日(土)は、芸能部門20団体180名が大ホール舞台上で楽器演奏、詩吟剣舞、コーラス、舞踊、ダンス、手話での歌など、さまざまなジャンルの発表を行いました。舞台照明の操作には、町内の県立池田高等学校演劇部の生徒達に携わっていただきました。

また、学習棟では、短歌、洋画、書道や陶芸、東海地方特有の文芸「狂俳」など、10団体109名の力作を展覧し、出品者は訪れた方々と制作の手法や苦労した点などについて話を弾ませていました。

27日(日)は、展示に加え、カラオケ部門109名の歌声が響き、終日賑わいと活気に満ちた2日間を締めくくりました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、池田町、「清流の国ぎふ」文化祭2024池田町実行委員会、池田町文化連盟

154 関市文化祭

関市

開催日 令和6年10月19日(土)～11月24日(日)のうち20日間 会場 関市文化会館



実施状況

盆栽展、菊花展、山野草展、文芸大会、獅子舞大会、邦楽大会、洋楽祭、市民茶会、諸流いけばな展の9部門を、のべ20日間にわたって開催しました。

盆栽展、菊花展、山野草展では関市文化協会の加入団体を中心にそれぞれ丹精込めて育てた作品を展示し、来場者の目を楽しませていました。

文芸大会では、短歌、俳句、川柳、俚謡、狂俳、現代詩、小・中・高校生対象の短歌、現代詩の各部門において県内外から応募があり、表彰式を行いました。

獅子舞大会、邦楽大会では謡曲、詩吟、箏曲、扇舞、獅子舞など日本の伝統芸能を、また洋楽祭では、合唱や吹奏楽、ジャズ演奏、フラダンスなど多彩な演目を披露しました。中学校の合唱部など若い世代の参加もありました。

市民茶会、諸流いけばな展では、日本の伝統文化である茶道、華道を披露し、来場者に心豊かな時間を提供しました。

会期を通して多数の方に参加いただき、市民の方に文化に触れてもらう良い機会となりました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、関市、関市教育委員会、「清流の国ぎふ」文化祭2024関市実行委員会

155 八百津町文化祭

八百津町

開催日 令和6年11月2日(土)～3日(日祝) 会場 八百津町中央公民館・駐車場周辺



実施状況

八百津町文化協会会員のほか、町内自主サークルの作品展示や芸能発表を行いました。書道や水彩画、水墨画や生け花のほか、メルヘン人形や陶芸などさまざまな作品を展示し、協会会員や町内外から訪れた方々の目を楽しませていました。目新しいところでは、ウッドバーニング(電熱ペンを使って木を焦がし、絵や模様を描く技法)の展示ブースがあり足を止める方が多くいらっしゃいました。

また、2日(土)にはコロナ禍の影響から、しばらく休止していたステージ発表会を大ホールにて行い、この文化祭ではお馴染みの民謡やベリーダンスのほか、三味線、太極拳演武、バレエダンスやチアダンスなどバラエティーに富んだ11団体が、日ごろの練習の成果を発揮すべく、一所懸命かつ楽しんで披露しました。観客からは、歓声や拍手などが起こり、多種多様なステージ発表会を楽しんでいました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、八百津町、「清流の国ぎふ」文化祭2024八百津町実行委員会、八百津町文化協会

156 瑞浪市文化祭

瑞浪市

開催日 令和6年11月16日(土)～24日(日) 会場 瑞浪市総合文化センター



実施状況

「第43回瑞浪市中央公民館文化祭」、「第37回瑞浪市文化協会祭」、「瑞浪市中部寿大学学園祭」を同時開催し、期間中の閉館日を除く8日間で1,976名が来場しました。瑞浪市中央公民館で活動する団体などの芸能発表や作品展示により日ごろの成果を発表する機会を提供することで、市内の文化芸術団体の活性化を図ることができました。

16日(土)のオープニングセレモニーでは、中京高等学校ダンス部が、文化祭テーマソング「君が明日と呼ぶものを」に合わせたダンスを披露しました。芸能の部(36団体)では、文化ホールで、合唱やダンス、朗読、演奏など、さまざまなステージ発表、展示の部(29団体)では、ホワイエや展示室などで、陶芸や水彩画といった芸術作品を始め、各団体による数多くの作品を展示しました。

また、マルシェ(7団体)では、アプローチデッキで唐揚げや焼きそば、お弁当などの販売や、キッチンカーによる飲食販売を行いました。

ほかにも土人形の絵付けなどの体験コーナーや市民図書館の職員による本の読み聞かせなど、子どもから大人まで楽しめる盛りだくさんのイベントとなりました。(芸能の部、マルシェ、体験コーナーは期間中の土日のみ)

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、瑞浪市、「清流の国ぎふ」文化祭2024瑞浪市実行委員会

157 岐阜県農業フェスティバル 岐阜市

開催日 令和6年10月26日(土)～27日(日) 会場 OKBぎふ清流アリーナ及び岐阜県庁周辺



実施状況

県外の団体を含む293団体(1,650名)の参加により、県産農畜水産物・加工食品の販売や飲食の提供、県内農業に関する展示や体験を通し、県内農業の現状や将来の方向性を広く発信しました。両日とも天候にも恵まれ、2日間で過去最多の21万7千人の来場者があり大盛況となりました。

【人気のあったコーナー等】

・ひだ・みの屋台横丁、ひだ・みのアグリマルシェ
飛騨牛や飛騨りんご、鮎塩焼きなどを求め、行列ができるなど大変賑わいました。

・OKBぎふ清流アリーナ
全国から50事業者が出展し、「ノウフク商品」をPR・販売した「**全国農福連携マルシェ in ぎふ**」やステージイベントなど、会場は多くの来場者で賑わいました。

・県庁20階清流ロビー

20階からの眺望と、「**ぎふフラワーフェスティバル**」の花き装飾の組合せの景観とともに、栗きんとんやみたらし団子などの県のスイーツを食べていただくなど、多くの来場者に楽しんでいただきました。また、石川県復興応援コーナーと福島県水産物応援コーナーでは、復興に対する声を多くいただきました。

・ひだ・みのキッチンカーコーナー

16台のキッチンカーが出店し、県産いちごを使用したフルーツ飴や岐阜タンメンなどが大人気でした。

主催 岐阜県農業フェスティバル実行委員会

158 全国農福連携マルシェ in ぎふ 岐阜市

開催日 令和6年10月26日(土)～27日(日) 会場 OKBぎふ清流アリーナ



実施状況

農福連携とは、障がい者などが農業分野で活躍することを通じて、自信や生きがいを持って社会参画することを実現する取り組みです。担い手不足や高齢化が進む「農業」と就業機会の確保や賃金向上を目指す「福祉」がWin-Winとなる社会運動を一層広めるため、農福連携により生産された農産物やその加工品を販売するマルシェを開催しました。

岐阜県の事業者14団体を含め、北は北海道から南は九州までの50団体が一堂に会して、「ノウフク商品」の販売や活動PRを行うことにより、出店者からは、「多くの来場者に商品を知ってもらえる良い機会になった」、「他の出店者と交流でき、今後の活動の参考になった」との声をいただきました。

また、県最大級の食と農のイベント「**岐阜県農業フェスティバル**」と同時間開催することにより、21万7千人の来場者に農福連携の魅力を発信し、全国各地の「ノウフク商品」を手に取り、味わって、農福連携の活動を知っていただくことができました。

主催

農福連携全国都道府県ネットワーク、農福連携等応援コンソーシアム、一般社団法人日本農福連携協会、一般社団法人岐阜県農畜産公社、岐阜県

159 「清流の国ぎふ」食文化継承・発展シンポジウム 岐阜市

開催日 令和6年10月27日(日) 会場 岐阜県庁



実施状況

県内外の郷土料理・食文化の継承や現代への活用を啓発するため、「未来へつなごう、地域の食文化」をテーマにシンポジウムを開催しました。

基調講演では(株)イーフード代表・青木ゆり子氏から郷土料理の定義や食文化継承の大切さ、地域振興への食文化の活用例などを講演いただきました。また、愛知淑徳大学教授・日比野光敏氏から岐阜県の郷土料理・食文化や日本料理の特徴などについて講演いただきました。長野県立大学教授・中澤弥子氏には大学での取り組みや長野県の郷土料理について紹介いただきました。

パネルディスカッションでは、中澤氏をコーディネーターに、青木氏と日比野氏にパネラーとして参加いただき、地域ならではの食文化を次の世代へ継承することの重要性について議論が交わされました。

参加者からは、食文化を支える農業や農村の現状を危惧する意見や、今後も郷土料理が継承され続けるか不安だといった意見がありました。

人の暮らしと健康に密接につながる食のあり方について再認識するとともに、食文化を後世につなぐことの重要性やそのために必要な取り組みなど、多くの気づきを得る機会となりました。



主催

岐阜県、一般財団法人自治総合センター

160 茶道の祭典

岐阜市

開催日 令和6年11月17日(日)

会場 風流屋形船、岐阜公園 華松軒、後楽荘、妙照寺、正法寺(岐阜大仏)、地藏寺



実施状況

岐阜市内で活動する6流派(裏千家、江戸千家、表千家、久田流半床庵、久田流和楽庵、松尾流)による茶会を、岐阜城が山頂にそびえる金華山のふもと岐阜公園周辺の寺や料亭などの6会場で、同時開催しました。

のべ1,950名の幅広い年代の方々に来場いただき、着物姿の参加者が岐阜公園周辺を回遊する姿も見られました。「清流の国ぎふ」を共通テーマにした各茶席では、岐阜の秋を感じる食材を使用した和菓子や、県内の陶芸家の茶碗などとともに一服を楽しんでいただきました。

また、裏千家の茶席は「風流屋形船」2隻を会場としました。うち1隻は遊覧を行い、船の上から長良川、金華山、岐阜城など岐阜市ならではの風景と茶の湯を楽しんでいただきました。

来場者からは「他の流派の姿を拝見して勉強になった」「風流屋形船でお茶をいただけることに大変驚き、感動した」など喜びの声をいただきました。

【流派名/会場】

裏千家/風流屋形船、江戸千家/岐阜公園 華松軒、
表千家/後楽荘、久田流半床庵/妙照寺、
久田流和楽庵/正法寺(岐阜大仏)、松尾流/地藏寺

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、岐阜市、
「清流の国ぎふ」文化祭2024岐阜市実行委員会、
岐阜市茶道の祭典実行委員会(一般社団法人茶道裏千家流交会岐阜支部、江戸千家不白会岐阜支部、
一般社団法人表千家同門会岐阜県支部、久田流半床庵岐阜支部、久田流和楽庵、松尾流松蔭会岐阜支部)

161 薬草フォーラム

揖斐川町、岐阜市

開催日 ①令和6年10月30日(水)
②令和6年10月31日(木)会場 ①揖斐川町地域交流センターはなもも
②岐阜グランドホテル

実施状況

①日本の有用植物文化の研究や継承に取り組む、和ハーブ協会代表理事・古谷暢基氏と、故安倍晋三元首相の妻・昭恵氏による講演会とトークセッションを開催し、「薬草は日本の宝であり象徴。文化をプロデュースして、今後も薬草文化を残してもらえたらいい」「伊吹山麓は薬草の種類が豊富。宝庫でもあり、外部からの評価は非常に高い」などのお話をいただきました。

また、会場内では薬草関連商品などを販売し、薬草文化を発信するブースを設置しました。百草茶を試飲した方からは「飲みやすい」「癖がない」などの感想を多くいただき、実際に購入いただきました。

②国際薬膳師であり、タレントの麻木久仁子氏を招き、自身の体験から食の大切さ、薬膳の考え方などについて講演いただきました。

続いて、薬草と深く関わりのある登壇者5名によるトークセッションを開催し、薬草文化を継承することの大切さ、課題や活用方法について熱いトークがくり広げられました。

参加者からは「中身の濃い満足度のいく内容であった」との感想を多くいただきました。

2つのフォーラムを通じて、伊吹山麓の薬草文化の魅力について広く発信することができました。

主催

岐阜県、揖斐川町

162 薬草メニューフェア

揖斐川町

開催日 令和6年10月14日(月祝)～27日(日)

会場 揖斐川町内の飲食店12店舗



実施状況

揖斐川町は伊吹薬草の「宝庫」で、今も暮らしの中に薬草文化が根付いており、文化祭が岐阜県で開催されることをきっかけに、春日地域に伝わる薬草文化を地域の一押しと位置づけたプロジェクトを推進しています。そのプロジェクトの一環として、この機会に「いびがわ」の魅力を堪能してもらいたいとの思いで、町内の飲食店12店舗で薬草を使ったメニューを提供するフェアを開催しました。

また、食事・買い物・体験をするとスタンプが貰え、3カ所でスタンプを集めて応募ハガキで郵送すると、抽選で20名に薬草関連商品をプレゼントするスタンプラリーも行い、町内外から多くの方に応募いただきました。

【飲食店】

・お食事処ふじはし(いび川温泉藤橋の湯) ・お庭caféどんぐり
・かすがモリモリ村リフレッシュ館
・JAいび川Café de Marché笑味ちゃん
・kitchen marco ・シャルキュトリーレストラン里山 ・CafeTEF
・道の駅 夜叉ヶ池の里さかうちレストラン
・谷汲食堂(道の駅 夢さんさん谷汲) ・安兵衛 ・萬屋
・レストラン星のふる里(道の駅 星のふる里ふじはし)

主催

岐阜県、揖斐川町、揖斐川町教育委員会、
いび薬草の里づくりプロジェクト推進協議会

163 薬草の魅力めぐりツアー

揖斐川町

開催日 ①令和6年9月28日(土)
②令和6年10月14日(月祝)会場 ①揖斐川町谷汲緑地公園
②揖斐川歴史民俗資料館

実施状況

揖斐川町では、春日地域に伝わる薬草文化を地域の一押しとして位置づけたプロジェクトを推進しており、人々の生活の中に古くから根差してきた、貴重な資源である伊吹山の薬草文化の魅力を体験できるツアーを9月28日(土)に開催しました。

ツアーでは講師2名と県立揖斐高等学校生活デザイン科の生徒3名が指導者となり、公園内を散策し、薬草を採取するフィールドワークやクラフトコーラのシロップを作る体験を行いました。

参加者は採取した薬草の匂いを嗅いだり、かじったりして「爽やかな香りがする」「スパイスになりそう」などと話していました。クラフトコーラづくりでは、グループで相談しながら薬草を選び、完成したコーラの飲み比べなどを行ったほか、最後にオリジナルラベルを作り、瓶に貼り付けてできあがった、世界で一つのコーラシロップを持ち帰りました。

また、ツアーの一環として10月14日(月祝)に、町内の親子を対象とした薬草親子体験教室も開催しました。47名が参加し、町内で採取されたクロモジを使って塩を作り、町内産のジャガイモで作ったポテトチップスにまぶして親子と一緒に食べる体験を行いました。残ったクロモジ塩は参加者へのプレゼントとなりました。

このツアーを通じて、町の薬草の魅力を発信することができました。

主催

岐阜県、揖斐川町、いび薬草の里づくりプロジェクト推進協議会

164 揖斐川歴史民俗資料館 薬草文化展

揖斐川町

県内各地

開催日 令和6年10月14日(月祝)～11月24日(日) 会場 揖斐川歴史民俗資料館



実施状況

伊吹山麓の揖斐川町春日地域では多くの薬草が自生しており、古くから薬草を採取、利用・活用、保護し、生活に取り入れられてきました。その現代にも受け継がれる薬草に関する歴史や文化を紹介する「薬草文化展」を開催しました。

「伊吹山と薬草と春日」、「資料から見る薬草と春日」、「薬草の採取と利用」、「薬草の活用」をテーマとした解説パネル、現存する資料や民具などの展示を行いました。また、これまで揖斐川歴史民俗資料館などが収集した薬草に関する映像や画像も放映しました。乾燥させた薬草も手に取れるように置き、薬草を見て、触れて、匂いを感じ、学ぶことができる展示となりました。

資料館施設内にある「徳山民家」では、「動く信長」と題し、囲炉裏端に映像で信長が現れ、薬草について語るコーナーも設け、幅広く薬草文化を知っていただくきっかけとなりました。

11月2日(土)には、「「薬草の里 春日」に関わるひと・もの・こと」と題した講演会を開催するなど、期間中を通じ、揖斐川町の「薬草文化」を広く発信しました。

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、揖斐川町、揖斐川町教育委員会、「清流の国ぎふ」文化祭2024揖斐川町実行委員会

165 小瀬鵜飼の実演

関市

開催日 令和6年11月3日(日祝) 会場 せきてらす



実施状況

関市小瀬の長良川河畔にて行われる小瀬鵜飼が「せきてらす」に出張し、小瀬鵜飼で鵜匠代表を務める足立太一氏が鵜飼の実演を行いました。実演は午前1回午後1回の計2回行い、計100名以上の方が見学しました。

実演では、まず足立氏が小瀬鵜飼の紹介や、鵜飼に使われる道具の説明をしました。その後、実際に鵜を操り、鵜が鮎を獲る様子を披露しました。鵜が鮎を飲み込む場面や鵜匠の手縄さばきといった、日ごろ近くで見ることができない鵜飼を間近で見ることができた参加者は、鵜飼の様子を熱心に見たり、写真に収めたりしていました。鵜が鮎を獲った瞬間は参加者から歓声が沸き上がり、会場が盛り上がりました。また、鵜匠による実演終了後、子ども達にも手縄を握らせ、鵜飼を体験する場面もありました。

会場では小瀬鵜飼に関する説明パネルや鵜飼道具展示も行い、小瀬鵜飼に対する理解の向上や魅力発信ができるイベントとなりました。

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、関市、「清流の国ぎふ」文化祭2024関市実行委員会

166 「清流の国ぎふ」鮎料理フェア

開催日 令和6年7月16日(火)～11月29日(金) 会場 県内の参加店(71店舗)



実施状況

「鮎」は岐阜の文化に不可欠であり、特に長良川の澄んだ水の中で育つ鮎は、流域の「食」のみならず、伝統文化、歴史、経済と相互に深く結びつきながら維持・継承され、平成27年には「清流長良川の鮎」として、世界農業遺産に認定されました。

この「鮎」を使った鮎料理は、定番の塩焼きをはじめ、甘露煮、鮎雑炊、うるか(鮎の塩辛)など、清流とともにある岐阜の長い歴史の営みの中で培われ、岐阜県の「食」に深く根付いた誇るべき文化の一つです。

この鮎の食文化の一層の発展と、その発信を図り、鮎の消費拡大とブランド力の向上を加速させるために、県内で鮎料理を提供する飲食店などを募集・登録しました。

今回のフェアでは、71店舗の鮎料理店がそれぞれ自慢の鮎料理を提供し、のべ10万人以上の方に来場いただきました。

主催

岐阜県、世界農業遺産「清流長良川の鮎」推進協議会

167 食育の啓発展示

岐阜市

開催日 令和6年10月26日(土)～27日(日) 会場 OKBぎふ清流アリーナ



実施状況

岐阜県は、山と清流に恵まれた自然豊かな地域であり、県内各地の自然の恵みである産物を上手に活用し、風土にあった食べ物として郷土料理が食べられてきました。そして、歴史や文化、食生活とともに受け継がれています。

この食育啓発展示は、第4次岐阜県食育推進基本計画に基づき、伝統的な食文化に関する興味や関心を高め、郷土料理の魅力を発信することで、地域に伝わる多様な食文化を次世代へ継承することを目的に行いました。

郷土料理の調理・動画撮影は、岐阜県食生活改善推進員協議会の協力により制作しました。

参加者からは、「わかりやすい動画を参考に、家でも作ってみたい」「懐かしい。子どものころに食べていた」などの感想をいただきました。

主催

岐阜県

168 ぎふの味・伝承名人認定コンクール作品展示 岐阜市

開催日 令和6年10月26日(土)～27日(日) 会場 OKBぎふ清流アリーナ



実施状況

「岐阜県農業フェスティバル」の会場において、ぎふの味・伝承名人の認定式を開催するとともに、同名人の調理した作品の展示を行いました。

「ぎふの味・伝承名人認定コンクール」は、その前哨戦である調理技術コンクールにおいて上位入賞された方に出場資格が与えられ、岐阜県の特産品をテーマとした料理を2時間30分以内に調理し、最も優秀な成績を収めた方を「ぎふの味・伝承名人」に認定しています。名人には、これまで42名の方を認定し、ホテル、旅館、レストランなどで、岐阜の味を大切にしながら、調理技術の向上に尽力いただいています。令和6年度のぎふの味・伝承名人認定コンクールは、飛騨牛を主材料、岐阜県産の野菜を副材料とするテーマで、8月6日に開催され、9名の参加者の中から林志織氏が選ばれました。

認定式では、林氏から、献立作成や使用した材料について、工夫したことなどをお話いただきました。また、会場には名人4名の作品を展示し、来場者は作品を興味深く鑑賞し、名人の調理技術の高さに感心する姿が見られました。

【作品を展示したぎふの味・伝承名人】

平成23年度認定	(学) 石井学園城南高等学校	所大治
平成26年度認定	(株) 岐阜グランドホテル	谷口祐之
令和2年度認定	(株) 岐阜グランドホテル	中井滉平
令和6年度認定	(学) 石井学園城南高等学校	林志織

主催 岐阜県

169 ぎふカルチャーマルシェ 岐阜市

開催日 令和6年11月3日(日祝)、16日(土)、23日(土祝)、24日(日)、30日(土) 会場 みんなの森 ぎふメディアコスモス



実施状況

地元アーティストの音楽イベントや、喫茶や焚き火といった地域文化にまつわる体験型イベントを行い、来館者に多様な文化を楽しんでいただきました。

「メディコス1DAY喫茶」では、広場でコーヒーを中心としたマルシェを開催し、館内でも、喫茶文化にちなんだ食品サンプルづくりやボードゲームイベント、バリスタ体験などのイベントを開催。子どもから年配の方まで幅広い年齢層の来館者が喫茶文化に触れ、楽しみました。

「夜のメディコスに明かりを灯そう!」では、広場でスカイランタンと焚き火イベントを開催しました。スカイランタンは家族連れを中心に130組、計250名の参加者がワークショップと点灯式を楽しみました。焚き火は当日参加可能で、初対面の方向士が焚き火を囲んで笑顔で語り合う姿が見られ、焚き火とスカイランタンの灯りが夜の会場を彩りました。

「ミチクサコスモス」では、広場でキッチンカーをはじめ約50店舗が出店しました。特設ステージも設け、子ども向けの本の読み聞かせやキッズダンス、岐阜を拠点に活躍するアーティストによる音楽ステージも開催し、子どもから年配の方まで幅広い年齢層の来館者に音楽文化に触れていただきました。

「おうちごはんマルシェ まるごと食べよう in メディコス」では、広場に約10店舗が出店するとともに、調味料づくりや防災クッキングなどのワークショップを通して、来場者に多様な食文化を体験していただきました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、岐阜市、「清流の国ぎふ」文化祭2024岐阜市実行委員会、みんなの森 ぎふメディアコスモス自主事業実行委員会

170 市民大茶会 各務原市

開催日 令和6年11月3日(日祝) 会場 各務原市民公園



実施状況

茶道の一連の所作「点前」と「野点」を通じて、参加者に日本の伝統文化を体験していただきました。

「点前」では、子ども達を対象に、茶道の基本的な所作を学ぶ機会を提供しました。茶碗の持ち方や、お茶を点てる際の丁寧な動きに触れ、茶道の細やかな心遣いや美しさを実際に体験していただきました。子ども達が自分の手でお茶を点てることで、より深く日本文化への理解を深めていただくことができました。

また「野点」では、参加者にお抹茶とお菓子を提供し、自然の中でのお茶のひとときを楽しんでいただきました。野外という開放的な環境で、参加者は風や緑を感じながら、お茶とお菓子をゆったりと味わっていました。茶道の厳格な形式にとらわれることなく、リラックスした雰囲気でお茶文化を体験していただける貴重な機会となりました。

「点前」を通じて子ども達は茶道の所作を学び、「野点」では自然の中での茶の楽しみ方を体験することができ、日本の伝統文化に触れる素晴らしい機会となりました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、各務原市、「清流の国ぎふ」文化祭2024各務原市実行委員会、各務原市茶華道連盟

171 食品の安全・安心シンポジウム 岐阜市

開催日 令和6年11月13日(水) 会場 岐阜県庁



実施状況

県民との食品の安全と安心に関するリスクコミュニケーションを図るため、岐阜県と岐阜市が共催でシンポジウムを開催しました。シンポジウムのテーマは「食品添加物」で、会場には70名、webでは56名の方に参加いただきました。基調講演として内閣府食品安全委員会元委員の川西徹氏をお招きし、専門家の立場から「食品添加物の安全性評価」についてお話しいただきました。

また、県と市の食品衛生担当者から、それぞれ県内、市内に流通する食品添加物の適正使用に関する取組み状況を説明しました。その後、3名と参加者とのパネルディスカッションを行いました。参加者からはさまざまな質問や意見をいただき、食品添加物に対する関心の高さが伺えました。

アンケートでは、「食品添加物の規制について基本的なことがわかった」「県や市の取組みを知り安心した」などの感想をいただきました。

主催 岐阜県、岐阜市

172 食品ロス削減啓発ポスター・標語展示

可児市

開催日 令和6年10月15日(火)～31日(木) 会場 バロー人材開発センター嫩葉舎



実施状況

2015年に国連で採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」において、2030年までに一人当たりの食料廃棄を半減させる目標が定められました。日本の食品ロス量は、年間472万トン、毎日、大型トラック(10トン車)約1,290台分の食品を廃棄しています。

岐阜県では、食品ロス削減のため、平成30年度から「ぎふ食べきり運動」を推進しています。また、令和4年3月に「岐阜県食品ロス削減推進計画」を策定し、行政、事業者、消費者、関係団体などによる取組みを促進するとともに、各主体間の連携強化を図ることで、「オール岐阜」による食品ロス削減の取組みを行っています。

令和6年度も、中・高校生が日ごろの食生活において食品ロスの問題を自分事として考え、削減に向けて行動していただけるよう、食品ロス削減推進のためのポスター・標語を募集し、10月の「食品ロス削減月間」にあわせて、入賞者の表彰式と、入賞作品(ポスター・標語)の展示を行いました。

主催 岐阜県

173 調理技術コンクール

可児市

開催日 令和6年10月17日(木) 会場 可児市文化創造センターala



実施状況

(一社)岐阜県調理師連合会では、県内の料理店、ホテル、旅館及び調理師専門学校などで働く調理師が、日ごろ職場において錬磨した技術を披露し、その真価を問うとともに、調理技術の向上を図ることを目的として、毎年、調理技術コンクールを開催しています。

43回目を迎える今回は、主材料に「岐阜県産の鮎」、副材料に「岐阜県産の野菜」の使用を課題とし、県内各地から32作品の出品がありました。

日本料理、西洋料理、鮎食、麺定食、中華料理、仕出し弁当、給食の部門ごとに、料理の専門家など7名が厳格に審査を行い、16作品が受賞しました。

コンクール会場には、県産食材の良さを生かすためのさまざまな工夫が凝らされた、秋を感じるすばらしい作品が並べられました。

多くの来場者が感銘を受けており、県内の調理技術レベルの高さを広く示すことができました。

【上位入賞者】

岐阜県知事賞	(株)岐阜グランドホテル forty three	吉倉佑真(日本料理)
岐阜県議会議長賞	日本料理いこい ホテルグランヴェール岐山	井藤郁人(西洋料理)
		丹羽孝文(日本料理)
		高見悠花(西洋料理)

主催 一般社団法人岐阜県調理師連合会

174 里山収穫祭

美濃加茂市

開催日 令和6年10月19日(土)～20日(日) 会場 ぎふ清流里山公園



実施状況

ぎふ清流里山公園内の畑で育てられた農作物を収穫し、食べることができるイベントを開催しました。

収穫の際には生産者から正しい方法やどのような思いで育てたかを直接聞くことができ、貴重な体験の場となりました。清流長良川あゆパークの協力のもと開催した「あゆのつかみ取り」では、子どもも大人も一生懸命にあゆを追いかけて、服を濡らしながら楽しんでいました。つかみ取りの後は塩焼きにしたあゆを食べ、改めてあゆの魅力を感じていただきました。

また、さつまいも、しいたけ、ローゼルの収穫体験、飯ごう炊さんでのカレー作りも行い、県内を中心に愛知県からも多くの方が訪れ、家族と一緒に自然と生き物に触れる体験を楽しむ様子が見られ、大変賑わいのあるイベントとなりました。

【プログラム】

あゆのつかみ取り
蜂屋柿でつくる干し柿づくりと収穫体験
さつまいもの収穫体験と焼き芋づくり
飯ごう炊さんでカレー
原木しいたけ収穫体験とピザづくり体験
ローゼル収穫体験
里山しいたけの森収穫体験

主催 ぎふ清流里山公園

175 上之保ゆず祭り

関市

開催日 令和6年11月24日(日) 会場 上之保温泉ほほえみの湯 第2駐車場周辺



実施状況

関市上之保地区のみなさんが日ごろの活動の成果を発表するとともに、特産品のゆずをPRするためのイベントを開催しました。

ステージでは地元小学校、保育園の演舞、地元有志のバンドや音楽団体、市内ダンスチームによるショー、関市立関商工高等学校吹奏楽部など多彩な音楽やダンスの披露により、来場者との一体感のあるイベントとなりました。

また、ゲスト歌手の今井咲希氏、清水たま希氏による演歌歌謡ショーも開催し、プロの歌声に会場もとても盛り上がりしました。

出店コーナーでは収穫したての「ゆず玉」を販売し、ゆずの生しぼり体験は昼過ぎには完売するほどの大盛況でした。ゆずからあげ、ゆずを使ったお菓子、ゆずうどん、へぼ(クロスズメバチ)ご飯、あまご塩焼きなどに行列ができ、来場者が美味しそうに頬張る姿が見られました。

そのほかにも隣接するグラウンドでは、ゆずのタネを何メートル吹き飛ばせるかを競う「ゆずの種飛ばしに挑戦!」、ゆずの重さを予想する「山盛りゆず重量?を当てよう!」、グラウンドゴルフでスコアを競う「ホールインワンをねえ!」、ニュースポーツを体験する「モルックに挑戦!」などバラエティーに富んだスポーツイベントを家族で楽しむ姿が見られました。

主催 文化庁・厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、関市、「清流の国ぎふ」文化祭2024関市実行委員会、上之保ゆず祭り実行委員会

176

わいわい館マルシェ

御嵩町

開催日 令和6年11月24日(日)

会場 御嶽宿わいわい館



実施状況

御嶽宿・伏見宿などを中心とした御嵩町の歴史や文化、魅力を広く発信するため、中山道御嶽宿内にある「御嶽宿わいわい館」でマルシェを開催しました。

当日は秋晴れで天候にも恵まれ、4組の出演者がパフォーマンスで会場を盛り上げたほか、来場者特典として、「御嵩町のシンボルキャラクター・ミーモクんのステッカープレゼント(先着50名)」「お子様特典お菓子釣りゲームに挑戦!」「御嵩町の特産品「みたけのええもん」が当たる!ガラボン抽選会」など、盛りだくさんの内容で秋の御嶽宿でのイベントなどを楽しんでいただきました。

地域の方々を中心に約300名に会場いただき、御嵩町の魅力を発信することができました。

【プログラム(出演団体)】

- ・健康体操(MTK48)
- ・オカリナ演奏(オカリナ萌)
- ・津軽三味線&民謡(遊酔)
- ・よさこい鳴子踊り(響艶)

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、御嵩町、「清流の国ぎふ」文化祭2024御嵩町実行委員会、御嵩町観光協会

177

霜月茶会

高山市

開催日 令和6年11月17日(日)

会場 茶の湯の森



実施状況

4年ぶりの市民茶会(抹茶席・煎茶席)を開催し、250名の方に来場いただきました。

気軽にお茶を楽しめるよう、茶席内の片側には正座席、向かい側に椅子席を設けたため、みなさんに喜んでいただきました。別席(立礼席)では屋外から直接入席できるようスロープがあり、車椅子の方にも安心してお願いいただきました。

また、茶道の作法にとどまらず、茶器説明など、講師の説明を熱心に聞く来場者の姿が見られました。庭を眺めながら、子どもから大人まで幅広い世代の方がお茶を楽しんでおり、世代を超えて茶道に触れていただく良い機会となりました。

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、一般社団法人茶道裏千家淡交会飛騨支部

178

食育ボランティアと連携した郷土食を紹介するパネル展

各務原市、大垣市、美濃市、多治見市、高山市 他

開催日 令和6年10月1日(火)～11月29日(金)

会場 岐阜保健所、西濃保健所、関保健所、可茂保健所、東濃保健所、恵那保健所、飛騨保健所



実施状況

岐阜県では、第4次岐阜県食育推進基本計画に基づき、伝統的な食文化に関する興味や関心を高め、郷土料理(地域の食文化)の魅力を発信することで、地域に伝わる多様な食文化を次世代へ継承する取組みを進めており、「つなごう郷土の食」をテーマに食育ボランティアと連携した郷土料理を紹介するパネル展を開催しました。

参加者からは、「岐阜県の地域ごとにいろいろな郷土食があることが分かり、勉強になった」「米を使った郷土料理が多いのは、岐阜の美しい自然が美味しいお米を作っているからだと分かった」などの感想をいただきました。

食を通した健康づくりのために食育ボランティアとして地域で活動している方々と一緒に、昔ながらの調理方法も大切にしながら、より簡単に調理できる方法も紹介することで、郷土料理を次世代につないでいく活動となりました。

主催

岐阜県



179 ぎふ木育オータムイベント

岐阜市

開催日 令和6年10月15日(火)～11月24日(日) 会場 ぎふ木遊館



実施状況

【オータムフェスタ】

11月16日(土)に、俳優であり文化祭応援大使の竹下景子名誉館長とギタリスト・伊藤智美氏をお招きして、県立岐阜農林高等学校の生徒と共演する「森の音楽会」、同校生徒や森林総合教育センター(愛称: morinos)、当館スタッフによる森の恵みを活用した体験メニュー、飛騨高山のからくり屋台「指南車」の展示などを行い、岐阜県の自然や文化を感じられる特別な一日を演出しました。

【子ども将棋塾】

10月19日(土)に、岐阜市在住のプロ棋士・宮嶋健太四段をお招きし、木を使った日本の伝統文化「将棋」で遊ぶ「ぎふ木遊館 子ども将棋塾」を開催しました。宮嶋四段から将棋の基本的なルールを教わりながら、参加者一人ひとりと多面指しを行い、交流を深めながら将棋について学びました。参加した子ども達は宮嶋四段に果敢に挑戦し、将棋を楽しんでいました。

【木育プログラム】

10月15日(火)から11月24日(日)にかけて、一本の木を刃物で削って製作する木のスプーンづくりや木のおもちゃを使った遊びのメニューなどを行い、子どもから大人まで幅広い世代に「ぎふ木育」を体験していただきました。

主催 ぎふ木遊館

180 華道の祭典

岐阜市

開催日 令和6年10月26日(土)～31日(木) 会場 岐阜メモリアルセンター



実施状況

日本の伝統文化であるいけばなの展示会を、岐阜県華道連盟に加盟する12流派※約630名と、(公財)日本いけばな芸術協会の華道家元クラスの10名により行いました。祭典の期間を前期と後期に分け、各期10歳以下の子どもから80代までの幅広い年齢の320名が、伝統的な形式や現代的なスタイルなどさまざまな作品を展示しました。

会場の入口正面に、「飛山濃水」という岐阜を象徴する言葉に因み、山と川をイメージした竹のオブジェの「迎え花席」を設け、来場者の方々に岐阜県産のバラや鉄砲ゆり、アルストロメリアなどの中から好きな花をいけていただくという試みを行い、大勢の方々と一つの花席を完成させることができました。会場内は、親子連れや友人と来られた方などで連日賑わいました。

また、26日(土)、27日(日)には、身近な場所に花を飾ることの魅力を知っていただくために、いけばな体験教室を開催しました。講師の指導のもと、高校生以下を中心に、いけばなを体験し、花をいける楽しさや、魅力を発見していただきました。各日用意した花が終了予定時間より前になくなるほど盛況でした。

※池坊、小原流、専正池坊、日本生花司松月堂古流、嵯峨御流、遠州流、草月流、華道則天門、末生流、正統則天門華道、千家古流、千家紫野流

主催 文化庁・厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、岐阜市、「清流の国ぎふ」文化祭2024岐阜市実行委員会、岐阜県華道連盟

181 秋のローズフェスティバル

可児市

開催日 令和6年10月19日(土)～11月10日(日) 会場 ぎふワールド・ローズガーデン



実施状況

世界最大級のバラ園の魅力をPRし、多くの来場者楽しんでいただくため、秋のバラの見ごろに合わせて「ローズフェスティバル」を開催しました。

主な見どころとして、四季咲きのバラに加えて北の大花壇にガーデンマム(菊の品種)を配置し、見ごたえ十分の花壇となりました。イベント前半にはこの夏の残暑による影響で遅咲きとなった彼岸花、後半にはコスモスが満開となり、多くの方が足を止めて写真を撮っていました。

また、期間中は19のイベントを行い、特に有名人種家をお招きしてのイベントは大変大きな反響をいただきました。(10月19日(土) 木村卓功氏 トークイベント)

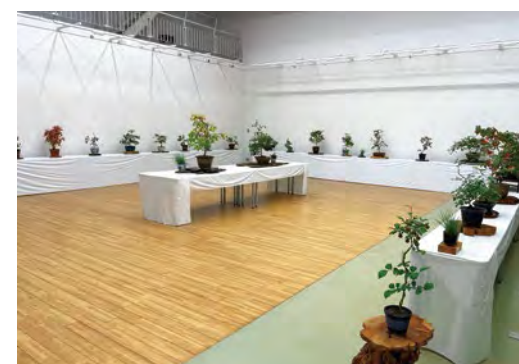
そのほかにもクラフトや押し花などの体験教室や、ハロウィン期間には子ども向けイベント「KABOCHA WonDERland」など、幅広い年齢層の来場者楽しんでいただきました。

主催 ぎふワールド・ローズガーデン

182 盆栽展

可児市

開催日 令和6年10月19日(土)～20日(日) 会場 可児市文化創造センターala



実施状況

来場された方々に、奥深い盆栽の世界と魅力を身近に感じていただけるような展示を行い、個性豊かで特徴的な数々の作品の中から、岐阜県で親しまれ、秋が見ごろとなる「梨」や「老鴉柿」を多く展示しました。この「老鴉柿」は、幹肌、枝性、葉性、果実の大小・形状・色彩など多様な変化や美しさを感じられるもので、盆栽の新たな魅力と可能性を引き出しました。

盆栽は、病気や害虫に気をつけながら、植え替えや芽摘み、剪定などを長年にわたり行い、作者の想いが込められ、作品が完成します。今回の盆栽展では、すでに盆栽を楽しんでいる方、これから盆栽を始めてみたいという初心者の方にも分かりやすく紹介し、盆栽が繰り出す多彩で圧倒的な雰囲気に入る特別な時間を共有することができました。

主催 文化庁・厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、可児市、「清流の国ぎふ」文化祭2024可児市実行委員会、盆栽展可児市実行委員会

183 いけばな「昔と今と」 美濃市

開催日 令和6年11月16日(土)～22日(金) **会場** 美濃市健康文化交流センター、旧今井家住宅・美濃史料館、美濃和紙あかりアート館、吉田工房、町並みギャラリー山田家住宅



実施状況

(一社)日本華道連盟所属19名(6都県、7流派)、美濃市茶華道連盟9名による67杯の作品を展示しました。
美濃市ならではの展示となるよう、花器は「美濃和紙用具ミュージアムふくべ」に収蔵されている民俗資料を使用しました。市民から寄附を受けた農具や和紙生産用具などを使用した美濃市らしい展示となりました。
また、16日(土)は池坊鳳秀流2世家元・長田華鳳氏による講演「室町・戦国時代を通じての生活文化」といけばな松風家元・塚越応駿氏、古流香和会副家元・井口理友氏によるライブパフォーマンスを行いました。
講演会・ライブパフォーマンスは200名が観覧、美濃市美濃町伝統的建造物群保存地区内の展示施設には4,318名もの方が訪れ、大変充実した催しとなりました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、美濃市、「清流の国ぎふ」文化祭2024美濃市実行委員会

184 裏木曽の森林文化伝承の集い 中津川市

開催日 令和6年10月27日(日) **会場** アートピア付知交芸プラザ、付知峡



実施状況

古来、この地域で育った木曽ヒノキは、奥山で伐採され川を下り伊勢湾へ運ばれ全国に供給されており、その裏木曽地域の森林文化や歴史的背景を学ぶ講演会を開催しました。
古の林業「木曽式伐木運材図会(講師:井上日呂登氏)」の講演では、山の傾斜や水の力を利用し、奥山から伊勢湾へ巨木を運ぶ人の知恵と技術を知ることができました。また、「御杣山の変遷と御樋代木奉曳の沿革(講師:音羽悟氏)」の講演では、伊勢神宮の式年遷宮用材の調達やお木曳、社殿の造営など、日ごろ知り得ることのない事柄を知っていただくことができました。
森林文化パネル展では、大正時代から昭和初期にかけての林業の現場や木材輸送を担った森林鉄道などを写真パネルで紹介しました。
裏木曽古事の森散策会では、裏木曽古事の森ツアーガイドの案内で、紅葉する付知峡の散策を行いました。また、伝統技法「ミツ緒伐り」見学会では、裏木曽ミツ緒伐り保存会が斧を使い大木を伐倒する実演を行い、裏木曽の森林文化に触れていただくことができました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、千年の森磨き上げ実行委員会、中津川市、「清流の国ぎふ」文化祭2024中津川市実行委員会

185 ぎふの花でおもてなし花飾り 岐阜市、大垣市、関ヶ原町、各務原市

開催日 令和6年7月31日(水)、10月14日(月祝)～21日(月)、11月9日(土)～24日(日) **会場** 岐阜メモリアルセンター、長良川国際会議場、岐阜グランドホテル、岐阜県庁、アクティブ G、ぎふ木遊館、ぎふ清流文化プラザ、ソフトピアジャパン センタービル、岐阜関ヶ原古戦場記念館、岐阜かかみがはら航空宇宙博物館



実施状況

県内の花き文化団体など8団体・企業(出展者31名)と協働し、令和6年夏に開催された清流の国ぎふ総文2024(第48回全国高等学校総合文化祭)や文化祭の各会場(開閉会式会場など)、岐阜の玄関口となるJR岐阜駅(駅前広場、アクティブ G)に、来場者をおもてなしするための花飾りを設置し、県産の花きのPRや、「ぎふの花き文化」の発信を行いました。
文化祭会場では、県産のフランネルフラワー、ミニバラ、ポットマムを植え込んだプランターを会場内や沿道に設置したほか、県産のフランネルフラワーやバラ、トルコギキョウなどを活けた壺花やテーブルフラワーを室内に設置しました。
また、JR岐阜駅では、寄せ植え、ハンギング・バスケット、菊人形など県内の愛好家団体などによる大型のフラワーディスプレイのほか、県産鉢花を使用した室内装飾などを設置しました。
来場者が花飾りの前で足を止めて眺めたり、写真を撮ったりする様子などが見られ、県産花きや「ぎふの花き文化」を知ってもらおう絶好の機会となりました。

主催 岐阜県

186 ぎふ木遊館 ギャラリー企画展 岐阜市

開催日 令和6年10月18日(金)～12月8日(日) **会場** ぎふ木遊館



実施状況

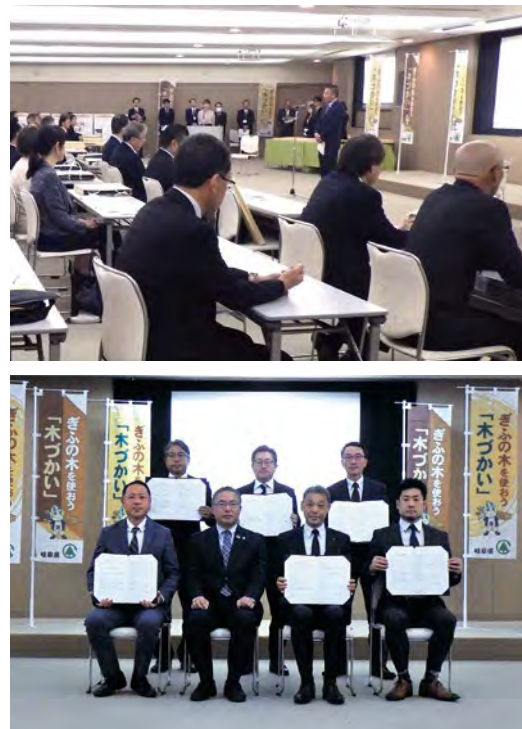
ぎふ木遊館には、岐阜県の豊かな森林や木と共生する文化などを紹介する「ギャラリー」があり、今回、「中津川市 森の担い手育成の取組と絵で見る林業道具展」と「ひだ木遊館オープン記念「飛騨匠の技・こころ」木工展」を開催しました。
中津川市は、木曽ヒノキ備林をはじめとする優良ヒノキの生産地であり、古くから林業が盛んな地域です。「中津川市 森の担い手育成の取組と絵で見る林業道具展」では、同市の森の担い手育成の取組み、絵で見る山林作業と道具や機械の移り変わり、伊勢神宮式年遷宮の御神木祭、令和6年8月にオープンしたぎふ木遊館サテライト施設「なかつがわ 森の木遊館」などのパネルや資料の展示、伝統的伐採技法「ミツ緒伐り」の映像紹介などを行いました。
高山市は、森林資源が豊富で「飛騨の匠」に総称される木を使った文化と伝統が受け継がれており、匠の技を生かした木工家具や木工雑貨などが数多く生み出されています。「ひだ木遊館オープン記念「飛騨匠の技・こころ」木工展」では、伝統的工芸品の一位一刀彫や飛騨春慶、木の輪挿しやおもちゃなどの木工作品の展示、令和6年11月にオープンしたぎふ木遊館サテライト施設「ひだ木遊館 木っすテラス」の紹介などを行いました。
2つの展示を通して、岐阜県の自然や木と共生する文化を広く発信することができました。

主催 ぎふ木遊館、中津川市、高山市

187 ぎふ森の恵み感謝祭 岐阜市

開催日 令和6年11月2日(土)

会場 OKBふれあい会館



実施状況

多くの県民に「ぎふの森・ぎふの木」に親しんでもらうことを目的としたイベントを岐阜メモリアルセンター芝生広場で開催予定でしたが、雨天のため、会場を変更して協定締結式などを実施しました。

【協定締結式等】

- ・第3回「岐阜県木の国・山の国県産材利用促進協定」締結式 協定締結6事業者
- ・「岐阜県木の国・山の国県産材利用促進表彰」表彰式(今回が初めての表彰)
 - 「木造建築部門」最優秀賞1件、優秀賞3件、
 - 「木質化部門」最優秀賞1件、優秀賞2件、特別賞1件、
 - 「木製品部門」最優秀賞1件、優秀賞2件、特別賞1件
- ・「匠の国・岐阜県伝統建築家」認定証授与式 認定8名
- ・「岐阜県木質バイオマス利用優良事例」表彰式(今回が初めての表彰)
 - 「施設部門」優秀賞3件、
 - 「県民協働部門」最優秀賞1件、優秀賞1件
- ・「ふるさとぎふ振興寄付金」への寄附に対する感謝状贈呈式 知事感謝状贈呈 3企業

主催 岐阜県

188 フラワーデザイン体験レッスン 岐阜市

開催日 令和6年11月16日(土)

会場 みんなの森 ぎふメディアコスモス



実施状況

(公社)日本フラワーデザイナー協会東京本部と県内の公認校・支部が参加し、フラワーデザイン体験レッスンを行いました。

レッスンは公認校主宰者が講師となり、岐阜県生産量第1位のフランネルフラワーを使用し、4回とも各公認校の特色を生かしたデザインで、異なったものを制作しました。当日飛び入りの参加もあり、多くの方に参加していただきました。

また、会場内のガラス越しに映える紅葉の木々をバックに、フォトスポットを設置しました。バラをメインに、フランネルフラワーも使用し、素敵な作品ができ上がりました。ガラス張りの開放的な空間に外の景色が溶け込み、素敵な雰囲気の中で笑顔あふれる記念撮影が行われました。

終始、和やかな雰囲気の中で、充実したイベントとなりました。

【参加校・支部】

- 沢田フラワーデザインスクール(主宰者:沢田真理NFD名誉本部講師)
- たづ子フラワーデザインスクール(主宰者:小川多津子NFD名誉本部講師)
- 花くらぶ(主宰者:羽根田明美NFD名誉本部講師)
- KAITO FLOWER DESIGN SCHOOL(主宰者:垣内絹代NFD本部講師)
- フラワーデザインスクール むらせ(主宰者:村瀬薫NFD名誉本部講師)
- NFD岐阜県支部

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、公益社団法人日本フラワーデザイナー協会

189 木と遊ぼう、自然のワークショップ 関市

開催日 令和6年10月20日(日)

会場 関市文化会館



実施状況

関市在住のチェーンソーアーティスト・丹羽哲士氏によるスピードカービングの実演を行いました。観客はチェーンソーを操ってみるうちに出来上がる大きな作品とその迫力に圧倒され、あっという間に関市イメージキャラクター「関*はもみん」が完成しました。

その後は木の枝や葉、木材の切れ端などを使って、思い思いの小さな作品を作るワークショップを開催し、子ども達を中心に多くの参加者が集まりました。丹羽氏のアドバイスを受けて、作りたいものを自分の力で形にすることができたことは、参加者にとっては大きな喜びを得られる満足度が高いイベントとなりました。

また、当日は「関のちーオシ国民文化祭(前編)」と銘打って、「関市無形文化財獅子舞大会」をはじめとして「関市文化祭」の盆栽展、華道展、美術展のほか、鮎雑炊の販売や打刃物ワークショップなど、関の「ちーオシ」に関連するイベントを集めて開催しました。

キッチンカーなど飲食店の出店もあり、多くの来場者で賑わいました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、関市、「清流の国ぎふ」文化祭2024関市実行委員会

190 中部山岳国立公園体験プログラム 高山市

開催日 令和6年10月14日(月祝)～11月24日(日)

会場 中部山岳国立公園奥飛騨ビジターセンター及びその周辺



実施状況

岐阜県を含む4県にまたがり、北アルプスの一帯を占める日本最初の国立公園のひとつ「中部山岳国立公園」では、令和6年7月にリニューアルオープンした「中部山岳国立公園奥飛騨ビジターセンター」を拠点に、自然素材を使ったネイチャーラフトや、公園の自然を体感できる秋の自然散策ガイドツアーを開催しました。

【ネイチャーラフト】

木材や木の実、落ち葉などを使ったバードコールやウッドビーズアクセサリ、オリジナルタンブラー作りなどさまざまなプログラムを実施しました。用意された材料からそれぞれ気に入った素材を選んだり、完成した作品をお互いに見せ合うなど、年齢を問わず楽しむ姿が見られ、「旅の思い出をかたちに残すことができた」と好評を博しました。

【ガイドツアー】

ビジターセンター周辺において、平湯大滝や大ネズコの自然ガイドツアーや平湯探勝路での森林浴体験を実施しました。参加者からは「森の中でリラックスできて、自然との一体感を感じることができた」などの声をいただきました。

主催 岐阜県、一般財団法人飛騨山脈ジオパーク推進協会

191 ぎふフラワーフェスティバル 安八町、岐阜市

開催日 ①令和6年10月12日(土)
②令和6年10月26日(土)～27日(日)

会場 ①安八町中央公民館
②岐阜県庁



実施状況

①第9回高校生花いけバトル花きの日大会

花いけバトルは、5分間という制限時間の中で、用意された花材を選び即興で花をいけ、その出来栄や所作の美しさを競う新しい花文化です。スポーツ感覚で花を楽しめることから、高校生を中心に注目を集めています。今回で9回目となる本大会には、東海地域3県(岐阜、愛知、静岡)の9校30チームが出場し、熱戦を繰り広げました。

多くの観客に情熱あふれる花いけをご覧ください、花の魅力を発信することができました。

②ぎふフラワーフェスティバル

ぎふフラワーフェスティバルは、ぎふの花の魅力や花き文化を発信し、県民に花のある暮らしを提案することを目的に、県下最大級の食と農のイベントである「⑤岐阜県農業フェスティバル」と同時に開催しました。清流ロビーなどへのフラワーディスプレイの設置、県内の優れた花きが一堂に集まる「花き品評会」、愛好家らによる寄せ植えなどの作品を競う「ぎふの花飾りコンテスト」、県内クリエイターとのコラボによる「ぎふ花と緑のイラスト展」などの展示のほか、県産花きの即売、花飾り体験教室に加え、花を添えて気持ちを伝える「花贈りコンテスト」、即興で花をいける「花いけバトル」、競り売りで花や緑を購入できる「花や緑のオークション」などステージイベントを行いました。

20万人を超える方に来場いただき、ぎふの花の魅力を伝えることができました。

主催 岐阜県

192 ぎふ森フェス 県内各地

開催日 令和6年9月28日(土)～11月30日(土)

会場 県内各地



実施状況

県内各地で森の体験プログラムを提供し、計1,400名を超える方に参加いただきました。岐阜の豊かな森林を活用したさまざまな体験をしていただくことで、森林の価値や新たな可能性に気づくためのきっかけを作ることができました。

体験プログラムは県内のさまざまな事業者により、森林浴、マウンテンバイク、木工クラフト、ジビエ解体体験などバラエティーに富んだ内容となりました。乳幼児から70代まで幅広い年代の方に参加いただいたほか、愛知県を中心とした県外からの申込みも多く、北海道、宮崎県、広島県など遠方からお越しいただいた方もいらっしゃいました。

参加者アンケートでは、「森を知るにはとてもいい内容のプログラムだった」「とても楽しかった。子どもも帰りたくないと言うくらい大喜びだった」「新しい価値観を創造していく取組みとして、継続してほしい」「来年度以降も継続して欲しい。ほかのプログラムも参加してみたい!」などの感想をいただきました。

【プログラム数】 40プログラム

【参画事業者】 37事業者

主催 ぎふ森のある暮らし推進協議会

193 第53回 岐阜公園 菊人形・菊花展 岐阜市

開催日 令和6年10月26日(土)～11月24日(日)

会場 岐阜公園



実施状況

長良川鶴飼閉幕後のイベントとして、岐阜市の観光拠点である岐阜公園にて、菊の愛好家の方々が育てた鉢植え(大菊、小菊、美濃菊など)や華やかな菊庭園、小学生や老人クラブの方々が丹精込めて育てた作品を約1,000鉢展示し、秋の岐阜公園を鮮やかに彩りました。

戦国時代の歴史的一幕を再現した舞台展示では、織田信長公が、市場での交通や種々の特権を認め、戦乱で荒廃した街の復興と経済の活性化に大きく貢献した「楽市楽座」を、美しい菊の衣装をまとった菊人形で再現しました。さらに岐阜県ならではの菊花、木付け及び岐阜県が発祥である美濃菊なども同時に鑑賞していただくことができたため、歴史好きな方々のみならず多くの来園者に好評を博しました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、岐阜市、「清流の国ぎふ」文化祭2024岐阜市実行委員会

194 岐南町菊花展 岐南町

開催日 令和6年10月26日(土)～11月7日(木)

会場 岐南町中央公民館



実施状況

岐南町の花である菊の展示を行いました。さまざまな種が展示されるなか、一つの苗から百輪以上の花を咲かせる「千輪」とよばれる大菊といった、他の展覧会でもなかなか見られない貴重な種も出展されました。

菊は春から土づくり、植え付け、摘心、挿し芽、芽の整理や支柱立て、蕾選定、芽かきなどの過程を経て美しい花を秋に咲かせます。町内の愛好家が丹精込めて育てた菊を多くの方々が楽しみました。

この菊花展では、出展者全ての作品を審査し、優秀作品出展者には賞状及び副賞を授与するとともに参加賞も配布しました。主な出展者は昭和60年に結成された岐南菊友会の会員で、菊の出展は100点以上となりました。一年をかけて菊の栽培をする方は、年々少なくなっており、優れた栽培技術を継承していくためのきっかけとなる展示となりました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、岐南町、「清流の国ぎふ」文化祭2024岐南町実行委員会

195 羽島美濃菊展 羽島市

開催日 令和6年11月1日(金)～3日(日祝) 会場 不二羽島文化センター



実施状況

羽島市の花「美濃菊」の普及・保存の推進を目的に、愛好家や公立学校・老人クラブなどの団体が栽培した美濃菊を披露・鑑賞する場として毎年展示を行っており、今回は個人の部14名、団体の部17団体が、小さな苗から丹精込めて育てあげた美濃菊を出展しました。また、昭和27年に発足した美濃菊愛好団体「羽島市美濃菊保存会」が主催する「第70回全国菊花大会」も同時開催され、約340鉢の美濃菊とともに美濃菊を詠んだ俳句、美濃菊折り紙などの作品も会場を彩りました。

1日(金)には、両展示会の表彰式を行い、夏の暑さで生育が難しい中でも、見事美しい大輪を咲かせた受賞者のみなさんの功績を祝しました。

また、令和6年度は羽島市制施行70周年の節目の年であり、記念事業として制作した菊人形と美濃菊による小舞台は、その美しさと繊細さで多くの来場者の注目を集めました。

美濃菊は優雅な大輪に大変珍しい丸花弁、真ん中の花芯が見えることも特徴の一つである大菊で、その秀麗さは全国の愛好家からも称賛されています。来場者からは「きれいに咲かせてあり、心がこもった菊の花で、心がきれいになった」「どれも力作で見ごたえがあった」などの声をいただきました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、羽島市、「清流の国ぎふ」文化祭2024羽島市実行委員会、羽島美濃菊展実行委員会

196 養老公園 木の工作教室 養老町

開催日 令和6年11月9日(土) 会場 養老公園



実施状況

養老町在住の木工家具作家を講師として招き、木の匂いや温もりを肌で感じながら、親子でつくる手形&足形アートの木的工作教室イベントを開催しました。

材料は養老山のサクラの伐採木を約20cm四方の薄い板に加工した、スタンド付きの木のプレートを使用しました。5組21名の参加者が講師から木の特性を学びながら、プレートの角を紙やすりで整えた後、4色のインクでプレートに手形や足形を取り、スタンプや油性マジックで絵や文字、好きな模様を描いて、最後にプレートを立てるスタンドに日付などを刻印し完成させました。

参加者からは「手形を取るところが楽しかった」「(子どもの)足形を取るのは大変だったが、改めて子どもの成長を実感できた」「家族でいい思い出になった」などの声をいただきました。

また、間伐した木を有効活用することで森や自然を守ることにもつながり、SDGsの一環として地域社会へも貢献できるイベントとなりました。

主催 養老公園

197 養老公園 ひょうたんワークショップ 養老町

開催日 令和6年11月16日(土) 会場 養老公園



実施状況

養老町のシンボル「ひょうたん」を使った工作体験イベントを開催しました。

12組35名が参加し、大きさや形の異なるさまざまなひょうたんの中から好きなものを一つ選びアクリル絵の具でサンタクロースを描いて、最後にリボンやリースを付けて完成させました。

参加者からは「ひょうたんの形がサンタのシルエットにマッチしていてかわいいクリスマスリースができた」「ひょうたんでクリスマスリースを作るなんてすごいアイデア!」「講師のひょうたんアーティストのファンになった」などの声をいただきました。

当日参加もあり、定員を超える参加者数となりました。また愛知県、福井県、大阪府など県外からも参加いただき、養老町の魅力を味わっていただきました。

主催 養老公園

198 森林に親しむ各種森林教育プログラム 美濃市

開催日 令和6年10月3日(木)～11月30日(土) 会場 森林総合教育センター



実施状況

森林総合教育センター(愛称: morinos)にて、「森や木の文化」にふれ、森林に親しむことを目的として、森林文化アカデミーの演習林を活用した「スタッフと歩く森さんぽ」や、森で見つけた葉っぱを使った「葉っぱのたたき染め体験」など、さまざまなプログラムを体験していただきました。また、morinosひろばでは「泥んこ遊び」や「水遊び」、「木工工作」、「たき火体験」など、多くの方々に楽しんでいただき、約3,000名の方に参加いただきました。

morinosが目指す、「すべての人と森をつなぎ、森と暮らす楽しさと森林文化の豊かさを次世代に伝えていく」ためのいい機会となりました。

【主なプログラム】

- 実施回数34回(6種類)
- ・スタッフと歩く森さんぽ(森林散策)
- ・火おこし体験
- ・葉っぱのたたき染め体験
- ・葉っぱをつかったボタンづくり
- ・自然素材でサシェづくり
- ・森でお話会

主催 岐阜県立森林文化アカデミー(森林総合教育センター)

199 岐阜県百年公園 木育ワークショップ 関市

開催日 令和6年10月27日（日）、11月9日（土） 会場 岐阜県百年公園



実施状況

自然をテーマに園内の間伐材や倒木、維持管理で出た発生材を有効活用した木育ワークショップを開催しました。

杉玉づくり体験では、酒蔵の軒先にはなぜ杉玉が吊り下げられているのか、酒造りと杉の木の関係なども学んでいただきました。参加者には、酒蔵でよく使用される法被や前掛けを着用して杉玉を作っていただき、記念撮影を行うなど、大変喜んでいただきました。

園内の樹齢90年超のヒノキの枯損木を使った御朱印帳づくり体験では、里山の成り立ちや現状、これから私達ができることなどについて学んでいただくとともに、表紙に焼きごてで焼き印を行うなど、楽しんでいただきました。

また、草木染体験では、園内のサクラの枝やクサギの実から抽出した染め液を使って、さまざまな模様の草木染を体験していただきました。

主催 岐阜県百年公園

200 森林文化アカデミー翔楓祭（学園祭） 美濃市

開催日 令和6年11月9日（土）～10日（日） 会場 岐阜県立森林文化アカデミー



実施状況

翔楓祭^{しょうふうさい}は、森や木に関わる生き方をめざす人のための専門学校「岐阜県立森林文化アカデミー」の文化祭です。令和6年度は、「林廻転生^{りんねてんせい}」というテーマを掲げ、学生や職員による販売、体験、パフォーマンスなど35企画が学校敷地内に所狭しと繰り広げられました。

開会式では、テープカットならぬ丸太カットで翔楓祭が開幕。鹿肉を使ったジビエカレーや舞茸サンドイッチなどの飲食や木工作品などの販売、木工旋盤を使い木軸ペンを作る体験、クリのイガとビワなどを使った草木染体験、建てることから解体まで体験できる小屋づくりなどのワークショップも充実。さらに、伐木チャンピオンシップで活躍された方々が集まりチェーンソー技術を競う競技会や、歌や演奏を披露する森の演奏会も行われ、パフォーマンスによって来場者と共に場を体感できる場面もあり、笑顔が溢れていました。

林業、森林環境教育、木造建築、木工といった専攻を有する森林文化アカデミーならではの視点から、森と人間の共生や循環について考えるきっかけの場となりました。

主催 2024年度翔楓祭実行委員会

201

大関ケ原祭2024

関ケ原町

開催日 【関ケ原ナイト】令和6年9月7日(土)
【メインイベント】令和6年10月19日(土)～20日(日)

会場 関ケ原古戦場一帯



実施状況

【関ケ原ナイト】

大関ケ原祭のオープニングとして開催した「関ケ原ナイト」では、夜の関ケ原古戦場を舞台に、俳優であり文化祭応援大使の竹下景子氏の朗読のもと、岐阜県出身のテノール歌手・城宏憲氏をはじめとする声楽家によるオペラ詠唱、また、県立長良高等学校演劇部も参加し、関ケ原の戦いを描く「野外音楽朗読絵巻」を行いました。

【メインイベント】

「 関ケ原合戦祭り2024」と同時開催した「メインイベント」では、毎年開催する定番の「東西人間将棋」や「東西対決花いけバトル」に加え、令和5年に設立した関ケ原研究会の「研究大会」として、近年多くの研究者から提示された新説の論点と課題について、多摩大学客員教授・河合敦氏による基調講演や国際日本文化研究センター名誉教授・笠谷和比古氏など当代を代表する関ケ原合戦の研究者を招いたパネルディスカッションを行いました。

さらに、世界三大古戦場として関ケ原古戦場と交流のあるアメリカのゲティスバーグ古戦場、ベルギーのワーテルロー古戦場からゲストを招き、各古戦場の魅力や歴史的意義などを紹介する「スペシャルトーク」のほか、関ケ原町内の「せきがはら人間村」と連携し、史跡や自然、アートを巡る「ガイドツアー」など、関ケ原ならではの多彩なプログラムで関ケ原古戦場の魅力を学び、楽しんでいただきました。

主催

岐阜県、関ケ原町

202

関ケ原合戦祭り2024

関ケ原町

開催日 令和6年10月19日(土)～20日(日)

会場 陣場野会場、笹尾山会場



実施状況

関ケ原観光大使を務める俳優・山本耕史氏が8年ぶりに合戦祭りに参加し、トークショーだけでなく、関ケ原合戦絵巻の出陣式や全軍武者行列にも石田三成の甲冑衣装を身にまとい登場し、多くの来場者を魅了しました。

メインイベントである「関ケ原合戦絵巻」では、全国から100名以上の甲冑武者が参加し、大谷吉継を中心としたストーリーの群集劇では、甲冑武者の迫力ある演技によって関ケ原合戦の魅力を感じていただきました。

ほかにも、町民有志のバンドによるライブ、フラダンス、「よさこい関ケ原」による演舞、高校生によるダンスパフォーマンスなど、町民参加のウェルカムステージを開催しました。

また関ケ原合戦祭りの最後を飾る名物イベント「ファイナル餅まき」を行い、餅まき台からまかれる餅をめぐり、「現代のリアル関ケ原合戦」ともいわれる激しい争奪戦が繰り広げられ、会場が大いに盛り上がりました。

主催

関ケ原合戦祭り実行委員会

203 特別展「ポケモン化石博物館」 関市

開催日 令和6年7月19日(金)～10月27日(日) 会場 岐阜県博物館



実施状況

人気ゲーム「ポケットモンスター」シリーズに登場するふしぎな生き物「ポケモン」にはカセキから復元されるポケモン（以下「カセキポケモン」という）がいくつか知られています。

この展示は、「カセキポケモン」と私たちの世界で見つかる「化石・古生物」を見比べて、似ているところや異なっているところを発見し、古生物学について楽しく学んでいただくものです。

来場者は、ポケモンの世界の「カセキ博士」とお手伝いの「発掘ピカチュウ」、私たちの世界の博士たちの案内で展示をめぐり、それぞれの世界の「かせき」をじっくり見比べていました。

【展示のひとこり】

- みどころ1 古生物とポケモンのイラストから、似ているところ、違うところを探してみよう!
- みどころ2 「カセキポケモン」の実物大骨格想像模型が登場! 古生物の標本と、ポケモンの実物大骨格想像模型を比べてみよう!
- みどころ3 ポケモンと古生物の骨格を比べてみよう! カセキから復元されるポケモンの骨はどうなっているのかな?

© 2024 Pokémon. © 1995-2024 Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc.
ポケットモンスター・ポケモン・Pokémonは 任天堂・クリーチャー・ゲームフリークの登録商標です。
(企画協力/ポケモン展示品制作) 株式会社ポケモン
(協力) 三笠市立博物館、群馬県立自然史博物館、豊橋市自然史博物館、島根県立三瓶自然館

主催 岐阜県博物館、国立科学博物館

204 みずなみ化石フェスタ～パレオパラドキシア大集合～ 瑞浪市

開催日 令和6年10月19日(土)～27日(日) 会場 瑞浪市総合文化センター



実施状況

令和4年に発見されたパレオパラドキシア瑞浪釜戸標本の全身復元骨格に加え、産状レプリカ、復元模型、復元画、福島県・埼玉県・岡山県で発見されたパレオパラドキシアの骨格、瑞浪産化石(約80点)を展示しました。

19日(土)には展示解説会を行い、5名の研究者が骨格の見どころなどを解説しました。27日(日)には、子ども向けの展示見学ツアーと9名の研究者による「パレオパラドキシア座談会」を開催しました。座談会では、瑞浪釜戸標本の研究成果を紹介するとともに、パレオパラドキシアについて分かってきたことなどを紹介しました。

展示や座談会には子どもや大学生を含め幅広い年齢層の方が来場し、関東や関西などの遠方から来訪された方もおり、大変充実したものとなりました。

【展示解説会・解説者】

長谷川善和、岡崎美彦、甲能直樹、北川博道、安藤佑介

【展示見学ツアー・解説者】

三上智之

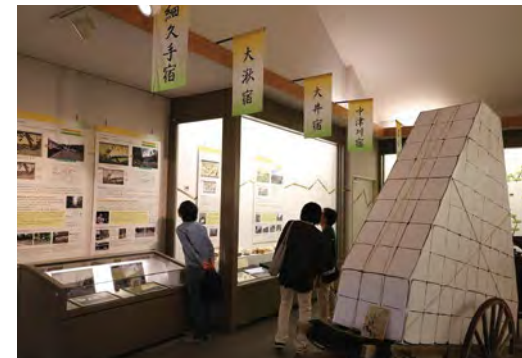
【座談会・登壇者】

大路樹生、長谷川善和、岡崎美彦、甲能直樹、北川博道、吉田英一、松井久美子、川谷文子、安藤佑介

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、瑞浪市、「清流の国ぎふ」文化祭2024瑞浪市実行委員会

205 特別展「広重・英泉の木曾海道六拾九次を辿って中山道を旅してみた」 御嵩町

開催日 令和6年10月14日(月祝)～令和7年2月8日(土) 会場 中山道みだけ館



実施状況

御嵩町内には江戸時代の歴史街道「中山道」が通り、御嶽宿と伏見宿が設けられていました。この中山道の魅力を多くの方に知っていただくため、江戸時代に歌川広重らが描いた浮世絵「木曾海道六拾九次之内」シリーズに着目し、描かれたモデルの地の現在の様子を取材・調査し、令和2年度から展示を開催してきました。

これまでに京都から深谷宿までの展示を終え、シリーズ最終回(4回目)となる今回は「熊谷宿～江戸日本橋+総集編」として、地元の方々にお聞きした内容や、各宿場の様子などをパネルで紹介するとともに、県内の17宿についても紹介しました。また、浮世絵に描かれている旅道具や民具などを展示し、「中山道の素晴らしさ」や「中山道の魅力」を発信しました。

年齢を問わず多くの来館者があり、「とても分かりやすかった」「浮世絵と現在の様子の比較が面白かった」「昔を知ることができた」などの感想をいただきました。

【展示構成】

中山道と宿場、木曾海道六拾九次之内について ～さまざまな疑問より～、木曾海道六拾九次の地、いま…熊谷宿～江戸日本橋編、浮世絵が伝えた中山道 ～情景・登場人物・動物等分類より～、『中山道宿村大概帳』より、『木曾海道六拾九次之内』モデルの地一覧 他

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、御嵩町、「清流の国ぎふ」文化祭2024御嵩町実行委員会

206 特別展「広重・英泉の木曾海道六拾九次を辿って中山道を旅してみた」講演会 御嵩町

開催日 令和6年11月24日(日) 会場 中山道みだけ館



実施状況

「木曾海道六拾九次之内」シリーズのモデルとなった場所の研究の第一人者である「中山道69次資料館」館長・岸本豊氏(軽井沢町在住)を講師に特別展開催記念講演会を開催しました。

講演は、中山道に関する貴重な資料や写真などを交えながら、歌川広重の描いた御嶽宿・伏見宿の浮世絵の解説や、伊能忠敬の測量地図から読み解く中山道の今昔など、大変有意義な内容となりました。

参加者からの質問にも的確に答えていただき、「地元に素晴らしい文化遺産があることを知って、心が豊かになった」「中山道モデルの地の今昔がとてもおもしろかった」「講師のお話に感銘を受けた」などの感想をいただきました。

【演題】

「伊能忠敬の御嵩測量地図、広重・英泉の浮世絵御嶽・伏見、金兵衛の彩色写真御嶽新道」

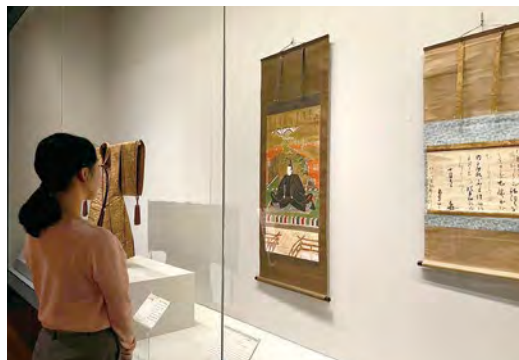
【講師】

岸本豊(中山道69次資料館館長)

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、御嵩町、「清流の国ぎふ」文化祭2024御嵩町実行委員会

209 秋季特別展「関ヶ原ーよみがえる天下分け目の戦いー」 関ヶ原町

開催日 令和6年10月8日(火)～11月24日(日) 会場 岐阜関ヶ原古戦場記念館



実施状況

全国の博物館や寺社など26施設から借り受けた貴重な資料など、関ヶ原合戦にゆかりのある実物資料81点を展示し、関ヶ原合戦の実像に迫る特別展を開催しました。

全ての展示室を使用した特別展の開催は、令和2年の開館以降初めての試みであり、期間中は28,582名に来場いただき、関ヶ原合戦の持つ意義と魅力を広くアピールすることができました。

国指定重要文化財を含む参戦武将ゆかりの武具・書状や、4種類の関ヶ原合戦図屏風などの展示に対して、来場者からは「普段見られない貴重な資料がたくさん見られてよかった」などの声をいただきました。

【主な展示資料】

- ・小早川秀秋像【国指定重要文化財】(高台寺蔵)
- ・宇喜多秀家血判起請文【国指定重要文化財】(大阪城天守閣蔵)
- ・鉄黒漆塗横板矧二枚胴具足(林原美術館蔵)
- ・薙刀 銘 伯耆国住広賀作(名古屋刀剣博物館蔵)
- ・朱字井桁紋旗印(彦根城博物館蔵)
- ・関ヶ原合戦図屏風(大阪城天守閣蔵) ・関ヶ原合戦図屏風(行田市郷土博物館蔵)
- ・関ヶ原合戦図屏風(敦賀市立博物館蔵) ・関ヶ原合戦図屏風(関ヶ原町蔵)

主催 岐阜関ヶ原古戦場記念館

210 文化財と華道の競演展、大正・昭和体験ツアー 大野町

開催日 令和6年11月9日(土)～10日(日) 会場 旧北岡田家住宅



実施状況

大野町と近隣市町から、小学校4～6年生26名、ボランティアスタッフ40名の方に参加いただき開催しました。

国指定登録有形文化財の旧北岡田家住宅では、子ども達が学芸員によるツアーで普段見ることができない部屋を見学したり、ボランティアスタッフの方と一緒に庭の富有柿を収穫して皮むきを楽しんだり、住宅が建築された大正時代から祖父母が過ごした昭和時代にかけての文化を、遊びや食事を通して体験していただきました。

さらに、町内で主に活動する4流派の華道団体にも協力いただきました。趣のある座敷の床の間や付書院などと見事に調和した作品を仕上げていただき、参加者の目を楽しませました。

また、箏曲・茶道などの体験もあり、終わりの会では子ども達の満足した笑顔を見ることができました。保護者からも、子どもが地域の方とふれあいながら貴重な体験ができたことについて感謝の声や、来年度の開催を期待する声もいただき、大変充実したイベントとなりました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、大野町、大野町教育委員会、「清流の国ぎふ」文化祭2024大野町実行委員会

211 全国武将隊フェスティバル in わのうち 輪之内町

開催日 令和6年11月17日(日) 会場 輪之内町文化会館



実施状況

輪之内町ゆかりの戦国武将・丸毛兼利を題材にした、関ヶ原の戦いの前哨戦である「福束の戦い」の甲冑劇を、町職員で構成する「ぎふ輪之内武将隊」と中学生有志ら25名が演じ、大歓声を浴びました。

開会式では、3つの文化団体が町のオリジナルソング3曲を演奏しました。「Vivaわのうち～四季～」では、手話を交えて戦国武将に扮した「清流の国ぎふ」マスコットキャラクター・ミナモと一緒に元気に歌いました。

また、東西を代表する武将隊4団体による雄壮華麗な東西演武合戦や歴史系アーティストさくらゆき氏による戦国ライブ「西の風、東の風」を開催し、戦国のそれぞれの東西を描きました。

最後は出演者全員が集合して、西軍に属した丸毛兼利が主人公のアニメ「丸毛戦記」の主題歌「信じる道へー丸毛戦記ー」を披露し、会場を盛り上げました。

町職員や地元中学生が地方の戦国武将の生き方を知ること、町の文化や伝統を大切に意識が芽生え、地域での関わりを深める機会を提供することができました。

【出演】

- 甲冑劇：ぎふ輪之内武将隊&中学生有志
- 東西演武合戦：奥州・仙台おもてなし集団伊達武将隊、小倉城武将隊
- 安芸ひろしま武将隊、古戦場おもてなし武将隊関ヶ原組
- 戦国ライブ：歴史系アーティストさくらゆき

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、輪之内町、輪之内町教育委員会、「清流の国ぎふ」文化祭2024輪之内町実行委員会

212 水月窯窯焚き体験 多治見市

開催日 令和6年11月10日(日) 会場 水月窯



実施状況

国重要無形文化財保持者であった荒川豊蔵が築いた「水月窯」(多治見市無形文化財)で、窯焚き体験会を開催しました。全4回で、県内外から小学1年生から80代までの17名が参加しました。

水月窯の歴史や、伝統的なやきものの製造方法、見所などを解説した後、登り窯の窯焚きを体験。「あぶり」といわれる徐々に窯の温度を上げる段階での窯焚きで、窯の前方から大きめの薪を投げ入れていただきました。その後、薪割り体験や手ロクロの体験、「せり」といわれる高温になった段階で登り窯の横穴から細い薪を投げ入れる窯焚きの見学会も行いました。

窯焚きを初めて目の当たりにする参加者からは、炎が上がるたびに歓声があり、約80年間、水月窯が伝えてきたやきものの製造や窯焚きの技術を幅広い世代の方々に知っていただく良い機会となりました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、多治見市、「清流の国ぎふ」文化祭2024多治見市実行委員会

213 永保寺五峰庵公開と茶会

多治見市

開催日 令和6年11月23日（土祝）

会場 永保寺五峰庵



実施状況

令和5年度に実施した多治見市名勝内にある茅葺建造物「五峰庵」茅葺替事業の完成記念として「五峰庵」を一般公開しました。

五峰庵は茶室となっており、全10席（各席約10名）の茶会を催し、112名の方に参加いただきました。茶室では岐阜県有形文化財の夢窓国師書「春帰家」を掛け、国重要無形文化財であった荒川豊蔵の茶碗、国重要無形文化財である鈴木藏の水指、多治見市無形文化財である青山双溪の白天目などの茶具を使用しました。

また、葺替えについての解説をする五峰庵見学会を計4回開催し、49名の方に参加いただきました。新書院という大広間では、虎渓山永保寺の歴史や文化財についての解説パネルの展示、虎渓山永保寺所蔵の岐阜県指定文化財及び多治見市指定文化財の掛け軸、古文書を解説付きで展示し、多くの来場者に見ていただきました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、多治見市、「清流の国ぎふ」文化祭2024多治見市実行委員会

215 美濃源氏土岐氏復活祭

本巣市、高山市、揖斐川町、白川町、岐阜市、瑞浪市

開催日 令和6年10月14日（月祝）、20日（日）、27日（日）、11月3日（日祝）、17日（日）、24日（日）

会場 善永寺（本巣市）、宗猷寺（高山市）、瑞巖寺（揖斐川町）、洞雲寺（白川町）、瑞雲院（岐阜市）、正源寺（瑞浪市）



実施状況

茶と禅の本質は同一であるとする「茶禅一味」という古くからの思想に基づき、岐阜に縁のある武家茶道「式正織部流」と岐阜の美濃源氏土岐一族が普及した禅を体験していただくとともに、そこに美濃源氏土岐氏の歴史講話を加え、新たな文化として「歴茶禅一味」を岐阜から発信するため開催しました。

期間中6ヶ寺において、土岐氏の歴史や坐禅の普及に関する講話を行いました。講師から、「7～800年前の歴史を学ぶことは、同じ年数の「歴史を引き継ぐ」ことであり、ぜひこれを契機に考え・実践してほしい」と呼びかけがあり、参加者は資料に書き込みをするなど熱心に聴講していました。同時に坐禅や、古田織部創始の武家茶道「式正織部流」の茶会を行い、各回40名の定員のところほぼ満席で、参加者のみなさまに「茶会」「坐禅」「歴史講話」を一体とした「歴茶禅一味」を楽しんでいただきました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、美濃源氏フォーラム

214 円空の足跡を訪ねる円空印めぐり

羽島市、関市、高山市 他

開催日 令和6年10月14日（月祝）～11月24日（日）

会場 中観音堂・羽島市円空資料館、長間薬師寺、関市洞戸円空記念館、関市円空館、飛騨高山まちの博物館 他



実施状況

県内の円空仏にゆかりのある市町が加盟する円空連合では、加盟市町に所在する円空仏ゆかりの施設を巡っていただくことを目的に、令和5年に「円空印」を制作し、配布しました。

今回は、文化祭の開催に合わせ、加盟市町の円空仏ゆかりの11の施設で、所蔵あるいは展示をしている円空仏の全写真が入った限定バージョンの「特別円空印」を配布し、県内外から来場された方々に、素朴ながら温かさのある、県内の円空仏がもつ魅力に触れていただくことができました。あわせて、「特別円空印」を受け取った方が応募できる、加盟市町の特産品が当たるプレゼント企画を実施し、多くの方に応募いただき、加盟市町の魅力を知っていただく機会となりました。

【円空印配布枚数】874枚

【来場者数】11施設でのべ67,763名

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、円空連合

216 「清流の国ぎふ」文化祭2024関連特別展「つなぐ」

岐阜市

開催日 令和6年10月12日（土）～11月24日（日）

会場 岐阜市歴史博物館



実施状況

文化祭のキャッチコピー「ともに・つなぐ・みらいへ～清流文化の創造～」の「つなぐ」に焦点を当てて、雪舟、松尾芭蕉、5代目市川海老蔵など岐阜を訪れた人々との「つながり」から見える「岐阜」の魅力を、紀行文や絵画作品、絵図などを通して紹介しました。

10月12日（土）は開場式を行い、34名の方に参加いただきました。

期間中は、特別展で取り上げている人物に焦点を絞った講演会を開催することで、展示資料に対する理解をより深めていただく機会となりました。来場された方々も、貴重な話が聞ける良い機会とのことで、講演会終了後も質問や感想を投げかける場面が多くありました。

また、小学生を対象とした子ども講座を開催し、大人だけでなく子どもにも展示を見るときの楽しみ方を知っていただきました。

そのほか、4回の展示解説や中・高校生ボランティアによる展示説明活動を通して、展示資料の魅力を最大限伝えることができました。「学芸員の解説がよかった、残りも聞きたい」などの声をいただきました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、岐阜市、「清流の国ぎふ」文化祭2024岐阜市実行委員会、つなぐ展実行委員会（岐阜市、岐阜新聞、岐阜放送）

217 岐阜県歴史資料館企画展 原三溪展 岐阜市

開催日 令和6年10月15日(火)～11月29日(金) 会場 岐阜県歴史資料館



実施状況

美濃国厚見郡下佐波村(現・岐阜市柳津町)出身の実業家・文化人である原三溪(1868-1939)をテーマとした企画展を行いました。三溪は日本の美術や文化を愛し、広大な日本庭園「三溪園」(国指定名勝)を造り、また数多くの美術・工芸品を収集するとともに自らも筆をとり、生涯にわたり優れた作品を遺しました。企画展は「原三溪ー岐阜に生まれ、岐阜を愛すー」と題し、歴史資料館が収蔵する三溪の実家・青木家の文書から、三溪を育んだ環境や三溪が岐阜を離れても故郷を思い、つながりを持ち続けた姿を紹介するとともに、初公開となる三溪の作品「白木蓮図屏風」をはじめとする資料36点を展示し、多くの来場者に原三溪や三溪と岐阜のつながりについて知っていただきました。

【展示構成】

- ・原三溪ー実業家として、文人としてー
- ・岐阜に生まれ育つー庄屋 青木家の跡取りとしてー
- ・東京で学び、横浜に縁付くー青木富太郎から原富太郎へー
- ・終生続く岐阜とのつながりー実家・青木家の文書からー

【展示解説】

11月3日(日祝)

主催 岐阜県歴史資料館

218 岐阜県歴史資料保存協会 創立50周年記念シンポジウム 「歴史資料の保存と新たな地域文化の創造に向けて」 岐阜市

開催日 令和6年11月16日(土) 会場 岐阜県図書館



実施状況

歴史資料や公文書の保存や活用について、元岐阜大学教授・早川万年氏と川村学園女子大学教授・堀部猛氏の基調講演に続き、市町村に対して実施したアンケートの結果を発表するとともに、岐阜県歴史資料館学芸員・入江康太氏、揖斐川町職員・高橋康弘氏、美濃加茂市民ミュージアム学芸員・岩屋孝志氏に、実践報告をしていただきました。

基調講演では、早川氏に歴史資料の保存と活用における自治体のあり方を、堀部氏に長年の博物館勤務の経験をもとに博物館の役割などについてお話しいただきました。

シンポジウムでは、早川氏の進行により、3名のパネラーにそれぞれが進めている歴史資料や公文書の保存や活用についての具体的な取組みを発表いただきました。その後、早川氏と堀部氏からアドバイスもいただきました。

早川・堀部両氏のお話に加え、パネラーによる実践報告で取り上げられたさまざまな内容は、実際に歴史資料及び公文書の整理・保存や活用を進めている各自治体にとって大変参考になるものでした。参加者は100名を超え、大変有意義なシンポジウムとなりました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、岐阜県歴史資料保存協会

219 山県市文化・歴史講演会 山県市

開催日 令和6年11月17日(日) 会場 美山コミュニティセンター



実施状況

岐阜県文化財エキスパートである西村覺良氏により、「特色ある歴史的風土の中で生まれた山県市の無形民俗文化財と守り伝えようとする人々の姿」を演題に、講演を行いました。

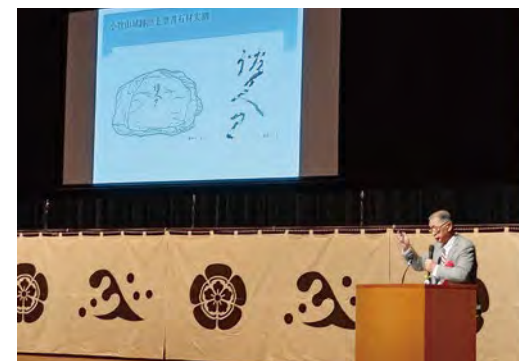
西村氏は高齢化、人口減少、生活様式の変化など文化財の伝承を取り巻く状況に危機感を持ち、長年、文化財を守り伝える活動に参画したり、調査、研究の成果や記録を残して発表しており、毎年行われる山県市重要無形民俗文化財舞台公演会&体験会にも長年アドバイスをして、公演会に出演する保存会のメンバーと一体となって盛り上げています。

当日は、YouTubeでライブ配信なども行い、講演会や地域に残る伝統芸能の魅力を発信しました。会場では、来場者のほか、市重要無形民俗文化財保存会の方々など約180名が真剣に耳を傾け、文化財の保護、伝承に関する課題や伝承の方向性を学ぶ良い機会となりました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、山県市、「清流の国ぎふ」文化祭2024山県市実行委員会

220 第18回信長学フォーラム 岐阜市

開催日 令和6年11月23日(土祝) 会場 じゅうろくプラザ



実施状況

岐阜市民や国内外の信長ファンに「岐阜市=信長公」をアピールし、現在、そして未来の岐阜のまちづくり、ひとづくりにつなげていくことを目的に開催しました。

今回のテーマは「安土城からみた岐阜」として、講演は滋賀県立大学名誉教授である中井均氏、講座は滋賀県文化スポーツ部文化財保護課専門幹である松下浩氏を迎え、最新情報を含めて「岐阜」の姿を考えました。

対談は3部構成で進め、第1部「なぜ安土を選んだか」、第2部「天主の意味」、第3部「伝秀吉郎とは何か」として、両名から見解を伺い、最後には安土城と岐阜城の関係について最新情報を基にまとめていただきました。

【プログラム】

- ・講演「信長の安土城」
中井均(滋賀県立大学名誉教授)
- ・講座「天下人の城 安土城～最新の調査成果から」
松下浩(滋賀県文化スポーツ部文化財保護課専門幹)
- ・対談「安土城からみた岐阜」
中井均(滋賀県立大学名誉教授)
松下浩(滋賀県文化スポーツ部文化財保護課専門幹)
内堀信雄(司会/岐阜市ぎふ魅力づくり推進部文化財保護課)

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、岐阜市、「清流の国ぎふ」文化祭2024岐阜市実行委員会

221 タルイピアセンター第59回企画展 垂井と刀剣の世界Ⅱ 垂井町

開催日 令和6年10月5日(土)～12月8日(日) 会場 タルイピアセンター



実施状況

垂井町は金物の神様として知られる南宮大社があり、幕末には表佐出身の刀匠松井永貞が活躍するなど、刀剣にゆかりのある土地です。この地域にゆかりの刀剣を展示し、その魅力を感じてもらおう企画展を開催しました。

国指定文化財、県指定文化財、町指定文化財の刀剣、甲冑などの工芸遺品を含む合計27点の資料を前期、後期の2期に分け展示し、国指定文化財の「三条」や「康光」の刀を目当てに、県内外から多くの方に来館いただきました。また、県指定文化財「鉄塔」は通常保護施設内にあるため、四方から見ることはできませんが、特別に展示室内で自由に見られるようにしたことで、大変好評を博しました。

期間中には、展示説明会としてギャラリートークを4回開催し、約100名の方に参加いただきました。

また、町内の各小学校からの見学もあり、次世代を担う子ども達にも町の宝を知ってもらう機会となりました。

本展示の開催により、町内の方だけではなく遠方の方にも多数来館していただき、町の魅力を広く知っていただく機会となりました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、垂井町、垂井町教育委員会、「清流の国ぎふ」文化祭2024垂井町実行委員会

223 とみか歴史シンポジウム 富加町

開催日 令和6年10月20日(日) 会場 タウンホールとみか



実施状況

「人びとの記録、いにしへの記憶 美濃有数の歴史遺産を育み、大切に伝えてきた富加町。この地域に暮らした古代の人びとに思いを馳せるとき、これからの未来に何を伝えればよいかみえてくる。」をテーマとしたシンポジウムを開催しました。

「国史跡夕田墳墓群の保存活用計画」に関する報告1本、夕田墳墓群の歴史的意義に関する基調講演1本、講演2本(井高1号古墳・半布里戸籍が主な題材)、トークセッションを行い、県内外から250名に参加いただきました。

また1階ロビーでは、県立関高等学校地域研究部によるポスターセッションと、半布里文化遺産活用協議会によるPRブースを設置しました。ポスターセッションでは地域研究部員による生解説もあり、真剣に話を聞きながら、ポスターを注意深く眺める来場者の姿が見られました。

また、来場者には資料集「はじめてのとみか古代史BOOK」と当日発表資料を配布し、イベント中や休憩時に熱心に読み込む姿も見られました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、富加町、「清流の国ぎふ」文化祭2024富加町実行委員会

222 歴史講演会「古代池田地域の歴史的特質 —「壬申の乱」の大海人皇子の「湯沐邑」と設置の背景—」 池田町

開催日 令和6年11月9日(土) 会場 池田町中央公民館



実施状況

県内で関ヶ原合戦と並ぶ「天下分け目の戦い」として有名な、古代最大の内乱「壬申の乱」。大海人皇子は乱に際し、真先に岐阜県西濃地域にあった皇子直轄領「湯沐邑」の人員を動かして「不破道」を押さえ、勝利を手にして天武天皇として即位しました。この「湯沐邑」の中心は、現在の池田町一帯であったことが、今までの研究で明らかになっています。

講演会には、この研究の第一人者である、東京大学名誉教授・田島公氏をお招きし、研究の端緒からプロセス、最新の情報まで盛り込んだお話をいただきました。現池田町一帯は6世紀頃から大王家(天皇家)とのつながりを強めていき、飛鳥時代以降はほとんどが大王家と関わりのある部という集団に組み込まれ、それら皇室関係の集団が統合されて大海人皇子の「湯沐邑」の中心になったことを講演いただきました。

約370名の参加者は、レジュメを参照しながらメモを取るなど、熱心に講師の話聞き、ふるさと池田町が、大海人皇子に頼りにされた地域だったこと、皇子を助けて勝利に導いたことなどに思いを馳せていました。参加者からは「わが町にそんな時代があったと知って、誇りに思う」「住み慣れた土地でもまだまだ知らないことがあると勉強になった」との感想をいただき、新たなふるさとの誇りを学ぶかけがえのない講演会となりました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、池田町、「清流の国ぎふ」文化祭2024池田町実行委員会

224 博物館・文化財保護センター連携企画展「寺院跡からみた岐阜の歴史 —古代・中世寺院跡総合調査の成果より—」 関市

開催日 令和6年11月9日(土)～令和7年1月13日(月祝) 会場 岐阜県博物館



実施状況

県内では平成30年度から令和4年度まで実施された岐阜県古代・中世寺院跡総合調査によって、1,918ヶ所の古代・中世寺院が確認され、寺院跡からみた県内の古代・中世の様子が少しずつ明らかになってきました。

本企画展では、岐阜県古代・中世寺院跡総合調査の成果報告と、県内の主な寺院跡の発掘調査の出土品を展示・紹介しました。

【展示構成】
第1章 岐阜県古代・中世寺院跡総合調査
第2章 発掘された岐阜の古代・中世寺院跡

【主な展示品】
・各務原市山田寺跡出土軒丸瓦(各務原市埋蔵文化財調査センター蔵)
・瑞浪市笹山遺跡出土経箱紐金具(瑞浪市蔵)
・高山市日焼遺跡出土瑞花双鳥八稜鏡(岐阜県文化財保護センター蔵)
・池田町高畑遺跡出土浄瓶(岐阜県文化財保護センター蔵)
・岐阜県重要文化財 正法眼蔵第十六(岐阜県博物館蔵)

主催 岐阜県博物館、岐阜県文化財保護センター、岐阜新聞社、岐阜放送

225 国指定重要文化財・願興寺本堂解体修理工事現場見学会 御嵩町

開催日 令和6年11月17日(日)

会場 願興寺



実施状況

中山道御嶽宿の西の入口にある「大寺山願興寺」は、弘仁6年(815)、伝教大師最澄によって開創され、1200年にわたって受け継がれてきた古刹です。国の重要文化財である本堂は、これまでに天仁元年(1108)、元龜3年(1572)と2度の兵火により焼失したとされ、現在の本堂は天正9年(1581)に地域の人々が板1枚・柱1本を持ち寄って再建したと伝えられています。

再建後、440年以上が経過した本堂は、傷みがひどくなってきたことから、平成29年度から令和8年度までの10年の歳月をかけて全解体修理を実施しているところです。修理期間中、一般の方は中の工事の様子を見ることはできませんが、貴重な機会であることから、歴史と文化を身近に感じていただくために、修理工事現場見学会を開催しました。参加者からは「非常に分かりやすい説明で良かった」や「良い体験ができた」などの声をいただきました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、御嵩町、「清流の国ぎふ」文化祭2024御嵩町実行委員会

227 恵那の歴史文化体験ツアー 恵那市

開催日 令和6年11月4日(月休)

会場 中山道大井宿、国史跡正家廃寺跡、中山道ひし屋資料館、中山道広重美術館



実施状況

県内外から75名が参加し、4つのグループに分かれて恵那市の中山道大井宿、国史跡正家廃寺跡、中山道ひし屋資料館、中山道広重美術館を巡り、恵那市の歴史の魅力を知り、理解を深めました。

中山道大井宿では「中山道かたりべの会」による案内で明治天皇大井行在所、長屋門、本陣、高札場などを巡りました。奈良時代の古代寺院跡で国史跡である正家廃寺跡では、今も良好に残る塔や金堂の基壇や当時の礎石を見学し、法隆寺式伽藍を持つ特徴などを正家廃寺保存会から説明を受けました。

中山道ひし屋資料館では、大井宿の豪商の邸宅と趣のある中庭を見学し、中山道広重美術館では、重ね刷りの体験も行い、浮世絵の印刷過程や広重の描いた作品に触れることができました。郷土食の五平餅と納豆入りのスタミナ味噌汁の昼食も、美味しいと好評でした。

地元の参加者の方々からも「こんな史跡があることを知らなかった」、「地域の貴重な歴史文化に触れることができた」などの感想をいただき、改めて恵那の歴史文化を知っていただく機会となりました。

【協力団体】

中山道かたりべの会、正家廃寺保存会、美術館ボランティア幽遊会、恵那市観光協会

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、恵那市、恵那市教育委員会、「清流の国ぎふ」文化祭2024恵那市実行委員会

226 技で魅せる!文化財3選～小木棒の手・水月窯・五峰庵～ 多治見市

開催日 令和6年10月16日(水)～11月4日(月休)

会場 ヤマカまなびパーク



実施状況

岐阜県無形民俗文化財「小木棒の手」、多治見市無形文化財「水月窯」、多治見市名勝内建造物「五峰庵」茅葺屋根葺き替えについて、技をつなげる人達の美しい所作や手仕事、道具に焦点を当て、展示を行いました。ジャンルの異なる3つの文化財を紹介する初めての試みとなりました。

「小木棒の手」展示では、演武で使用する道具や仕組帳と言われる毎年の演目の記録、祭礼の山車飾り、馬の鞍などを展示。「水月窯」展示では、やきものをロクロで作するための手作りの道具や、半製品、製品など作る過程を知っていただけるような展示となりました。「五峰庵」展示では、茅葺職人の道具や茅などの材料を間近で見えていただける展示となりました。

また、それぞれの文化財について、技を伝える方々へのインタビューも事前に行い、展示パネルで紹介しました。展示場所は多くの方が利用する図書館などの複合施設であり、中・高校生の利用も特に多いため、幅広い年代の多くの方に来場いただきました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、多治見市、多治見市教育委員会、「清流の国ぎふ」文化祭2024多治見市実行委員会

228 高山陣屋歴史体験プログラム 高山市

開催日 令和6年5月31日(金)～10月31日(木)

会場 高山陣屋



実施状況

【こどもじんや】

飛騨地域の小・中学校から6校の申込みがあり、児童生徒がウォークラリーや飛騨地域の伝統的な屋根の葺き方である半樽熨斗葺きなどを体験しました。

ウォークラリーでは、子ども達が日本で唯一江戸時代の主要な建物が現存する高山陣屋の中を探検し、目標となるアイテムを見つけながら、高山陣屋や飛騨地域の歴史や文化に触れてもらうことができました。半樽熨斗葺き体験では、御役所北側で行われていた屋根の葺き替え工事現場を見学し、その後、模型屋根に実際に樽板を釘で打ち付けて屋根を葺いてもらい、樽板の加工方法や屋根の仕組み・葺き方など、飛騨地域の伝統的な技術を体験してもらうことができました。

【ブラ高山】

室内講座と高山陣屋の周辺散策による歴史講座を予定していましたが、雨天のため、室内講座のみ開催しました。

具体的な図版と講師の詳しい説明により、城下町から陣屋町に再編された近世から近代高山の様相を知り、高山の街並みの歴史を感じてもらうことができました。

主催 高山陣屋管理事務所

229 企画展「陣屋町高山」展

高山市

開催日 令和6年10月5日(土)～11月24日(日)

会場 高山陣屋



実施状況

飛騨国の支配が高山藩(金森氏)から江戸幕府へ移り変わったとき、高山町にはどのような変化が生じたのか、高山城を中心とした「城下町高山」から陣屋を中心とした「陣屋町高山」への変遷を、「絵図からひも解く高山の変遷」と題して、絵図などの史料による企画展として高山陣屋九番蔵で開催しました。

金森時代後期の「高山町絵図」、幕府直轄地時代前期の「飛騨国高山町絵図」、後期の「高山町絵図」の展示では、武家地が町人地へと変遷する様子を観覧できるように展示しました。

また、高札の展示では、高札場が重要な役割を持ち、陣屋町で幕府が人々に周知した法令・禁制などから当時の様子を知っていただくことができました。企画展は通常の見学ルート上に設置したことから、入場された全ての方が観覧できるようになっており、絵図や高札などの史料をじっくりご覧いただく姿が多く見られました。

主催

高山陣屋管理事務所



230

そらはく
空宙博特別企画展 月への挑戦ーアポロ計画から50年、人類は再び月を目指すー 各務原市

開催日 令和6年10月12日(土)～令和7年3月9日(日)

会場 岐阜かかみがはら航空宇宙博物館



実施状況

空宙博(岐阜かかみがはら航空宇宙博物館)に新たに多目的施設「SPACE BOX(スペースボックス)」が完成しました。そのこけら落としとして、今、世界的に注目を集め、宇宙開発で最もホットな「月への挑戦」をテーマに、偉大な先人達の挑戦の歴史や、日本をはじめ世界各国が力を入れる月面開発の最新情報を紹介しました。

約50年前、人類が月へ挑み、持ち帰った「月の石」や「月の砂」、アポロ17号の乗組員が着用していた「船内宇宙服」、NASAが開発した最新大型ロケット(全長約100m)の世界最大級の模型(20分の1)や200万分の1サイズの月球儀、更には日本の挑戦として、民間企業が独自に開発した月着陸船の実物大模型など、目を見張る展示の数々に感嘆の声をあげる子ども達や、熱心に解説パネル

を読む大人の姿が見られました。

月旅行や近未来の月面基地を体験できる映像は、宇宙開発の迫力を体感でき、「すごい!」、「もう1回見よう!」と何度も見に行く方もいるほど、大変好評でした。

また、講演会や体験教室などさまざまな関連イベントを開催し、子どもから大人まで、世代を問わず多くの方楽しんでいただきました。

こけら落としにふさわしい盛り上がりを見せるとともに、まさに空宙博の理念「先人の空・宇宙への憧れ、挑戦の物語を伝え、次代を担う子ども達にチャレンジスピリットと感動を与える」を体現する特別企画展となりました。

主催

岐阜県、各務原市、公益財団法人岐阜かかみがはら航空宇宙博物館

231 みのやきさい 第13回美濃焼祭

多治見市

開催日 令和6年10月12日(土)～14日(月祝)

会場 JR多治見駅南北連絡線、虎渓用水広場、
JR多治見駅南駅前広場 他

実施状況

美濃焼は、1300年以上にわたり、東美濃地域で焼かれてきました。この地域から、国指定重要無形文化財保持者（人間国宝）や岐阜県重要無形文化財保持者を輩出しています。その美濃の巨匠の作品を多治見駅の南北連絡線に展示し、美濃焼の技、素晴らしさを全国、更には世界に向けて発信するイベントを開催しました。

多治見市内で制作されている個性あふれる6窯元のブースを一堂に設け、上質な美濃焼を販売しました。また、転写体験、モザイクタイル工作体験、サボテン寄せ植え体験などのワークショップを開催し、美濃焼に触れ、親しんでいただきました。

ステージイベントでは、12日(土)は草の頭窯・青山双溪氏（多治見市無形文化財保持者）による作陶パフォーマンス、13日(日)は宇佐美賢祐氏（第13回国際陶磁器展美濃 入賞者）による作陶パフォーマンスや、第4回全国やきもの甲子園プレイベントの「高校生くろ対決!!」、14日(月祝)は多治見市出身のミュージカル女優・歌手の松原凜子氏によるトーク&ライブなどを開催し、多くの方々に楽しんでいただきました。

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、多治見市、「清流の国ぎふ」文化祭2024多治見市実行委員会、オリベステーションたじみ観光イベント実行委員会

233 第81回たじみ陶器まつり

多治見市

開催日 令和6年10月13日(日)～14日(月祝)

会場 多治見美濃焼卸センター



実施状況

地元企業40社の大廉売市と県外を含む60のクラフトマン（陶芸家）の出店により開催しました。

小学生以下を対象としたロクロ体験を行い、多数の子どもが参加したほか、県内の中・高校生の吹奏楽の演奏とキッズダンスなどの演技で会場が盛り上がりました。

ほかにも、フードロスの改善と地域の支援に寄与するフードドライブを実施したり、「注文に時間のかかるカフェ」を開催し、吃音がある若者が接客するカフェにより、吃音に関する認知を高める機会としました。

通常の屋台や飲食業者に加えキッチンカーを12台出店し、多くの家族連れなどで賑わいました。

同時期に多治見市内では多くの陶磁器イベントが開催されており、たじみ陶器まつりでは、県内外から4万人を超える来場がありました。

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、多治見市、「清流の国ぎふ」文化祭2024多治見市実行委員会、たじみ陶器まつり実行委員会

232 瑞浪市陶磁資料館特別展「美濃近代窯業の開拓者 曾根磁甕園製陶所」

瑞浪市

開催日 令和6年10月12日(土)～令和7年2月23日(日祝)

会場 瑞浪市陶磁資料館



実施状況

恵那郡猿爪村（現在の瑞浪市陶町猿爪）において、江戸時代末期の文久元年（1861）に創業し、戦後には日本を代表する洋食器メーカに成長した曾根磁甕園製陶所の歴史や技術などを紹介するため、同社が明治時代から平成時代にかけて製造した洋食器や関連資料などを展示するとともに、創業者である曾根庄兵衛をはじめとする歴代経営者の業績などを紹介しました。

通常の企画展とは異なり、展示スペースを大幅に拡大して約100点の製品・資料を展示し、会期中には一部の展示替えも行いました。子どもを含む家族連れから年配の方まで幅広い年齢層の来館者があり、また、曾根磁甕園製陶所の元従業員や取引先企業の方などにも多数来館いただき、展示品を懐かしんで観覧される姿も見られました。

本展は主として曾根磁甕園製陶所の洋食器に焦点を当てた展覧会であり、近現代における美濃焼の歴史やその魅力などを広く発信することができました。さらに、期間中には展示品の写真や同社の歴史などを掲載した特別展図録を刊行し、展示品の歴史的な位置づけや解説、また記録化なども行いました。

なお、本展は瑞浪市制70周年記念事業、「国際陶磁器フェスティバル美濃'24」関連事業にもあたり、非常に充実した内容の特別展となりました。

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、瑞浪市、「清流の国ぎふ」文化祭2024瑞浪市実行委員会

234 「美濃桃山陶、どう料理する?!」シンポジウムと特別展示

土岐市

開催日 【シンポジウム】 令和6年10月20日(日)
【特別展示】 令和6年10月20日(日)～11月4日(月休)

会場 土岐市文化プラザ



実施状況

【シンポジウム】

美術評論家・山田五郎氏、愛知県陶磁美術館総長/町田市立博物館館長・伊藤嘉章氏、陶芸家・高橋奈己氏、陶芸家/茶道家・沼尻真一氏を迎えてシンポジウムを開催しました。

第1部：トークセッション「重要文化財2,000点っておもしろい! 桃山陶って楽しい?!!」

登壇者…伊藤嘉章、
土岐市文化振興事業団学芸員4名（中嶋、春日、澤井、鍋内）

第2部：パネルディスカッション「美濃桃山陶、どう料理する?!」
登壇者…山田五郎、高橋奈己、沼尻真一、伊藤嘉章、春日美海

【特別展示】

シンポジウムに関連して開催した特別展示「新しい茶陶に挑む 桃山と現代」とでは、安土桃山時代から江戸時代初頭にかけて生産された「美濃桃山陶」と、現代の作り手が生み出した「現代茶陶展受賞作品」を展示し、いつの時代も望まれて生まれてきた「新しい茶陶」の姿を表現しました。

シンポジウムと特別展示を通して、重要文化財である美濃桃山陶を中心に、美濃焼の歴史や魅力を県内外に発信することができました。

主催

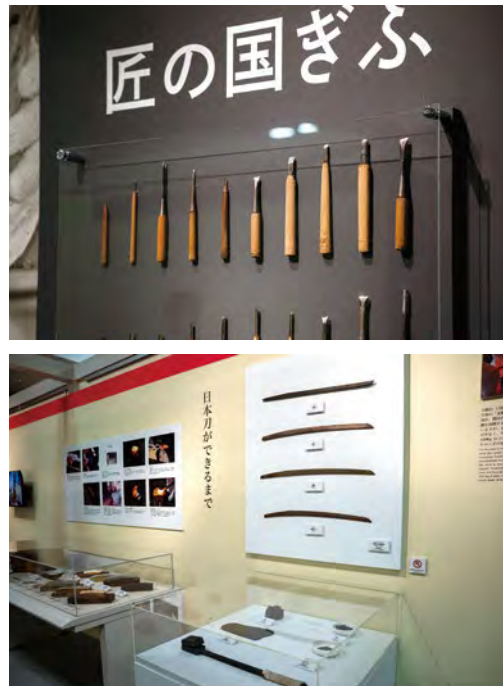
文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、土岐市、「清流の国ぎふ」文化祭2024土岐市実行委員会

235 「匠の国ぎふ」の技を支える道具展

高山市

開催日 令和6年10月14日(月祝)～11月24日(日)

会場 飛騨・世界生活文化センター



実施状況

「匠の国ぎふ」の伝統技術を継承するため、県内地場産業で使われている道具と、その道具が生み出す製品の魅力を紹介する道具展を開催しました。

会場を大きく4つのエリアに分けて展示し、「木工エリア」では、式年遷宮の御用材伐採の斧入式で使われた斧、林業や伝統建築、祭屋台、一位一刀彫、飛騨春慶の道具と製品を紹介しました。

「刃物エリア」では、日本刀の製作に必要な道具と、その技術を受け継いで生産される刃物製品の数々を紹介しました。

「和紙エリア」では、本美濃紙(ユネスコ無形文化遺産)や美濃手すき和紙、飛騨地域で生産されている山中和紙のほか、美濃和紙を用いて作られる岐阜和傘や岐阜提灯の道具と製品を紹介しました。

「陶磁器エリア」では、人間国宝の荒川豊蔵氏、加藤孝造氏が使

用していた道具と作品の紹介や、美濃焼の生産に必要な道具と製品を紹介し、伝統技術の魅力を感じていただきました。

また、令和6年に発生した能登半島地震で大きな被害を受けた石川県輪島市の伝統的工芸品「輪島塗」に使われる道具と製品や、中国・ヨーロッパで使われている大工道具もあわせて紹介しました。

さらに、展示以外にも、高山陣屋の屋根板製作(くれへぎ)に関するトークショーやワークショップも開催し、多くの来場者に岐阜県の伝統技術に欠かせない道具の魅力を知っていただく機会となりました。

【展示数】615点(道具444点、製品171点)

主催 岐阜県、飛騨コンソーシアム

236 関の刃物体験

関市

開催日 令和6年11月3日(日祝)

会場 せきてらす



実施状況

関の刃物を使った体験イベントを開催しました。

「包丁研ぎ講座」では、研ぎのプロである深川誠氏を講師とした講座を行いました。参加者は熱心に講師の話聞き、包丁の研ぎ方を教わりました。

「シャインカービングワークショップ」では、彫刻刀でビニールシートを削り、ガラスのような質感を生み出す、新アート「シャインカービング」の制作体験を全3回行いました。参加者は好きなデザインのシートを選び、自由に模様を彫り、作品を作りました。

「鍔レジンワークショップ」では、鍔の金型にレジンを流し込み、オリジナルのレジン製鍔を制作する体験を全4回行いました。参加者は数種類ある鍔の型から好きなものを選び、砂鉄や色紙をレジンに混ぜながら、自分だけの鍔を作りました。

「日本刀鑑賞」では、関伝日本刀鍛錬技術保存会の技能師が持ち寄った日本刀を実際に手に取って見ることができる鑑賞会を行いました。参加者は技能師から日本刀の扱い方や見どころなどを教えてもらいながら熱心に鑑賞していました。

「野鍛冶体験・打刃物ワークショップ」では、ステンレス刃物鋼や玉鋼を鍛造し、ペーパーナイフを作る体験を行いました。参加者は熱した材料を叩いて形を整え、自分だけの手作りペーパーナイフを作りました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、関市、「清流の国ぎふ」文化祭2024関市実行委員会

237 古式日本刀鍛錬・研磨外装技能一般公開

関市

開催日 令和6年11月3日(日祝)

会場 関鍛冶伝承館



実施状況

関市の日本刀文化を受け継ぐ関伝日本刀鍛錬技術保存会の刀匠が、古式日本刀鍛錬の実演を行いました。例年、1月2日に行われる神事の打ち初め式と10月の刃物まつりの時にだけ身を包む烏帽子と装束姿で、日本刀の製作工程のひとつである折り返し鍛錬を披露しました。

3回の実演を行い、来場者は飛び散る火の粉の迫力を写真撮影するなど、記録にも記憶にも残るイベントとなりました。

関鍛冶伝承館内の技能公開場では、白銀師、柄巻師、鞘師、研師による作業の実演も行い、来場者からの質問に答えるなどのコミュニケーションにより、関市の伝統文化である日本刀についての普及啓発につながりました。

国際的な日本刀の人気もあり、海外からも多くの来場者がありました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、関市、「清流の国ぎふ」文化祭2024関市実行委員会、関伝日本刀鍛錬技術保存会

238 飛騨の匠文化祭

高山市

開催日 令和6年11月16日(土)～17日(日) 会場 飛騨・世界生活文化センター



実施状況

【飛騨・美濃 文化産業マルシェ】

「岐阜県のごい“モノ”を、買って、食べて、体験できる2日間!」をテーマに、県内の各業界・各団体の協力を得ながら、岐阜県ならではの品物やグルメの販売、「飛騨の家具®」のアウトレット市、ワークショップなどを開催しました。

のべ43団体の出店により、技術やデザイン性に優れたモノを幅広く楽しめる場となり、県外からも多くの来場者が訪れ賑わいました。

【出店団体】

岐阜県産品市：19団体 飛騨の家具®アウトレット：4団体
飛騨・美濃グルメ：10団体 ワークショップ：5団体
その他：5団体

【文化講演会】

飛騨の匠学会学芸アドバイザー・田中彰氏を講師に「飛騨匠建物の始まりから現在まで」をテーマとした講演会を開催しました。市内外から多くの方々に来場いただき、終演後にも多くの質問や感想が出されるなど充実した講演会となり、「飛騨の匠」への関心の高さがうかがえました。

主催 飛騨・世界生活文化センター活用推進協議会、飛騨コンソーシアム

239 岐阜県発明くふう展

岐阜市

開催日 令和6年10月12日(土)～15日(火) 会場 マーサ21



実施状況

発明思想の高揚と科学技術の振興、地域産業の発展への寄与を目的に、県民の優れたアイデア・発明考案品を募集し、表彰・展示する作品展を開催しました。

県内16か所で開催された「発明くふう展」から「児童・生徒の作品の部」197点、「児童・生徒の絵画の部」106点の優秀な作品が集まりました。また、企業、個人などから「一般の部」28点、「商標・社標の部」13点と、4つの部門で計344点の応募がありました。どれもさまざまな工夫やアイデアが盛り込まれ、見る人をワクワクさせる作品ばかりでした。

「児童・生徒の作品の部」74点、「児童・生徒の絵画の部」30点、「一般の部」15点が入賞し、14日(月祝)、15日(火)に表彰式を行いました。受賞者からは「受賞でき大変うれしかった。来年度も新しいアイデアで作品を作りたい」などの声をいただきました。

また、期間中には全ての作品を会場に展示し、のべ3,500名以上に来場いただきました。来場者からは「子ども達のアイデアが面白い」「どの作品も素晴らしい」「昔、発明くふう展に出品したことがあり懐かしかった」などの声をいただきました。

主催 岐阜県発明くふう展実行委員会

240 第21回ぎふ技能フェスティバル

各務原市

開催日 令和6年10月20日(日) 会場 岐阜かかみがはら航空宇宙博物館



実施状況

岐阜県が誇る産業文化を広く県内外へ発信するため、「みてみよう、ふれてみよう、作ってみよう」をテーマに、多くのものづくり企業が集積する各務原市にある「岐阜かかみがはら航空宇宙博物館」を会場として開催しました。

当日は、ミニ椅子、ミニ畳、粘土での家紋型抜きなどさまざまな工作体験、熟練技能士による木材加工や壁紙貼り技の披露、工業高校生徒による作品展示などに、のべ672名の来場者がありました。

次代を担う子ども達に、世界に一つだけの製品を自分で作ることを通じて、匠の技の伝統や、ものづくりの楽しさを知っていただくことができました。

【主な体験内容】

丸太切り、ミニ椅子作り、塗り壁体験、光るドロダンゴづくり、
かんながけ体験、かわら並べ、和紙貼り体験、マグネットホルダー製作、
粘土で家紋型抜き、ミニ畳づくり、銅板レリーフ製作、竹細工教室、
小物の色塗り、スマホスタンド製作、ファブリックボード製作、
タックシール貼り、巾着袋づくり、自分で描いた作品を額に飾る、
ミニ時計づくり、木材組立、電子工作、キーホルダーづくり 他

主催 岐阜県技能士会連合会

241 ものづくり岐阜テクノフェア2024

岐阜市

開催日 令和6年10月25日(金)～26日(土) 会場 岐阜メモリアルセンター



実施状況

県内外の企業・大学・研究機関などが一堂に集まり、優れた製品や技術・研究成果などを展示するフェアを2日間にわたり開催し、県内企業の魅力を幅広く発信しました。

節目の10回目となる今回は、「岐阜のものづくり、変革へのチャレンジ」をテーマに掲げ、計73団体が約100のブースを設け、伝統的なものづくりから先端技術までを展示し、約8,300名の方々に来場いただきました。このほか、ものづくりの最前線を紹介し、次代のビジネス展開につなげるため、製造業におけるDXや生成AIのビジネス活用に関する講演会を開催しました。

また、将来を担う子ども達を対象に、「ものづくり」の大切さ、面白さを体験できる工作教室を開催し、好評を博しました。

【プログラム】

出展ゾーン：DAISEN(株)、岐阜大学、岐阜県産業技術総合センター 他70団体
記念講演：演題 インダストリー4.0と製造業DX
講師 福本勲(同) アルファコンパス)
特別講演：演題 生成AIのインパクトとビジネスでの活用を考える
講師 西脇資哲(日本マイクロソフト(株))
ものづくり体験教室：鋳物キャラクター、オリジナル模様のコースター 他

主催 一般社団法人岐阜県工業会

242 ソフトピアジャパン文化祭「ソフこい祭り」 大垣市

開催日 令和6年10月26日(土)

会場 ソフトピアジャパン センタービル



実施状況

ソフトピアジャパンエリアの企業と地域のみなさまとの交流を目的として開催しました。

昼の部では大垣市内の中学校3校が参加する「ソフこい吹奏楽フェスティバル」を行いました。3校それぞれの演奏の後、トロンボーン奏者・中川英二郎氏によるオープンスクールを開催しました。「アフリカン・シンフォニー」をテーマ曲とし、成果発表の合奏が終わると、来場者からは大きな拍手が送られました。

夜の部では「お月見コンサート」として、滋賀県長浜市を中心に活動するジャズバンド「Breeze Town BigBand」を招き、屋外の水上ステージでスウィングジャズを披露しました。月明かりの下で奏でられた温かみのある演奏に、来場者は酔いしれました。

【プログラム・出演団体】

昼の部「ソフこい吹奏楽フェスティバル」

講師：中川英二郎

出演：大垣市立北中学校吹奏楽部、大垣市立赤坂中学校吹奏楽部、大垣市立西部中学校吹奏楽部

夜の部「お月見コンサート」

出演：Breeze Town BigBand

主催

ソフトピアジャパン四季の回廊推進委員会

243 おおのフェスタ2024 大野町

開催日 令和6年11月2日(土)～3日(日祝)

会場 大野町役場



実施状況

大野町の活性化を目的に、2日間にわたるイベントを開催しました。

特設ステージにおいて各種ステージイベントを開催したほか、大野町観光協会、いび川農業協同組合、大野町商工会、福祉団体などによる物産販売や、キッチンカーの出店を行いました。

ステージでは、子ども園の園児による鼓隊演奏や、和太鼓、ダンスなどの披露に加え、大野町出身タレントやスポーツ選手によるトークショー、アンパンマンショーなどさまざまなイベントを行い、たくさんの方で賑わいました。

【ステージイベント・プログラム】

2日(土)

- ・北海道北見市長旗争奪学童野球大会表彰式
- ・元中日ドラゴンズ選手・藏本英智 トークショー&サイン会
- ・JAいび川カルチャー部会「フラチーム マルヒア」

3日(日祝)

- ・東さくらこども園の園児による鼓隊演奏
- ・JAいび川カルチャー部会「大野ステップダンス」
- ・それいけ!アンパンマンショー
- ・元岐阜スウィープス選手 トークショー&サイン会 ・よさこいグループ演舞
- ・大野町出身タレント 岡田義徳、松田大輔 トークショー&サイン会
- ・ビンゴ大会(JAいび川主催)

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、大野町、「清流の国ぎふ」文化祭2024大野町実行委員会、大野町観光協会、いび川農業協同組合

244 津保川産業祭 関市

開催日 令和6年11月3日(日祝)

会場 関市上之保生涯学習センター周辺



実施状況

関市武儀・上之保地域の特産物の魅力を堪能していただき、地域のみなさんの活動を披露するなど、地域を盛り上げるイベントを開催しました。

18店舗が出店し、飲食では「ヘボ(クロスズメバチ)ご飯」、栗ご飯、鹿肉コロッケ、上之保地域特産の柚子を使った「ゆずからあげ」やフランクフルトのほか、どぶろくなどが味わえ、物販では地元朝市から各種野菜や武儀地域特産のしいたけなどを販売しました。

ステージイベントでは、地元保育園児や小学生による太鼓演奏、地元の有志音楽団体による昭和歌謡、ライブコンサート、ロック演奏などで賑わいました。

また、ゲストのチェウニ氏の歌謡ショー、冴木ゆう氏のマジックショー、マジカル♡パレードBEACHの歌謡ショーと、バラエティー豊かなパフォーマンスが来場者を魅了しました。

そのほかにも体験コーナーでは地元農協の「農産物輪投げ」、森林組合の「すきコブター作り」、元地域おこし協力隊員の鹿肉ソーセージゆず風味の試食、地域おこし協力隊員の上之保ミュージックビデオ上映など、食べる・聴く・見るなどさまざまな角度から地域色を味わい、楽しめるイベントとなりました。

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、関市、「清流の国ぎふ」文化祭2024関市実行委員会、津保川イベント実行委員会

245 八百津町産業文化祭 八百津町

開催日 令和6年11月9日(土)～10日(日)

会場 八百津町ファミリーセンター・駐車場周辺



実施状況

商工業・農林業・伝統文化などを一挙にお披露目する八百津町の一大イベントで、地域おこし協力隊のブースや提携市町(愛知県南知多町・福井県敦賀市・石川県穴水町)の出店など、販売・体験・展示など94団体・80テントにより、会場は多くの方で賑わいました。

お酒やお酢、しょうゆ、お茶や、商工会青年部が作る地元産にこだわったラーメン、八百津中学生が作る豚汁・ワッフルなど町の魅力満載の特産品が多く販売されました。

オープニングは町内保育園児によるミナモダンスの披露と消防団ラッパ隊による演奏ではじまり、会場の中心では、町の特産品である八百津せんべいのジャンボせんべい焼きの実演と試食があり、専用の鉄板で直径1メートルほどの大きさに焼き上げたせんべいを来場者に振る舞いました。

また、木のジャングルジムの組立体験や、地元木材を使い伝統工法でバス停を建てる催しもあり、子どもも大人も楽しめる企画が盛りだくさんの2日間となりました。

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、八百津町、「清流の国ぎふ」文化祭2024八百津町実行委員会、八百津町産業文化祭実行委員会

246 東白川村産業文化祭 秋フェスタ'24

東白川村

開催日 令和6年11月16日(土)～17日(日)

会場 はなのき会館



実施状況

「自然いきいき 人のびのび つなごう美しい村東白川へ」を大会テーマとし、東白川村を中心とした約30団体の参加により開催しました。

東白川村は「日本で最も美しい村連合」へ加盟しており、村で大切にされている自然や文化、産業をみんなでつくり、みんなで守り、未来の東白川村へつないでいこう、という願いが込められています。

会場では特産品の販売やステージショー、農産物品評会など多くのイベントを行い、来場者は秋の魅力を満喫しました。

会館ホールでは「東白川村表彰式」を行い、産業振興功労者や農産物品評会入賞者など16名の方がその功績を称えられました。その後「芸能発表会」を開催し、合唱・吹奏楽・ダンスなど村内7団体が日ごろの成果を披露しました。

また、会館別館では「文化展」を開催し、写真や書道、絵画や手芸作品など約300点を展示。来場者からは「素人作品とは思えない見応えのある作品が多かった」などの感想をいただきました。

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、東白川村、「清流の国ぎふ」文化祭2024東白川村実行委員会、秋フェスタ実行委員会、東白川村文化協会

248 土木遺産を巡る親子バスツアー

美濃市、中津川市、恵那市 他

開催日 令和6年10月19日(土)、11月16日(土)

会場 美濃橋、大井ダム 他



実施状況

県内在住の小中学生とその保護者を対象に、人々の暮らしを支えてきた建設産業への理解を深めてもらうため、県内土木遺産を巡るバスツアーを2回開催しました。

1回目は、8組20名の方にご参加いただき、曾代用水土地改良区と美濃橋の見学、うだつの上がる町並みで和紙しおりの制作体験を行いました。曾代用水土地改良区と美濃橋では、施設の歴史についてそれぞれの管理者からのお話を聞いていただきました。うだつの上がる町並みでは、和紙しおりの制作体験に加えて、ボランティアの方による町並みガイドを行い、地域に根付いた伝統を楽しみながら学んでいただきました。

2回目は、13組34名の方にご参加いただき、大井ダムの見学と多治見市モザイクタイルミュージアムでのフォトフレーム作り体験を行いました。大井ダムでは、恵那市の担当者からダムの歴史について解説していただきながらダム堤体を歩きました。多治見市モザイクタイルミュージアムでは、フォトフレーム作り体験や各種展示品の見学など、親子で楽しみながら伝統産業に触れていただきました。

主催

公益財団法人岐阜県建設研究センター

247 飛騨の家具®フェスティバル

高山市、飛騨市

開催日 令和6年10月19日(土)～23日(水)

会場 飛騨・世界生活文化センター、各社ショールーム(高山市内・飛騨市内)



実施状況

「心の豊かさ ～こころ豊かに暮らす～」(飛騨デザイン憲章第3条)をテーマに、豊かな感性と確かな技で作られた新作家具などを展示しました。

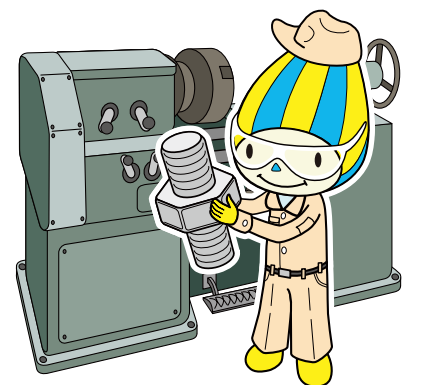
メイン展示ブースでは、「心の豊かさ」を表現する樽^{くれば}のテーマブースを設け、来場者の方々を楽しませるとともに、ゆかりのゲストによるさまざまなトークイベントを開催しました。

また、伝統に培われた技術を持つ14企業、5団体が、洗練されたデザインの椅子やテーブルなどを展示しました。令和5年に好評だった「飛騨つくり手市」も開催し、飛騨で活躍する作家14組、4店がクラフトなどの展示販売を行いました。

また、併催事業として、「第9回飛騨の家具®絵画コンクール～あったらいいな、こんなイス～」の作品展示、飛騨の家具®勉強会、2024匠・DNA展、飛騨の工房家具新作展など数多くの催しを行い、県内外の多くの来場者の方に「飛騨の家具®」の魅力を紹介することができました。

主催

飛騨の家具®フェスティバル実行委員会、協同組合飛騨木工連合会



249

海外・国内大交流プログラム～踊りでつながる岐阜と世界～ 岐阜市

開催日 令和6年10月19日(土) 会場 信長ゆめ広場



実施状況

岐阜県の玄関口であるJR岐阜駅前において、ユネスコ無形文化遺産に登録されている国内外の伝統ある踊りや音楽の大交流イベントを開催しました。

特設ステージでは、国内各地の「風流踊」が集結し、岐阜県の「寒水の掛踊」、新潟県の「綾子舞」、秋田県の「西馬音内の盆踊」、京都府の「京都の六斎念仏」の各保存団体が唄、笛、太鼓、鉦などに合わせ、厳粛で華やかな踊りを披露しました。また、海外からはリトアニアのフォークダンス、インドネシアの伝統楽器「アングルン」の演奏によって世界に誇る踊りと音楽が岐阜でつながりました。

広場では、やぐらを設けて誰でも参加できる「郡上踊」を開催し、郡上おどり保存会によるお囃子のもと、参加者が国を越えて何重もの踊りの輪をつなぎました。

また、令和6年に発生した能登半島地震の復興を祈念し、石川

県中能登町の下出獅子舞保存会による勇壮な舞いの披露と、中能登町をはじめとした石川県の物産も出しました。そのほか、県内団体による海外ダンスの披露や、岐阜県と世界のキッチンカー・ブースを出し、日本と世界の大交流を実現しました。

【出演】

寒水掛踊保存会(郡上市)
下出獅子舞保存会(石川県中能登町)
フォークダンス・アンサンブル「ネムナス」(リトアニア)
郡上おどり保存会(郡上市)
柏崎市綾子舞保存振興会(新潟県柏崎市)
岐阜大学インドネシア留学生会「PPI Gifu」
西馬音内盆踊保存会(秋田県雄勝郡羽後町)
京都中堂寺六斎会(京都府京都市) 他

主催

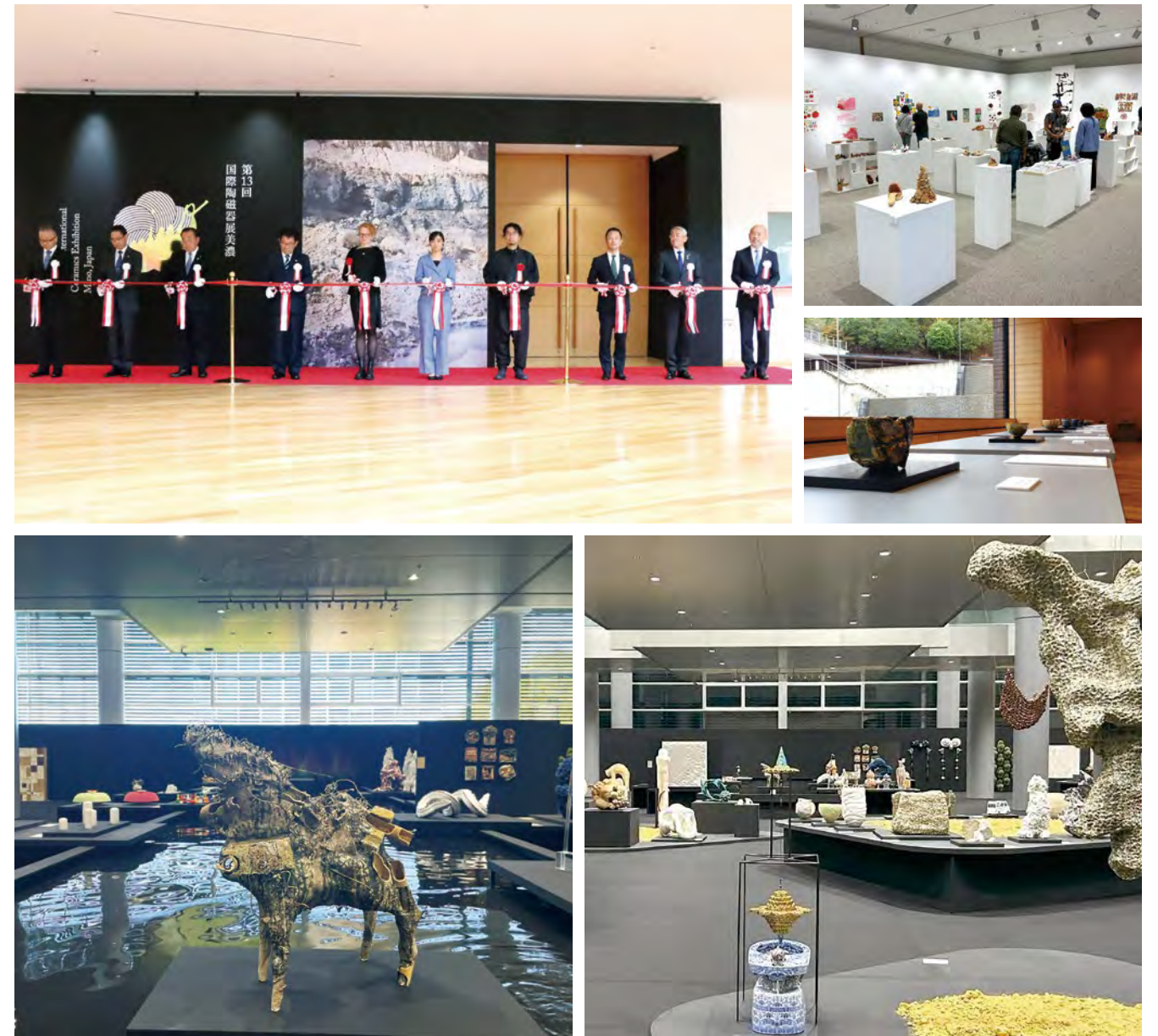
文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会

250

国際陶磁器フェスティバル美濃'24

多治見市

開催日 令和6年10月18日(金)～11月17日(日) 会場 セラミックパークMINO



実施状況

「土と炎の国際交流」をテーマに、美濃焼の産地を舞台として、3年に1度開催している世界最大級の陶磁器の祭典を開催しました。陶磁器のデザイン・文化の国際的な交流・発信を通じて、更なる陶磁器産業の発展と陶磁器文化の高揚を目指しています。

メイン催事の「第13回国際陶磁器展美濃」には、77の国と地域から2,128名、3,890作品の応募があり、参加国数、申請者数、作品数、いずれも過去最多となりました。展覧会では、国内外の著名な審査員10名により選ばれた203点の作品を展示し、斬新なアイ

デアあふれる作品、繊細な芸術作品、若手作家の情熱的な作品などにより、来場者の目を楽しませていました。

また、副催事の「産業・文化・地域振興事業」では、「美濃焼で魅せる」をコンセプトに、「美濃焼と人」「美濃焼と花」「美濃焼と音」「美濃焼と食」の各テーマに沿った、人の五感+a(心)を刺激する催事を開催し、来場者に多種多様な美濃焼の魅力を存分に味わっていただきました。

主催

国際陶磁器フェスティバル美濃実行委員会

251

ヘレンド社との交流事業（ハンガリー）

多治見市

開催日 令和6年11月8日（金）

会場 セラミックパークMINO



実施状況

ハンガリーを代表する磁器製作会社のヘレンド社との交流イベントとして、メレーニ・クリスティーナ氏（リスト・ハンガリー文化センター所長）、ヘレンド社日本総代理店の星商事（株）で広報を務める塩谷博子氏による講演会を行いました。

開会挨拶は、岐阜県で美濃焼などを学ぶために来日中のヘレンド社のベアタ・エルデリ氏に、閉会挨拶は、令和5年にヘレンド社で学ばれた幸兵衛窯の佐藤雅子氏に行っていました。

講演会では、ハンガリーが誇る、美しい街並みや食文化、ハンガリーの名窯ヘレンド社の歴史や製品の魅力など、映像を交えながら紹介しました。メモを取りながら聴く参加者の姿が見られるなど、大変興味深く聴いていただきました。

終了後は、会場隣で開催中の「美濃焼展（セラミックパレー展）～ヘレンド社との交流～」を観覧いただき、令和5年にハンガリーヘレンド磁器博物館で開催した「美濃焼展」の様子や、ヘレンド製品の魅力を存分に味わっていただきました。

【プログラム・出演者】

開会挨拶 ヘレンド社からの研修生 ベアタ・エルデリ
講演 リスト・ハンガリー文化センター メレーニ・クリスティーナ
講演 ヘレンド社日本総代理店 星商事（株） 塩谷博子
閉会挨拶 ヘレンド社への研修生 幸兵衛窯 佐藤雅子

主催

国際陶磁器フェスティバル美濃実行委員会

252

展覧会「Ways of Earth」（ハンガリー）

多治見市

開催日 令和6年10月18日（金）～11月17日（日）

会場 岐阜県現代陶芸美術館



実施状況

ハンガリーを拠点に活動する陶芸家であるネーマ・ユリア氏と、岐阜県を拠点に活動する陶芸家である日置哲也氏と阿曾藍人氏の国際交流プロジェクトと、その成果を紹介する展覧会を開催しました。

陶芸に欠かせない素材である土、そして大地に対する鋭い感性を共有する3人の作家が、令和5年に岐阜とハンガリーのヴェスプレームで行ったフィールドワークで見つけた素材や感覚を、自らの表現として造形した陶芸作品を展示。ハンガリーの土と日本の土や釉薬を組み合わせた作品や、現地で出会った人々の姿や風景に着想を得た作品など、国や文化を越えて共有される自然への敬意を感じさせる作品が並びました。会場には、プロジェクトを記録したハンガリーの写真家・ツェガーニュー・アーコシュ氏の写真も展示し、作家達の交流の足跡を伝えるものとなりました。

会期中にはハンガリーから来日したネーマ・ユリア氏を含む作家達によるアーティストトークも開催。作家達から、岐阜とヴェスプレームでの経験や作品について語っていただきました。

【出品作家】

ネーマ・ユリア Néma Júlia 日置哲也 Hioki Tetsuya
阿曾藍人 Aso Rando ツェガーニュー・アーコシュ Czigány Ákos

主催

岐阜県現代陶芸美術館

253

ポーランド・シロンスク県との交流

恵那市、岐阜市

開催日 ①令和6年10月10日（木）
②令和6年10月11日（金）会場 ①恵那文化センター
②サラムカホール

実施状況

岐阜県とポーランド・シロンスク県との交流の一環として、ポーランド国立民族合唱舞踊団「シロンスク」総勢60名を岐阜県に迎え、「林檎の花咲く国ポーランド」と題した公演を県内2カ所で開催し、ポーランドの民族舞踊や合唱を披露しました。10日（木）の恵那公演では667名、11日（金）の岐阜公演では425名に来場いただきました。

そのほか、関連イベントとして、シロンスク県の美しい風景や文化を紹介する写真パネル展（9月10日～10月9日、会場：恵那市役所）や、恵那市立長島小学校児童、県立加納高等学校音楽科生徒を対象としたポーランド舞踊のワークショップ（10月10日、会場：恵那文化センター、11日、会場：県立加納高等学校）、ポーランド物産展（11月1日～10日、会場：THE GIFTS SHOP）を開催し、さまざまな角度からシロンスク県について知っていただくとともに、岐阜・シロンスク両県の交流を深めました。

主催

岐阜県、ポーランド国立民族合唱舞踊団シロンスク

254

フランス・アルザス欧州自治体との交流

岐阜市

開催日 令和6年11月23日（土祝）～24日（日）

会場 アクティブ G



実施状況

岐阜県と交流のあるフランス・アルザス地方の豊かな食文化「ガストロノミー」に焦点を当てた、「アルザスワインナイト」を開催しました。

「アクティブ G」内の飲食店がこのイベントのための特別メニューを提供し、アルザスワインと一緒に食事を楽しむ多くの参加者で賑わいを見せました。

事前予約による参加者のほか、現地でイベントの開催を知り、当日参加する方も多く、フランス・アルザス文化を広くPRするイベントとなりました。

参加者からは、「アルザスワインはとてもおいしく、アルザス文化を堪能できた」「普段生産地を確認してワインを飲まないが、今回飲んだワインがおいしかったため、今後は生産地も気にしていきたい」などの声をいただきました。

また、同施設内の「THE GIFTS SHOP」で開催した「フランス・アルザス物産展」では、アルザスワインや雑貨を期間限定（11月15日（金）～24日（日））で販売し、訪れた方々にフランス・アルザス文化の魅力を発信しました。

主催

岐阜県

255 中国・江西省との交流

岐阜市

開催日 令和6年11月2日(土)

会場 ぎふ木遊館



実施状況

県が友好提携を結ぶ中国・江西省の芸術団が、木偶劇の公演を行いました。3部制である施設の開館時間に合わせ、計3回の公演を行ったところ、各回とも70名を超える方々に観覧いただき、好評を博しました。

また、来場者に人形に触れていただくコーナーでは、子ども達の人形に瞬きをさせたり、扇であおいだりする動きを体験し、県民と江西省芸術団が交流する貴重な機会となりました。

公演後、来場者からは「人形が生きているようだった」「普通の人形劇と違い、人形を操る俳優も人形と一体になって演技していて面白かった」「劇の途中でお面が変わってびっくりした」などの声をいただきました。

出演者からは、「友好関係のある岐阜県のぎふ木遊館という木をテーマにした会場で木偶劇を開催できたことをとても光栄に思う。お客さんに至近距離で見えていただき、とても良い公演ができた。またぜひ同じ会場で公演したい」との感想をいただきました。

【プログラム(各回同じ)】

1. 長編の舞 2. 扇韻 3. 変面

【出演団体】

江西省芸術団(江西省木偶劇団)

主催 岐阜県

256 モロッコとの交流

可児市、美濃加茂市

開催日 令和6年11月2日(土)～4日(月休)

会場 ぎふワールド・ローズガーデン、シティホテル美濃加茂



実施状況

モロッコ王国と岐阜県との間で続けられている交流をさらに深めるべく、ぎふワールド・ローズガーデンなどで秋のローズフェスティバル開催に合わせたモロッコ・イベントを開催しました。

2日(土)、3日(日祝)は、ぎふワールド・ローズガーデン内の「モロッコガーデン」前において、希少なアルガンオイルや革製スリッパ(バブーシュ)などモロッコの伝統的な工芸品を紹介したほか、ミントティーやハリラスープなど、モロッコの文化や工芸・食の魅力を発信しました。会場ではモロッコ出身の大使館職員によるアルガンオイルの抽選会やミントティーの振舞いなどがあり、参加者はモロッコの文化や工芸・食を堪能していました。

4日(月休)には、モロッコ王国と県との交流を記念し、シティホテル美濃加茂において駐日モロッコ王国大使・ラシャッド・ブフラル氏による特別講演会を開催し、約100名に参加いただきました。ブフラル大使からモロッコの観光や文化などの魅力について語っていただいた後、参加者から多くの質問が寄せられ、モロッコへの関心の高さを伺うことができました。

主催 岐阜県、駐日モロッコ王国大使館

257 ウズベキスタンとの交流

岐阜市

開催日 令和6年11月9日(土)

会場 都ホテル岐阜長良川



実施状況

令和6年7月に締結した、「岐阜県とサマルカンド州との交流促進に関する基本合意書」に基づき、「ウズベキスタン経済・投資・観光・文化セミナー」を開催しました。サマルカンド州政府関係者による経済・投資・観光・文化に関する講話のほか、在名古屋ウズベキスタン共和国名誉領事から「日本人から見たウズベキスタン」をテーマにお話しいただき、参加者はウズベキスタンの経済や文化への理解を深めることができました。

また、会場入口に展示したサマルカンド州の特産品である、ドライフルーツやナッツ類、じゅうたん、伝統衣装などに参加者は興味を示し、サマルカンド州の方々と活発に意見交換する姿が見られました。

【プログラム】

第1部 経済・投資セミナー

(講師：サマルカンド州 投資・産業・貿易局 主任役員
アクラムフ・シャフボズ)

第2部 観光・文化セミナー

(講師：サマルカンド州 観光局 課長 ミルゾクロフ・フスニディン)

第3部 在名古屋ウズベキスタン名誉領事による講話

(講師：在名古屋ウズベキスタン名誉領事 伊藤博之)

主催 岐阜県

258 ONSEN・ガストロノミーウォーキング(フランス) 高山市

開催日 令和6年10月16日(水)

会場 高山市街地



実施状況

地域に根ざした食、その背景にある地域の自然や歴史などを楽しむガストロノミーウォーキングを高山市内で開催しました。飛騨高山を代表する観光スポットである古い町並、朝市、城山公園、高山陣屋をはじめとした15スポットを周遊し、飛騨牛、高山ラーメン、漬物ステーキなど地元の食をお楽しみいただきました。

また、イベントには、ガストロノミーウォーキングの本場であり、岐阜県と友好関係にあるフランス・アルザス欧州自治体の関係者を招き、アルザスの厳選ワインやタルトフランベなどのメニューも提供しました。

地元岐阜県のほか愛知県をはじめ全国から128名の方に参加いただき、飛騨高山の歴史・文化を存分に味わっていただきました。

【主なプログラム】

出発式(9:30～10:00)

・コース・ガストロノミーの紹介

・出発セレモニー

ウォーキング(10:00～15:00)

※15分間隔でグループごとにスタート

主催 岐阜県

259 リトアニアNOW2024 岐阜市、八百津町

開催日 令和6年10月18日（金）～11月15日（金）

会場 サラマンカホール、岐阜大学、アクティブ G、
THE GIFTS SHOP、岐阜商工会議所、
八百津町ファミリーセンター



実施状況

令和6年で7回目を迎えた、リトアニアの文化や魅力を発信する「リトアニアNOW」。オープニングイベントでは、リトアニアから国内最高レベルのフォークダンス・アンサンブル「ネムナス」を招き、伝統的な歌と踊りを披露いただきました。また、八百津小学校児童とのコラボレーションにより、文化祭テーマソング「君が明日と呼ぶものを」を合唱しました。約400名の来場者は、「ネムナス」の素晴らしいパフォーマンスや歌声に魅了されていました。

オープニングを皮切りに、リトアニア写真パネル展示や物産展、文化教室、「ネムナス」による八百津町コンサート、駐日リトアニア大使による特別講演などさまざまなイベントを開催し、多くの方にリトアニアの魅力を体感いただくとともに、本イベントを通じて、岐阜県とリトアニアの友好の絆が更に深まりました。

【オープニングコンサート出演団体】

- ・リトアニア フォークダンス・アンサンブル「ネムナス」(41名)
- ・八百津小学校児童(20名)

主催

岐阜県

260 海外交流ガラコンサート（ハンガリー） 岐阜市

開催日 令和6年11月2日（土）

会場 サラマンカホール



実施状況

「ぎふ・リスト音楽院マスターコース」創設30年を祝し、ハンガリーから「リスト音楽院」の教授3名を招き、修了生と共演しました。

第1部は修了生と教授によるソロとアンサンブル、第2部は師弟2名によるチェロ二重奏と修了生による弦楽合奏、第3部は教授陣による庄巻のピアノ三重奏を演奏し、観客を魅了しました。

【プログラム】

- 第1部：Ⅰ ベッリーニ＝リスト：ノルマの回想 S.394
- Ⅱ リスト：悲哀 オーベルマンの谷より（ピアノ三重奏）
- Ⅲ ボッパー：レクイエム 作品66（チェロ六重奏）
- Ⅳ ラフマニノフ：チェロ ソナタ 短調 作品19 第3楽章
- Ⅴ シューマン：ピアノ五重奏曲 変ホ長調 作品44 第1楽章
- 第2部：Ⅵ バッハ：G線上のアリア
- ハイドン：チェロ二重奏曲 二長調 終楽章
- Ⅶ グリーグ：ホルベルク組曲 作品40 第1、4、5楽章
- チャイコフスキー：弦楽セレナーデ 八長調 作品48 第1楽章
- 第3部：Ⅷ ドヴォルザーク：ピアノ三重奏曲 第4番 ホ短調
- 「ドゥムキー」作品90

主催

公益財団法人岐阜県教育文化財団、岐阜県ハンガリー友好協会

261

文化的処方プログラム

岐阜市 他

[文化的処方シンポジウム 文化的処方先進の地～岐阜のこれまで・これから～]

開催日 令和6年10月16日(水)

会場 岐阜県庁



[文化的処方の実践]



実施日	ブース出展会場	実施日	ブース出展会場
10月19日(土)	海外・国内大交流プログラム ～踊りてつながる岐阜と世界～	10月20日(日)	皇居三の丸尚蔵館特別協力 PARALLEL MODE：山本芳翠 PARALLEL MODE：オディロン・ルドン
10月26日(土)～27日(日)	岐阜県農業フェスティバル	10月26日(土)～27日(日)	ヤナガセワインフェスタ 2024
11月2日(土)	狹土秀平展覧会	11月4日(月休)	柳ヶ瀬ガラスル 35 Gテラス
11月10日(日)	せき桐ヶ丘マルシェ	11月10日(日)	第2回ストリートピアノコンテスト

実施状況

アートによる人と人とのつながりや地域資源の活用など、文化芸術の力で「健康」や「くらしやすさ」などを高める文化的処方の有用性について、検証するプログラムとして、令和5年度から、計10回の講座を実施し、文化的処方を実践する文化リンクワーカー14名を育成してきました。

文化祭期間中には、文化的処方の実践として、文化リンクワーカーがイベント会場などを活用し、文化祭事業を葉に見立てて処方する「文化的処方ブース」を出展し、計221名の方に文化的処方を体験していただきました。

また、10月16日(水)には「文化的処方先進の地～岐阜のこれまで・これから～」と題したシンポジウムを開催し、文化が持つ力

について発信しました。岐阜県とともに文化的処方に取り組む岐阜大学学長・吉田和弘氏にあいさつをいただき、文化祭総合プロデューサー・日比野克彦氏、東京藝術大学教授・伊藤達矢氏、岐阜大学大学院教授・塩入俊樹氏、中部学院大学准教授・水野友有氏が文化的処方の有用性、岐阜県での2年間の取組みについて意見交換を行いました。

展示コーナーでは、VRを使った映像装置などを幅広い年齢の方に体験いただきました。

2年間の取組みを通して、文化が持つ力を検証するまたとない機会となりました。

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会

262

昔の遊びを伝えよう 伝承遊びフェスティバル

八百津町、飛騨市、大垣市、
中津川市、岐阜市開催日 令和6年10月19日(土)、27日(日)、
11月3日(日祝)、10日(日)、23日(土祝)会場 八百津町B&G海洋センター、飛騨市文化交流センター、
大垣市青年の家、中津川サンライフ分館、
岐阜メモリアルセンター

実施状況

昔から親しまれてきた伝承遊びを体験できるイベントを県内5圏域5会場で開催しました。けん玉、コマ、ワナゲ、射的、たいこ相撲、お手玉、なわとび、おはじきなどの懐かしい遊び道具に子ども達は少し戸惑いながらも、スタッフから遊び方を教わり、夢中になってチャレンジしていました。大人も昔を思い出しながら子どもと一緒に遊ぶことで、世代を超えた交流が生まれました。

会場では、伝承遊びを体験すると駄菓子や玩具と交換してもらえる「駄菓子屋ミナレク商店」を開き、昔はあちこちで見かけた駄菓子屋さんに子ども達が詰めかけ、お買い物ごっこを楽しみました。

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、
一般社団法人岐阜県レクリエーション協会

263

ぎふ清流レクリエーションフェスティバル2024

八百津町、飛騨市、大垣市、
中津川市、岐阜市開催日 令和6年10月19日(土)、27日(日)、
11月3日(日祝)、10日(日)、23日(土祝)会場 八百津町B&G海洋センター、飛騨市文化交流センター、
大垣市北公園野球場、大垣市北地区センター、
中津川サンライフ、岐阜メモリアルセンター

実施状況

誰でも気軽にレクリエーションを楽しめるイベントとして、県内5圏域5会場で開催しました。「ぎふ清流レクリエーションフェスティバル」は、平成28年9月に開催した「第70回全国レクリエーション大会 in 岐阜」の成果を継承し、子どもも年配の方も、障がいのある方もない方も、県民皆がレクリエーションに触れることができるイベントとして、県内全域で平成29年度から開催しています。

モルックやラダーゲッター、ディスゲッター、スカットボールなどのニュースポーツやマンカラなどのボードゲームなど、来場者はさまざまなレクリエーションを体験しました。5日間で約36,400人が来場し、子どもから大人まで幅広い世代の方に、レクリエーションに触れていただく機会となりました。

主催

岐阜県、一般社団法人岐阜県レクリエーション協会

264

ねんりんピック岐阜2025開催1年前イベント

岐阜市

開催日 令和6年11月23日(土祝)

会場 岐阜メモリアルセンター



実施状況

ねんりんピック岐阜2025(令和7年10月18日(土)~21日(火))の開催機運の醸成を図るため、1年前イベントを開催しました。

オープニングセレモニーでは、ねんりんピック岐阜2025応援大使から激励メッセージをいただいたほか、令和6年の鳥取大会に出場した岐阜県選手団の代表が、令和7年の岐阜大会に向けた決意表明をしました。また、終盤には、総勢200名を超える園児がミナモダンスを披露し、会場は大いに盛り上がりました。

そのほか、応援大使によるステージイベントや、ねんりんピック種目体験コーナー、大会をPRする行灯制作ワークショップを行い、子どもから年配の方まで、約1万人を超える参加者に来場いただきました。

主催

ねんりんピック岐阜2025実行委員会

265

文化芸術共創プログラム

岐阜市、郡上市、中津川市、
高山市、関ケ原町 他

[総括フォーラム 〜ともに・つなぐ・みらいへ〜]

開催日 令和6年11月3日(日祝)

会場 岐阜県庁



[多彩な芸術分野に関わるワークショップ]



[映像]



[身体]



[日本画]



[クラフト]



[音楽]

(令和5年度)

○映像WS(講師：山川直人(映画監督))

①令和5年12月2日(土)

<しゅろくプラザ(岐阜市)>

②令和6年1月13日(土)

<しゅろくプラザ(岐阜市)>

③令和6年2月25日(日)

<しゅろくプラザ(岐阜市)>

○日本画WS(講師：神戸智行(日本画家))

令和5年12月9日(土)

<せきがはら人間村(関ケ原町)>

○クラフトWS(講師：中谷さとみ(紙布作家))

令和5年12月16日(土)

<紙布工房(空桜)(美濃市)>

○身体表現WS

【講師：熊谷佳代(岐阜大学教育学部教授)】

令和6年2月3日(土)

<ヤマカミまなびパーク(多治見市)>

○音楽表現WS

【講師：藤原ひとみ(パーカッショニスト)】

令和6年2月18日(日)

<高山市民文化会館(高山市)>

○つながるフォーラム

令和6年3月2日(土)

<長良川うかいミュージアム(岐阜市)>

(令和6年度)

○共創映像WS(講師：山川直人(映画監督))

①令和6年6月23日(日)

<ハートフルスクエアG(岐阜市)>

②令和6年9月21日(土)

<しゅろくプラザ(岐阜市)>

○身体表現WS

【講師：熊谷佳代(岐阜大学教育学部教授)】

令和6年6月30日(日)

<郡上八幡旧庁舎記念館(郡上市)>

○日本画表現WS(講師：神戸智行(日本画家))

令和6年8月12日(月休)

<東美濃ふれあいセンター(中津川市)>

○クラフト表現WS

【講師：中谷さとみ(紙布作家)】

①令和6年8月10日(土)

<宿屋垣廻り川(揖斐川町)>

②令和6年8月11日(日)

<茶亭市川(中津川市)>

③令和6年8月25日(日)

<中山道鶴沼宿町屋館(各務原市)>

④令和6年9月7日(土)

<高山陣屋(高山市)>

○音楽表現WS

【講師：藤原ひとみ(パーカッショニスト)】

令和6年10月5日(土)

<せきがはら人間村(関ケ原町)>

実施状況

文化芸術の「共創」を生み出す力を活用して社会や個人のさまざまな課題を解決することを目指し、年齢や性別、障がいの有無など立場が異なるさまざまな人々がまじりあい、地域の紡ぎ手となるためのプログラムとして、令和5年度からの2年間、多彩な芸術分野に関わるワークショップを、会場となる場所にもこだわりながら県内各地で開催してきました。

ワークショップには、講師に加えて各地域でさまざまなアプローチでアートや文化、福祉、オーガニックなものづくりやまちづくりなどに取り組む方々(紡ぎ手)にもファシリテーターとして参加いただき、地域文化の紹介や参加者同士をつなぐ役割を担っていただきました。

また、共創映像ワークショップの参加者が各ワークショップをそれぞれに撮影・編集し、「共創」をテーマとした映像作品を制作しました。

そして、2年間の取組みの記録と成果を発表する「総括フォーラム」を、11月3日(日祝)に岐阜県庁で開催しました。

誰もが自由に楽しく音楽とともにダンスを創っていく「ワークショップシアター」では、日用品などで作った楽器で奏でる音にあわせて身体を動かすなど、参加者は大いに楽しみました。

各ワークショップに関わった講師やファシリテーターといった方々が登壇した「リレートーク」では、企画提案者の土屋明之氏(岐阜県障がい者芸術文化支援センター相談役)と古田菜穂子氏(岐阜県観光国際戦略アドバイザー)の進行のもと、登壇者の日々の活動や2年間のワークショップでの成果をどのように未来につないでいくかなどについて語り合っていました。

最後に夜の清流ロビーにて、2年にわたり本プログラムに関わり、共創の視点をもって県内各地を見つめてきた舞踊家の藤村港平氏によるナイトパフォーマンスでフォーラムを締めくくりました。

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会

266

総文祭成果発表～未来へつなぐ高校生の思い～ 岐阜市

開催日 【ステージ発表・競技体験】令和6年11月10日(日)
【作品展示】令和6年11月1日(金)～10日(日)会場 【ステージ発表・競技体験】信長ゆめ広場
【作品展示】アクティブ G

実施状況

令和6年夏に岐阜県で開催した全国の高校生による芸術文化の祭典「清流の国ぎふ総文2024(第48回全国高等学校総合文化祭)」で活躍した県内高校生によるステージパフォーマンスや作品を披露するイベントを開催しました。

10日(日)には、吹奏楽、合唱、花いけバトルなど10部門によるパフォーマンスや、「ぎふ総文」を作り上げてきた生徒実行委員会(清流の国ぎふ総文2024の企画・運営等を担う公募により選ばれた県内の高校生)によるトークショーなどにより、ステージは大変盛り上がりました。ほかにも会場では、囲碁、将棋、小倉百人一首かるたの3部門による競技体験ブースを設け、競技のレクチャーと来場者との対戦を行いました。

また10日間にわたり、美術・工芸、書道、写真など9部門による作品展示を行い、「ぎふ総文」に出展した全国レベルの作品に多くの方が足をとめ、鑑賞しました。

【出演団体】

県立岐阜農林高等学校、県立岐阜商業高等学校、県立本巣松陽高等学校、
県立長良高等学校、県立大垣工業高等学校、県立揖斐特別支援学校、
県立岐阜総合学園高等学校、県立多治見北高等学校、県立各務原西高等学校、
県立大垣桜高等学校、県立大垣商業高等学校、県立恵那南高等学校、
関市立関商工高等学校、城南高等学校、県立羽島北高等学校、鸛谷高等学校、
清流の国ぎふ総文2024生徒実行委員会

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会

267

お香の祭典 岐阜市

開催日 令和6年11月9日(土)～10日(日)

会場 みんなの森 ぎふメディアコスモス

実施状況

室町時代より継承され日本三大芸道の一つである「香道」を体験できるイベントを開催しました。

香道二大流派の家元・宗家の指導による「お香席体験」では、9日(土)に志野流蜂谷家元による組香「源氏香」、10日(日)に御家流三條西宗家による組香「新鶴飼香」を開き、2日間で満席となる480名に参加いただきました。参加者は、指導者の所作を真似ながら、5つの香りを「聞き」わけようと、熱心に取り組んでいました。体験会場がオープンスペースであったため、偶然訪れた方も足を止め、普段見る機会が少ないお香席に見入っていました。

また、薬師寺執事・松久保伽秀師による「お香のお話」では、日本とお香の関わりについてお話いただきながら、パネルや香道具の展示を通して、香道の歴史を学ぶことができたほか、伽羅をはじめとしたいくつかの香木の香りを体験いただく「聞香体験」や、折り紙に香り玉を折り込む「文香づくり」も好評で、多くの方に香道に触れていただける機会となりました。

【プログラム】

お香席体験 1日4席開催

お香のお話 1日4回開催

パネル展示、香道具展示、聞香体験、文香づくり 随時開催

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、岐阜市、
「清流の国ぎふ」文化祭2024岐阜市実行委員会、公益財団法人お香の会

268

将棋フェスティバル in 瑞穂 瑞穂市

開催日 令和6年11月10日(日)

会場 ココロかさなるCCNセンター

実施状況

開会式から始まり、記念将棋大会、子ども将棋大会、プロ棋士による多面指し、公開対局・大盤解説、表彰式、閉会式(記念写真撮影)を行いました。記念将棋大会は県内外から118名の参加があり、来場者数はのべ629名となりました。

記念将棋大会は一般A級(無差別)、一般B級(免状初段以下)、シニア級(60歳以上)、子ども将棋大会では中学生以下A級(級位者)、中学生以下B級(初心者)の計5つのクラスで開催しました。子どもの参加も多く、入賞が際立ち、将来の将棋界を担うたくましさを感じられ、大変有意義な大会となりました。

公開対局は、ともに岐阜県出身の高田明浩五段と宮嶋健太四段による対局で、解説に糸谷哲郎八段、聞き手に脇田菜々子女流初段、記録係に岐阜県出身の山口仁子梨女流一級、読み上げ係に山口稀良莉女流一級の姉妹が登壇しました。生の対局の観戦と解説に来場者は食い入るように聴き入り、解説内容への納得の声も上がっていました。

プロ棋士による多面指しでは、新たな打ち筋を教えてもらい、大変喜んでいた子ども棋士の笑顔が印象的で、将棋文化の振興に寄与する催しとなりました。

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、瑞穂市、
瑞穂市教育委員会、「清流の国ぎふ」文化祭2024瑞穂市実行委員会、
公益社団法人日本将棋連盟、日本将棋連盟岐阜県支部連合会

269

シンポジウム 脳科学者 茂木健一郎と考える健幸な生活
～将棋が脳トレに!?～ 瑞穂市

開催日 令和6年11月10日(日)

会場 ココロかさなるCCNセンター

実施状況

瑞穂市では、単に身体が健康というだけでなく、生きがいをもって幸せに暮らすという意味で「健幸都市 みずほ」をキャッチフレーズにまちづくりに取り組んでいます。

シンポジウムでは、前半に脳科学者・茂木健一郎氏の講演を開催しました。プロ棋士を交え、脳科学の見地から将棋の思考を題材に認知症予防に繋げる内容で、ユーモアを交えての講演が来場者を沸かせていました。天才棋士達は「ほがらか脳」になるように毎日を過ごしているとの話など、来場者の興味を引き付けていました。

後半は、前半の講演を受け、「脳トレ方法」「健康方法」「好きな運動」の3つの質問に対して、糸谷哲郎八段、宮嶋健太四段、脇田菜々子女流初段に答えていただき、来場者と一緒に健幸について考えていきました。散歩が健康の秘訣という棋士が多く、長時間歩くことが、リフレッシュにもなり、考えごとをまとめる時間としてよいことや、歳を重ねてから将棋を始めても、脳にとっては大変よいとの話があり、来場者は熱心に耳を傾けていました。

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、瑞穂市、
瑞穂市教育委員会、「清流の国ぎふ」文化祭2024瑞穂市実行委員会、
公益財団法人日本将棋連盟、日本将棋連盟岐阜県支部連合会

270 きものの祭典

各務原市

開催日 令和6年11月16日(土)～17日(日) 会場 プリニーの市民会館



実施状況

16日(土)は、3部制で国際文化きものショーを開催しました。

第1部のコンテストでは、12組の着付師とモデルのペアに、着付けの技術力だけでなく、着物に込められたエピソードを披露いただきました。

第2部の講演では、「未来へと進化する着物」と題して、(一社)きものビューティジャパン協会代表理事・村上裕子氏と(株)アイエスジェイエントプライズ社長・井川貴裕氏によるトークセッションを行いました。

第3部の着物ランウェイショーでは、海外からの参加者も含む着物愛好家約80名によるショーを行いました。

17日(日)は、各都府県から102名に参加いただき、きものの素晴らしさを「見て、学んで、知って」いただく取組みを行いました。日ごろの技術の研鑽の成果を存分に発揮し、きものの魅力を広く発信しました。

王朝装束十二単と直衣の展示披露では、間近で写真撮影する方が後をたたないほど盛況でした。無料きもの体験では、洋服の上からきものを着ていただき、手軽に楽しめる機会作りを提供しました。

きものファッションショーでは、第1部は現代のきもの花嫁着装、第2部は王朝装束の着装を披露し、雅なる平安文化を堪能していただきました。

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、各務原市、「清流の国ぎふ」文化祭2024各務原市実行委員会、一般財団法人民族衣裳文化普及協会、一般社団法人きものビューティジャパン協会

271 小倉百人一首競技かるた全国大会

大垣市

開催日 令和6年11月9日(土)～10日(日) 会場 大垣市武道館



実施状況

競技かるたは、藤原定家が撰んだ「小倉百人一首」の上の句を聞いて下の句が書かれた札を相手より早く取るゲームです。

本大会は、都道府県及び国対抗の団体戦形式により開催しました。1チーム5名(最大8名)が参加し、46都道府県と5か国の総勢426名により熱戦が繰り広げられました。

参加者は和装での出場が定められており、華やかな中にもチームの勝利をかけて札を取り合う一瞬の緊張感が会場に漂います。見学で来場された大勢の方々にもその臨場感を体感していただきました。

9日(土)は4チームを1組とした14組による予選リーグ、10日(日)は予選リーグ上位16チームによる決勝トーナメントにより優勝を争いました。岐阜県からは「清流チーム」と「ミナモトチーム」の2チームが出場し、「清流チーム」がベスト8入りを果たしました。また、県内の高校生にボランティアとして大会運営に参加いただいたほか、多くの若者や外国人がハイレベルな戦いを観戦しており、若い選手の今後の活躍が期待できる大会となりました。

決勝戦は、福井県Aチームと京都府チームが熱戦を繰り広げ、福井県Aチームが3勝2敗で優勝を果たしました。

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、岐阜県教育委員会、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、大垣市、大垣市教育委員会、「清流の国ぎふ」文化祭2024大垣市実行委員会、一般社団法人全日本かるた協会

272 全日本健康マージャン交流大会

大垣市

開催日 令和6年11月16日(土)～17日(日) 会場 大垣市総合体育館



実施状況

全国各地の予選を勝ち上がった8歳から94歳までの健康マージャン愛好者392名に有名プロ雀士8名(ゲスト)が加わり、腕を競い合う交流大会を開催しました。

大会は、会場内を大垣市の昆虫・木・魚・花として指定されているホテル・クスノキ・ハリヨ・サツキの4つのゾーンに分け、16日(土)はペア戦を、17日(日)は個人戦を行いました。それぞれ対局時間は50分の半荘戦で、対局者を組み替えながら4ゲームずつ行い、成績優秀者として、ペア戦1～8位、個人戦1～8位、2日間の総合成績による総合1～4位までを表彰しました。

北は北海道、南は沖縄県まで全国各地から集まった選手同士の対局では、対局の前後に世代を越えて和やかに談笑するなど、地域や世代そして障がいの有無に関わらず交流を深めることができました。

また会場では、個人戦及びペア戦のほか有名プロ雀士3名による「ふれあい対局コーナー」を設け、一般来場者との交流と健康マージャンの技量の研鑽を図りました。

さらに、マージャンの歴史と文化を伝える展示コーナーも設け、現在に至るまでの国内外の普及の歴史や活動状況などをパネルで紹介するなど、健康マージャンの魅力を全国に発信しました。

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、大垣市、大垣市教育委員会、「清流の国ぎふ」文化祭2024大垣市実行委員会、一般社団法人全国麻雀段位審査会、一般社団法人日本健康麻将協会、一般社団法人日本スポーツ麻雀協会

273 マンカラ交流大会 ～安八ボードゲームまつり～

安八町

開催日 令和6年11月17日(日) 会場 安八町中央公民館



実施状況

岐阜県では初となるマンカラ全国大会を開催し、全国の子どもから大人まで計141名が参加しました。

予選リーグを行った後、順位ごとに分かれ決勝トーナメントを行い、それぞれが真剣にマンカラゲームを楽しみました。

また、会場内ではさまざまなイベントも開催しました。大ホールでは、「レクリエーションで楽しくリフレッシュ」を開催し、曲に合わせてみんなで楽しく体を動かしたり、「安八ボードゲームまつり」と題して約10種類のボードゲームを楽しんでいただきました。外会場で行った「Anpachi人間すごろく」では、魅力ある町の観光スポットをマスのにし、町の魅力をたっぷり紹介しました。

多くの方楽しんでいただき、素敵なイベントとなりました。

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、安八町、「清流の国ぎふ」文化祭2024安八町実行委員会

274 美濃の国文化芸術大祭

多治見市

開催日 令和6年11月10日(日)

会場 パロー文化ホール



実施状況

県内の10団体と個人339名、東京、大阪、名古屋など他県の音楽家46名、公募の合唱隊96名の総勢481名に出演いただき開催しました。

会場には、多治見の老舗料亭弁当、洋菓子、珈琲、物品等の販売や屋台、キッチンカーの出店も行い、来場者はのべ3,500名となりました。

大ホールでは、全てオーケストラと共演し、「トトロの森」、「メサイア」、「ライオンキング」の演奏や、県の重要無形民俗文化財である、小木棒の手の披露、地歌舞伎の上演、郡上踊など、クラシックからアニメ、ミュージカルまで幅広いプログラムを揃えました。

「メサイア」は指揮に青木洋也氏を迎え、オーディションで選ばれた4名のソリストは東京、千葉、大阪、三重から参加いただきました。演奏会のトリを飾った武田幹也氏振付演出の「TAJIMI CHOIR JAPAN 多治見少年少女合唱団とシニアコア」による「ライオンキング」は、ラストに相応しい感動的な演奏となりました。

小ホールや屋外でも同様に、伝統芸能、ピアノ独奏を行うなど、バラエティ豊かな催しとなりました。ホワイエでは、多治見の老舗料亭弁当100食がすぐに完売したほか、洋菓子、珈琲ショップも大盛況でした。

最後は、大ホールから出てきた900名余りの観客を巻き込んだ郡上踊大演舞会で会を締めくくりました。

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、TAJIMI CHOIR JAPAN 多治見少年少女合唱団とシニアコア

275 囲碁の祭典

高山市

開催日 令和6年11月16日(土)～17日(日)

会場 高山市民文化会館



実施状況

全国から96名の囲碁の愛好家が集い、個人戦を楽しむとともに、囲碁を通して普段は行き来できない遠方の方との交流を図りました。リーグ戦は棋力別対局5回と、指導碁+棋力別対局4回に分かれて行いました。棋力別の対局戦は白熱した戦いが繰り広げられ、プロ棋士と対局ができる指導碁はプロの戦い方を学び、それぞれ囲碁で溢れる充実した一日を過ごしました。

また、同会場で開催した全日本視覚障害者囲碁大会では、台湾からの出場者も含め全国から15名が参加し、はめ込み式碁盤のアイゴソー19路盤を使用し、対局を行いました。1局最長2時間の長期戦もありましたが、目が見えなくても見えづらくても楽しみながらの対局となりました。

両大会の出場者は小学生から80代の方まで年代も幅広く、障がいの有無や国籍の違いも関係なく、出場されたみなさんが囲碁に夢中になり、囲碁を通してさまざまな垣根を越えた交流が広がっていました。

【プログラム等】

囲碁の祭典：①棋力別リーグ戦 ②指導碁+棋力別リーグ戦
全日本視覚障害者囲碁大会：視覚障害者選手による対局(スイス方式4回戦)
招待プロ棋士：小県真樹(九段) 森野節男(九段) 柳澤理志(六段)
加藤千笑(三段) 重野由紀(二段)

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、高山市、「清流の国ぎふ」文化祭2024高山市実行委員会、日本棋院飛騨支部、社会福祉法人日本点字図書館、一般社団法人日本視覚障害者囲碁協会

276 県産品販売フェア

岐阜市

開催日 令和6年10月14日(月祝)～11月24日(日)

会場 THE GIFTS SHOP



実施状況

岐阜県の伝統的工芸品をはじめ、誰もが知っている岐阜県の名産から、THE GIFTS SHOPでしか買うことができない商品まで、幅広く販売しました。単なるお土産の販売にとどまらず、店内では伝統的工芸品を中心に、特徴ある商品を美術館のように展示・販売することで、来店された方にじっくりと岐阜県の伝統や文化に触れていただくことができました。

商品の中でも岐阜県の名産であり、この季節限定の「栗きんとん」は多くの方に購入いただくことができ、岐阜の味覚も堪能していただけた。

また、期間中には国際交流の一環としてリトアニア物産展・ポーランド物産展・フランスアルザス物産展を開催しました。じっくりと商品や各国の紹介パネルを見られている方が多く、普段触れることが少ない各国の商品は、特に注目を集めていました。

岐阜県と交流のある国や地域について知っていただき、岐阜県との交流の発信につながりました。

主催

岐阜県

277 岐阜市産業・農業祭～ぎふ信長まつり～

岐阜市

開催日 令和6年11月2日(土)～3日(日祝)

会場 岐阜市中心市街地一帯



実施状況

岐阜市中心市街地を会場として、金華橋通りで行う信長公騎馬武者行列をはじめとしたイベントを開催しました。今回の目玉企画は、「二人の信長」「多様なコラボ企画」「中心市街地における新企画」の3点です。

2日(土)は、崇福寺にて信長公追悼式を行ったほか、「やながせRテラス」における缶バッジ製作ワークショップを開催。また「柳ヶ瀬グラスル35Gテラス」では、コラボ企画として「ツナグテ秋まつり」(キッズイベント)を開催しました。

3日(日祝)は、金公園にて大学生ボランティアの協力のもと、射的などのキッズイベントを開催。市内企業からの協賛品を配布しました。

岐阜市・一宮市喫茶文化交流企画では、岐阜市と愛知県一宮市から各3店舗が出店し、岐阜市観光PRブースではセントレアとのコラボ企画を行ったほか、市民参加型のフリーマーケットも開催しました。

JR岐阜駅前では、「ぎふベジ」の販売やぎふ地産地消推進の店「ぎふ〜ど」が出店、「ぎふ信長駅前楽市」ではNPO団体などのPRを行いました。

メインイベントである信長公騎馬武者行列では、市民団体4団体による路上パフォーマンスの後、協賛企業の先導車、岐阜市観光宣伝隊、ぎふベジ宣伝隊、火縄銃の実演、徹明さくら小学校児童によるマーチング演奏、市民から選ばれた壮年期、青年期の信長、濃姫、お市の方が登場したほか、市内の中・高校生から募った足軽隊など約200名が行進し、県内外から訪れた多くの方が沿道に集まりました。

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、岐阜市、「清流の国ぎふ」文化祭2024岐阜市実行委員会、ぎふ信長まつり実行委員会、岐阜市農業まつり実行委員会

278 文化の発信～研究者と岐阜を熱く語ろう!～ in 岐阜大学 岐阜市

開催日 令和6年11月17日(日)

会場 岐阜大学



実施状況

午前は、特別シンポジウム「岐阜から宇宙へ挑む」を開催し、県内工業高校生が挑戦している小型人工衛星の製作過程や今後の国際的な高校間の連携による軌道上演習について高校生自ら紹介していただきました。また、宇宙産業の未来、高大連携の意義やその波及効果について、JAXA宇宙科学研究所、川崎重工業(株)航空宇宙システムカンパニー、Space BD(株)などの専門家により今後の可能性について座談会を行いました。

昼休憩の時間帯には、民俗衣装をまとったインドネシア教育大学、岐阜大学インドネシア留学生会、バンドン聾学校の方々によるインドネシア発祥の打楽器「アングルン」のミニコンサートを開催し、来場者から大きな拍手が送られました。

午後からは、「研究者と岐阜を熱く語ろう!」と題して、約40名の岐阜大学教員が10テーマに分かれて、岐阜大学の積み重ねてきた岐阜の自然・文化・教育などに関する研究成果を来場者と熱く語り合う各種講座を開催しました。来場者にとっては研究者と語り合うまたとない機会となり、研究者にとっても研究成果を発信できる貴重な一日となりました。

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、国立大学法人東海国立大学機構岐阜大学

279 絵本作家「みやにしたつや先生」に学ぶ 垂井町

開催日 令和6年10月19日(土)

会場 ワイワイプラザ垂井



実施状況

大人気の絵本作家「みやにしたつや先生」の講演会を3部構成により行いました。

第1部ではスクリーンに大きく映した画像をもとに、先生が参加者や垂井町長らとともに、ぶっつけ本番での自作絵本の読み聞かせを行い、「愛と絵本」をテーマにした講演も織り交ぜました。

第2部では、「ライブペインティング」で、先生が参加者との掛け合いによって即興で絵を描きながら、参加者からの質問にも答え、記念撮影も行いました。

第3部では、対面での「サイン会」を行い、参加者が、先生とより近い距離で楽しんでいただくことができました。

県内外の子どもから大人をはじめ、ボランティアの方も含めて会場が一つになり愛や絵本の大切さを学ぶとともに、「一人ひとりがともに輝く社会の実現」のテーマに添う、素晴らしいイベントとなりました。

【プログラム・出演者】

講師：絵本作家 みやにしたつや

第1部「愛と絵本をテーマにした講演」「絵本の読み聞かせ」

第2部「ライブペインティング」「記念撮影」

第3部「サイン会」

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、垂井町、垂井町教育委員会、「清流の国ぎふ」文化祭2024垂井町実行委員会

280 せき桐ヶ丘芸術祭 関市

開催日 令和6年10月27日(日)～11月17日(日)

会場 中部学院大学関キャンパス



実施状況

障がい児者の教育と福祉の拠点づくりを進める「せき桐ヶ丘エリア」において、「アート×表現」を切り口にエリア内外の方々が交わりながら共生社会について考える芸術祭を開催し、約1,700名の方が来場しました。

「ヒトとひょうげん～他者の「表現」を多様なスケールで捉える～」をテーマにした対話型シンポジウムを皮切りに、多様なプログラムを実施しました。「せき桐ヶ丘芸術展覧会」では、県立関特別支援学校をはじめとする地域の方々と協働制作した作品や、「共生社会」をテーマに全国から募集した作品を展示しました。また、自分では「理解しがたい」他者の行為やデキゴトにツッコミを入れて面白く捉え直すことで誰もが生きやすい社会を目指す「なんでそんなんプロジェクト」では、その考え方や事例を紹介する講座や「なんでそんなん大賞[岐阜]」による事例公募・展示を行い、11月10日(日)にはこれまでの取り組み成果を発表する「なんでそんなん学会」を開催しました。同日開催のマルシェでも多くの来場者との交流が見られ、17日(日)の「せき桐ヶ丘芸術ステージ」では、文字どおり障がいの有無などに関係なく、「一人ひとりが表現する空間」が生み出されました。

さまざまなプログラムを通して、誰もが地域で快適に生きるための新しい価値観の創造と共有の場を提供できました。

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、せき桐ヶ丘芸術祭プロジェクト委員会

281 「清流の国ぎふ」文化祭2024 なかつがわ総合文化祭 中津川市

開催日 令和6年10月15日(火)～11月24日(日)

会場 中津川文化会館、中津川市ひと・まちテラス



実施状況

中津川市内の7文化協会が連携して、各地域にある文化・芸術などを集め、作品展や発表を行いました。

連携して行ったことで、より一層の文化関係団体の連携強化につながったことに加え、次代を担う子ども達(小・中・高校生)の参加が多くあり、後継者育成にもつながりました。

【プログラム】

文芸部門作品展:期間を通して短歌・俳句・現代詩の3団体の会員作品を掲示

現代詩講座(10月19日(土)):会員・市民を対象に現代詩に親しむ講座を開催

短歌大会(10月26日(土)):会員・市民を対象に第73回短歌大会を開催

合同句会(10月27日(日)):会員を対象に合同句会を開催

生活文化(11月1日(金)～3日(日祝)):生け花展、市民茶会、盆栽展を開催

子ども生け花教室へは市内の小学生23名が参加

市民茶会は能登半島災害救援チャリティーとして実施

ステージ発表会(11月9日(土)、10日(日)):各文化協会所属の23団体が

舞踊・合唱・太鼓・文楽・フラダンスなど多彩な舞台芸術を発表

美術工芸作品展(11月8日(金)～11日(月)):各文化協会所属の12団体の

ほか、市内中学校の美術部や生徒、市民などから、253作品が出品

希望者を対象に美術体験教室を開催し、53名が参加

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、一般社団法人中津川市文化協会、坂下文化協会、川上文化協会、加子母文化協会、付知町文化協会、ふくおか文化協会、蛭川文化協会

282 アートで変革「異彩を、放て。」講演会 ～“普通”じゃない、それは同時に、可能性。～

開催日 令和6年11月3日(日祝) 会場 瑞浪市総合文化センター



実施状況

「異彩を、放て。」をミッションに掲げ、知的障がいのあるアーティストのアーティストのライセンスを管理し、さまざまなビジネスを手掛ける(株)ヘラルボニー広報PRの安藤奈穂氏(瑞浪市出身)を講師に招き、障がいに対する先入観やイメージの変容に向けた、企業での活動や、自身の実体験を中心に講演いただきました。

講演会には、市内のみならず、県内外から約280名が参加し、約1時間の講演に耳を傾けました。講演後には質疑の時間も設け、参加者からは活発な意見や質問、感想が飛び交い、大変有意義な講演会となりました。

また、会場外では、アートライフスタイルブランド「HERALBONY」の商品や作家の制作現場の紹介などの展示も行い、多くの方が足を止め商品や展示を観覧されました。

参加者からは、「とにかく感動、感激した」「障がいへのイメージが変わった」「衝撃を受けた」「福祉や障がいについての仕事にすごく興味を持った」など、多くの反響をいただきました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、瑞浪市、「清流の国ぎふ」文化祭2024瑞浪市実行委員会

283 恵那の食・芸術・文化の祭典

開催日 令和6年11月17日(日) 会場 恵那文化センター



実施状況

恵那市内に伝わる伝統芸能の公演のほか、五平餅や栗、発酵食など郷土食の紹介と販売、市ゆかりの芸術作家による作品展示を行いました。

ステージでは、全16の保存会などによる文楽や獅子舞、地歌舞伎などの伝統芸能を披露しました。ホワイエでは、伝統芸能の演者として活躍している大学生や高校生が、体験ブースを運営。参加者は、文楽の人形を操ったり、地歌舞伎の小道具を持ち歌舞伎役者の気分を味わったり、「めれた囃子」の笛や太鼓を演奏して楽しみました。

展示室では、市在住・出身の作家が一堂に会する「恵那の作家展」を開催し、来場者は、日本画、洋画、書、写真や陶芸などさまざまな作品の前で足を止め、一つひとつの作品に見入っていました。

屋外では、郷土食や発酵食などの店舗が並び、発酵スープの試食をはじめ、恵那市の「ちーオン」である五平餅や栗の菓子などを買い求める行列ができていました。

一日を通して、市の魅力あふれる文化を多くの方々に親しんでいただくとともに、関係団体の文化発信の場となりました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、恵那市、恵那市教育委員会、「清流の国ぎふ」文化祭2024恵那市実行委員会

284 どぶろく祭

開催日 令和6年10月14日(月祝)～19日(土) 会場 白川八幡神社、鳩谷八幡神社、飯島八幡神社



実施状況

「どぶろく祭」では地域毎に民謡、獅子舞の奉納がされており、白川村内の7つの伝統芸能保存団体(荻町獅子舞保存会、荻町民謡保存会、白川郷春駒保存会、鳩谷獅子舞保存会、鳩谷民謡保存会、飯島獅子舞保存会、飯島民謡保存会)が伝統芸能を披露し、白川村の伝統文化を広く発信しました。地域の子どもから大人まで家族が揃って「どぶろく祭」に参加し、伝統芸能演出のほか、会場準備や村廻り、どぶろく振舞などの行事に参加しました。

午前は祭礼、村廻りで、神社での祭典神事や地域内への御伸幸行列がありました。午後には獅子舞を奉納し、その後どぶろくの振舞があり、地域の人々に観光客も交わって民謡を見ながらどぶろくを賞味しました。海外からの観光客は言葉が通じなくても、獅子舞や民謡の踊りなどで日本の伝統文化に触れることができ、獅子舞や民謡の奉納に小学生から70代の幅広い年代の出演者が参加しました。

また、移住者やリターンの若手村民がデビューし、伝統芸能の担い手育成の場となりました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、白川村、「清流の国ぎふ」文化祭2024白川村実行委員会、白川八幡神社、鳩谷八幡神社、飯島八幡神社

285 日本ライン・KISOGAWA River to Summit 2024

開催日 令和6年10月26日(土)～27日(日) 会場 リバーポートパーク美濃加茂、日特スパークテックWKS/パーク、日本ラインロマンチック街道行幸公園、犬山城リバーサイド会場(木曽川河畔遊歩道)



実施状況

ドイツ・ライン川の景観に似ていることから、「日本ライン」と称される、木曽川中流域エリア一帯に設けた各会場で、川から山、まちへとつなぎ、流域の自然、食、歴史文化を体感する参加型イベントを開催しました。

3回目となった今回は、「木曽川ならではの川下りの復活」に向けた船のアクティビティを充実させ、Eポート(10人乗りのゴム製カヌー)や遊覧船をルートに取り入れたウォーキングイベントなどを開催しました。そのほか、木曽川中流域を周遊するサイクリングイベントなど、さまざまな体験プログラムを新たに開催しました。

木曽川中流域の市町首長や各観光協会長らが出席したオープニングセレモニーを幕開けに、2日間で約14,000人に参加いただきました。多くの参加者が、川を使ったアクティビティを楽しんだほか、川辺のコンサートやマルシェに集まり、賑わいました。

参加者からは、「普段注目していなかった木曽川の景観を楽しめた」「川でつながったさまざまな場所で地域の自然や歴史文化を体験できるのは面白い」などの声をいただきました。

主催 木曽川中流域観光振興協議会

286

献血啓発に係る作品等の展示

岐阜市

開催日 令和6年4月1日(月)～12月31日(火) 会場 岐阜献血ルーム アクティブG



実施状況

若者の献血への関心を高めるために、令和6年7月18日に岐阜県で開催した「第60回献血運動推進全国大会」に向けて、将来の献血の担い手となる中・高校生などから募集した「献血に関する標語及びポスターデザイン」の受賞作品を展示しました。

医療機関で多くの患者の病気やけがの治療に使われている血液製剤は、献血いただいた血液からつくられており、少子高齢化により献血可能人口が減少する中、安定的に血液を確保するためには、若者の献血への協力が必要です。若者が考えた標語やポスターデザインは、アクティブGを訪れた方々の関心を集め、作品展示を通じて、献血への理解と協力を呼びかけることができました。

また、展示された受賞作品は、「第60回献血運動推進全国大会」の広報に用いられたほか、献血に関する標語の最優秀作品「踏み出す一歩 今日私が 誰かの未来」は、令和6年7月の「愛の血液助け合い運動」月間の標語として使用され、全国各地の献血啓発活動で展開されました。

主催 岐阜県

287

アクア・ト ぎふ 特別企画展ワイルドアマゾン～アマゾン最高!～

各務原市

開催日 令和6年7月13日(土)～12月8日(日) 会場 世界淡水魚園水族館 アクア・ト ぎふ



実施状況

開館20周年を記念し、世界最大の河川アマゾン川の壮大な自然と多様な生き物達を紹介し、来館者にその魅力を体感していただくことを目的とした特別企画展を開催しました。

アマゾン川には魚類だけでも3,000種を超える多様な生き物が生息しており、展示では、南米渡航回数3回のスタッフら2名の経験から、現地で感じた「アマゾン最高!」という熱い思いとともに、常設展示では伝えきれないアマゾンの魅力をお伝えしました。

体重が50kgを超える南米最大級のナマズで、深場に潜み、近づくものを全て飲み込む貪欲な「ジャウー」や、体長と比較したクチバシの大きさが鳥類最大の「オニオオハシ」、貪欲な肉食魚で獲物の皮膚を食い破り肉を食べる「ブルーカンデイル」や、雨季には水没する森林や沼地、川などに生息する、貝が大好きな「ガイアナカイマントカゲ」など、特徴ある生き物をたくさん紹介しました。

展示のほか、企画展開連のイベントも多数実施し、アマゾンの壮大な自然と生態系の豊かさを伝えたことにより、期間中は多くの来場者から好評をいただきました。

主催 世界淡水魚園水族館 アクア・ト ぎふ

288

河川環境楽園 キッズハロウィンパラダイス

各務原市

開催日 令和6年10月13日(日)～14日(月祝)、26日(土)～27日(日) 会場 河川環境楽園



実施状況

アニメソングやJ-POPに合わせて、子どもやファミリーで楽しめる「ハロウィンキッズダンスパーティー」や、仮装した子ども達が「トリックオアトリート」を合言葉に、お菓子をもらいながら園内を巡る「仮装deお菓子スタンプラリー」、県立岐阜商業高等学校吹奏楽部による「仮装deパレード」などを開催しました。特にスタンプラリーは好評で、約4,000名の子ども達に楽しんでいただきました。

園内に設置したハロウィン仕様のフォトスポットも好評で、思い思いの写真を撮って楽しむ家族連れの姿が多く見られ、ハロウィンの文化を身近に楽しんでいただくことができるイベントとなりました。

ハロウィンの装飾が施された園内に、さまざまな仮装をした子ども達の活気ある声や吹奏楽の美しい音色があふれ、園内がハロウィン一色となり盛り上がりしました。

主催 河川環境楽園イベント実行委員会

289

まじわる新聞・まじわるラジオ

岐阜市

開催日 令和6年10月13日(日)～14日(月祝) 会場 ぎふ清流文化プラザ



実施状況

令和5年度に実施した県内の高校生と福祉施設などの利用者8組がアートを介して繋がった交流会の様子を「まじわる新聞」として新聞形式に取りまとめ、文化祭の開会式会場のほか、県内外各所で配布しました。

また、13日(日)と14日(月祝)には、参加した高校生8組のうち、3組をゲストに迎え、当時の交流体験の感想などを県民のみなさんに届けるため、公開収録を行いました。収録内容は29日(火)、30日(水)に、ぎふチャンラジオで放送し、広く県民のみなさんへ共生社会のあり方を考える機会を提供しました。

- ①県立長良高等学校演劇部×岐阜ろう劇団いぶき【聞こえない「音」を演技で伝える】
- ②県立大垣東高等学校美術部×消防クリエイター伊藤龍一【誰一人取り残されない、消防の絵本をつくる】
- ③多治見西高等学校写真部×クリヨシ【クリヨシを撮る!】
- ④県立池田高等学校×ふれ愛の家【知らない「誰か」と交換絵便り】
- ⑤県立関高等学校放送部×放課後等デイサービスげんきあつぷ【近づいて、心の耳を傾ける】
- ⑥県立飛騨高山高等学校太鼓部×Clown ToKa&KoTa【Clownと和太鼓 笑顔でパフォーマンス】
- ⑦県立岐阜高等学校美術部×県立岐阜盲学校高等部【「見えない」を見る】
- ⑧県立郡上高等学校×あかり【郡上かるたでガチャ 郷土愛は共通語?!】

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、公益財団法人岐阜県教育文化財団

290 ふれあい福祉フェア

岐阜市

開催日 令和6年10月17日(木)～20日(日) 会場 マーサ21



実施状況

障がい者に対する県民の理解と認識を深め、併せて障がい者の自立意欲を促し福祉の増進を図ることを目的とし、障がい者の芸術作品の展示、即売及び福祉用品などの展示を行いました。県内の21市町村に住む在宅障がい者、28の障がい者施設、16の特別支援学校から、障がいのある方が制作した展示品や即売品2,225点の出品がありました。

フェアの開催は、今回で71回目を数え、「マーサ21」では31回目となりました。886名の障がいのある方が、丹精込めた作品を出品し、買い物などで来店する多くの方の関心を集めました。

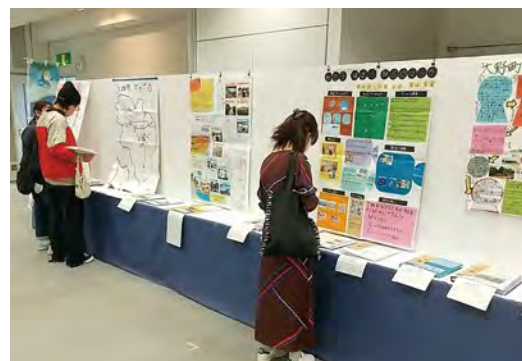
期間中は作品展示のほか、障がい者の日々の暮らしを支えるICT機器の展示に加えて作品の人気投票を行い、来場者はお気に入りの作品を探すために熱心に鑑賞していました。

20日(日)には、岐阜県知事賞38点、主催の(一財)岐阜県身体障害者福祉協会と共催の(一社)岐阜県知的障害者支援協会の両会長賞50点の表彰式を行いました。表彰された方々は、嬉しそうで、自分の出品作品と一緒に記念撮影をしていました。

主 催 一般財団法人岐阜県身体障害者福祉協会

291 岐阜県社会科(地理歴史科・公民科)課題追究学習作品展 岐阜市

開催日 令和6年10月19日(土)～20日(日) 会場 岐阜県図書館



実施状況

学力向上総合推進事業の一環として、児童生徒が自ら課題を設けて主体的に追究する学習を支援し、児童生徒に公民としての資質・能力の基礎を育成することを目的に、岐阜県社会科(地理歴史科・公民科)課題追究学習作品展を開催しました。

入賞した作品を見ると、地域や社会の動きから課題を見出し、本やインターネットなどだけでなく、実際に人に聞いたり、その場所へ行ってみたい、体験したりしながら熱心に追究されていました。追究のまとめでは、学習したことをもとに、「どうしたら解決できるのか」「自分には何ができるのか」など、将来を見据えながら自分の生活と関わらせて考えている作品が多く見られました。20日(日)には、最優秀賞と優秀賞の受賞者を招き、表彰式を盛大に行いました。

今回の作品展を通して児童生徒が、地域の伝統や文化、産業などの魅力を再発見するとともに、これからの社会の発展などよりよい社会の在り方について考えるきっかけとなりました。

主 催 岐阜県教育委員会

292 岐阜県児童生徒科学作品展

岐阜市

開催日 令和6年10月19日(土)～20日(日) 会場 岐阜県図書館



実施状況

児童生徒の科学研究を奨励し、自然科学への関心を高めることを目的に、「岐阜県児童生徒科学作品展(中央展)」を開催しました。68回を数えるこの歴史ある展覧会は、県内の児童生徒が自然科学に関するテーマを研究してまとめた報告書(科学作品)を展示するものです。今回は、県全体で約8,200名の児童生徒が取り組み、約7,860点の作品が県内の各市郡作品展(地方展)に出品され、選抜された優秀作品229点がこの中央展に出品されました。さらにその中から最優秀賞などを選定した上で、全229点を展示しました。600名を超える方が来場され、児童生徒の着想や実験の構想力、粘り強く取り組む姿勢や、生き物への愛着などを感じ取り、大変多くの称賛の声をいただきました。

20日(日)には表彰式を開催し、各賞の受賞者へ賞状やトロフィー、記念品を授与しました。岐阜県地方気象台長賞の授与や同気象台長による講演会には、気象庁のマスコットキャラクター「はれるん」も登場し、会場を大いに盛り上げました。

審査委員会を代表して岐阜大学教育学部准教授・須山知香氏が登壇し、「県内の児童生徒のみなさんが、今後もますます楽しく充実した研究を進められることで、日本の、そして世界の科学界が更に発展し、私たちの暮らしに大きな幸せがもたらされることを期待しています!と“未来の科学者たち”を激励しました。

主 催 岐阜県教育委員会、岐阜市町村教育委員会連合会

294 オアシスグリーンパークマーケット

各務原市

開催日 令和6年10月19日(土)、11月10日(日) 会場 世界淡水魚園 オアシスパーク



実施状況

子ども向けの宝探しなどができる縁日のお店や、こだわりのハンドドリップのコーヒーショップ、季節外れの昆虫ショップ、ハンドメイドの衣料品店など、30を超える出店者が集結し、マーケットを開催しました。

子どもは宝探しなどの縁日や昆虫ショップで楽しみ、大人はハンドメイドの衣料品店などでお気に入りのアイテムを探したり、コーヒーショップでおいしいコーヒーに舌鼓を打ったりと、家族みんなで楽しむことができるイベントとなりました。

特に宝探しでは、子どもが熱心に「お宝」を探す様子が見られたり、昆虫ショップでは、子ども達の驚きや楽しげな声が多く聞こえたりと、園内が活気に溢れた2日間となりました。

また、10月19日(土)は公園全体がハロウィン仕様となっており、仮装をした方も多く、素敵な雰囲気を作り出し、来場者に楽しんでいただくことができました。

主 催 世界淡水魚園 オアシスパーク

295 水環境スタディ in 各務原浄化センター 各務原市

開催日 令和6年10月20日(日)

会場 各務原浄化センター



実施状況

各務原浄化センターの施設を見学し、下水がどのようにしてきれいな水になり、川に戻されているかを学ぶことができるイベントを開催しました。

県内外から多くの参加があり、水処理施設見学、水質検査体験などを通じて、水をきれいにする仕組みや各務原浄化センターの働きについて理解を深めていただきました。

水処理施設見学では、池を覗いて水がきれいになっていく様子を観察したり、水処理施設の地下通路にある機械などを見学しました。参加者は初めて見る大型の機械や大口径の配管に驚いた様子でした。

水質検査体験では、透視度測定、顕微鏡観察などを行い、最後に下水道クイズで学んだことを確認しました。参加者からは、「分かりやすい説明で、各務原浄化センターの働きについて理解が深まった」との声をいただきました。

【プログラム】

1. 浄化センター見学 流入ポンプ棟、水処理施設及び地下管廊の見学
2. 水質検査体験 溶解実験、透視度測定、COD測定、ろ過実験、顕微鏡観察
3. 下水道クイズ 浄化センター見学、水質検査体験で学んだことをクイズで確認

主催

岐阜県、公益財団法人岐阜県浄水事業公社

296 ぎなんフェスタ 岐南町

開催日 令和6年10月20日(日)

会場 岐南町役場・JAぎふ岐南支店一帯



実施状況

岐南町の秋の一大イベントとして、地域住民の交流と活気あるまちづくりを目指した多彩なプログラムによる「ぎなんフェスタ」を開催しました。

ステージエリアでは、町内の和太鼓団体やダンスチーム、歌謡クラブ、大道芸など幅広いジャンルから総勢200名が出演し、心のもった歌や熱いパフォーマンスが会場を盛り上げました。さらに、シンガーソングライターの加藤結愛氏と一華ひかり氏の伸びのある歌声と圧倒的な歌唱力が来場者を魅了しました。

また、会場内に設けたマルシェエリアでは、地元の名産品や季節の手作り商品を扱う店舗、体験型ワークショップ、ゲームアトラクションなど41店舗が軒を連ね、バラエティ豊かな10台のキッチンカーとともに来場者の舌を楽しませました。好天にも恵まれ、各ブースには終日長い行列ができ、多くの来場者で賑わいました。

県立岐阜工業高等学校の生徒達による体験型の企画「ミニSL乗車体験」では、小さな子ども達を中心に大変な人気を博しました。

老若男女問わず幅広い世代が楽しめる地域密着型イベントとして、地域コミュニティの活性化につながるイベントとなりました。

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、岐南町、「清流の国ぎふ」文化祭2024岐南町実行委員会、ぎなんフェスタ実行委員会

297 AYA世代のがん長期療養支援ネットワーク事業 岐阜市

開催日 令和6年10月26日(土)

会場 みんなの森 ぎふメディアコスモス



実施状況

絵本「ママのバレッタ」の原画展のほか、「こころにのこる一冊」「がんについて、いのちについて、こどもと一緒に考えるきっかけに」「深い悲しみを抱えていても」などをテーマにピックアップされた親子で読みたい絵本の展示を行い、小さな子ども連れの親子をはじめ幅広い年代の方に県内外から参加いただきました。

原画には、1ページごとに込められた作者の想いを解説付きで展示。製本されていない原画は作家が描いている様子まで見えるようで、「がん治療中だった頃の自分を思い出した」「一人じゃない。勇気がわいた」との声もいただき、多くの方の心に沁み、がんとの共生を考えていただける機会となりました。

また、絵本は、毎年3月に開催する15歳から39歳のAYA(思春期・若年成人)世代のがんの今を発信する活動で紹介した際に、多くの方に興味をもっていただいたものを抜粋。ゆったりとした空間で一日じっくり見ていただくことができました。

さらに、小児がんにかかった経験から現在は医療職として活躍中のAYA世代の方からお話をお聞きし、がんに立ち向かう勇気と、繋がることで得られる力の大きさを実感する賛沢な時間を共有しました。

主催

岐阜県、岐阜市民病院

298 コミュニティセンターサークル発表会 岐阜市

開催日 令和6年10月27日(日)、11月17日(日)、24日(日)

会場 北東部コミュニティセンター
長森コミュニティセンター
市橋コミュニティセンター

実施状況

北東部、長森、市橋の各コミュニティセンターで活動しているサークルが、日ごろの活動の成果を披露する発表会を開催し、演技や展示の発表だけでなく、サークル同士や来館した地域住民との交流の機会となりました。

演技発表と展示発表の2部構成で行いました。ステージではフラダンスやジャズダンス、合唱、太鼓や琴の楽器演奏などさまざまなサークルが演技しました。一日を通して多くのサークルの発表があり、全部で44サークルが出演し、客席からは大きな拍手が送られていました。また、絵手紙や書道、生け花といった多数の作品も展示し、全部で21サークルが展示を行いました。多くの方が立ち止まり、作品の出来栄に感心して見入っていました。

そのほか、長森・市橋コミュニティセンターでは茶道サークルによるお茶席が、市橋コミュニティセンターでは華道サークルによるミニ生け花の体験コーナーが設けられるなど、来館者の方にも文化活動に親しんでもらう機会となりました。幅広い年齢層の地域住民の方が多数来館され、大変好評の中終えることができました。

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、岐阜市、「清流の国ぎふ」文化祭2024岐阜市実行委員会、各コミュニティセンター運営委員会

299 リバーサイドカーニバル

笠松町

開催日 令和6年10月27日(日)

会場 笠松みなと公園



実施状況

笠松町を流れる木曽川河川敷の公園で、リバーサイドカーニバルを開催しました。

会場には町商工会に所属する事業者やオシャレなマルシェ(約100店舗)が立ち並びました。

また、子ども向けのコンテンツとして、高校生によるミニSL体験・缶バッジ作り体験、消防署や自衛隊車両の展示、ポニーの乗馬体験も行いました。

ステージイベントでは、メインMCに東海テレビなどに出演するお天気キャスター・吉田ジョージ氏をお招きし、町内幼稚園児によるお遊戯や中学校吹奏楽部による演奏、サークルによるフラダンス・太極拳・新体操、ダンススクールによるパフォーマンスを披露しました。

ハロウィンが近いため、会場内にハロウィンの飾り付けを施し、来場者のみなさんに一層非日常感を味わってもらいました。

文化祭の開会式でお披露目された「チーオシスタチュー」も会場内に展示し、笠松町の推しである「ミニかさ横丁」を知っていただくきっかけにもなりました。

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、笠松町、「清流の国ぎふ」文化祭2024笠松町実行委員会、かさまつまちづくりイベント実行委員会

300 障がい者雇用推進フェア

岐阜市

開催日 令和6年10月17日(木)、29日(火)、11月8日(金)

会場 長良川国際会議場、岐阜県図書館、岐阜県庁



実施状況

企業や県民のみなさまに、障がい者雇用への理解を深めてもらうための各種イベントを開催しました。

障がい者雇用の契機とするため開催した「就労相談会(ジョブミーティング)」では、障がい者雇用を検討する企業等9団体が、就労を目指す障がい者、就労支援機関、特別支援学校等と交流しました。

障がい者雇用に関する研修会として開催した「障がい者雇用推進セミナー」では、障がい者雇用に関わっている講師を招き、障がい者雇用の現状、課題克服に向けた具体的な取組みなどについて講演いただきました。本セミナーには72名が参加し、「事業所における事例紹介は、具体的でわかりやすく参考になった」、「理解を深めて障がい者の採用につなげていきたい」などの感想をいただきました。

全国障害者技能競技大会に出場する岐阜県選手団の壮行会では、選手団長に県旗が授与され、各選手の大会への意気込みが紹介されると、出席者から盛大な拍手が送られました。最後に、選手団長が挨拶し、大会での活躍を誓いました。

主催

岐阜県

301 市民ライターラジオ

岐阜市

開催日 令和6年11月1日(金)～30日(土)

会場 みんなの森 ぎふメディアコスモス



実施状況

市民がパーソナリティになって、岐阜の生活・歴史・文化にまつわる情報を伝える音声コンテンツを制作し、ポッドキャストで発信しました。

ぎふメディアコスモス主催の、文章を中心とした編集を学ぶ講座「メディコス編集講座」を修了したメンバーの有志が、音声を使って岐阜の魅力を発信するという取組みに初挑戦しました。

館内で収録した音声を全6エピソードにまとめ、ポッドキャストプラットフォームのSpotifyをメインに配信し、ぎふメディアコスモス公式ホームページにも音声で再生できる環境を用意しました。

期間中は、毎週水曜日に新エピソードを公開し、1ヶ月を通して楽しんでいただけるプログラムとしました。館内の一角で繰り広げられるたわいもない会話という設定で、長良川の楽しみ方や岐阜の方言、和菓子などさまざまなテーマについて、4名の話し手がそれぞれの視点から、岐阜の特徴や魅力的なポイントについて語り合いました。

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、岐阜市、「清流の国ぎふ」文化祭2024岐阜市実行委員会

302 アクア・トト ぎふ 夜の水族館

各務原市

開催日 令和6年11月2日(土)

会場 世界淡水魚園水族館 アクア・トト ぎふ



実施状況

通常営業を終えて閉館した後に、水族館を特別に公開し、普段とは異なる夜の生き物の様子を参加者に楽しんでいただきました。参加者は事前に募集を行い、ファミリーやカップルなど、幅広い層のみなさまに会場いただき総勢40名の方に参加いただきました。

プログラムは、まず昼間の水族館を見学し、その後に夕食を楽しんでいただきました。閉館後、飼育スタッフから「生き物のごはん」に関するレクチャーを実施してから、見どころを記載したオリジナルガイドペーパーとライトを手に、夜の生き物達をじっくり観察する夜の見学ツアーに出発しました。参加者は暗い館内に驚きながらも、思い思いに水槽の中の生き物を見学し、昼間に見る水族館とは異なる様子を興味深く観察していました。

イベントの最後には、アクア・トトぎふのお土産をお渡しし、参加者からは「特別な体験ができた」との声を多数いただきました。

主催

世界淡水魚園水族館 アクア・トト ぎふ

303 各務原マーケット日和

各務原市

開催日 令和6年11月3日(日祝)

会場 学びの森、各務原市民公園、那加地区商店街、
中部学院大学各務原キャンパス

実施状況

「自分の暮らしにプラスしたくなる、新たな出会いの場」のコンセプトのもと、来場者として楽しむだけでなく、出店者やスタッフなどがさまざまな形で関わり新しい出会いや挑戦できる場を創るため、新たなコンテンツやサポーター制度などを加え、イベントの賑わいが日常につながるような取り組みを行いました。

会場の装飾では「SDGsの啓発」という観点から、学びの森に群生する竹の廃材を活用し、まちに関わる方々と共に創りあげました。また、サポーター制度では、継続的にまちと関わる場所を創ることを目的に、マーケット日和の広報、那加地区商店街エリアのリノベーションなどを行いました。

当日は、学びの森・市民公園に飲食・雑貨・本など、さまざまなジャンルから123店が出店し、音楽や装飾など「公園にあったらいいな」という光景を形にしました。20～40代を中心とした友人や家族連れの約24,000人が来場し、イベントを楽しんだり、公園でくつろいだりする姿が見られました。

【コンテンツ】

- ・マーケット(マルシェエリア、ブックエリア、ローカルエリア)
- ・トークイベント「本をめぐる未来の話」
ゲスト:内沼晋太郎、聞き手:オゼキカナコ
- ・音楽 出演:岡林風穂、はしもとみお、小松大、中村大史

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、各務原市、
「清流の国ぎふ」文化祭2024各務原市実行委員会、各務原マーケット日和実行委員会

304 岐阜市ゼロカーボンフェスタ

岐阜市

開催日 令和6年11月4日(月休)

会場 みんなの森 ぎふメディアコスモス



実施状況

岐阜市民が脱炭素社会への理解を深め、ゼロカーボンの実現に向けた積極的な取り組みができるよう、企業・団体などの脱炭素・エコ活動に関する取り組みを体験・ワークショップ・発表・展示・調理実演などにより紹介しました。

屋内では体験・ワークショップ・発表などを行い、親子で水素エネルギーで動くモデルカーを走らせたり、気候変動をテーマにしたクイズラリーに参加したりと、出展者の取り組みについて楽しく学びました。

屋外では、キッチンカーや販売ブースの出店に加え、電気自動車を電源とした野菜の調理実演や最先端の燃料電池自動車などの展示を行い、「次世代自動車」を一目見ようと多くの来場者で賑わいました。

【出展者】

あいおいニッセイ同和損害保険(株)、(一社)ぎふ脱炭素社会推進コンソーシアム、岐阜県気候変動適応センター、岐阜県地球温暖化防止活動推進センター、県立岐阜高等学校、(株)岐阜造園、岐阜トヨペット(株)、岐阜日産自動車(株)、岐阜プラスチック工業(株)、岐阜薬科大学 薬品化学研究室、JAぎふ、(株)十六フィナンシャルグループ、中部圏水素・アンモニア社会実装推進会議、中部電力パワーグリッド(株) 岐阜支社、東邦ガスグループ、日本郵便(株) 岐阜中央郵便局、(株)日本旅行 岐阜支店、(株)ホンダカーズ岐阜、アピ(株)、岐阜大学 G-amet、トヨタカローラネット岐阜(株)、濃飛倉庫運輸(株)、岐阜連携都市圏、岐阜市地球温暖化対策推進委員会、岐阜市

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、岐阜市、
「清流の国ぎふ」文化祭2024岐阜市実行委員会

305 清流の国ぎふづくり「自然共生」事例発表会

岐阜市

開催日 令和6年11月6日(水)

会場 ぎふ清流文化プラザ



実施状況

県下の自然共生に関する取り組みを向上させることを目的に、県内各地で実施した自然環境に配慮した事業や先進的な取り組みなどについて、事例発表会・講演会を行いました。

ソフト部門とハード部門から5事例ずつ、計10事例の発表により、地域特有の課題に応じた具体的なアプローチや創意工夫を共有しました。

講演では、岐阜大学高等研究院環境社会共生体研究センター特任助教・永山滋也氏を迎え、岐阜県の文化の象徴である「鮎」をテーマに、講演いただきました。

各発表後には、発表者と参加者による意見交換が活発に行われ、自然共生のための新しい発見や課題解決のアイデアが多く生まれる有意義な場となりました。

最後に表彰式を行い、ソフト部門では最優秀賞に岐阜土木事務所、優秀賞に(株)興栄コンサルタント、ハード部門では最優秀賞に県立飛騨高山高等学校、優秀賞に可茂土木事務所と県立岐阜農林高等学校が選出されました。

今回の事例発表と講演を通じて、参加者それぞれが、自然共生の県土づくりに向けた具体的なヒントや新たな視点を得ることで、今後も自然と共生した県土づくりが県全体に広がり、着実に進展していく機会を提供することができました。

主催

岐阜県、岐阜県自然共生工法研究会

306 岐阜県手話言語条例・障がい者の意思疎通手段理解啓発イベント

岐阜市

開催日 令和6年11月9日(土)

会場 カラフルタウン岐阜



実施状況

県内3団体の意思疎通支援関係団体が、それぞれブースを設置し、手話通訳や要約筆記、点訳・音訳などさまざまな意思疎通手段の普及啓発を行いました。

ステージでは「清流の国ぎふ」マスコットキャラクター・ミナモによる手話ダンスや、東京2020パラリンピック競技大会の閉会式に出演されたわたなべひろ氏の弾き語り公演、手話ができる・手話に興味がある吉本芸人が集まった「よしもと手話ブ!」による手話漫才や手話に親んでもらうコーナーなどの多彩な演目で意思疎通支援の啓発を図り、大変充実したイベントとなりました。

【プログラム(出演団体)】

- ・手話ダンス(ミナモ)
- ・弾き語り公演(わたなべひろ)
- ・手話漫才と手話に親んでもらうコーナー(よしもと手話ブ!)
- ・みんなのデフリンピック上映会
- ・ブース((一社)岐阜県聴覚障害者協会・岐阜県聴覚障害者情報センター、(福)岐阜アソシア、(特非)ぎふ難聴者協会)

主催

岐阜県

307 ぎふ羽島駅前フェス 羽島市

開催日 令和6年11月9日(土)～10日(日) 会場 岐阜羽島駅周辺



実施状況

羽島市の魅力を発信し、新たな賑わいを創出するため、岐阜の玄関口ともなっている岐阜羽島駅周辺でイベントを開催しました。

9日(土)は、「美濃の国 羽島太鼓」による太鼓演奏のオープニングパフォーマンスで幕が開けました。ステージイベントは、「全国なますサミット in はしま」のほか、羽島市立福寿小学校鼓笛隊、羽島市立竹鼻中学校吹奏楽部などの音楽演奏を中心としたイベントを開催しました。

10日(日)は、「岐阜の魅力ブース」のほか、さまざまなダンスチームによるダンスパフォーマンスを中心としたイベントを開催しました。ブースでは、羽島市に残る「なます」の食文化を体験できる、なますグルメの販売や、各地のご当地グルメ・物産ブース、市内企業の優れた技術・製品を紹介する企業展など、さまざまなブースが出展しました。

両日ともに55のブースが出店し、多くの来場者で賑わいました。

さらに、羽島市制施行70周年、新幹線岐阜羽島駅開業60周年を記念して、同駅構内で初となる駅ナカマルシェの開催や、県立羽島特別支援学校生徒の芸術・工芸作品の展示なども行いました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、羽島市、「清流の国ぎふ」文化祭2024羽島市実行委員会、ぎふ羽島駅前フェス実行委員会

308 1型糖尿病パネル展 各務原市

開催日 令和6年11月9日(土)～17日(日) 会場 イオンモール各務原インター



実施状況

1型糖尿病の患者団体の協力により、当事者の手記を展示しました。また、1型糖尿病や難病に関するセミナーに参加した教員、ボランティアなどの支援者の協力も得て、糖尿病のシンボルカラーである青をモチーフに、患者のみなさまへのメッセージや普及啓発のためのメッセージを収集し展示しました。

開催期間中、会場を訪れた多くの方々は、1型糖尿病患者支援団体が作成している普及啓発媒体や、当事者手記をじっくり読む様子が見られ、1型糖尿病について多くの方に知っていただく機会となりました。

患者団体と支援者、行政が手を携えて、ともに普及啓発することができ、参加者からは、「とても良い活動だと思う」などの感想をいただきました。

また、支援者からは「1型糖尿病に対して自分に偏見があったことが分かった」との感想もあり、相互理解に繋がるきっかけとなりました。

主催 岐阜県

309 「清流の国ぎふ」SDGsフェスティバル2024 県内各地

開催日 令和6年11月15日(金)、26日(火)～令和7年1月31日(金) 会場 岐阜県庁、県内各地



実施状況

SDGsの集中的な普及啓発期間として、フォーラムやイベント・キャンペーンを開催しました。

11月15日(金)の「清流の国ぎふ」SDGs推進フォーラムを皮切りに、26日(火)からの期間中は、県や県内自治体、SDGsに力を入れて取り組む「ぎふSDGs推進パートナー登録制度」の登録事業者により、県内各地でさまざまな普及啓発イベントやキャンペーンを行いました。

フォーラムでは、同制度の登録証授与式を執り行い、計219の事業者を新たに登録したほか、中央大学法科大学院教授で弁護士の野村修也氏による基調講演、SDGsに先進的に取り組む県内事業者による事例発表も行いました。

また、「SDGs×文化」パネル展も開催し、SDGsと県内のさまざまな文化遺産の関連性などについて来場者にご覧いただきました。

フェスティバル全体で、50以上の団体参画のもと、県内200ヶ所以上でSDGsを学び、考えるためのイベント・キャンペーンを実施することで、「オール岐阜」でSDGsに取り組む気運を醸成することができました。

主催 岐阜県

310 人と自然の共生を! in 笠松 笠松町

開催日 令和6年11月16日(土) 会場 笠松中央交流センター



実施状況

県内屈指のビオトープ(生きものの暮らす場所)である「笠松トンボ天国」に焦点を当て、環境の指標とされるトンボを中心に、ここに生息する生き物の状況や環境変化についての講演会や写真などの展示を行いました。

イベントには、講演会のほか「笠松トンボ天国」のアート作品展示、ドローン映像の放映、子どもワークショップのほかキッチンカーなど、子どもから大人まで一日中楽しめるイベントとなりました。

アート作品には、ロックアート、切り絵、写真、草木染め、竹あかり、行灯、絵画、短歌や昆虫標本などを展示したほか、小学生の科学作品や県立岐阜工業高等学校生徒のトンボ天国看板用デザインなど59名から151点の作品が出展されました。

会場を訪れた方々は、展示された作品や昆虫標本などに熱心に見入っていました。

また、向井貴彦氏(岐阜大学教授)と箕浦秀樹氏(笠松の自然と共生を考える会の会長)による岐阜の自然の多様性と「笠松トンボ天国」の魅力についての講演会も行い、環境保全や自然との共生の意義を考える機会となりました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、笠松町、「清流の国ぎふ」文化祭2024笠松町実行委員会、笠松の自然と共生を考える会

311 ヘルプマーク普及啓発イベント

岐阜市

開催日 令和6年11月20日(水)

会場 岐阜県庁



実施状況

ヘルプマークへの理解と普及啓発を図ることを目的に、イベントを開催しました。

オープニングアクトでは、県立岐阜聾学校太鼓部「響太鼓」と、視覚に障がいのある三線奏者とボイスパーカッションのデュオ「Sul.Sul」の2組が演奏を行いました。互いの打音の空気の振動を感じながら打つ迫力のある太鼓の演奏と、三線とボイスパーカッションで奏でる優しい音色は参加者を楽しませていました。

その後、県からのヘルプマークの制度説明と、岐阜県ヘルプマーク普及啓発大使・塚本明里氏によるヘルプマークについての講演を行い、ヘルプマークについて理解を深めていただきました。

最後に、日ごろからヘルプマークの普及啓発に取り組まれている「手をつなぐ 障がい啓発キャラバン隊」代表の大谷弘氏と、ヘルプマーク普及啓発サポーターであるサンメッセ(株)取締役専務執行役員・田中信康氏の2名による活動事例発表を行い、ヘルプマークのさらなる普及・理解を目指した活動と展望についてお話しいただきました。

そのほか、会場には「ふれあいアートステーション・ぎふ」のアート作品のうち、歴代の知事賞受賞作品6作品を展示しました。

主催 岐阜県

312 こころの健康フェスティバル

岐阜市

開催日 令和6年11月21日(木)

会場 ぎふ清流文化プラザ



実施状況

こころの健康に関する普及啓発と、精神障がい者への理解を深めることを目的にフェスティバルを開催しました。

「私の主張発表・私たちの活動報告」と題して、精神障がい者自身の活動報告や日ごろの気持ちなどの発表を通して精神障がいに対する理解を深めていただきました。

加えて、岐阜県出身の清水友翔氏が映画監督を務め、今を生きる大切さを描いた映画「僕の中に咲く花火」のメイキング映像を上映し、その後、清水氏と出演した俳優・加藤雅也氏、精神科医・田口真源氏による「みんな大切」をテーマとしたシンポジウムを行い、来場者と一緒にこころの健康について考えました。

また、芸術展もあわせて開催し、県内にある精神科病院や福祉サービス事業所など7団体から、多数作品を出展いただき好評を博しました。

【プログラム等】

- ・岐阜県精神保健福祉事業功労者表彰式
- ・「私の主張発表・私たちの活動報告」(当事者による発表)
- ・映画「僕の中に咲く花火」メイキング映像上映会&シンポジウム
シンポジスト：加藤雅也(俳優)、清水友翔(岐阜県出身映画監督)
田口真源(岐阜県精神保健福祉協会会長)

主催 岐阜県、岐阜県精神保健福祉協会

313 チャレンジ企画“がんばれ若鮎”「岐阜でみつけた未来の星」第7弾 岐阜市

開催日 令和6年11月24日(日)

会場 岐阜市文化センター



実施状況

(一財)岐阜市公共ホール管理財団が地域の文化芸術活動をコーディネートする人材育成を目的に設置している市民ボランティア(市民スタッフ「G-free」)が主体となって企画する独自事業の一環として、落語を学ぶ地域の若者を応援する落語会を開催しました。

岐阜市は落語の祖「安楽庵策伝」ゆかりの地として落語を積極的に取り上げており、市内の小学校や大学などでの落語のサークル活動が活発に行われています。今回は、安楽庵策伝が住職を務めた浄音寺がある地域の小学生のほか、第21回全日本学生落語選手権「策伝大賞」にアトラクションで出演した中学生が出演し、市の未来を担う若手の発表の場として貴重な機会となりました。

【出演者】

- ・三輪北小学校落語クラブ(小学4年生～6年生のクラブ所属児童) 7名
- ・佐和山佐吉(高座名/中学2年生)
- ・岐阜大学落語研究会 2名

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、岐阜市、「清流の国ぎふ」文化祭2024岐阜市実行委員会、一般財団法人岐阜市公共ホール管理財団

314 養老フェスタ2024

養老町

開催日 令和6年10月19日(土)～20日(日)

会場 養老町総合体育館及びその周辺



実施状況

養老町の産業及び特産物・文化など、町が持つ魅力を町内外に広く発信するとともに、町制施行70周年を迎えたことを祝い、未来への思いを多くの参加者のみなさまと共有することを目的に開催しました。

ステージではオープニングセレモニーをはじめ、「清流の国ぎふ」マスコットキャラクター・ミナモトや町のマスコットキャラクター・スマイルげんちゃんのキャラクターショー、スペシャルお笑いステージを行いました。

出展ブースでは町ならではの特産品の販売をはじめ、ひょうたんの絵付け体験コーナーや企業紹介、飲食の販売などを行いました。

最後に特産品の抽選会を行い、来場者に特産品をプレゼントしました。

子どもから年配の方まで幅広い年齢層の方に来場していただき、充実したイベントとなりました。

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、養老町、「清流の国ぎふ」文化祭2024養老町実行委員会、ネクスト100プロジェクト実行委員会

315 福祉ふれあいボランティアフェスティバル 大垣市

開催日 令和6年10月26日(土)～27日(日) 会場 大垣市総合福祉会館、大垣市役所



実施状況

ノーマライゼーションの理念を深め、誰もが楽しく出会い、ふれあい、集える機会を提供するためのイベントを開催しました。

26日(土)のオープニングセレモニーでは、大垣少年少女合唱団の元気な歌声で盛大に幕を開け、観客からは大きな拍手が送られました。

また、「車椅子レクダンス～あなたもわたしも踊ってみよう～」や「防災講座 命を守る家庭内防災」を開催しました。

27日(日)の身体障害者福祉大会では、大垣市出身で視覚障がいのある和太鼓奏者・富田安紀子氏による「片目で見える世界」と題した講演会を開催し、挑戦を続ける自身の姿を通して、悩みを抱える方にエールを送りました。

障がい者団体による「みんなのステージ」では、ピアノやハンドベルの演奏、朗読劇、歌やダンスなど、日ごろの活動の成果を存分に発揮し、会場を盛り上げました。

また、両日ともに、手話や音訳・点字の体験やボランティアクイズを楽しむ「わくわくスタンプラリー」、介護・福祉フェアを開催したほか、福祉施設自主製品や大垣市赤十字奉仕団による豚汁の提供など、会場内は大変賑わいました。

障がい者作品展「ふれあいはあ～と展」では、さまざまな表現手段と自由な発想で創作された絵画や工芸作品などの力作が並び、来場者から作品の感想や作者への温かいメッセージをいただきました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、大垣市、大垣市教育委員会、「清流の国ぎふ」文化祭2024大垣市実行委員会、福祉ふれあいボランティアフェスティバル実行委員会

316 ふれ愛の家げんき祭 池田町

開催日 令和6年10月26日(土) 会場 池田町障害福祉サービス事業所 ふれ愛の家



実施状況

池田町を拠点に活動している民生児童委員協議会、日赤奉仕団、NPO法人をはじめ、多くのボランティア団体によるバザーや、障害福祉サービス事業所の利用者による作品の展示・発表を行いました。

作品の展示は、「池田町障害福祉サービス事業所 ふれ愛の家」の利用者が描いた絵を展示し、同日に池田町中央公民館で開催した「池田町文化祭」にも、作品を展示しました。発表では、利用者による演奏や、利用者が製作した手作りのお神輿を披露しました。

タオル体操では、障がいのある方もない方も誰もが参加できる体操で会場全体が一体感に包まれました。

また、オカリナグループ「カノン」をゲストに迎え、オカリナの演奏を披露していただき、参加された方々が、澄んだ音色に耳を傾けました。

参加者は400名を超え、地域のみなさまとも相互交流を深め、障がいのある方もない方も共生できる社会を目指して、互いに理解を深めることができました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、池田町、「清流の国ぎふ」文化祭2024池田町実行委員会、池田町げんき祭実行委員会

317 中山道赤坂宿まつり 大垣市

開催日 令和6年11月3日(日祝) 会場 大垣市赤坂町中山道沿い一帯



実施状況

平成4年から、中山道赤坂宿まつりとして「皇女和宮行列」を実施しており、今回で31回目を迎えました。

和宮を中心に比宮、五十宮の2名の姫が加わり、大垣市赤坂地域の自治会、婦人会、女性部会、子ども会などの総勢59名が歴史に思いを馳せ、往時を再現する絢爛絵巻を繰り広げました。

令和6年度に整備された赤坂本陣公園では、地元小・中学校や、幼稚園などを中心に演奏会も行いました。また、中学生はボランティア体験として、史跡旧清水家住宅でのガイドと清掃活動にも参加しました。

【プログラム・出演団体】

赤坂中学校	本陣公園：オープニング参加・吹奏楽部演奏(30名)
赤坂小学校	本陣公園：よさこいソーランに参加 5年生
青墓小学校	本陣公園：ブルーウィング(マーチングバンド)の参加
赤坂幼保園	本陣公園：みこしの出場
きど・みのり保育園	本陣公園：鼓笛演奏
青墓太鼓	本陣公園：太鼓演奏
消防署・消防団	赤坂分団器具庫前：子ども消防士防火服体験 他

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、大垣市、大垣市教育委員会、「清流の国ぎふ」文化祭2024大垣市実行委員会、中山道赤坂宿まつり実行委員会

318 安八ふれあい祭り2024 安八町

開催日 令和6年11月9日(土)～10日(日) 会場 安八町役場周辺、安八町中央公民館



実施状況

屋内外のステージイベントや作品展示、各種体験コーナーなどを設け、町内外から約22,000人が来場しました。

屋外ステージでは、東安・登龍中学校吹奏楽部の演奏会や安八町PR大使の「蜂蜜★皇帝(はちみつエンペラー)」のパフォーマンス、文化協会所属団体などのステージイベントを行いました。

また、大食いYouTuber「はらぺこツインズ」によるステージショーやお笑い芸人「ハナコ」によるお笑いショーもあり、会場には大勢の笑顔があふれました。

屋内ステージでは、子ども演技(町内3小学校)、こども園児演技(町内3こども園)やキャラクターショー、文化協会のステージイベントや各種作品展示を行いました。

また、ロードトレインやふわふわスライダー、ナインフープなどの体験コーナー、各種バザー、三輪車レース、スポーツ少年団綱引き大会、紅白もちまきなどのイベントも行い、大いに賑わいました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、「清流の国ぎふ」文化祭2024安八町実行委員会、安八ふれあい祭り2024実行委員会

319 清流長良川あゆパーク 秋イベント

郡上市

開催日 令和6年9月14日(土)～11月4日(月休)のうち土・日・祝日

会場 清流長良川あゆパーク



実施状況

世界農業遺産「清流長良川の鮎」の情報発信拠点である清流長良川あゆパークにおいて、内水面漁業の担い手確保と世界農業遺産の認知度向上を目的として、清流や鮎に親しむイベントを開催しました。

伝統漁法の鮎の友釣り体験親子教室では、室内講習で友釣りの仕組みを学んだ後、パーク横を流れる長良川に入り、漁師のレクチャーを受けながら友釣りに挑戦しました。

とって、さばいて、食べる体験では、つかみどりした鮎を串打ちし、自分で焼いて食べる体験を行いました。参加した子ども達は、自分で焼いた格別の鮎の塩焼きを味わいました。

魚の生態調査体験では、水中ドローンを使って川の中を探検し、魚の生態や生物多様性を学びました。

期間中、約32,000人が来場し、体験型のイベントには681名に参加いただき、大変賑わいました。

【イベント内容】

伝統漁法の鮎の友釣り体験 伝統漁法の鮎の投網体験
とって、さばいて、食べる体験 鮎のつかみどり大会 魚の生態調査体験
魚釣り大会 伝統文化クラフト体験教室 他

主催 岐阜県

320 岐阜県百年公園 オータムフェスティバル

関市

開催日 令和6年10月19日(土)～20日(日)

会場 岐阜県百年公園



実施状況

ステージイベントをはじめ、キッチンカーによるグルメマーケットや、ハンドメイド品を販売するクラフトマーケット、地域にちなんだワークショップなど、一日中楽しめるイベントを開催しました。

中濃地域観光フェアも同時開催し、関市、美濃市、郡上市がそれぞれ特色を生かしたブースを出展し、甲冑の試着やカミヒカリ(美濃和紙でつくるランタン)のたたき染め、バードコール(鳥の鳴き声に似た音を出す道具)づくり、木の御朱印帳づくり、美濃和紙を使ったペーパービーズづくり、ストーンナイフづくりなどを行ったほか、地域の紹介、観光PR、特産品の販売などを行い、地域の魅力を発信し、多くの方に楽しんでいただくことができました。

また、3mの巨大バームクーヘンづくりのチャレンジコーナーでは、焼きあがったバームクーヘンにみなさん満足され、おいしく召し上がっていただきました。

主催 岐阜県百年公園

321 坂祝町ふるさとまつり

坂祝町

開催日 令和6年10月19日(土)～27日(日)

会場 坂祝町郷土資料館、坂祝小学校



実施状況

令和6年4月に新装オープンした坂祝町郷土資料館をメイン会場として、文化協会所属団体のほか、各種文化団体も合わせて全12団体が、日ごろの取り組みの発表・展示や体験教室を行いました。

展示では、郷土資料の常設展示に加えて、円空彫りや生け花、盆栽などの展示物が会場内を彩りました。ステージ発表では、黒岩祭囃子保存会の力強い太鼓の演奏を皮切りに、エクサドン、ひばりFive、POEPOE、コールサルビアがそれぞれ素晴らしいパフォーマンスを披露しました。体験教室では、子ども作法教室に通う中学生が点てた抹茶が振る舞われたほか、坂祝町おどり保存会と黒岩祭囃子保存会、エクサドンによる盆踊り大会では幅広い層の来場者が集まり、町の盆踊りをはじめ、さまざまな踊りで会場が一体となりました。

他にも町の古代についての講演会では、芦戸遺跡、古代寺院、火塚古墳などの町内の遺跡・古墳についての学びを深め、町出身の落語家・柳亭市好氏による落語講演会では、二つ目昇進以降初となる地元での凱旋講演を約100名の来場者が温かく見守りました。

「紙ひこうき」による童謡コンサートでは、児童を含め約480名が来場し、馴染みのある童謡の演奏のほか、イントロクイズなども行い、素晴らしい演奏に触れていただきました。

多彩な演目が揃い、期間中は約800名の来場者がありました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、坂祝町、「清流の国ぎふ」文化祭2024坂祝町実行委員会

322 おいでよふる里まつり

七宗町

開催日 令和6年10月27日(日)

会場 木の国七宗コミュニティーセンター



実施状況

七宗町秋の恒例行事であるこのお祭りは、商工業者や町職員で作る「おいでよふる里まつり実行委員会」が中心となって運営を行いました。当日は、天気も良く過ごしやすい気候の中、屋内外でさまざまな催し物を行いました。

まず、七宗第一保育園と七宗第二保育園の園児によるオープニングセレモニーから始まり、飛水太鼓保存会がお祭りを盛り上げる演奏を披露しました。ステージではほかにも、ダンスの披露やマジックショーなどがあり、会場は大いに盛り上がりました。

飲食ブースでは、商工業者や地元団体が、「味ご飯」や「ヘボ(クロスズメバチ)ご飯」などを出店し、来場者に秋の味覚を味わっていただきました。また、障がい児者親の会のフリーマーケットには、多くの方が訪れ賑わいました。

そのほか、簡単なゲームを楽しめるコーナーも設け、幼児から中学生まで多くの子ども達が参加してゲームを楽しんでいました。

お祭りの最後には餅まきも行い、多くの方に楽しんでいただけた一日となりました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、七宗町、「清流の国ぎふ」文化祭2024七宗町実行委員会、おいでよふる里まつり実行委員会

323 飛水峡ウォーキング

七宗町

開催日 令和6年11月3日(日祝)

会場 木の国七宗コミュニティセンター、飛水峡一帯



実施状況

飛騨木曽川国定公園内でも特段景観の良い「飛水峡」を間近で見て、雄大な自然とその景観から悠久の時を感じていただくためのウォーキングイベントを開催しました。飛水峡は、七宗町から白川町までの12kmにわたる渓谷で、景観の良さだけでなく約800を超える「罅穴(ポットホール)」があり、「飛水峡罅穴群」は国の天然記念物に指定されています。

当日は、天候にも恵まれ、七宗町内外から参加いただいた54名が、木の国七宗コミュニティセンターから飛水峡の上流へ、片道1時間ほど景観を楽しみながら歩き、岩が切り立った雄大な景観と、コースの途中にある上麻生橋からは納古山を見ることができました。また、コースの中には普段は人がほとんど立ち入ることのない50年以上前に国道41号線として利用していた旧道区間もあり、参加者は楽しそうな様子で爽やかな汗をかきながら、約2時間のウォーキングを楽しみました。

雄大で悠久の時を感じるだけでなく、春の桜、夏の新緑、秋の紅葉、冬の雪景色と四季折々の表情を見せる風光明媚な場所である飛水峡の魅力の一部を感じていただけるイベントとなりました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、七宗町、七宗町教育委員会、「清流の国ぎふ」文化祭2024七宗町実行委員会

324 関にし秋の祭典 in 洞戸

関市

開催日 令和6年11月9日(土)～10日(日)

会場 ほろどキウイプラザ周辺



実施状況

関市の西部3地域の人々の交流と、ほかの地域の多くの方にそれぞれの地域の特色を知ってもらうため、農林業・商工業・文化振興の合同イベントとして開催しました。

地元の保育園児、小・中学生の発表や作品展示をはじめ、10の団体による歌や楽器演奏によるステージ発表を行いました。

また、にぎわい横丁では19の団体により特産品・農産物・林産物など、地域の商工業者が生産・取扱い・販売を行っている商品などの展示即売を2日間にわたり開催しました。

さらに、洞戸ふれあいセンターでは文化交流展として、文化協会、保育園児、小・中学生などの作品展示を行いました。また、9日(土)の多目的室ステージではCHERRY&ユキヒロによるライブコンサートを行い、プロのミュージシャンとの交流を楽しみました。10日(日)にはジャズや太鼓の迫力ある演奏が場内に響きわたり、来場者を楽しませました。

各地域の人や産業の魅力、活力を引き出すことで地域の活性化につながるイベントとなりました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、関市、「清流の国ぎふ」文化祭2024関市実行委員会、関にし秋の祭典 in 洞戸実行委員会

325 まなびピア川辺

川辺町

開催日 令和6年11月23日(土祝)～24日(日)

会場 川辺町中央公民館



実施状況

川辺町民や文化協会などによる作品展示や公民館活動の発表を通じて、町民の文化意識、生涯学習への関心を高め、地域の芸術文化を振興することを目的に開催しました。

体験型のコーナーを設け、ドライフラワーでの壁掛けづくりやちぎり絵など幅広い世代が楽しめる内容としたほか、ぬくもり新聞、家庭の日啓発図画・環境・選挙ポスターコンクールの表彰式を行い、受賞者には川辺町長から賞状を授与しました。

会場には、町内の子ども達や有志によって製作された町の「ちーオシスタチュー」も展示し、地域の文化の価値や創造性を再認識し、住民同士の交流やつながりを深める貴重な機会となりました。

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、川辺町、「清流の国ぎふ」文化祭2024川辺町実行委員会、まなびピア実行委員会

326 景観シンポジウム

下呂市

開催日 令和6年10月15日(火)

会場 星雲会館



実施状況

良好な景観の形成に関する啓発・普及を図るとともに、景観形成に関する活動へ参加いただくことを目的に、シンポジウムを開催しました。オンライン配信も行い、県外からも参加いただきました。

【プログラム】

- 第1部 13:40～14:40
基調講演「森と共生するまち 下呂市の森林景観の価値と未来」
講 師：奥敬一(富山大学芸術文化学部教授)
- 第2部 14:50～16:00
パネルディスカッション
「みらいへつなぐ 観光×景観～温泉街から新たな交流を生み出す～」
コーディネーター
伊藤栄一(森のなりわい研究所代表理事・下呂市景観審議会会長)
パネリスト
奥敬一(富山大学芸術文化学部教授)
瀧康洋(下呂温泉観光協会会長・下呂市景観審議会委員)
中西佳代子((株)ランドスケープアンドパートナーシップ代表取締役)

主催 岐阜県、下呂市、岐阜県都市計画協会

327 ぎふ棚田塾ツアー

飛驒市

開催日 令和6年10月19日(土)

会場 種蔵棚田



実施状況

岐阜市近郊に在住する小学生とその保護者を対象に、飛驒市宮川町の種蔵棚田の魅力を体験するバスツアーを行い、6組15名の方に参加いただきました。

棚田を歩くクイズラリーでは、石積みの棚田のほかに、農具や種もみを保管する「板倉」や水車を動力にそばの実を製粉する「つき屋」など、集落に古くから伝わる施設について地域の方の説明を受けながら、地域の伝統文化について学びました。

種蔵地域の郷土料理である「芋でんがく」づくりでは、地域の方の指導のもと、ジャガイモを串に刺し、えごまを使った秘伝のタレを塗る工程を体験しました。でき上がった「芋でんがく」は、種蔵の棚田米やミョウガなど地域の食材を使ったお弁当とともに味わい、地域の食文化を体験しました。

最後の棚田の稲わらを使ったリースづくりでは、親子で力をあわせて稲わらを編み込み、松ぼっくりやドングリで飾りつけを行うなど、それぞれ個性あふれるリースを作りました。

参加者からは「棚田の文化について理解することができた」「地元の方とのふれあいが楽しかった」「岐阜にこんないい所があるなんて知らなかった」などの感想があり、棚田のみならず、さまざまな体験や地域の方々との交流を通じて、棚田を中心とした種蔵地域の文化について楽しく学ぶツアーとなりました。

主催 岐阜県

328 下呂市文化祭

下呂市

開催日 令和6年10月19日(土)、20日(日)、27日(日)、11月3日(日祝)

会場 金山市民会館、星雲会館、下呂交流会館、清流ふれあい会館



実施状況

下呂市文化協会の各支部において文化祭を開催しました。各支部では、それぞれ展示の部と芸能の部による発表が行われ、日ごろの研鑽の成果を披露していただきました。参加団体は計70団体、来場者は期間を通して約1,900名となり、多くの方に市民の手掛けた作品を見ていただくことができ、市の文化の魅力を発信することができました。

【プログラム】

10月19日(土)、20日(日) 金山町文化祭

展示：生け花、トールペイント、書道、写真、ちぎり絵、手芸、茶道
芸能：吹奏楽、二胡、コーラス、箏曲、仕舞、日本舞踊、三味線、落語会

10月27日(日) 萩原町文化祭

展示：水彩画、写真、木目込人形、絵手紙、木工作品、華道、トールペイント
芸能：合唱、ピアノ、フルート、朗読、民謡、バレエ 他

11月3日(日祝) 下呂文化祭

展示：狂俳、パッチワーク、洋服、折り紙、木目込人形、書道 他
芸能：合唱、カラオケ、マジック、舞踊、バレエ、オカリナ、民謡 他

11月3日(日祝) 馬瀬文化祭

展示：生け花、書道、トールペイント、絵手紙、水彩画、組木、書、水彩画
芸能：健康太極拳、コーラス、カラオケ、歌謡舞踊、素謡、フルート

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、下呂市、「清流の国ぎふ」文化祭2024下呂市実行委員会

329 国名勝指定記念 白水滝シンポジウム

白川村

開催日 令和6年10月26日(土)

会場 南部地区文化会館



実施状況

令和5年度に国名勝に指定された白水滝の普遍的価値や保存活用について地質・植生・芸術歴史などの視点から考えるシンポジウムを開催しました。

シンポジウム前半では「滝について学ぶ」というテーマで、基調講演や研究報告を行いました。最初に、文化財調査官・青木達司氏に「名勝について」と題して講演いただきました。白水滝が県内初の国指定名勝となった滝であることは、白川村にとって大きな誇りであると再認識できるようなお話をいただきました。

続いて白水滝学術調査委員会の発表があり、金沢大学教授・酒寄淳史氏や岐阜大学教授・大塚俊之氏、筑波大学教授・黒田乃生氏に地質・植生・歴史芸術分野で白水滝の特徴や普遍的な価値をそれぞれの視点から報告いただきました。

シンポジウム後半は、名勝を活用した地域づくりに関するパネルディスカッションを行いました。国名勝滝の先進地として、長野県須坂市商業観光課と富山県立山カルデラ砂防博物館の担当者から、それぞれの「米子瀑布群」と「称名滝」の活用事例発表を行っていただきました。また、白川村の事例として、教育委員会主催ガイドツアーの動画や、トヨタ白川郷自然学校の大白川園地の活用事例を紹介しました。地元観光事業者や会場の参加者からも発言していただき、熱意ある意見交換がなされ、シンポジウムは活発な雰囲気の中で終了しました。

主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、白川村、「清流の国ぎふ」文化祭2024白川村実行委員会

330 巡回人権啓発展

飛驒市、垂井町、恵那市、岐南町、坂祝町

開催日 ①令和6年8月18日(日) ②令和6年9月16日(月祝)
③令和6年9月19日(木) ④令和6年10月20日(日)
⑤令和6年11月17日(日)会場 ①飛驒市文化交流センター ②垂井町文化会館
③恵那文化センター ④岐南町中央公民館
⑤坂祝町中央公民館

実施状況

県民のみなさまに身の回りにある人権問題について考えていただくため、県内市町のイベントに人権啓発パネルを展示したほか、啓発資料や啓発グッズを配布しました。

展示をご覧いただいた方からは、「日々の生活の中で人権について少しずつ知ってきたい」などの声をいただきました。特に、LGBTや外国人、障がい者といったテーマについて関心が高く、今回の展示ではじめてそういったテーマについて詳細を知ったという方もいらっしゃいました。

配布した啓発資料の中では、「ちょっといい話」という小冊子が特に人気がありました。この冊子は身のまわりで経験した心温まる出来事を県民のみなさまから募集し、その中から80作品を掲載したもので、作品の内容に共感する方が多くいらっしゃいました。

そのほか、県が発行する広報パンフレットである「人権だより」を手にとる方も見られ、人権施策について多くの県民のみなさまに知っていただく貴重な機会となりました。

主催

岐阜県

331 水環境スタディ in 浄水場

中津川市

開催日 令和6年10月18日(金)、22日(火)、11月1日(金)

会場 中津川浄水場



実施状況

県内の小学4年生のべ64名が参加して、浄水場内の施設見学と水をきれいにする仕組みの体験学習をすることで、水環境を見つめ直す学習をしました。

施設見学では、数多くの機械が動いている状況や、深さ5mほどもある沈澱池に驚きながら見学をしていました。また、水をきれいにするために多くの機械や電力が必要であることや、水をきれいにして発生した土(浄水発生土)に実際に触れてもらいました。

体験学習では、各班数名に分かれてバケツに入った泥水に薬品を入れてかき回すことで、汚れた水がきれいになる体験をしてもらいました。子ども達は、かき回すたびに泥水が透き通ったきれいな水になる状況に目を輝かせて観察していました。

子ども達からは「水がきれいになるには、たくさんの薬品や機械が必要であることがわかった」「水道水の基になる河川をきれいにしようと思った」といった感想をいただき、大変好評を博しました。

【参加団体】

中津川市立川上小学校、中津川市立付知南小学校、瑞浪市立稲津小学校

主 催

岐阜県

332 脱炭素社会ぎふを支える人づくりツアー(秋コース)

山県市、郡上市、岐阜市、中津川市、美濃市

開催日 ①令和6年10月5日(土) ②令和6年10月13日(日)
③令和6年10月19日(土) ④令和6年11月16日(土)
⑤令和6年11月24日(日) ⑥令和6年11月30日(土)

会場 ①山県古民家ちこのもり ②めいほう高原
③名和昆虫博物館 他 ④根の上高原
⑤森林総合教育センター
⑥JR貨物岐阜貨物ターミナル 他



実施状況

県内在住の小・中学生とその保護者94名に参加いただき、森・里・川・海での自然体験や保全活動を通じて、流域のつながりや環境問題について考えるツアーを開催しました。8団体が独自のプログラムを用意し、環境学習ツアーならではの体験や学習をすることができ、大変充実したツアーとなりました。

【コース紹介(プログラム提供団体)】

- ①～命の恵みに感謝をこめて～ ジビエ料理体験と鹿角アクセサリーづくり体験(山県古民家ちこのもり、MIYAMAいく)
- ②めいほう高原で学ぶSDGs!ピザづくり体験&どきどきジップライン(めいほう高原開発(株))
- ③昆虫から学ぶ生物多様性!名和館長と行く昆虫採集と鱗粉転写体験(名和昆虫博物館)
- ④カーボンニュートラルの原理を体験しよう♪きこりのローソク体験と花炭づくり(自然体験工房NENO)
- ⑤森遊びの聖地モリノスで遊びそして学ぶ(NPO法人森のなりわい研究所)
- ⑥企業が取り組むSDGsを調べてみよう!JR貨物岐阜貨物ターミナル見学と岐阜材木団地クイズラリー(日本貨物鉄道(株)、岐阜材木団地)

主 催

岐阜県

333 岐阜県高等学校総合文化祭

県内各地

開催日 令和6年9月16日(月祝)～12月15日(日)

会場 県内各市町



実施状況

岐阜県高等学校文化連盟に加盟する20の専門部(部会)のうち、15部会が大会を開催し、のべ228校から3,443名の高校生が参加し、日ごろの部活動の成果を発表しました。県内の高校で文化部活動に励む生徒が、他校の生徒と交流することができる機会でもあり、今後の文化部活動への意欲向上や、生涯にわたる文化芸術活動への啓発につながる大会となりました。

また、各大会はのべ8,906名が観覧し、高校生の文化部活動の魅力を広く発信しました。

【開催した専門部(部会)】

- ・演劇部会
- ・吹奏楽部会
- ・合唱部会
- ・器楽・管弦楽部会
- ・書道部会
- ・マーチングバンド・バントワリング部会
- ・吟詠剣詩舞部会
- ・囲碁部会
- ・民俗芸能部会
- ・将棋部会
- ・自然科学部会
- ・放送部会
- ・小倉百人一首かるた部会
- ・日本音楽部会
- ・弁論部会

主 催

岐阜県、岐阜県高等学校文化連盟

中止

天候不良により、3事業が中止となりました。

分野	番号	事業名
歴史文化	207 208	中山道往来 ～なかせんどううおーく～
文化一般	293	各務原公園 秋の交通安全フェスティバル



閉会式

令和6年11月24日(日)
長良川国際会議場メインホール さらさ〜ら

開場

「脳トレ!ミナモ体操」でリラックス



「脳トレ!ミナモ体操」で心も体も頭もリラックス! (協力: (一社) 岐阜県レクリエーション協会)

プロローグ

OP-Act1「ここから」ではじまった!「清流の国ぎふ」文化祭 2024



開会式「ここから」で、自分らしさを表現した「清流少女」を再演 (かやの木芸術舞踊学園)

OP-Act2「らしさ」魅せた!見つけた!「清流の国ぎふ」文化祭 2024



開会式と開催42日間を振り返る日比野総合プロデューサーと応援大使のみなさん



“清流の国ぎふ”ウインド・オーケストラの演奏にのせて、300を超える多彩な事業を映像で紹介

OP-Act3「まつりでおわんないまつり」は、つづく



口上で地域の誇りを未来へつなぎ伝えることを誓う子ども達



未来を担う子ども達が和傘を開き、「清流の国ぎふ」文化祭 2024のタイトルを表現

開式

国歌斉唱



代表歌唱する郡上おどり保存会ジュニアクラブ

主催者挨拶



文部科学省大臣官房文部科学戦略官 中原裕彦



厚生労働省障害保健福祉部長 野村知司



岐阜県知事 古田肇

Interlude

受け継ぐレガシー はばたけ、未来へ「ミナモダンス」



ぎふ清流国体・ぎふ清流大会から受け継ぐ「ミナモダンス」を披露するかやの木芸術舞踊学園

グランドフィナーレ

「文化芸術の力」



「文化芸術は生きる力」と朗読する
竹下景子氏（応援大使）



オリジナル曲をピアノで演奏する山中映也氏（ゆめぼつけ）

Act-1「木の国の“光”・冬から春へ」



雪深い冬を経ていのち芽吹く春をバントワリングで表現するBaton Team ハニーズ



清流を巡る季節を朗読する
紺野美沙子氏（応援大使）

Act-2「水の国の“光”・夏から秋へ」



幽玄絵巻「鵜飼」を表現するかやの木芸術舞踊学園

Act-1「平和への扉」

伝



関ヶ原の戦いの様子をマーチングで表現する県立岐阜商業高等学校吹奏楽部（衣裳・小道具協力：関ヶ原町）

Act-2「人道の精神」



郷土の偉人「杉原千畝」の人道精神を受け継ぎ、平和への願いを合唱に込める八百津町立八百津小学校5・6年生のみなさん



心の光をつなぎ伝える
大前光市氏（応援大使）

Act-3「長崎県アトラクション」



創作ダンス（長崎県）



郷土芸能「龍踊」の披露（長崎県）

「君が明日と呼ぶものを」

共



42市町村、42日間を表して、県民が製作した42枚の山並みパネルと光で表現された「共」の文字



挾土秀平氏により制作された「知・創・伝・共」の作品披露



参加者とともに「清流の国ぎふ」のテーマソングとして歌い継いでいくことを約束した「君が明日と呼ぶものを」の大合唱

次期開催県への大会旗引継ぎ



古田知事から大石長崎県知事への大会旗引継ぎ

次期開催県代表あいさつ



長崎県知事 大石賢吾

エピローグ

ふるさとの誇り <「ふるさと」合唱>



全出演者による「ふるさと」の大合唱 「まつりでおわんないまつり」は、つづく



長崎県のみなさんを会場一体となった拍手でお見送り



開催までの
あゆみ

● 「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会 設立総会・第1回総会

令和4年7月6日（水）

ぎふ清流文化プラザにおいて、実行委員会の設立及び令和4年度の事業計画案等4議案が承認されました。
また、記念公演では、清流文化の案内人として紺野美沙子氏が進行を務め、清流の国ぎふ創作オペラや義足のダンサー・大前光市氏と和太鼓奏者・加藤拓三氏のスペシャルコラボレーション、いび祭子ども歌舞伎保存会による地歌舞伎を披露しました。



文化祭の幕開け口上



清流の国ぎふ創作オペラ「紙すきのうた」

● ロゴマーク及びポスター原画 入賞者表彰式&トークショー

令和5年2月15日（水）

岐阜県庁（ミナモホール）において、「清流の国ぎふ」文化祭2024ロゴマーク及びポスター原画入賞者表彰式&トークショーを開催しました。

【第1部 表彰式】

県内から応募のあった計1,130点（ロゴマーク509点、ポスター原画621点）から選ばれたロゴマーク及びポスター原画の入賞者に、古田肇岐阜県知事から表彰状を授与しました。

また、最優秀賞に選ばれたロゴマーク及びポスター原画をもとに制作した公式ポスターをお披露目しました。

【第2部 北川悦吏子氏×安藤桃子氏×中村航氏トークショー「清流からはじまる物語」】

日比野総合プロデューサーをMCに迎え、脚本家・北川悦吏子氏、映画監督・安藤桃子氏、小説家・中村航氏ら、岐阜県にゆかりのある文化人によるトークショーを開催しました。岐阜県への思いや文化祭に向けてのメッセージなどを語っていただきました。



入賞者のみなさんと記念撮影



トークショー

● 「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会 第2回総会

令和5年7月11日（火）

岐阜県庁（ミナモホール）において、開閉会式や文化プログラム等の事業別計画を含んだ実施計画案や令和5年度の事業計画案等4議案が承認されました。

その後、竹下景子氏、紺野美沙子氏、伊藤英明氏、大前光市氏に応援大使を委嘱したほか、日比野総合プロデューサーより、本大会の開催機運を盛り上げていく県民運動について発表しました。

また、トークセッションでは、日比野総合プロデューサーと応援大使4名に岐阜県の魅力や、本大会に向けての意気込みなどを語っていただきました。

総会の締めくくりに、日比野総合プロデューサーと応援大使、「TAJIMI CHOIR JAPAN 多治見少年少女合唱団とシニアコア」のみなさんと文化祭テーマソング「君が明日と呼ぶものを」を合唱しました。



応援大使の委嘱



トークセッションで県民運動の「チーオン」を身体で表現する伊藤英明氏

● カウントダウンボード除幕式

令和5年10月13日（金）

岐阜県庁に、「清流の国ぎふ」文化祭2024及び清流の国ぎふ総文2024（第48回全国高等学校総合文化祭）のカウントダウンボードを設置しました。



カウントダウンボードの除幕



記念撮影

● 「清流の国ぎふ」文化祭2024PRイベント ～君が明日と呼ぶものを～ 令和5年11月18日(土)

岐阜県庁において「清流の国ぎふ」文化祭2024PRイベント ～君が明日と呼ぶものを～を開催しました。
オープニングセレモニーでは文化祭を盛り上げていく県民運動のスタート宣言や、文化祭テーマソング「君が明日と呼ぶものを」の作詞家・松井五郎氏と作曲家・沢田完氏他によるトークイベント、応援大使と県民のみなさんによるスペシャルコラボレーションステージなどを行いました。
そのほか、地歌舞伎の隈取・着付けの実演や、茶道の体験、障がいのある方が制作した作品の展示、清流の国ぎふ総文2024に参加する県内高校生によるステージなど多彩な文化芸術の催しを行いました。
また、20階の清流ロビーを初めて夜間開放し、音楽の演奏や美濃和紙あかりアートとともに夜景を楽しんでいただきました。



会場の人々とともに、県民運動のスタート宣言



NHK交響楽団メンバーと県内演奏者による演奏

● 大会旗引継ぎ 令和5年11月26日(日)

石川県立音楽堂で開催された「いしかわ百万石文化祭2023」閉会式にて、馳浩石川県知事から大会旗を引き継ぎました。古田肇岐阜県知事による挨拶の後、後催県アトラクションとして、「清流の国ぎふ」文化祭2024のPR映像と郡上踊を披露しました。



大会旗引継ぎ



郡上踊の披露

● ～「清流の国ぎふ」文化祭・総文祭2024～ 2つの文化祭PRイベントinマーサ21 令和6年3月23日(土)

マーサ21(マーサスクエア)において、～「清流の国ぎふ」文化祭・総文祭2024～2つの文化祭PRイベントinマーサ21を開催しました。
県内の音楽団体による文化祭テーマソング「君が明日と呼ぶものを」の生演奏や、清流の国ぎふ総文2024生徒実行委員会によるステージPRなどを実施しました。



ギター・マンドリンによる演奏



邦楽三曲による演奏

● 「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会 第3回総会 令和6年5月7日(火)

岐阜県庁(ミナモホール)において、令和6年度の事業計画案等3議案が承認されました。その後、地芝居大国ぎふ応援大使・葛西聖司氏による特別講演「清流文化と地芝居」を行いました。
続いて、「TAJIMI CHOIR JAPAN 多治見少年少女合唱団とシニアコア」の柘植洋子氏から、文化祭テーマソング「君が明日と呼ぶものを」の歌唱指導を受けた後、参加者全員で合唱しました。
最後は、「がんばろう三唱」で締めくくりました。



文化祭テーマソング「君が明日と呼ぶものを」の合唱



がんばろう三唱

開催までのあゆみ

● 「清流の国ぎふ」文化祭 2024PRイベントin柳ヶ瀬 令和6年7月15日（月祝）

岐阜市柳ヶ瀬のGテラスにおいて、「清流の国ぎふ」文化祭 2024PRイベントin柳ヶ瀬を開催しました。
 ステージでは日比野総合プロデューサーが、42市町村で制作している「ちーオシスタチュー」や、「^④ 文化的処方プログラム」について説明したほか、岐阜東高等学校によるギター・マンドリンの演奏や、県立郡上高等学校による郡上踊、「^⑤ せき桐ヶ丘芸術祭」出演者による人形を使った音楽ステージ、県立大垣桜高等学校による合唱を披露しました。
 また、文化リンクワーカーによる初めての文化的処方の実践、障がい者福祉施設による販売会なども行いました。



「文化的処方プログラム」の説明をする日比野総合プロデューサーと活動を行う「文化リンクワーカー」



来場者も参加しての郡上踊

● 首都圏PRイベント（文化庁主催）

令和6年8月17日（土）

COREDO室町テラス大屋根広場において、応援大使の竹下景子氏、大前光市氏をお招きして、岐阜県にまつわるトークショーや、郡上踊、文化祭テーマソング「君が明日と呼ぶものを」の合唱などで、岐阜県の文化の魅力を発信しました。

また、「ぎふマルシェ」では名産品・特産品の販売や文化祭PRを行いました。



トークショー



ぎふマルシェ

● 市町村キャラバン

令和5年11月18日（土）～令和6年11月4日（月休）

文化祭を県全体で盛り上げるため、全42市町村で開催される大規模イベントの機会などをとらえて広報活動を行いました。

- ・広報キャラバン隊によるステージPR
- ・PRブースでの広報物の配布、ワークショップ等
- ・PRコーナーによる展示



PRブース



ステージPR



広報・
県民運動

清流文化地域推し活動

ちーオシ

日比野総合プロデューサーが書いた「ちーオシ」ロゴの試作
(令和5年11月18日PRイベントにて)▶



地域の「推し」を見つけ出し、「ちーオシスタチュー」としてオブジェを作り上げ、「清流の国ぎふ」文化祭2024の開会式に持ち寄って披露するアートプロジェクトが「清流文化地域推し活動」(ちーオシ)です。県内全42市町村で「コミュニケーター」が中心となって、住民協働で制作を進めました。さらに、この「ちーオシ」を通じて、掘り起こした「推し」が地域活性化につながり、人々の交流の輪が、さらに広がることを期待し活動が進められました。

※事業名・愛称の考案、ロゴの制作は、日比野総合プロデューサーです。
※ちーオシ 商標登録 第6813971号

コミュニケーター

「ちーオシ」における地元のリーダー(各市町村から選出)。「推し」の選定に参画し、「ちーオシスタチュー」制作を主導。

地域の「推し」

地域(市町村)でこれからも大事にしたい、共有したいイチオシの文化。有形／無形やジャンルを問わず、従来の「地元の宝もの／自慢」にこだわらないところがポイント。各市町村で選定。

ちーオシスタチュー

各市町村が選定した「推し」を、和紙・竹を素材として制作する行灯状のオブジェ。各市町村でコミュニケーターを中心に制作し、文化祭の開会式に持ち寄られ、会場を装飾。日比野総合プロデューサーがデザイン画を制作・監修。

令和5年



7月11日 実行委員会第2回総会

日比野総合プロデューサーが活動の概要を説明し、愛称「ちーオシ」を発表するとともに、活動に対する想いや期待、意気込みを語りました。



9月20日 第1回コミュニケーター会議

日比野総合プロデューサーによるちーオシの説明の他、事務局よりコミュニケーターの紹介やちーオシスタチュー制作プロセス等の説明を行いました。(コミュニケーター39名、全市町村担当者が出席(オンライン含む))

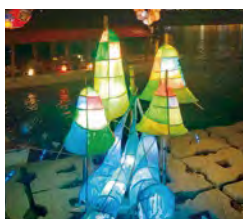


9月20日～ 各市町村の「推し」の選定

各市町村において、地域の「推し」を選定する作業が進められました。選定は、公共施設に設置したホワイトボードへの自由記載や投票、コミュニケーターが学校等へ訪問しての聞き取り、選定会議の開催などさまざまな手法で行われました。

11月18日、12月8日・12日 「ちーオシスタチュー」の試作

各市町村での「ちーオシスタチュー」の制作に先立ち、コミュニケーターなどが制作手法を学ぶため、岐阜の「清流」をモチーフにした日比野総合プロデューサーによるデザイン画をもとに、ちーオシスタチューを試作しました。



▲試作スタチュー

令和6年

1月6日 「ちーオシ流 竹取物語」の実施

ちーオシスタチューの材料の一つである竹を調達するため、岐阜市の長良川河川敷において、公募・抽選で集まったさまざまな世代の参加者46名による竹の伐採イベントを実施しました。



4月～ 「ちーオシスタチュー」制作ワークショップの開催

各市町村で、コミュニケーターを中心にちーオシスタチューを制作するワークショップを開催しました。ワークショップにはのべ約2,500名が参加し、竹組み、和紙の色塗り、電球の取付け、和紙の貼付けなどの作業を行い、「推し」をスタチューとして作り上げました。



10月14日 開会式に全スタチューが集結

全市町村のちーオシスタチュー42体が開会式の会場に集結しました。各地域の推しを表現した色とりどりのスタチューが開会式の進行にあわせて明るさを変化させるなど、会場を彩りました。



ちーオシスタチューデザイン

デザイン：日比野総合プロデューサー



高山市 「自然」と「祭」を中心とした多様な文化

コミュニケーター
相馬寿友美

土地の「自然」がもたらす文化と土地の「人」がつくりあげる文化。特にそのくくりの中で中心にある豊かな「自然」と、現在まで連続と続く人々の営みの代表である「祭」。

多治見市 すべては炎からはじまった

コミュニケーター
木全靖陸

多治見のまちの発展の源は、美濃焼を作るうえで欠かせない炎と窯。その炎から生まれた多治見市の文化。炎を包む窯の内側に、多治見の豊かな文化が生まれてくる様子を表現。過去から未来へ、文化継承への人々の情熱をひとつの灯火として表した。

関市 あらけねえ火 すんどうの水 どえれええ土

コミュニケーター
波多野篤火＝鶯飼のかがり火、刀鍛冶の火床（ほど）で燃え盛る炎、ものづくりに携わる人々のエネルギー
水＝高質の水、モネの池、清流の鮎、おいしい水道水
土＝ゆずやキウイなどの農作物、農作物が豊富に採れる肥えた土、美しい山
あらけねえ＝ものすごい、すんどう＝澄んだ、どえれええ＝すごく良い

中津川市 栗と栗きんとん

コミュニケーター
松下嘉広

さまざまな和菓子や郷土料理などに使われており、地元の名産品である「栗」。生栗を茹でて身を抜き、つぶしたものに少量の砂糖を混ぜて焼き上げ、一つひとつ茶巾で絞った、中津川市が発祥の地である、全国でも有名な和菓子である「栗きんとん」。

美濃市 和紙の音とぬくもり

コミュニケーター
家田陽介

和紙を漉く音、祭の音、美濃の方言や生活の音をあらわす「和紙の音」。そして、和紙を通した柔らかな光や、和紙を中心とした人々のつながりをあらわす「ぬくもり」。

瑞浪市 パレオパラドキシア

コミュニケーター
三戸憲和

のり巻きを束ねたようなユニークな歯を持つ、絶滅したほ乳類であり、謎の奇獣と呼ばれている。令和4年6月に釜戸町にて骨格の化石が発見され大きな話題となった。

岐阜市 エエトコタント岐阜市

コミュニケーター
加藤誉使子

「岐阜城」「長良川」「金華山」「鶯飼」の4つが一体となった風景。この風景を見ながら、さらにそれを彩る「長良川花火大会」。

大垣市 水とのせいかつ

コミュニケーター
清水麗軌

市内に数多くある湧き水、その湧き水を利用した菓子づくりや産業への利用、また地下水や数多くある河川を利用した公園やまちづくりなど、大垣は水との距離が非常に近く、今でも市内の多くの家庭で地下水が利用され、市民にとって当たり前の存在。

羽島市 「新幹線」、「清流」

コミュニケーター
今井田一己

岐阜県内で唯一の新幹線の駅である「岐阜羽島」。2つの川に囲まれ、水に恵まれた「清流」。多くの住民、羽島市を訪れる人々にとって象徴的な存在。

恵那市 栗、恵那峡、岩村城、五平餅

コミュニケーター
市川彰

■栗、五平餅：恵那市の特産品。恵那市の代表的な食べ物として、長年多くの方に愛されている郷土食。 ■恵那峡：四季折々の自然が魅力で、壮大な渓谷美を体感できる癒しスポット。 ■岩村城：日本百名城・日本三大山城として広く知られている。総延長1.7kmに渡る壮大な石垣が圧巻。

美濃加茂市 太田宿中山道まつりの「姫道中」、山之上の梨、あじさい、交差点であること




コミュニケーター
渡邊明日香

■太田宿中山道まつりの「姫道中」：徳川将軍に嫁ぐため中山道を通ったお姫様の行列を再現するお祭り。 ■山之上の梨：美濃加茂市が誇る特産品。 ■あじさい：市の花あじさい。 ■交差点であること：宿場町として古くから交通の要所として栄えてきた。

土岐市 遊び心




コミュニケーター
中川拓也

土岐市の先人たちが大切に、今も受け継がれている“価値観”であり、今の私たちがこれからの未来へ繋いでいきたい“大切な価値観”。先人の“遊び心”は、今も確かにこの地域に息づいており、未来へ繋いでいくべき大切な価値観と考えている。

郡上市 郡上かるた




コミュニケーター
石原かづ枝

郡上市の歴史・文化・自然・名所・行事・食・産業などを題材とし、市民誰もが郷土について楽しく学べるように製作されたかるた。札の題材は合併前の旧7町村（八幡・大和・白鳥・高鷲・美並・明宝・和良）を網羅し、多様性に富んだ郡上市の宝物が1セットに表現されている。

下呂市 （下呂）温泉、あたたまる、鮎




コミュニケーター
中桐由起子

■温泉：誰もが認める下呂市の看板。下呂温泉の他にも湯屋、下島、濁河温泉など多くの温泉がある。 ■温泉の温かさ、下呂の人のあたたかい心、人情、観光客を迎えるおもてなしの心 ■鮎：馬瀬川は釣りのメッカとも言われ、多くの釣り客が訪れる。鮎は清流の象徴。

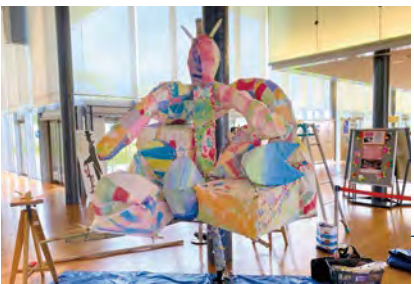
各務原市 にんじん・航空機・やさしさ




コミュニケーター
水野健

■にんじん：特産であり、学校給食など身近にある。 ■航空機（航空産業）：基盤産業であり、岐阜基地航空祭や岐阜かみかみはら航空宇宙博物館などがある。 ■やさしさ：市内で行われるさまざまなイベント等への市民の積極的な参加やあたたかい言葉をかけてくれる人が多い。

可児市 ごちゃまぜで心地よいまち




コミュニケーター
大野弦

市外から来た人・外国籍市民が多い「ごちゃまぜ」のまちでありながら、それを受け入れる人のやさしさ・親切さ・温かさがあるとともに、自然も豊かで、買い物施設や文化施設・スポーツ施設などもあり、ちょうどよく住みやすい。

海津市 海津の豊かな文化を創る人たち




コミュニケーター
水谷聡美

絵本の普及、読書の推進を行う「NPO法人絵本であそぼ」、結婚や転居で市民になった子育て世代のママたちが繋がる場として設立され子育て支援等の活動を実施する「かいづまstyle」、小学生から70代まで世代を超えて在籍し練習に励む「海津市民吹奏楽団」、心身の健康を守るボランティア団体「海津市こころ見守り隊」などが活動。

岐南町 伏屋の獅子舞




コミュニケーター
朝倉修一

岐南町伏屋にある白山神社祭礼の際に奉納されてきた伝統民俗芸能で、約180年に渡り地域の人々の手で受け継がれており、獅子の性別が雌である雌獅子であること、獅子舞を用いて歌舞伎や人形浄瑠璃の外題を演じる獅子芝居は全国的にも珍しい、貴重な芸能。

山県市 天湖森やまがた




コミュニケーター
横山大周

■天：星空、大桑城跡 ■湖：伊自良湖、円原の伏流水、オオサンショウウオ、山や川、鮎 ■森：伊自良大連柿、利平栗、桑の木豆、元気玉にんにく、そば、ナッショルくん、桜並木、彼岸花、甘南美寺、竹灯籠、カタクリの花、イワザクラ、桔梗

瑞穂市 みずほ 人と道




コミュニケーター
戸田一文

東は長良川、西は揖斐川が縦系に、中山道、国道21号や東海道本線が横系に織りなす、自然が豊かで人が往来する要衝です。古代より洪水が多い地であったが、富有柿を創りだし、水田の地でさばてんを生産してきたように、人々の弛まぬ努力が常に新しいモノを創造してきた。

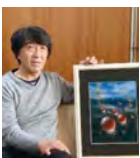
笠松町 ミニかさ横丁




コミュニケーター
福田恵

かさまつ子どものまちが運営する1年に2日間だけ行うイベントで、子どものために子どもがつくる「まち」、子どもたちは、「市民」になり、遊びながら「まち」をつくり、「まち」を学ぶことで、現実社会で積極的に関与し、地域への貢献者となる可能性を高めている。

養老町 豊かな自然、そこに息づく養老文化

コミュニケーター
西脇義照

養老町の町民憲章にもある「緑の山」「清らかな水」をはじめ、町のシンボルでもある養老の滝や養老公園などの豊かな自然と、それによって育まれてきた養老独自の文化、例えば「ひょうたん」や「お肉」など。

飛騨市 飛騨市民




コミュニケーター
大橋明日香

人口減少先進地であり、90%以上が森林で、冬は雪も多く過酷な土地。大学がないため、多くの人が高校卒業とともに一度市を離れるが、飛騨市が好きで住み続けている人、飛騨市が好きで戻ってくる人、飛騨市を好きになって移り住んできた移住者がいる。

本巣市 もとすプリズム




コミュニケーター
中島法晃

「数学のまちづくり」を推進している本巣市にちなみ、数学的な美しさが際立つような形状で、本巣市を成り立たせている様々な要素を多面体の中に構成し、表も裏もなく、あらゆる面が「本巣市」そのものを表現。

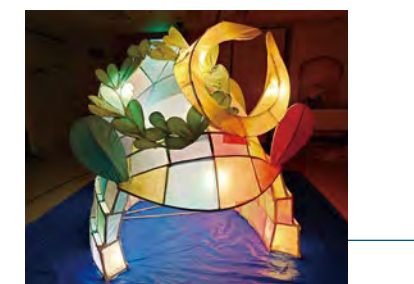
垂井町 相川のこいのぼり




コミュニケーター
岡田亜耶羽

毎年3月下旬から5月上旬にかけて「相川こいのぼり一斉遊泳」を行っており、色とりどりの約350匹が相川上空を泳ぐ。町内外からの寄付、有志による手作り、町内各小学校の卒業生が寄せ書きした「将来の夢」をのせた吹き流しなどが、垂井に春の訪れを告げる。

関ヶ原町 天下分け目の関ヶ原




コミュニケーター
北村一磨

「関ヶ原合戦」の中での武将たちの想いとして、「平和への願い」が今も合戦太鼓や語り、剣舞として小学生に受け継がれている。中山道の不破の関があり、そこから東が関東、西が関西として、関ヶ原を境目に様々な文化が分かれている。

神戸町 神戸山王まつり(神輿、松明)・バラ・小松菜




コミュニケーター
飯田静世

■神戸山王まつり:県重要無形民俗文化財に指定されており、毎年実施されているお祭り。 ■バラ:県下最大の生産地。 ■小松菜:町で多く集荷されている野菜で神戸ブランドに認定されている。

輪之内町 かわばたくん




コミュニケーター
大橋由美

カワバタモロコをモチーフに、2012年の「ぎふ清流国体」でお披露目してから、環境保全大使の役目を担うほか、婚活サポーターとして移住定住促進活動にも参加。ご当地キャラクターとして町主催のイベントや特産品のPR活動にも携わり、町民に親しまれている。

富加町 半布里・半布里Jr.、とみぱん




コミュニケーター
近勢梓

■半布里・半布里Jr.:県内外のイベント・祭りへの参加の他、町民まつり等の町主催のイベント・式典等にも多数出演。 ■とみぱん:特産の古代米のお饅頭がモチーフのキャラクターで、イベント等に多数出演し認知度が高い。

川辺町 川辺セブンマウンテンとボート競技




コミュニケーター
肥田聡

■川辺セブンマウンテン:軽登山ができるとして人気の7つの山がある。特に遠見山は岐阜のグランドキャニオンとして近年有名。 ■ボート競技:県内で唯一、中学生のボート部があり、岐阜県川辺漕艇場は静水無風でボートを漕ぎやすい環境。

安八町 あいのあるまち




コミュニケーター
大平宗一郎

町のテーマが「あいのあるまち」となっている。安八町の「結神社」には、照手姫と小栗判官の愛と信仰に纏わるロマン伝説や、ハートを用いた絵馬などがある。そのため、愛・ハートというのは昔からなじみがある。

揖斐川町 薬草文化




コミュニケーター
久保田大介

伊吹山麓に織田信長が薬草園を作ったという伝承もあり、古くから薬草の採取、栽培、活用が行われ薬草文化が根付いている。古くからの薬草茶、入浴剤、薬膳料理、薬草染めなど伝統的な利用から、最近ではクラフトコーラなど新たな利用も行われている。

七宗町 葉津川のホタル




コミュニケーター
塚本照通

ホタルの生息数が多くなかった地域にカワニナの養殖場を整備し、周辺の環境整備を定期的に行った結果、周辺一帯がホタルの観賞スポットとなった。シーズンには町内外から多くの方が訪れて地域の賑わいに貢献し、ホタル観賞とタイアップした行事も開催される。

八百津町 栗きんとん・八百津せんべい・山(自然・景色)・バンジー・人情




コミュニケーター
大脇直人

■栗きんとん:町の郷土和菓子 ■八百津せんべい:町の食文化 ■山(自然・景色):総面積80%が山に囲まれ、自然豊か ■バンジー:日本の体験ができるアクティビティ施設 ■人情(人材・人運):人運のまちづくり・人道教育を推進。「杉原千恵氏」「人道の丘公園・命のビザモニュメント」は町民にはなくてはならない存在。

大野町 つながるまち おおの




コミュニケーター
相馬美智男

先人が築いてきたものが礎となり、守り続けて今があり、今を大切にしながら、過去と未来をつながり持続可能なものとなる。ソフト、ハード、文化など、大野に関わる「過去(半べえちゃん、電車)」「現在(柿、バラ)」「未来(町章)」をつなぐものを選定。

池田町 池田山




コミュニケーター
野原祐治

町の西側約1/3を占めるのが、標高924mの「池田山」。山麓一帯には町随一のサクラの名所「霞間ヶ原」ほか、古墳や古刹など町の歴史を今に伝える事物が数多く存在。スカイスポーツのメッカとしても有名で、全国大会が度々開催されるなど、全国的にも知られる。

白川町 水戸野のシダレザクラ、白川橋、白川の人の気にかけてくれる近さと優しさ、パイプオルガン




コミュニケーター
西野健二

■水戸野のシダレザクラ:白川町の観光の中心 ■白川橋:四季、時間帯で顔が違い白川の玄関口として歴史の長さ ■白川の人の気にかけてくれる近さと優しさ:気にかけてくれたり、困っていたら助けしてくれる優しさ ■パイプオルガン:黒川中学校に、全国の公立中学校で唯一パイプオルガンが存在

東白川村 寺の無い村のツチノコ




コミュニケーター
樋口銀二郎

明治初期の廃仏毀釈の影響を強く受け、「寺の無い村」として有名。また、当時の状況を強く写す記録史跡として「四つ割の南無阿弥陀仏碑」がある。村の一大イベントである「つちのこフェスタ」では、年1回のツチノコ捜索大作戦を実施。

北方町 かわせみ




コミュニケーター
今井田桂太

良好な環境や豊かな生物相を象徴するものであり、町に留まって巣を作り子どもを育てることから、町のシンボルとして町の鳥に選定。記念事業のロゴマークや、町のイベントの「清流Fes」のキャラクターにもなり、町の「顔」であるといえる存在。

坂祝町 猿啄城(城跡、展望台)




コミュニケーター
丹羽千里

町の貴重な観光資源の一つ。城跡の存在した場所には展望台が設置されている。城山の頂上に鎮座しており、初日の出の御来光を浴びるために元旦登山する方もいる。織田信長との関わりもあり、多くの町民から支持されている。

御嵩町 「御嵩町の未来に残し、つなげていきたいモノ」…願興寺・見可才蔵・中山道・舳五山茶」




コミュニケーター
井口和広

■願興寺:現在の御嵩町発展の礎となった古刹 ■見可才蔵:「関ヶ原の戦い」で敵の首17を打ち取った「櫓の才蔵」「笹の才蔵」 ■中山道:江戸時代の主要街道として整備され、一部区間は国史跡にも指定 ■舳五山茶:60年以上にわたって中学生自らが茶園の整備、収穫、茶詰め、販売までをおこなうお茶。

白川村 全員主役の「白川びと」と、心の原点「雲峰白山」と、思いが繋ぐ「世界遺産合掌造り集落」と、みんなで作る「楽しいとぶろく(祭の時間)」、世代を超えて「結でむすぶ暮らし」




コミュニケーター
福田麻衣子

「白川びと」は心の原点に「雲峰白山」があり、その美しい自然が人を育み、「とぶろく祭」や「合掌造り集落」が生まれて、「結」という形の「暮らし」ができていく。同様に「世界遺産合掌造り集落」は「白川びと」が守っており、「結でむすぶ暮らし」があるから「楽しいとぶろく祭の時間」ができる。

ともに・つなぐ・みらいへ→ PR2.0 プロジェクト



「清流の国ぎふ」文化祭2024をPRする新しい仕掛けとして、公式ポスターの一コマからはじまる「清流が文化をつないでいく」物語を展開するプロジェクト。ストーリー仕立てのアニメやポスターを県内の高校生が授業で制作し、第3弾まで段階的に発表していく取り組みです。アニメは全作品を公式YouTubeに公開し、日比野総合プロデューサーが選んだポスター原画3点を、PRポスター #1、#2、#3として制作し、広報に活用しました。

【物語の考案】日比野総合プロデューサー
【制作者】県立岐阜各務野高等学校情報科(メディアデザインコース)3年生(59名)
※令和6年7月時点
【制作期間】令和5年5月～令和6年7月

STORY

みなものひかりにさそわれて
きがつくとわたしはここにいた
いのちはぐくむみなもの
こころうみだすせせらぎの
しんのちからにみだされて
わたしはあなたに会いに行く。

◀ 公式ポスター(原画制作 不破彩心)

▼ PRポスター #1(原画制作 堤菜名)



#1 | 第1章「らしさ」

STORY

わたしはあなたに会いに行く。
まだ見ぬわたしに会う為に。
わたしが会える一人一人のその人らしさが、
わたしの自分らしさを育ててくれる。
互いがあるからこそ、
自分らしさを感じることができる。
あなたを探しながら…
私は少し背が伸びたようだ。
気がつくと、
私の周りには色々な流れ(らしさ)が
集まってきていた。

▼ PRポスター #2(原画制作 高山那月)



#2 | 第2章「Beyond」

STORY

よし！
みんなで行こう！
All together now
まだ見ぬ世界を見に行こう！
ここからは、
Beyond the horizon
Beyond the blue sky
知らないことがある場所に
わからないことがある場所に
まだ見ぬ自分がきついている。

▼ PRポスター #3(原画制作 作埜綾音)



#3 | 第3章「ともに・つなぐ・みらい」

STORY

ふと気がつくと、
わたしは、
いつの間にか、
全てがつながっている場にいる。
ここからは、
まだ知らない先の世界も
わたしとつながっているのを感じることができる。
ドキドキ、ワクワク
さあ！
わたしはわたしらしく、
あなたはあなたらしく、
こころを動かして行こう。
こころの振動は共鳴する！
ともに・つなぐ・みらいへと…

制作

日比野総合プロデューサーによる第1章から第3章の物語をもとに、高校生がPRポスター原画・PRアニメを制作しました。各章の作品が出来上がるたび、日比野総合プロデューサーが学校を訪問し、一人ひとりの作品にアドバイスを含めた講評を行いながら制作を進めました。



ワークショップ・PRアニメコンペ

令和6年7月5日(金)に東京藝術大学大学院映像研究科の大学院生等6名によるグループ形式のワークショップを行い、高校生が制作したPRアニメに対して指導、助言等を行っていただきました。ワークショップを経て完成したPRアニメは、アニメコンペとして東京藝術大学大学院の教員や、県内IT企業実務者に審査していただき、優秀な作品を9月9日(月)に開催した表彰式にて表彰しました。また、同院の牧奈歩美准教授による基調講演も行いました。



「#わたしの清流文化」プロジェクト

実施期間 令和5年9月10日(日)～令和6年11月24(日)

「#わたしの清流文化」プロジェクトとして、自身の岐阜の文化の「推し」を撮影し、写真や動画を、指定のハッシュタグ（#わたしの清流文化）を付けてInstagramに投稿する参加型の企画を実施しました。実施期間中、特定のテーマ（第1弾「食」、第2弾「清流」）に沿った写真等を投稿いただく投稿拡大キャンペーンを2回実施し、3,000件を超える投稿をいただきました。



あした「君が明日と呼ぶものを」全県運動

平成24年に開催された「ぎふ清流国体」の式典前演技で使用し、国体後も県内で広く歌い継がれてきた「君が明日と呼ぶものを」を文化祭のテーマソングとしても選定しました。音源や歌詞、映像が入ったCD・DVDの制作・配布、さまざまな楽譜の制作・提供、公式SNSでの音源の配信等を実施し、文化祭の会期前、会期中を問わず、文化施設やイベント等での放送、開・閉会式をはじめとする多くの事業で歌唱・演奏いただきました。また、テーマソングを使って、自分らしさを表現し、TikTokに投稿していただく「#君が明日と呼ぶものを～あなたの表現募集中～」も実施（令和6年6月14日～9月13日）し、106件の投稿をいただきました。「君が明日と呼ぶものを」は、閉会式で「清流の国ぎふ」のテーマソングとして歌いつづけていくことが宣言されました。

君が明日と呼ぶものを

作詞：松井五郎 作曲・編曲：沢田完

いま君が見ている夢は
どんな夢ですか
限りなくただ広がる空
聴こえる風の声

雨音はやがてせせらぎに
穏やかに変わる
すべてはひとつのくりかえしと
清流が教えてくれる

はじまりの種のひとつぶが
いつか森になる
誰もが誰かを支えながら
思いは形になる

めぐりめぐる時の中で
愛は命を抱きしめて
さあ道はかならず続いてく
どこまでも どんなときでも

めぐりめぐる時の中で
愛は命を忘れない
さあ道はかならず続いてく
どこまでも どんなときでも

君が明日と呼ぶものを
僕も明日と呼べるように
この手から次の手に伝える
光がここにある
光がここにある

君が心と呼ぶものを
僕も心と呼べるように
この手から次の手に伝える
光がここにある



県内で開催される大規模スポーツイベントや定番イベント、県外でPRできるイベントの機会をとらえ、PR活動を実施しました。同じく令和6年に開催した清流の国ぎふ総文2024（第48回全国高等学校総合文化祭）の生徒実行委員会*とも連携し、PR効果を高めました。

高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン

令和5年4月22日（土）、23日（日）／岐阜メモリアルセンター



令和6年4月27日（土）、28日（日）／岐阜メモリアルセンター



FC岐阜ホーム戦

令和5年7月15日（土）／岐阜メモリアルセンター



令和6年6月29日（土）／岐阜メモリアルセンター



ぎふ信長まつり

令和5年11月4日（土）、5日（日）／岐阜市中心部



道三まつり

令和6年4月6日（土）、7日（日）／JR岐阜駅



○県外でのPR活動

いしかわ百万石文化祭2023PRイベント

令和5年3月5日（日）／イオンモール白山



セントレア・スウィート・コーラス・フェスティバル

令和5年12月10日（日）／中部国際空港 セントレア



* 生徒実行委員会：公募で選ばれた県内の高校生により構成され、清流の国ぎふ総文2024開催時は93名が活動。
5つの業務別委員会（総務、総合開会式、パレード、広報イベント、国際交流）のいずれかに所属し、清流の国ぎふ総文2024の開催に向けて、各担当業務について企画・運営等を担ったほか、各種行事においてPR活動を行った。

大会の開催及び事業内容を広く周知するため、屋内外での広報や公式ウェブサイト、SNS等で広報を展開しました。
また、公式ガイドブックをはじめ、リーフレットや各種広報グッズ等を製作し、県内の文化施設やイベント等で広く配布しました。

岐阜県庁



懸垂幕



のぼり旗



カウントダウンボード

岐阜メモリアルセンター



階段アート

ぎふ清流文化プラザ



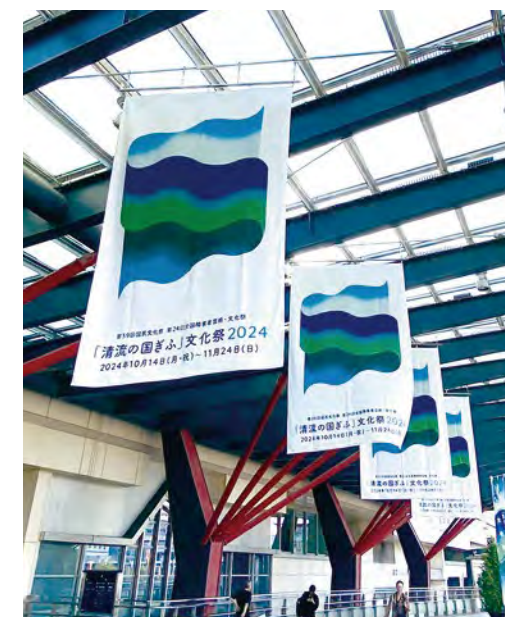
清流こよみぶね



PRパネル



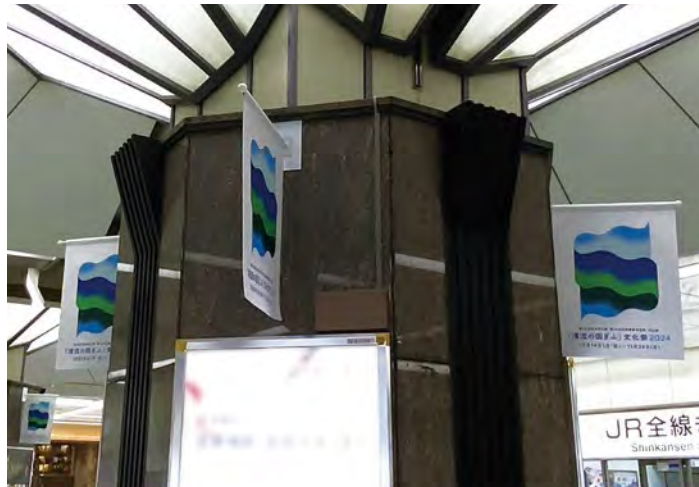
JR岐阜駅



ペDESTリアンデッキ



JR岐阜駅



駅構内



● 公式ウェブサイト 開設日:令和5年3月31日



● 公式 SNS 開設日:令和5年7月11日

広告配信

Instagram：令和6年 1 月13日～ 2 月12日
令和6年 6 月20日～ 7 月 6 日
令和6年10月14日～11月24日

YouTube：令和6年 1 月13日～ 2 月12日



JR岐阜羽島駅



JR高山駅



X(旧:Twitter)



Instagram



YouTube





周知チラシ、公式リーフレット、
公式ガイドブック ▶



▶ PR法被



▶ のぼり旗



▶ PRグッズ



▶ 開会式配布物



▶ 閉会式配布物



▶ 清流文化地域推し活動（ちーおし）グッズ



▶ スタッフジャンパー・ID



感謝状贈呈

感謝状贈呈

「清流の国ぎふ」文化祭2024の開催（文化祭事業、県民運動、開閉会式等）にご尽力いただいた方々に感謝状を贈呈しました。

<対象者>

135の個人・団体

<感謝状贈呈式>

日 時：令和7年1月16日（木）14:00～14:45

場 所：岐阜県庁 20階会議室

出席者：65の個人・団体

贈呈者：「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会会長
岐阜県知事 古田肇





記 録

開会式次第

日時: 令和6年10月14日 (月祝) 構成／脚本／演出: 小島紀夫
会場: 岐阜メモリアルセンター で愛ドーム 指揮／音楽監督／作・編曲: 沢田完

時 間	プログラム	登壇者名・出演者名	楽曲名
開場			
進行／東千晴 (岐阜放送) ・日比野克彦 (総合プロデューサー)			
14:00～	「清流の国ぎふ「ちーオン」 スタチュー紹介!」	日比野克彦 (総合プロデューサー) 42市町村「ちーオン」コミュニケーター	「君が明日と呼ぶものを」 ピアノver.、オカリナver.、 弦楽四重奏ver.
	「ドキドキワクワク、いよいよ開幕! 「脳トレ! ミナモ体操」でリラックス」	高田保、松岡邦明 ((一社) 岐阜県レクリエーション協会)、ミナモ	「はばたけ、未来へ」 フルートver.、体操ver.
プロローグ			
進行／東千晴 (岐阜放送)			
15:30～	「音画の調べ、ようこそ「清流の国ぎふ」へ」	オカリナ／宗次郎 管弦楽／“清流の国ぎふ”フェスティバル・オーケストラ (NHK交響楽団メンバー、岐阜県アマチュアオーケストラ連盟選抜メンバー、 ぎふ弦楽器貸与プロジェクト「STROAN」選抜メンバー)	「水心」 「森に還る」
式典			
進行／竹下景子 (応援大使) ・平工靖也 (岐阜放送)			
15:45～	天皇皇后両陛下式典会場御着		「威風堂々 第4番」
	黙祷		
	能登半島地震“復興へ向けた希望の響き”	御陣乗太鼓保存会 (石川県輪島市)	
	国歌斉唱	代表歌唱／森和美 (郡上おどり保存会)	「君が代」
	主催者挨拶	あべ俊子 (文部科学大臣)、福岡資麿 (厚生労働大臣)、古田肇 (岐阜県知事)	
	天皇陛下おとこば		
開幕の儀			
あべ俊子 (文部科学大臣)、福岡資麿 (厚生労働大臣)、古田肇 (岐阜県知事)、 日比野克彦 (総合プロデューサー)、かやの木芸術舞踊学園			
「光溢るる清流文化」			
Interlude (式典からオープニングステージへ)			
16:08～	「ともに・つなぐ、文化・芸術の力」	メッセージ／日比野克彦 (総合プロデューサー) 歌／遠藤伸子 ギター／小林健作 舞踊／かやの木芸術舞踊学園	「心の誘い」 「生きる」
オープニングステージ「君が明日と呼ぶものを」 ～ともに・つなぐ・みらいへ～			
16:13～	〈序の章〉源泉～「ここから」 Act-1_宇宙 (そら) からのメッセージ Act-2_「ここから」 Act-3_「らしさ」	メッセージ映像／山崎直子 (岐阜かかみがはら航空宇宙博物館アンバサダー) 清流文化の光届け人／大前光市 (応援大使) オカリナ／宗次郎 チェロ／清水陽介 朗読／古田桃香 (県立岐阜北高等学校放送部) 舞踊／かやの木芸術舞踊学園	「神達瀬」 「ライム・ライト」
	〈第一章〉源流～「世界に認められた清流文化」 Act-1_清流文化の案内人 Act-2_伝承・地域の誇り、 世界に認められた“清流文化”春夏秋冬 1)庄川流域より 冬／白川郷より「こだいじん」 2)宮川流域より 春／高山祭より「屋台囃子」 3)飛騨川流域より 夏／下呂温泉祭より「龍神」 4-1)木曽川流域より 秋／蛭川杵振り花馬祭りより「杵振り踊り」 4-2)揖斐川流域より 秋／谷汲踊り「谷汲踊」 5)長良川流域より 冬～春／清流の国ぎふ Act-3_地歌舞伎大国ぎふ	清流文化の案内人／紺野美沙子 (応援大使) 演舞／平瀬民謡保存会、八幡鳳凰囃子保存会、龍神火まつり実行委員会、 杵振り花馬祭り奉賛会、谷汲踊保存会 合唱／ながら児童合唱団、ぎふ児童合唱団 舞踊／かやの木芸術舞踊学園 メッセージ映像／高西聖司 (地芝居大国ぎふ応援大使) 地歌舞伎／垂井曳梨保存会、岐阜歌舞伎保存会、気良歌舞伎保存会、 串原歌舞伎保存会、鳳凰座歌舞伎保存会、常盤座歌舞伎保存会、 白雲座歌舞伎保存会	「紙作り歌」
	〈第二章〉廻流～「世界が願う平和への奏で」 Act-1_平和への響き～清流文化の心届け人 Act-2_幽玄世界「鶴岡」時と人を紡ぐ Act-3_「関ヶ原」平和への狼煙 Act-4_「SENPO SUGIHARA」先人がつなぐ人道の精神	清流文化の心届け人／伊藤英明 (応援大使) 太鼓／恵那のまつり太鼓 朗読／竹下景子 (応援大使) 謡／詠鼓 (小鼓奏者)、後藤嘉津幸 (幸清流小鼓方)、山崎正道 (観世流シテ方) 舞踊／かやの木芸術舞踊学園 マーチングバンド／県立岐阜商業高等学校吹奏楽部 テノール／城宏憲 チェロ／清水陽介 二十五絃箏／日原暢子 ピアノ／粥川愛	幸若舞「敦盛」より 能「鶴岡」より「詞章」鶴ノ段 「鶴岡」 「カルミナプラナー (語り入り)」 「SEKIGAHARA」 「誰も寝てはならぬ」 「鳥の歌」 「さくらさくら×ショパン変奏曲」
	〈第三章〉交流～「世界に開かれた清流文化の創造」 Act-1_Beyond Act-2_世界から届けられる友情の光 Act-3_世界に開かれた清流文化の大交流	舞踊／かやの木芸術舞踊学園 舞踊／ポーランド国立民族合唱舞踊団「シロンスク」(ポーランド) 郡上踊／郡上おどり保存会、岐阜県ミセスフォークダンス協会、岐阜県民謡連盟、 (一財)岐阜県身体障害者福祉協会	「Beyond」 「POLONEZ」 「かわさき」 「春駒」
	〈明日への章〉清流～ 「君が明日と呼ぶものを」ともに・つなぐ・みらいへ	合唱／TAJIMI CHOIR JAPAN 多治見少年少女合唱団とシニアコア 合唱協力／瑞穂市立本田小学校、八百津町立八百津小学校、 中津川市立蛭川中学校、県立岐阜高等学校、県立長良高等学校、 県立岐阜総合学園高等学校、県立大垣北高等学校、 県立大垣桜高等学校、その他全出演者	「君が明日と呼ぶものを」
	天皇皇后両陛下式典会場御発		「威風堂々 第1番」
	オープニングステージ出演者紹介	全出演者	
	休憩		
エピローグ			
進行／東千晴 (岐阜放送) ・平工靖也 (岐阜放送)			
17:40～	ゲストパフォーマンス 「石川県輪島市「御陣乗太鼓」復興への響き!」	御陣乗太鼓保存会 (石川県輪島市)	
	ゲストパフォーマンス 「ポーランド国立民族合唱舞踊団「シロンスク」舞踊パフォーマンス」	ポーランド国立民族合唱舞踊団「シロンスク」(ポーランド)	「Wierchowa」 「Tańce Podhalańskie」
	「清流の国ぎふ」文化祭2024 開幕の奏で	チェロ／清水陽介 二十五絃箏／日原暢子 ピアノ／粥川愛 テノール／城宏憲	「チェロと二十五絃箏のための 「君が明日と呼ぶものを」」 「ノクターン 第20番 嬰ハ短調 遺作」 「星は光りぬ」
	舞台美術進行	県立長良高等学校演劇部	

閉会式次第

日時: 令和6年11月24日 (日) 構成／脚本／演出: 小島紀夫
会場: 長良川国際会議場メインホール さらさ〜ら

時 間	プログラム	登壇者名・出演者名	楽曲名
開場			
13:52～	「脳トレ! ミナモ体操」でリラックス!	松岡邦明 ((一社) 岐阜県レクリエーション協会)、ミナモ	「はばたけ、未来へ」 フルートver.、体操ver.
プロローグ			
進行／東千晴 (岐阜放送)、平工靖也 (岐阜放送)			
14:00～	「ここから」ではじまった! 「清流の国ぎふ」文化祭2024	舞踊／かやの木芸術舞踊学園	「心の誘い」 「神達瀬」 「ライム・ライト」
	「らしさ」魅せた!見つけた! 「清流の国ぎふ」文化祭2024	映像振り返り 日比野克彦 (総合プロデューサー) 竹下景子 (応援大使) 紺野美沙子 (応援大使) 大前光市 (応援大使) 吹奏楽／“清流の国ぎふ”ウインド・オーケストラ (岐阜県警察音楽隊、朝日大学体育会吹奏楽部メンバー、 大垣女子短期大学音楽総合学科メンバー、 県立大垣商業高等学校吹奏楽部メンバー)	「君が明日と呼ぶものを」 ピアノver.、吹奏楽ver.
	「まつりでわおんないまつり」は、つづく	いび祭子ども歌舞伎保存会 平瀬民謡保存会 八幡鳳凰囃子保存会 杵振り花馬祭り奉賛会 揖斐川町立谷汲小学校 (谷汲踊) 鳳凰座歌舞伎保存会 郡上おどり保存会ジュニアクラブ	
開式			
進行／東千晴 (岐阜放送) ・平工靖也 (岐阜放送)			
14:20～	国歌斉唱	郡上おどり保存会ジュニアクラブ	「君が代」
	主催者挨拶	中原裕彦 (文部科学省大臣官房文部科学戦略官) 野村知司 (厚生労働省障害保健福祉部長) 古田肇 (岐阜県知事)	
Interlude (開式からグランドフィナーレへ)			
14:33～	受け継ぐレガシー はばたけ、未来へ「ミナモダンス」	ダンス／かやの木芸術舞踊学園 ミナモ	「はばたけ、未来へ」 ダンスver.ショート
グランドフィナーレ (清流文化 ～ともに・つなぐ・みらいへ)			
14:37～	〈知〉文化芸術の力	朗読／竹下景子 (応援大使) ピアノ／山中敬也 (ゆめぼっけ)	「美しく青き海の景色」
	〈創〉Act-1_木の国の“光”・冬から春へ	朗読／紺野美沙子 (応援大使) バトン／Baton Team ハニーズ	「木の国の光」 「新たないのち」
	〈創〉Act-2_水の国の“光”・夏から秋へ	舞踊／かやの木芸術舞踊学園	能「鶴岡」より「詞章」鶴ノ段 「鶴岡」
	〈伝〉Act-1_平和への扉	朗読／竹下景子 (応援大使) 紺野美沙子 (応援大使) マーチングバンド／県立岐阜商業高等学校吹奏楽部	「カルミナプラナー (語り入り)」 「SEKIGAHARA」
	〈伝〉Act-2_人道の精神	舞踊／大前光市 (応援大使) 合唱／八百津町立八百津小学校 (5年生・6年生) TAJIMI CHOIR JAPAN 多治見少年少女合唱団とシニアコア	「心のピース」
	〈伝〉Act-3_長崎県アトラクション	龍踊／東龍倶楽部 (長崎県) ダンス／オオタサユカ (長崎県・ダンサー)	
	清流文化へのメッセージ	古田肇 (岐阜県知事) 日比野克彦 (総合プロデューサー) 竹下景子 (応援大使) 紺野美沙子 (応援大使) 大前光市 (応援大使) 狹土秀平 (左官) Baton Team ハニーズ 県立岐阜商業高等学校吹奏楽部	「光溢るる清流文化」 「春の訪れ」
	「君が明日と呼ぶものを」	合唱／全出演者 舞踊／岐阜県洋舞家協会 (かやの木芸術舞踊学園、モダンダンスワークス 獲)	「君が明日と呼ぶものを」
	大会旗引継ぎ	岐阜県代表／古田肇 (岐阜県知事) 日比野克彦 (総合プロデューサー) ミナモ (「清流の国ぎふ」マスコットキャラクター) 長崎県代表／大石賢吾 (長崎県知事) がんばくん (長崎県マスコットキャラクター) アカベラ／TAJIMI CHOIR JAPAN 多治見少年少女合唱団とシニアコア	「君が明日と呼ぶものを」
	次期開催県挨拶	大石賢吾 (長崎県知事)	
エピローグ			
進行／東千晴 (岐阜放送) ・平工靖也 (岐阜放送)			
15:26～	ふるさとの誇り	全出演者	「ふるさと」
	長崎県お見送り	全出演者	「君が明日と呼ぶものを」 ピアノver.
	オープニングステージ出演者紹介	全出演者	「君が明日と呼ぶものを」 ピアノver.

表彰 文部科学大臣賞

※数字は事業番号 (p.33~213) に対応しています

② 狂俳の祭典(岐阜市)

一般の部

小中学生の部

長良川
岐阜の清流鮎が住む
岐阜県 足立湊

秋日和
佳節に菊の香り満つ
岐阜県 服部瀬奈

④ 連句の祭典(岐阜市)

短歌行「実朝忌」の巻
 〇印は韻「東」

梅東風や海のとどろく実朝忌
 孟春射剛弓 〇

蜜蜂のハニカム構造模作して
 猫の家には丁度よき箱

煌月照山河
 流星貫無窮 〇

孀恋を渡りゆく雁はろばると
 想ひ伝へん手話の未来図

好漢瓦硯磨
 閨秀詞花豊 〇

絵幟翻青龍
 白虹頸はる改新のとき

リモコンで地球の裏に橋を架け
 生命のあかし樹液巡れる

酷吏施苛政
 良医慮心中 〇

寒卵厨に月のひかり満つ
 雪女歌玲瓏 〇

伽那琴の音色あなたに響かせん
 珍陀酒杯紅 〇

老師越波濤
 童子遊天穹 〇

佇めば枝垂桜の花宇宙
 蓬の餅は円く柔らか

令和六年一月十八日 首 於 セシオン杉並
 令和六年三月 七日 尾

⑤ 川柳の祭典(岐阜市)

看取り終えひとり天下という空虚

岐阜県 武藤敏子

⑥ 家族の絆 愛の詩(養老町)

灼けた石段を上りきると
 杉木立の根方に
 我が家の墓所があえいでいた
 ふき出す汗をぬぐおうとして
 急な目まいにおそわれる
 物音が途絶え
 揺れる視界に吞のまれまいと
 杖一本で耐えた
 水底のような真昼の境内
 さまよった暗闇くらやみは
 はたしてこの世であつたのか
 気がつけば
 深い木陰のゆりかごのなか
 濃いみどりがしたたつて
 生まれて間もない子供のように
 乾いた四肢がうるおっていく
 五感もまたおもむくよみがえる蘇り
 涼やかな香に息づくものが
 私には見える気がした
 優しいさのかたちが 声までも

—— かあさんかい

うつつに^{うつつ}戻るその間際

不意に人の気配がした

杉叢の暗さから^{すぎむら}

あけは^{あけ}ちやう
揚羽蝶が夏空に消えた

あれは誰かの魂ではなかったか

この日 かあさんの一周忌

それからだ

この上なく慕わしい人の温み^{ぬく}が
私を流れて気付かせたのは
救い上げられたのだろうか
抱きとめられたのかも知れない
千年の霊気のなか

私にそつと寄り添ったものがいゝる
差し出された手がきつとある

⑦ 清流の国ぎふ「短歌の祭典」古今伝授の里・郡上(郡上市)

麻酔覚め「終わりました」と医師は告ぐ心の遺書をゆつくりと消す

19 大正琴の祭典(岐阜市)

ソロ部門 A
三重県 杉野心咲

ソロ部門 B
三重県 吉富心音

アンサンブル部門 A
愛知県 和心会ジュニア

アンサンブル部門 B
群馬県 上州六人組

268 将棋フェスティバル in 瑞穂(瑞穂市)

中学生以下 A 級
愛知県 吉永悟

中学生以下 B 級
岐阜県 高橋一登

一般 A 級
岐阜県 廣瀬陽向

一般 B 級
岐阜県 高木龍之介

シニア級
愛知県 岩佐澄秀

271 小倉百人一首競技かるた全国大会(大垣市)

福井県 福井県 A

272 全日本健康マージャン交流大会(大垣市)

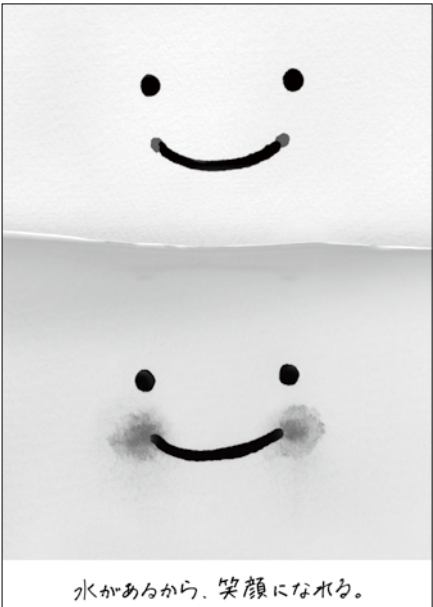
個人総合の部
岐阜県 佐野詔一

275 囲碁の祭典(高山市)

全日本視覚障害者囲碁大会
秋田県 荒川光晴

69 ポスターで歩む歴史と未来 清冽水ポスター展
～U40ポスターコンクール／
国際招待ポスター展～(大垣市)

富山県 廣明杏美



国民文化祭の協賛事業

協賛事業とは、国民文化祭をより意義深いものとするため、全国の都道府県、市町村、文化団体、企業等が行う各種事業のうち、文化庁が国民文化祭の趣旨に沿ったものとして承認した事業です。

(開催日順)

事業名	期間(期日)	開催場所(都道府県)	主催者
第52回岐阜県吟剣詩舞道大会	R6.7.21	みんなの森 ぎふメディアコスモス(岐阜県)	岐阜県吟剣詩舞連合会
DANCE PERFORMANCE 2024 浦人ーうらびとー	R6.8.4	能楽堂ホールtenjin9(岡山県)	岡山県現代舞踊連盟
第77回岩手芸術祭	R6.10～R7.2	トーサイクラシックホール岩手 他(岩手県)	岩手県、岩手県文化振興事業団、 岩手県芸術文化協会、 岩手日報社、IBC岩手放送、 テレビ岩手、めんこいテレビ、 岩手朝日テレビ、エフエム岩手
第25回和歌の浦万葉薪能	R6.10.13	片男波公園(和歌山県)	特定非営利活動法人 和歌の浦万葉薪能の会
第51回久留米ちくご大歌舞伎	R6.10.27	久留米シティプラザ(福岡県)	久留米ちくご大歌舞伎振興会、 久留米ちくご大歌舞伎 実行委員会
文化の日のつどい	R6.11.3	コスモシアター(大阪府)	貝塚市、貝塚市教育委員会
第52回全国公募徳島県手工芸展 ～生命つなぎ技をのこす～	R6.11.14～11.16	あわぎんホール(徳島県)	徳島県手工芸家協会、 徳島県民文化祭開催委員会
第22回羽生市文化祭	R6.11.16～11.17	羽生市民プラザ(埼玉県)	羽生市文化団体連合会
第58回千葉県音楽祭	R6.11.16	君津市民文化ホール(千葉県)	千葉県、千葉県音楽振興協議会
第30回移動徳島県手工芸展 in 鳴門 ～生命つなぎ技をのこす～	R6.11.17～11.19	キョーエイ鳴門駅前店(徳島県)	徳島県手工芸家協会、 徳島県民文化祭開催委員会
第61回宮城県芸術祭参加 第52回洋舞公演・ 第44回ジュニア洋舞公演	R6.11.17	東京エレクトロンホール宮城(宮城県)	宮城県洋舞団体連合会

障害者芸術・文化祭のサテライト開催事業

サテライト開催事業とは、障がい者による芸術文化活動の全国における裾野の拡大や、芸術文化活動を通じた障がい者と地域住民の交流機会の拡充を図るため、都道府県が実施する事業です。

(開催日順)

事業名	期間(期日)	開催場所(都道府県)	主催者
あいちアール・ブリュット展	R6.9.12～ 9.16 他	名古屋市民ギャラリー矢田 他(愛知県)	愛知県
ふじのくに芸術祭2024 障害者文化芸術部門	R6.9.28～ 10.6 他	クリエート浜松 他(静岡県)	静岡県、静岡県教育委員会、 静岡県文化協会
あいサポートフェスとっとり2024	R6.11.8～11.10	エースバック未来中心(鳥取県)	鳥取県
第22回新潟県障害者芸術文化祭 ふくらむアートふあっと にいがたフェスティバル	R6.11.10 他	新潟ふれ愛プラザ(新潟県)	新潟県、 第22回新潟県障害者芸術文化祭 実行委員会
2024ふくおか県障がい児者美術展	R6.12.22 他	九州国立博物館 他(福岡県)	福岡県、福岡県教育委員会、 ふくおか県芸術文化祭実行委員会、 福岡県文化団体連合会、 福岡県障がい者社会参加推進 センター

応援事業

「清流の国ぎふ」文化祭2024の開催趣旨に賛同する地方公共団体、文化団体、教育機関、企業等が実施する事業を、「応援事業」と位置づけ、開催機運の醸成を図りました。

応援事業一覧 (開催日順)

事業名	開催日	会場
大人のためのブックトーク	R5.5.27、7.29、9.30 他	岐阜県図書館
特別展「岐阜の祭り みんなのこころ粋」	R5.7.7～9.3	岐阜県博物館
放送大学岐阜学習センター公開講演会「健康に老いる秘訣」	R5.8.5	岐阜県図書館
「消防感謝祭」岐阜県消防操法大会	R5.8.6、R6.10.27	岐阜県消防学校
県民公開講座2023～心臓編～	R5.8.9	イオンモール各務原
特定健診等実践者研修会	R5.8.10、8.25	OKBふれあい会館、オンライン
ヘルプマークサポーター研修	R5.8.18、8.29	岐阜県恵那総合庁舎、OKBふれあい会館
貿易セミナー&名古屋港視察会	R5.8.23、9.1	名古屋港ポートビル、名古屋港
アトラボぎふ	R5.8.26、9.16～9.17、9.30 他	セラミックパークMINO、せきがはら人間村生活美術館 他
障がい福祉機器フェア	R5.8.27、9.17	わかくさ・プラザ、ソフトピアジャパン センタービル
大阪万博に向けた県産品販路拡大事業	R5.8.30～9.12	エキマル ア・ラ・モードJR大阪駅中央口店
パラの育成講習会	R5.9.1、R6.9.6	各務原浄化センター
令和5年度岐阜大学におけるインターンシップ事業	R5.9.4～9.6、9.8	岐阜大学、岐阜県庁
第11回緑豊かな清流の国ぎふづくり県民フォーラム	R5.9.5	岐阜県庁
建設産業に関する出前授業	R5.9.5、9.25、12.20 他	高山市立荏川中学校、山県市立伊自良中学校 他
健康医療講演会	R5.9.9	岐阜県図書館
中部国際空港利用促進協議会イベント 「中部国際空港 九州・沖縄空旅まつり」	R5.9.9～9.10	イオンモール土岐
大関ヶ原祭2023	R5.9.9～10.15	関ヶ原古戦場
パラスポーツフェスタ	R5.9.10、9.23、R6.2.12、2.23	大垣市総合体育館、飛騨高山ビッグアリーナ 他
HIDA まちなかアート 2023・黙々広場	R5.9.10～12.7	HIDAまちなかアート展示会場
岐阜県職員ガイダンス in 東京・東京事務所オープンデー	R5.9.12	都道府県会館
建設関連企業と学生の交流サロン	R5.9.12、9.20、10.5 他	県立可児工業高等学校、 県立岐阜農林高等学校 他
マスのつかみどり	R5.9.14、R6.9.19	各務原浄化センター
県立木工芸術スクールオープンキャンパス2023	R5.9.15、10.14	県立木工芸術スクール
特別展「出かけよう! 0→3,000mの旅ー植物が彩る物語ー」	R5.9.15～12.3	岐阜県博物館
健康スポーツポイント事業PRイベント	R5.9.16、10.15	イオンモール各務原、イオンモール大垣
県産品販売会	R5.9.22、10.27、11.24 他	岐阜県庁
各務原市制施行60周年イベント「かかみがはらお菓子まるけ」	R5.9.23	河川環境楽園 オアシスパーク
エンジン02 in 岐阜	R5.9.23～9.24	飛騨・世界生活文化センター
令和5年度清流の国ぎふ暮らしセミナー	R5.9.30、10.28、11.25 他	岐阜トーキョー、シティプラザ大阪 他
第28回長良川ふれあいマラソン大会	R5.10.1	木曽三川公園特設会場
ぎふ清流レクリエーションフェスティバル2023 ミナレク広場	R5.10.1、10.22、11.3 他	岐阜県庁、やまと総合センター 他
清流の国ぎふ水辺防災こどもセミナー	R5.10.1、R6.7.30	河川環境楽園 水辺共生体験館

事業名	開催日	会場
楽習会	R5.10.1、11.26、12.24 他	岐阜県図書館
いい街発見!地方の暮らしフェア2023 ブース出展	R5.10.7	JPタワー名古屋
国際たくみアカデミーオープンキャンパス2023	R5.10.7	県立国際たくみアカデミー
ぎふ住宅フェア2023	R5.10.7～10.8	OKBぎふ清流アリーナ、岐阜県庁 他
地図講座	R5.10.7、10.14、10.28	岐阜県図書館
令和5年度景観シンポジウム	R5.10.8	岐阜県庁
令和5年度土岐市伝統文化公演	R5.10.8	土岐市文化プラザ
第30回飛騨・美濃歌舞伎大会なかつ川2023	R5.10.9	常盤座
ものづくり×DXフェス	R5.10.12	テクノプラザ
令和5年度岐阜県登録調査員研修	R5.10.12、10.17	岐阜県庁、岐阜県東濃西部総合庁舎
親子の土木見学バスツアー2023	R5.10.14	内ヶ谷ダム建設現場、奥田洞谷土砂災害対策工
秋のローズフェスティバル	R5.10.14～11.12	ぎふワールド・ローズガーデン
第13回ぎふ清流都市対抗駅伝競走大会	R5.10.15	岐阜県庁周辺
第46回岐阜県女声コーラス連盟合唱祭	R5.10.15	サラマンカホール
令和5年度清流の国ぎふ文化のつどい	R5.10.17	ぎふ清流文化プラザ
国際音楽交歓コンサート2023岐阜公演	R5.10.20	サラマンカホール
秋の交通安全フェスティバル2023	R5.10.21	各務原公園
クラフトマンいっきのワークショップ 虫のチャームづくり	R5.10.22	河川環境楽園 オアシスパーク
令和5年度中部地方治水大会	R5.10.26	岐阜県庁
リトアニアNOW2023 オープニングイベント	R5.10.27	ぎふ清流文化プラザ
令和5年度海津市文化展	R5.10.27～10.29	海津市OCT文化センター
第34回岐阜県農業フェスティバル	R5.10.28～10.29	OKBぎふ清流アリーナ及び岐阜県庁周辺
第27回岐阜県フォークダンス連盟指導者研修会	R5.10.28～10.29	岐阜市東部体育館
みんなでカウントダウンボードをつくろう	R5.10.28～10.29	大垣市総合福祉会館
白川町ふるさとふれあい展	R5.10.28～11.5	白川町町民会館
キッズハロウィンパラダイス2023	R5.10.29	河川環境楽園
第26回岐阜県文楽・能大会よろろう2023	R5.10.29	養老町民会館
早くて小さく生まれた赤ちゃんの理解啓発のイベント	R5.10.29～11.1	みんなの森 ぎふメディアコスモス
木工芸術スクール活性化検討会	R5.10.31	県立木工芸術スクール
つなぐアート展	R5.11.2～R6.10.11	十六銀行名古屋ビル、ぎふ清流文化プラザ 他
岐阜県百年公園文化祭	R5.11.3	岐阜県百年公園
夢ふくらむ暮らしにフラワーギフト	R5.11.3	岐阜ハウジングギャラリー県庁前展示場
紺野美沙子名誉館長朗読会	R5.11.3、R6.7.21	岐阜県図書館
中山道往来～なかせんでとうおーく～	R5.11.4	中山道御嶽宿～細久手宿
日本ライン・KISOGAWA River to Summit 2023	R5.11.4～11.5	リバーポートパーク美濃加茂 他
ぎふ木遊館オータムフェスタ	R5.11.5	ぎふ木遊館
全国高等学校ビブリオバトル2023岐阜県大会	R5.11.5	岐阜県図書館
こころの健康フェスティバル	R5.11.8	岐阜県庁
「清流の国ぎふ」SDGs推進フォーラム2023	R5.11.9	岐阜県庁

事業名	開催日	会場
岐阜県多文化共生シンポジウム	R5.11.10	岐阜県庁
八百津町産業文化祭	R5.11.11～11.12	八百津町ファミリーセンター周辺
岐阜県フォークダンス連盟 全国一斉フォークダンスの日	R5.11.12	関市文化会館、垂井町文化会館 他
世界糖尿病デー県民記念セミナー	R5.11.12	岐阜グランドホテル
第71回中津川市民音楽祭	R5.11.12	中津川文化会館
令和5年度恵那峡もみじまつりミニコンサート	R5.11.12	恵那峡ウッドデッキ広場
岐阜県歴史資料館古文書講座	R5.11.14～11.16、11.21	岐阜県図書館
みんなのもくもく作品展	R5.11.14～11.26	ぎふ木遊館
食品の安全・安心シンポジウム	R5.11.15	岐阜県庁
第11回清流の国ぎふづくり「自然共生」事例発表会	R5.11.15	ぎふ清流文化プラザ
令和5年度岐阜県統計功労者表彰式	R5.11.17	岐阜県図書館
安八ふれあい祭り2023	R5.11.18～11.19	安八町役場周辺、安八町中央公民館
自治体消防75周年記念「消防感謝祭」第47回岐阜県消防大会	R5.11.19	高山市民文化会館
第21回岐阜県パラスポーツ大会秋大会	R5.11.19	岐阜メモリアルセンター
たじみ中之郷まちかどコンサート	R5.11.19	虎渓用水広場、多治見市役所駅北庁舎
絵本作家・市川里美さん講演会	R5.11.19、R6.11.2	岐阜県図書館
岐阜県青少年健全育成県民大会	R5.11.19、R6.11.30	飛騨市文化交流センター、土岐市文化プラザ
2023地方創生フォーラム in 岐阜	R5.11.21	岐阜県庁
令和5年度東京岐阜県人会定期総会・懇親会	R5.11.21	明治記念館
フラワー・ブラボー・コンクール表彰式	R5.11.23	OKBふれあい会館
令和5年度海津市青少年健全育成市民大会	R5.11.25	海津市OCT文化センター
白川村村民文化祭	R5.11.26	白川村立白川郷学園
第44回岐阜県職業能力開発促進大会	R5.11.28	ぎふ清流文化プラザ
県・市町村下水道技術職員研修	R5.11.29、R6.7.24	各務原浄化センター
「清流の国ぎふ」SDGs推進セミナー	R5.12.1、R6.1.17、2.19、8.23	岐阜県庁
大垣市障がい者作品展	R5.12.1～12.15	大垣市役所
多文化共生フォーラム	R5.12.2	岐阜県図書館
岐阜県スポーツ推進委員研究大会	R5.12.2、R6.12.7	関市文化会館、大野町総合町民センター
意思疎通支援普及啓発イベント	R5.12.3	カラフルタウン岐阜
音楽座ぎふプレゼンツ 第8回清流ふれ愛コンサート	R5.12.3	ぎふ清流文化プラザ
周産期メンタルヘルスケア県民公開講座（ファミリーフェスタ）	R5.12.3	柳ヶ瀬グラスル35 Gテラス
第2回文化少年部交流発表会	R5.12.3	飛騨市文化交流センター
障害者週間街頭啓発	R5.12.4～12.9	ルビットタウン中津川、多治見駅南北連絡通路 他
選挙出前講座	R5.12.7	県立武義高等学校
岐阜おおがきビエンナーレ2023	R5.12.7～12.8、12.10	ソフトピアジャパン センタービル
清流の国ぎふ将棋フェスタ	R5.12.9	岐阜県庁
第25回レッキーマラソン	R5.12.10	神測コミュニティーセンター周辺
ヘルシーパフォーマンス2023	R5.12.10	感謝と挑戦のTYK体育館
自然と共生を考える笠松のつどい	R5.12.16	笠松中央交流センター

事業名	開催日	会場
清流 プレミアムセレクション「藤巻亮太Acoustic Live 2023」	R5.12.16	ぎふ清流文化プラザ
たくみ女子会	R5.12.16	ハートフルスクエア―G
オール岐阜・企業フェス	R5.12.19～12.20 他	じゅうろくプラザ
令和5年度第2回清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価審議会	R5.12.21	岐阜県庁
高山市民憲章推進協議会、（一社）高山市文化協会文化講演会	R5.12.23	高山市民文化会館
岐阜県障害のある人もない人も共に生きる清流の国づくり県民大会（ふれあいハートフルステージ）	R5.12.24	ぎふ清流文化プラザ
第51回岐阜各務原児童合唱団 定期演奏会	R5.12.24	ブリニーの市民会館
第22回ウィーン岐阜合唱団第九演奏会	R5.12.24	長良川国際会議場
第67回フォークダンスクリスマスパーティー	R5.12.25	各務原市産業文化センター
令和5年度岐阜県立加納高等学校音楽科第70回卒業演奏会	R5.12.26	サラマンカホール
第44回わのうち新春マラソン大会	R6.1.3	輪之内町役場周辺
森林総合教育センター（morinos）における森林環境教育プログラム	R6.1.6～9.30	森林総合教育センター 他
第18回みのかもハーフマラソン大会	R6.1.7	ぎふ清流里山公園
孤独・孤立対策シンポジウム	R6.1.9	岐阜県庁
くるるセミナー	R6.1.10～9.6、9.10～12.18	ハートフルスクエア―G、岐阜大学 他
大垣市守屋多々志美術館 第97回企画展「大和と古画模写」	R6.1.11～3.10	大垣市守屋多々志美術館
日舞公演 初春を甞ぐ 日本を舞う～人間国宝を迎えて～	R6.1.13	ぎふ清流文化プラザ
JOIN移住・交流&地域おこしフェア2024	R6.1.13～1.14	東京ビッグサイト
TASCぎふコラボ展vol.9 手と精神	R6.1.13～2.25	ぎふ清流文化プラザ
新春歌謡ショー 昭和歌姫歌謡大全	R6.1.14	ぎふ清流文化プラザ
イナコレ2023	R6.1.20	シティプラザ大阪
企画展「美しき鉱物の世界」	R6.1.20～3.17	岐阜県博物館
第3回清流の国ぎふ 障がい者舞台芸術フェスティバル（ぎふ★SHOW★フェスタ）	R6.1.21	ぎふ清流文化プラザ
第24回 家族の絆 愛の詩発表会	R6.1.21	養老町民会館
清流の国ぎふ おすすめの1冊コンクール表彰式・記念ブックトーク	R6.1.27	岐阜県図書館
ぎふ木遊館ウインターフェスタ	R6.2.3	ぎふ木遊館
地域交流センターまつり	R6.2.3～2.4	揖斐川町地域交流センターはなもも
御嶽宿 宿の市	R6.2.4～11.3	御嶽宿さんさん広場
令和5年度岐阜県山岳遭難防止対策協議会	R6.2.8	岐阜県庁
令和5年度景観行政セミナー	R6.2.9	OKBふれあい会館
紺野美沙子名誉館長トークイベント・神野紗希氏講演会	R6.2.10	岐阜県図書館
渾沌の中の調和Ⅲ まちに文字や文字らしきものがあふれる展覧会	R6.2.10～2.23	関市本町周辺の8店舗
第67回全国伝達講習会	R6.2.11	もえぎの里
とりかえっこマーケット	R6.2.11	せきてらす
みずほ演劇祭	R6.2.12	ココロかさなるCCNセンター
令和5年度ぎふ木育指導者交流会	R6.2.12	美濃加茂市生涯学習センター
英語多読講座	R6.2.17	岐阜県図書館
みたけ寄席 笑福亭たま独演会	R6.2.17	御嵩町中公民館

事業名	開催日	会場
福よせ雛プロジェクト	R6.2.17～4.7	中山道みたけ館
北方町ふれあい合唱集会	R6.2.18	北方町ホリモク生涯学習センターきらり
白川町文化講演会	R6.2.18	白川町町民会館
第32回垂井町音楽祭～合唱・邦楽の部～	R6.2.18	垂井町文化会館
第20回郡上教育フォーラム	R6.2.18	郡上市総合文化センター
国際たくみアカデミー活性化検討会	R6.2.19	国際たくみアカデミー
岐阜県芸術文化会議 芸術祭	R6.2.20～2.25	岐阜県美術館
IAMAS2024 情報科学芸術大学院大学第22期生修了研究発表会	R6.2.22～2.25	ソフトピアジャパン センタービル
金の御朱印めぐり 願興寺	R6.2.23～11.29	願興寺みたまち茶屋
第32回岐阜県文芸祭 表彰式	R6.3.2	ぎふ清流文化プラザ
令和5年度生き生きライフ推進大会(各学級・講座合同閉講式)	R6.3.2	垂井町文化会館
技能作品展	R6.3.2～3.3	県立木工芸術スクール
第19回海津市民文化祭	R6.3.2～3.3	海津市OCT文化センター
第2回貞奴芸術祭～映画編～	R6.3.2～3.4	各務原市産業文化センター
清流の国ぎふ健康づくりフォーラム	R6.3.3	ぎふ清流文化プラザ
第19回坂祝町中央公民館まつり	R6.3.9～3.10	坂祝町中央公民館
寮美千子講演会	R6.3.10	御嵩町中公民館
芸文フォーラムー1.0	R6.3.16	岐阜県図書館
大垣市守屋多々志美術館 第98回企画展「春の彩」	R6.3.16～5.12	大垣市守屋多々志美術館
「おさんぽ日和 in 柳ヶ瀬」 第二弾「親と子のアート」	R6.3.17	柳ヶ瀬グラッスル35 Gテラス
海津市文化フェスティバル「音楽祭」コンサート	R6.3.17	海津市OCT文化センター
まるっと願興寺DAY	R6.3.17～11.17	願興寺
令和5年度岐阜県芸術文化顕彰・奨励表彰式／公演会	R6.3.19	ぎふ清流文化プラザ
令和5年度岐阜県観光物産展 in セントレア	R6.3.20～3.24	中部国際空港
春のフラワーフェスティバル	R6.3.20～5.6	ぎふワールド・ローズガーデン
高校生がつくる親子体験イベント わくわく!お楽しみ会 ～言葉じゃなくてもつながれる～	R6.3.23	中部学院大学関キャンパス
岐阜県立加納高等学校 マレーシア海外交流事業	R6.3.26	県立加納高等学校
各務原市桜まつり	R6.3.30～4.7	各務原市民公園
第52回道三まつり	R6.4.6～4.7	信長ゆめ広場、金公園 他
御嵩業師祭礼	R6.4.7	中山道みたけ館 駐車場
ぎふ木遊館における木育プログラム	R6.4.7～10.7	ぎふ木遊館
岐阜県立加納高等学校 対面式	R6.4.10	県立加納高等学校
企画展「返還30年 岐阜の赤羽刀総覧」	R6.4.20～6.23	岐阜県博物館
飛騨ものづくり展	R6.4.20～7.28、9.14～12.22	飛騨地域地場産業振興センター
大型石棒展示記念 飛騨みやがわ考古民俗館ギャラリートーク	R6.4.27	飛騨みやがわ考古民俗館
大正琴一位会 第42回岐阜大会～大正琴の調べ～	R6.4.27	岐阜市文化センター
令和6年度本巢市文化協会 総会	R6.4.27	本巢市民文化ホール
岐響ジュニアオーケストラ 第38回定期演奏会	R6.4.28	サラマンカホール
第33回花と緑のふれあい展	R6.4.28～4.29	丸の内公園 他

事業名	開催日	会場
由紀さおり55thコンサート～新しいわたし～	R6.4.29	ぎふ清流文化プラザ
鳳凰座歌舞伎定期公演	R6.5.3	鳳凰座
瑞浪市民公園こいのぼり祭2024	R6.5.4～5.5	瑞浪市民公園
「上葛明広 展」ー高原郷がよみがえる瞬間ー I.トークイベント「高原郷を語る」、II.上葛氏による「ギャラリートーク」	R6.5.4、5.12	飛騨市美術館
春のローズフェスティバル	R6.5.10～6.9	ぎふワールド・ローズガーデン
第35回中津川市合唱祭	R6.5.12	中津川文化会館
梅山大学入学式・開講式	R6.5.14	美濃市健康文化交流センター
大垣市守屋多々志美術館 第99回企画展「絵で読む昔話」	R6.5.18～7.7	大垣市守屋多々志美術館
第10回ぎふ清流文化プラザ 民謡まつり	R6.5.19	ぎふ清流文化プラザ
第42回箏・三絃・尺八による邦楽演奏会	R6.5.19	岐阜市文化センター
岐阜県歴史資料保存協会 創立50周年記念 歴史講演会	R6.5.25	岐阜県図書館
大正琴一位会 第38回西濃大会～大正琴の調べ～	R6.5.25	大垣市スイトピアセンター
養老孝子坂 緑日まつり	R6.5.25	養老公園
川辺町文化協会 春の文化祭	R6.5.26	川辺町中央公民館
ギフツププレミアム5周年祭 ～岐阜まるごとフェア～	R6.5.26	オアシス21
第7回清流木曽川中津川リレーマラソン大会	R6.5.26	中津川公園多目的芝生広場
「清流の国ぎふ」文化祭2024 PR局	R6.6.1～9.30	(一社)日本アマチュア無線連盟岐阜支部内 他
飛騨の味まつり	R6.6.1～6.2、10.5～10.6	飛騨高山まちの体験交流館
清流の国ぎふ「ジュニア短歌大会」古今伝授の里・郡上	R6.6.1～9.10、11.2	郡上市総合文化センター 他
フォトまほろば写真展	R6.6.7～6.9	(株)柳組 彩り館
創立30周年プレ大会 オカリナの集い in 岐阜 “新時代へつなぐオカリナの音色”	R6.6.8～6.9	岐阜市民会館
トワイライトアートフェスタ in 養老公園	R6.6.8～6.9	養老公園
TSS～ウインドアンサンブル垂井 第35回定期演奏会	R6.6.9	垂井町文化会館
全国労働委員会会長・事務局長連絡会議、情報交換会	R6.6.13～6.14	ホテルグランヴェール岐山
さぼう遊学館設立30周年記念シンポジウム	R6.6.14	海津市OCT文化センター
砂防フェア in かいづ	R6.6.15	さぼう遊学館、羽根谷だんだん公園
ぎふ清流文化プラザ シャンソンコンサート2024 Vive la Chanson! Gifu de Chanson!	R6.6.16	ぎふ清流文化プラザ
第28回ふれあいオン・ステージ	R6.6.16	タウンホールとみか
高山文化フォーラム2024	R6.6.22～6.23	高山市民文化会館
第4回古川祭史 市民講演会「起し太鼓の歴史」	R6.6.28	古川町公民館
鷺見真純 セタコンサート	R6.7.6	御嵩町役場
はじまるよ!あつりさとチョッピーの森	R6.7.6	ぎふ清流文化プラザ
「上葛明広 展」ー高原郷がよみがえる瞬間ー 上葛明広氏による水彩画教室「水彩画を楽しもう!」	R6.7.7	古川郷土民芸会館
可児市ジュニア音楽祭2024	R6.7.7	可児市文化創造センターala
第53回古川写真クラブ展	R6.7.7～7.15	(株)柳組 彩り館
リニア中央新幹線建設促進岐阜県期成同盟会 令和6年度定期総会	R6.7.10	東美濃ふれあいセンター
紙飛行機を飛ばそう!!	R6.7.13	飛騨・世界生活文化センター
真夏の泡かけ祭り	R6.7.13、8.10	河川環境楽園 オアシスパーク

事業名	開催日	会場
第52回民謡まつり	R6.7.14	飛騨市文化交流センター
第11回郡上市文芸祭 表彰式	R6.7.14	郡上市総合文化センター
令和6年度岐阜県登山講習会	R6.7.15	OKBふれあい会館
第60回献血運動推進全国大会	R6.7.18	長良川国際会議場
大垣市守屋多々志美術館 第100回企画展「時代を超える物語―守屋が描いた源氏―」	R6.7.20～9.23	大垣市守屋多々志美術館
令和6年度清流の国ぎふ 親子環境学習 脱炭素社会ぎふを支える人づくりツアー(夏コース)	R6.7.20、7.21、7.27 他	大垣市北地区センター、樽見鉄道本巣駅 他
第40回神戸町文化団体 芸能ステージショー	R6.7.21	神戸町中央公民館
地下水・水資源パネル展示	R6.7.23～7.29	みんなの森 ぎふメディアコスモス
令和6年度岐阜県古文書読解講習会	R6.7.24～7.25、7.31～8.1 他	瑞浪市総合文化センター、岐阜県可茂総合庁舎 他
フランソワ・エスピナス オルガンリサイタル	R6.7.26	サラマンカホール
てむずり展	R6.7.27～7.28	飛騨市文化交流センター
第32回爭・三絃によるジュニア邦楽演奏会	R6.7.28	みんなの森 ぎふメディアコスモス
子どものための外国文化講座「教えて!海外のこと」	R6.7.30、8.6	岐阜県図書館
ふれあいサマーフェスティバル2024	R6.8.1～8.2	OKBふれあい会館
少年の主張岐阜県大会	R6.8.2	岐阜市文化センター
2024ぎふ木遊館サマーフェスタ	R6.8.3	ぎふ木遊館
山の日フェスタぎふ2024	R6.8.3	カラフルタウン岐阜
夏休み下水道親子見学会	R6.8.3、8.17	各務原浄化センター
安八水まつり2024	R6.8.4	安八町総合体育館 駐車場
蘇水峡川まつり納涼広場	R6.8.4	八百津町役場前駐車場
船津座CLASSIC CONCERT ～飛騨河合音楽コンクール歴代グランプリによる「真夏のスペシャルコンサート」～	R6.8.4	地域交流センター船津座
飛騨マスター・プレイヤーズによる「真夏の夜のコンサート」	R6.8.5	飛騨市文化交流センター
アクア・トト ぎふ 夜の水族館	R6.8.6、8.17	世界淡水魚園水族館 アクア・トト ぎふ
キッズホール 水の広場	R6.8.8～8.12	飛騨・世界生活文化センター
第24回飛騨河合音楽コンクール	R6.8.9～8.10	飛騨市文化交流センター
第19回小島夏祭り	R6.8.10	揖斐川町小島コミュニティセンター
夏休み親子砂防バスツアー	R6.8.10	さぼう遊学館、アクアワールド水郷パークセンター
第4回「てんぐじょう紙」～こころ～	R6.8.12	ぎふ清流文化プラザ
東白川村夏祭り	R6.8.14	中川原水辺公園
ぎふ・富山交流バスツアー	R6.8.16	富山県内
夏休み子ども映画会	R6.8.17	不二羽島文化センター
清流の国ぎふ芸術祭 第5回ぎふ美術展	R6.8.17～9.1	岐阜県美術館
朗読劇 ビルマからの便り	R6.8.24	ぎふ清流文化プラザ
第26回坪内流芸能大会	R6.8.25	美濃市文化会館
移住定住セミナー	R6.8.25、9.7、10.27	シティプラザ大阪、OKBハーモニープラザ名駅、オンライン
「物流2024年問題対策事業」シンポジウム	R6.9.6	ソフトピアジャパン センタービル
伝統文化のタベ 第37回長良川薪能	R6.9.7	長良川河川敷特設舞台(岐阜グランドホテル前)

事業名	開催日	会場
エンジン03 in 岐阜	R6.9.7～9.8	岐阜県庁 他
飛騨能「藤橋」公演	R6.9.14	史跡 江馬氏館跡公園
令和6年度御嵩町内学校美術部作品展	R6.9.14～9.29	中山道みたけ館
生演奏を通して学ぶ、おおがきクラシック音楽講座	R6.9.15～12.15	大垣市墨俣さくら会館
Autumn chamber music concert in GIFU	R6.9.16	サラマンカホール
国際陶磁器フェスティバル美濃'24開催記念 月見の宴 in Ceramic Valley	R6.9.16	セラミックパークMINO
豊のヘリで作ってみよう!	R6.9.16	中山道みたけ館
短歌道場 in 郡上2024	R6.9.16	古今伝授の里フィールドミュージアム
土岐市文化祭2024 TOKIダンスコレクション Vol.5	R6.9.16	土岐市文化プラザ
「おさんぼ日和 in 柳ヶ瀬」 第三弾「日本あそびの宝箱」	R6.9.21	柳ヶ瀬グラスル35 Gテラス
動物愛護フェスティバル in 飛騨	R6.9.22	飛騨市文化交流センター
第20回飛騨市美術展	R6.9.22～10.6	飛騨市美術館
琴伝流大正琴第40回岐阜県大会	R6.9.26	各務原市民会館
Ensemble Kiiika 10th Concert	R6.9.28	サラマンカホール
大野町文化財保護協会創立50周年記念 講演会「近世大野における学問・教育の再発見」及び令和6年度郷土の先人展「大野町の歴史をひもとく」	R6.9.28～11.4	大野町総合町民センター
関ヶ原陣跡制覇ウォーキング2024	R6.9.29	関ヶ原町内一帯
「清流の国ぎふ」文化祭2024特別無線局	R6.10.1～11.24	(一社)日本アマチュア無線連盟岐阜支部内 他
たじみアール・ブリュット芸術文化祭2024	R6.10.4～10.14	ヤマカまなびパーク 多治見市学習館
国史跡指定記念 郡上東氏歴史フォーラム ～「東氏館跡及び篠脇城跡」の魅力とこれからに迫る～	R6.10.5	古今伝授の里フィールドミュージアム
第17回飛騨市民音楽祭	R6.10.6	飛騨市文化交流センター
山県市ふるさと栗まつり2024	R6.10.6	山県市四国山香りの森公園
“つなぐ”伝統工芸アート展	R6.10.11～12.30	ぎふ清流文化プラザ、岐阜メモリアルセンター 他
関市合併20周年記念第57回岐阜県関市刃物まつり	R6.10.12～10.13	関市本町通り
マイミュージアムギャラリー展「岐阜提灯 絵付け展」	R6.10.12～11.17	岐阜県博物館
全国生涯学習カラオケ大会2024 in 岐阜	R6.10.14	岐阜市文化センター
第34回美濃源氏フォーラム in 本巣～顕彰古田織部の遺産～	R6.10.14	糸貫ぬくもりの里
長良公園メタセコイアの森コンサート 子ども達のための「サバトスチャリティーコンサート」	R6.10.14	長良公園
高山駅ストリートピアノ「飛騨穴花」	R6.10.14～11.24	高山駅
美濃源氏土岐氏一族慰霊祭と土岐氏発祥地茶会	R6.10.15	一日市場八幡神社
第27回よってりやあみたけ 夢いろ街道宿場まつり	R6.10.19	御嵩駅前周辺
輪之内ふれあいフェスタ2024、輪之内町文化祭・芸能祭	R6.10.19～10.20	輪之内町文化会館周辺 他
飛騨市神岡町文化祭(文化展・芸能公演)	R6.10.19～10.20、11.20	神岡町公民館
第19回子どもぞうきんコンテスト作品展示	R6.10.20～11.10	古川町公民館
次世代の女性リーダースキルアップ研修	R6.10.23、10.30、11.27、12.4	美濃市健康文化交流センター、オンライン
SDGs事業者交流会	R6.10.25	岐阜県庁
農福連携全国都道府県フォーラム in ぎふ	R6.10.25～10.26	岐阜県庁 他
アフタヌーンコンサート	R6.10.26	中山道みたけ館

事業名	開催日	会場
第34回美濃源氏フォーラム2024明智光秀シンポジウム ー観光から教育へー	R6.10.26	瑞浪市総合文化センター
清流の国シンポジウム「ジャーナリズムと文化」	R6.10.31	じゅうろくプラザ
第69回高山市美術展覧会	R6.11.1～11.4	高山市民文化会館
第23回飛騨河合音楽コンクール第1位グランプリ受賞記念 「小松さくら ピアノリサイタル」	R6.11.2	飛騨市文化交流センター、 地域交流センター船津座
花展	R6.11.2～11.3	商家竹屋
飛騨市古川町文化祭(文化展・生涯学習展・芸能公演)	R6.11.2～11.3	古川町公民館、ハートピア古川 他
@えぎぬ展	R6.11.2～11.24	各務原市立中央図書館
ヴィオラ&ピアノ デュオリサイタル	R6.11.3	大森スポーツセンター
霜月茶会	R6.11.3	商家竹屋
第47回みの池田ふるさと祭	R6.11.3	池田町役場・中央公民館一帯
河合小 河合っ子座公演 & 飛騨かわい いなか～にばる2024	R6.11.9	飛騨市立河合小学校
宮川町文化祭2024(文化展・芸能公演)	R6.11.9～11.10	飛騨市立宮川小学校
第35回全国介護老人保健施設大会 岐阜	R6.11.14～11.15	長良川国際会議場、 岐阜メモリアルセンター 他
中部学院 全国手話スピーチコンテスト	R6.11.16	中部学院大学各務原キャンパス
みんなでチャレンジ!アンクルン大合奏♪ ～多様性に触れる、特別支援教育を考える～	R6.11.17	じゅうろくプラザ
岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアム 10周年記念講演事業	R6.11.18	ホテルグランヴェール岐山
ラリージャパン2024 PRブース	R6.11.23	岐阜メモリアルセンター
日本版ベスト・ツーリズム・ビレッジ連携協議会 シンポジウム in 白川村	R6.11.26	トヨタ白川郷自然学校
清流の国ぎふ女性の活躍推進フォーラム	R6.11.29	岐阜県庁
第20回飛騨市文芸祭	R6.12.1	古川町公民館
「ソフトピアジャパン地域交流事業」 クリスマスに贈る吹奏楽ファミリーコンサート	R6.12.15	ソフトピアジャパン センタービル
長良公園イルミネーション2024	R6.12.16～12.25	長良公園
新穂高ロープウェイ～【も】ってる芸術祭～	R6.12.20～12.29	新穂高ロープウェイ、ホテル穂高

計323事業

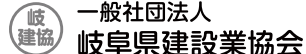
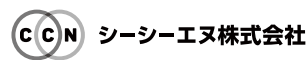
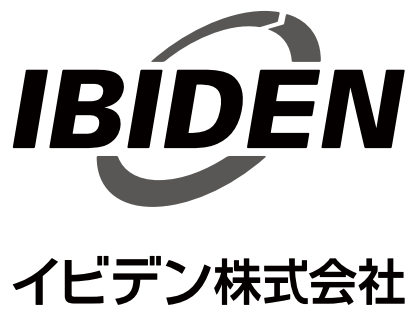
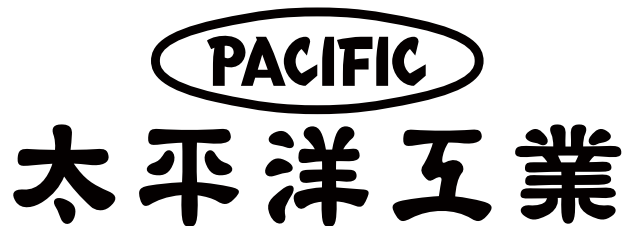
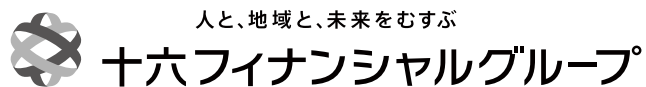
ロゴマーク・ポスター原画の募集

文化祭開催に向けて、若い世代も含めた多くの県民への認知度を高め、機運醸成を図るため、大会のロゴマーク及びポスター原画を公募したところ、計1,130点の応募がありました。
この中から、最優秀賞等を決定し、最優秀賞は公式ロゴマーク、公式ポスターとして大会のPRに活用しました。

区 分	ロゴマーク	ポスター原画
募集内容	「清流文化の創造」のイメージを表現する シンボルマークを募集	岐阜県の文化や地域資源などの魅力を盛り込んだ、 「岐阜県らしさ」が伝わる原画を募集
応募資格 (対象)	県内に在住または在学する中学生以上の個人 (プロ・アマ不問)	県内に在住または在学する小・中・高校生 (特別支援学校等含む)
募集期間	令和4年6月9日(木)～9月9日(金)	
応募数	509点 (中学生150点、高校生221点、一般138点)	621点 (小学生低学年の部215点、同高学年の部217点、 中学生の部105点、高校生の部84点)
最優秀賞 (詳細はP.6へ)	 制作者 喜多祐子 (岐阜市)	 制作者 不破彩心 (県立岐阜各務野高等学校2年(制作時))

協賛企業・団体等一覧 (敬称略)

資金協賛



- イオンリテール株式会社
- 榎本ビーエー株式会社
- TSUCHIYA 株式会社

- 東京工芸大学
- 株式会社加藤組
- 岐阜県森林組合連合会

- 丸石株式会社
- 株式会社松野組

物品等協賛



奥長良川名水株式会社

- 株式会社高修



主な経過

令和2年	11月 4日	文化庁へ正式に要望書を提出
	11月18日	文化庁長官から知事へ内定書の交付(文化庁で内定書交付式)
	11月26日、27日	市町村連携会議
令和3年	2月24日	市町村連携会議
	6月 9日	第1回基本構想検討会議
	7月28日～ 8月4日	市町村連携会議
	9月15日	第2回基本構想検討会議
	11月10日～12月3日	市町村連携会議
令和4年	11月24日	第3回基本構想検討会議
	2月21日	市町村連携会議
	3月29日	第4回基本構想検討会議
	4月18日	基本構想発表(知事定例記者会見)
	5月 5日	第1回企画委員会
	5月30日	市町村連携会議
	6月 9日	文化祭ロゴマーク及びポスター原画募集開始(～9月9日)
	6月25日	第2回企画委員会
	6月29日	市町村連携会議
	7月 6日	実行委員会設立総会・第1回総会
	9月 1日	国実行委員会による基本構想の承認
	9月 1日	第3回企画委員会
	10月15日	ロゴマーク・ポスター原画選考委員会
	11月14日	第1回事業編集会議
	11月15日	ロゴマーク・ポスター原画入賞者発表
	11月15日	総合プロデューサー・開閉会式総合演出家委嘱式
	12月19日	第2回事業編集会議
令和5年	2月15日	第4回企画委員会
	2月15日	文化祭ロゴマーク及びポスター原画入賞者表彰式&トークショー
	3月20日	第1回常任委員会
	3月31日	公式ウェブサイト開設
	5月 1日	「ともに・つなぐ・みらいへ→PR2.0プロジェクト」開始(～令和6年9月9日)
	5月30日	市町村連携会議
	6月 8日	市町村連携会議

令和5年	6月22日	市町村連携会議
	7月11日	実行委員会第2回総会(“ちーオシ”プロジェクト開始)
	7月11日	公式X(旧Twitter)・Instagram・YouTube 開設
	8月25日	国実行委員会による実施計画の承認
	9月 1日	応援事業募集開始
	9月10日	「#わたしの清流文化」プロジェクト開始
	10月10日	企業協賛募集開始(～令和6年6月30日)
	10月13日	カウントダウンボード設置
	11月18日	文化祭PRイベント ～君が明日と呼ぶものを～ 開催
	11月18日	「ともに・つなぐ・みらいへ→PR2.0プロジェクト」PRポスター#1発表
令和6年	11月18日	広報キャラバン開始(～令和6年11月4日)
	11月26日	いしかわ百万石文化祭2023 閉会式・大会旗引継ぎ
	1月 6日	ちーオシ流 竹取物語 開催
	3月 1日	第5回企画委員会
	3月23日	～「清流の国ぎふ」文化祭・総文祭2024～2つの文化祭PRイベントinマーサ21 開催
	3月28日	第2回常任委員会
	3月28日	「ともに・つなぐ・みらいへ→PR2.0プロジェクト」PRポスター#2発表
	4月 1日	文化庁より「第39回国民文化祭 開催地決定通知」を受領
	4月11日	「ちーオシスタチュー」制作ワークショップ開始(～8月25日)
	4月24日	市町村連携会議
令和7年	5月 7日	実行委員会第3回総会
	7月 3日	第6回企画委員会
	7月 4日	「ともに・つなぐ・みらいへ→PR2.0プロジェクト」PRポスター#3発表
	7月15日	PRイベントin柳ヶ瀬 開催
	8月 8日	公式ガイドブック(ダイジェスト版)発行
	8月17日	首都圏PRイベント(文化庁主催)
	9月 5日	公式ガイドブック(全編版・デジタルブック)発行
	9月 9日	「ともに・つなぐ・みらいへ→PR2.0プロジェクト」PRアニメ表彰式
	10月 6日	第7回企画委員会
	10月14日	開会式
令和7年	11月24日	閉会式
	1月16日	感謝状贈呈式

国民文化祭等基本構想検討会議 設置要綱

- (目的)
- 第1条 令和6年度国民文化祭及び全国障害者芸術・文化祭（以下「大会」という。）を、本県の特性を活かした魅力ある大会とするため、令和6年度国民文化祭等基本構想検討会議（以下「会議」という。）を設置する。
- (所掌事務)
- 第2条 会議は、次の事項について検討する。
- （1）大会の基本方針に関すること。
- （2）大会の名称、会期等に関すること。
- （3）その他大会の目的を達成するために必要な事項に関すること。
- (構成)
- 第3条 会議の委員は、次に掲げる者から構成する。
- （1）関係団体等の代表者
- （2）学識経験を有する者
- （3）その他、特に必要と認める者
- 2 委員の任期は、令和4年3月31日までとする。
- (座長及び副座長)
- 第4条 会議に、座長及び副座長を1名ずつ置く。
- 2 座長は、委員の互選により選任し、副座長は座長が指名する。
- 3 座長は、会議を代表し、会務を総括する。
- 4 座長に事故あるときは、副座長が、その職務を代理する。
- (会議)
- 第5条 会議は、必要に応じて座長が招集する。
- 2 会議の議事進行は、座長が務める。
- (庶務)
- 第6条 会議の庶務は、岐阜県環境生活部県民文化局文化創造課において処理する。
- (その他)
- 第7条 この要綱に定めるもののほか、会議の運営に関し必要な事項は、座長が別に定める。
- 附則
- この要綱は、令和3年4月22日から施行する。

国民文化祭等基本構想検討会議 構成員

(分野ごと五十音順)		
分 野	役職等	氏 名
文 化	岐阜県地歌舞伎保存振興協議会 会長	小栗 幸江
	OKBふれあい会館サランカホール 支配人	嘉根 礼子
	(公財)岐阜県教育文化財団 理事長	高木 敏彦
	岐阜県芸術文化会議 会長	土屋 明之
	岐阜県美術館 館長	日比野克彦（座長）
レクリエーション	(一社)岐阜県レクリエーション協会 会長	渡邊 丈展
観光・国際交流	(一社)岐阜県観光連盟 事務局長	野原 匡人
	岐阜県観光国際戦略アドバイザー	古田菜穂子
産業・まちづくり	(特非)ORGAN 理事長	蒲 勇介
	情報科学芸術大学院大学 学長	鈴木 宣也
福 祉	造形作家	二村 元子
	(一財)岐阜県身体障害者福祉協会 事務局長	吉田健太郎
教 育	岐阜大学 副学長	大藪 千穂
市町村	岐阜県市長会 事務局長	浅野 昌彦
	岐阜県町村会 事務局長	山村 和弘

「清流の国ぎふ」文化祭2024 実行委員会 会則

- 第1章 総則
- (名称)
- 第1条 本会は、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会（以下「実行委員会」という。）と称する。
- (目的)
- 第2条 実行委員会は、「清流の国ぎふ」文化祭2024（第39回国民文化祭及び第24回全国障害者芸術・文化祭をいう。以下同じ。）を通じて、地域の発展に寄与することを目的とする。
- (事業)
- 第3条 実行委員会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。
- （1）「清流の国ぎふ」文化祭2024の開催に必要な企画及び運営に関すること。
- （2）関係機関及び団体との連絡調整等に関すること。
- （3）その他目的を達成するために必要な事業に関すること。
- 第2章 組織
- (組織)
- 第4条 実行委員会は、会長及び委員をもって組織する。
- 2 委員は、次の各号に掲げる者のうちから会長が委嘱する。
- （1）県議会議員
- （2）市町村長
- （3）関係機関及び関係団体の役職員
- （4）学識経験を有する者
- （5）岐阜県職員
- （6）その他会長が特に必要と認める者
- (役員)
- 第5条 実行委員会に、次の役員を置く。
- （1）会 長 1名
- （2）副 会 長 10名以内
- （3）常任委員 30名以内
- （4）監 事 若干名
- (役員の選任)
- 第6条 会長は、岐阜県知事をもって充てる。
- 2 副会長、常任委員及び監事は、別表に掲げる者をもって充てる。
- (役員の職務)
- 第7条 会長は、実行委員会を代表し、会務を総理する。
- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、あらかじめ会長が指名した順序により、その職務を代理する。
- 3 常任委員は、常任委員会を構成し、第12条第4項に掲げる事項を審議する。
- 4 監事は、実行委員会の決算について監査する。ただし、必要と認めるときは、事業の執行状況について随時に監査することができる。
- (任期)
- 第8条 会長、副会長、常任委員、委員及び監事の任期は、第20条の規定に基づき実行委員会が解散する日までとする。
- 2 前項の規定にかかわらず、会長、副会長、常任委員、委員及び監事が、就任時の機関又は団体の役職を離れたときは、その後任者が前任者の残任期間を務めるものとする。
- (顧問及び参与)
- 第9条 実行委員会に顧問及び参与を置くことができる。
- 2 顧問及び参与は、次の各号に掲げる者のうちから会長が委嘱する。
- （1）県選出国會議員
- （2）県議会議員
- （3）報道関係機関の役職員
- （4）その他会長が特に必要と認める者
- 3 顧問は、会長の諮問に応じ助言する。
- 4 参与は、重要な事項に参与する。
- 5 顧問及び参与の任期は、前条の規定を準用する。
- 第3章 会議
- (会議)
- 第10条 実行委員会の会議は会長が招集し、会長又は会長が指名した者が議長を務める。
- 2 実行委員会に次の会議を置く。
- （1）総会
- （2）常任委員会
- （3）企画委員会
- (総会)
- 第11条 総会は、次に掲げる事項について審議し、決定する。
- （1）「清流の国ぎふ」文化祭2024の実施計画に関する事項

- (2) 実行委員会の会則に関する事項
- (3) 事業計画及び事業報告に関する事項
- (4) 予算及び決算に関する事項
- (5) 常任委員会への委任に関する事項
- (6) 実行委員会の解散に関する事項
- (7) その他実行委員会の運営に関する重要な事項
- 2 総会は委員の過半数の出席をもって成立する。
- 3 総会の議事は出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 4 やむを得ない理由のため総会に出席できない委員は、あらかじめ通知された事項について、代理人を選任し、表決を委任することができる。この場合において、前2項の規定の適用については、その委員は出席したものとみなす。
- 5 会長は、第1項に掲げる事項のうち緊急やむを得ないと認められる事項又は軽易な事項については、書面による表決を求め、これをもって総会の議決に代えることができる。
- 6 会長は、必要に応じて、顧問及び参与に総会への出席を求めることができる。

- (常任委員会)
- 第12条 常任委員会は、会長、副会長及び常任委員をもって構成する。
- 2 委員長は、会長をもって充てる。
- 3 常任委員会は、必要に応じて委員長が招集する。
- 4 常任委員会は、次の事項について審議し、決定する。
- (1) 総会から委任された事項
- (2) 総会を招集するいとまがない緊急事項
- (3) その他会長が必要と認める事項
- 5 常任委員会は、前項各号に掲げる事項を審議し、決定した内容を必要に応じて次の総会に報告する。
- 6 前条第2項から第5項までの規定は、常任委員会について準用する。

- (企画委員会等)
- 第13条 企画委員会は、「清流の国ぎふ」文化祭2024における実施事業の企画及び審議等をする。
- 2 その他、会長が必要と認めるときは、実行委員会に各種委員会を置くことができる。
- 3 企画委員会等に関し必要な事項は、会長が別に定める。

第4章 専決処分

- (専決)
- 第14条 会長は、総会及び常任委員会（以下「総会等」という。）を招集するいとまがないと認めるとき、又は総会の権限に属する事項で簡易なものについては、その議決すべき事項について専決処分することができる。
- 2 会長は、前項の規定により専決処分をしたときは、その内容について次の総会等において報告しなければならない。

第5章 会計

- (経費)
- 第15条 実行委員会の事業に要する経費は、負担金その他の収入をもって充てる。
- (会計)
- 第16条 実行委員会の会計は、実行委員会の設立の日から始まり、実行委員会の解散をもって終了する。
- 2 その他実行委員会の会計に関し必要な事項は、会長が別に定める。

- (予算)
- 第17条 実行委員会の事業計画及び予算は、会長が調製し、会議に提案する。

- (事業年度)
- 第18条 実行委員会の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

- (決算)
- 第19条 会長は、決算を協議する総会において、事業報告書及び決算見込資料を、監事の監査意見を添えて提出しなければならない。
- 2 決算において剰余金を生ずるときは、協議により負担金の提出者に返還する。ただし、協賛金を財源とする剰余金については、翌年度会計に繰り越すことができる。

第6章 解散

- (解散)
- 第20条 実行委員会は、第2条に規定する目的が達成されたとき、総会の議決を経て解散する。

- (残余財産)
- 第21条 実行委員会が解散するときに有する残余財産は、総会で協議のうえ別に定める。

第7章 事務局

- (事務局)
- 第22条 実行委員会の事務を処理するため、事務局を岐阜県環境生活部県民文化局文化祭推進事務局内に置く。
- 2 事務局の組織及び運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

第8章 補則

- (一部権利の委任)
- 第23条 会長は、復代理人を置き、実行委員会が受ける負担金の申請及び交付にかかる権利の一切を復代理人に委任する。
- 2 復代理人は、岐阜県副知事をもって充てる。

- (解散後における事務の処理)
- 第24条 実行委員会の解散の後、実行委員会に関する問い合わせ、その他の事務については、岐阜県環境生活部県民文化局文化祭推進事務局（引き継ぎ課を含む。以下同じ。）において処理する。
- 2 実行委員会の解散後の文書等については、岐阜県環境生活部県民文化局文化祭推進事務局へ引き継ぎ、以後、同局において、岐阜県公文書規程（昭和44年岐阜県訓令甲第1号）により管理する。

- (その他の委任)
- 第25条 この会則に定めるもののほか、実行委員会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

- 附則
(施行期日)
- 1 この会則は、令和4年7月6日から施行する。
- 2 実行委員会設立当初の会計年度は、第18条の規定に関わらず、実行委員会設立の日から始まるものとする。

- 附則
(施行期日)
- 1 この会則は、令和5年4月1日から施行する。

- 附則
(施行期日)
- 1 この会則は、令和6年3月29日から施行する。

別表（第6条第2項関係）

副会長 (10名)	岐阜県議会議長	常任委員 (28名)	一般社団法人岐阜県経済同友会筆頭代表幹事
	岐阜県芸術文化会議会長		岐阜県商工会議所連合会会長
	公益財団法人岐阜県教育文化財団理事長		岐阜県商工会連合会会長
	「清流の国ぎふ」文化祭2024企画委員会委員長		岐阜県中小企業団体中央会会長
	一般社団法人岐阜県レクリエーション協会会長		一般社団法人岐阜県観光連盟会長
	社会福祉法人岐阜県社会福祉協議会会長		一般社団法人岐阜銀行協会会長
	岐阜県障害者社会参加推進センター会長		大垣銀行協会会長
	岐阜県市長会長		岐阜県農業協同組合中央会代表理事会長
	岐阜県町村会長		公益社団法人岐阜県バス協会会長
	岐阜県副知事		一般社団法人岐阜県医師会会長
常任委員 (28名)	岐阜県議会副議長		岐阜県旅館ホテル生活衛生同業組合理事長
	岐阜県議会厚生環境委員会委員長		一般財団法人岐阜県地域女性団体協議会会長
	岐阜県市議会議長会会長		岐阜大学学長
	岐阜県町村議会議長会会長		岐阜市長
	岐阜県美術館館長		岐阜県副知事
	岐阜県図書館名誉館長		岐阜県教育委員会教育長
	岐阜県地歌舞伎保存振興協議会会長		岐阜県警察本部長
	一般財団法人岐阜県身体障害者福祉協会会長	監事 (3名)	岐阜県会計管理者
	一般社団法人岐阜県手をつなぐ育成会理事長		岐阜県市長会監事
	特定非営利活動法人岐阜県精神保健福祉会連合会理事長		岐阜県町村会副会長
	一般社団法人岐阜県経営者協会会長		

「清流の国ぎふ」文化祭 2024 実行委員会 名簿

令和6年10月14日時点

区 分	所属機関・団体及び役職名	氏 名
会長	岐阜県知事	古田 肇
副会長	岐阜県議会議長	水野 正敏
	岐阜県芸術文化会議会長	土屋 明之
	(公財)岐阜県教育文化財団理事長	高木 敏彦
	岐阜県美術館館長	日比野克彦
	(一社)岐阜県レクリエーション協会会長	渡邊 文展
	社会福祉法人岐阜県社会福祉協議会会長	森川 幸江
	岐阜県障害者社会参加推進センター会長	岡本 敏美
	岐阜県市長会会長	都竹 淳也
	岐阜県町村会会長	金子 政則
	岐阜県副知事	大森 康宏
常任委員	岐阜県議会副議長	伊藤 秀光
	岐阜県議会厚生環境委員会委員長	布俣 正也
	岐阜県市議会議長会会長	黒田 育宏
	岐阜県町村議会議長会会長	上野 賢二
	岐阜県美術館館長	日比野克彦
	岐阜県図書館名誉館長	紺野美沙子
	岐阜県地歌舞伎保存振興協議会会長	小栗 幸江
	(一財)岐阜県身体障害者福祉協会会長	岡本 敏美
	(一社)岐阜県手をつなぐ育成会理事長	岨ノ下久美子
	(特非)岐阜県精神保健福祉会連合会理事長	服部 信子
	(一社)岐阜県経営者協会会長	山口 嘉彦
	(一社)岐阜県経済同友会筆頭代表幹事	柳原 幸一
	岐阜県商工会議所連合会会長	村瀬 幸雄
	岐阜県商工会連合会会長	坂井田良道
	岐阜県中小企業団体中央会会長	傍島 茂夫
	(一社)岐阜県観光連盟会長	葛西 信三
	(一社)岐阜銀行協会会長	石黒 明秀
	大垣銀行協会会長	林 敬治
	岐阜県農業協同組合中央会代表理事会長	櫻井 宏
	(公社)岐阜県バス協会会長	葛西 信三
	(一社)岐阜県医師会会長	伊在井みどり
	岐阜県旅館ホテル生活衛生同業組合理事長	山岡 利安
	(一財)岐阜県地域女性団体協議会会長	竹中 昌子
	岐阜大学学長	吉田 和弘
	岐阜市長	柴橋 正直
	岐阜県副知事	河合 孝憲
	岐阜県教育委員会教育長	堀 貴雄
	岐阜県警察本部長	三田 豪士
委員	岐阜県議会総務委員会委員長	今井 政嘉
	岐阜県議会企画経済委員会委員長	藤本 恵司
	岐阜県議会農林委員会委員長	国枝慎太郎
	岐阜県議会土木委員会委員長	安井 忠
	岐阜県議会教育警察委員会委員長	広瀬 修
	岐阜県図書館館長	杉下 尚
	岐阜県現代陶芸美術館館長	石崎 泰之
	岐阜県博物館館長	丹羽 和也
	岐阜かかみがはら航空宇宙博物館館長	常田 佐久
	岐阜関ヶ原古戦場記念館館長	小和田哲男
	ぎふ木遊館名誉館長	竹下 景子
	岐阜県文楽・能保存振興協議会会長	福田 芳昭
委員	岐阜県獅子芝居協議会会長	藤井 輝彦
	岐阜県高等学校文化連盟会長	高橋 宗彦
	岐阜県特別支援学校文化連盟会長	乙津真由美
	OKBふれあい会館サランカホール支配人	嘉根 礼子
	岐阜県観光国際戦略アドバイザー	古田菜穂子
	中部学院大学人間福祉学部准教授	水野 友有
	(一財)岐阜県老人クラブ連合会会長	西田 勝嘉
	(一社)岐阜県老人福祉施設協議会会長	若山 宏
	岐阜県老人保健施設協会会長	長縄 伸幸
	(一社)岐阜県視覚障害者福祉協会会長	山田 智直
	(一社)岐阜県聴覚障害者協会会長	水野 義弘
	岐阜県肢体不自由児者父母の会連合会会長	日比奈緒美
	岐阜県身体障害者福祉施設協議会会長	豊田 雅孝
	(一社)岐阜県知的障害者支援協会会長	平下 博文
	岐阜県障害福祉事業所連絡会会長	今村 正子
	岐阜県自閉症協会会長	水野佐知子
	岐阜県精神保健福祉協会会長	田口 真源
	(特非)岐阜県難病団体連絡協議会理事長	長谷川典彦

区 分	所属機関・団体及び役職名	氏 名
委員	岐阜県高等学校文化連盟会長	高橋 宗彦
	岐阜県特別支援学校文化連盟会長	乙津真由美
	OKBふれあい会館サランカホール支配人	嘉根 礼子
	岐阜県観光国際戦略アドバイザー	古田菜穂子
	中部学院大学人間福祉学部准教授	水野 友有
	(一財)岐阜県老人クラブ連合会会長	西田 勝嘉
	(一社)岐阜県老人福祉施設協議会会長	若山 宏
	岐阜県老人保健施設協会会長	長縄 伸幸
	(一社)岐阜県視覚障害者福祉協会会長	山田 智直
	(一社)岐阜県聴覚障害者協会会長	水野 義弘
	岐阜県肢体不自由児者父母の会連合会会長	日比奈緒美
	岐阜県身体障害者福祉施設協議会会長	豊田 雅孝
	(一社)岐阜県知的障害者支援協会会長	平下 博文
	岐阜県障害福祉事業所連絡会会長	今村 正子
	岐阜県自閉症協会会長	水野佐知子
	岐阜県精神保健福祉協会会長	田口 真源
	(特非)岐阜県難病団体連絡協議会理事長	長谷川典彦
	岐阜県小中学校長会会長	梅村 高志
	岐阜県高等学校長協会会長	小野 悟
委員	岐阜県特別支援学校校長会会長	兒玉 哲也
	岐阜県特別支援学校PTA連合会会長	澤 奈央也
	岐阜県私学団体連合会会長	大友 克之
	岐阜県私立中学高等学校協会会長	佐々木 淳
	岐阜県専修学校各種学校連合会会長	平野 宏司
	岐阜県PTA連合会会長	阿部 雄介
	岐阜県高等学校PTA連合会会長	宮崎征一郎
	岐阜県私立高等学校保護者連合会会長	横山 浩之
	県立看護大学学長	北山三津子
	岐阜薬科大学学長	原 英彰
	朝日大学学長	大友 克之
	岐阜協立大学学長	原田 理人
	岐阜女子大学学長	高口 努
	中京学院大学学長	林 勇人
	中部学院大学学長	江馬 諭
	東海学院大学学長	神谷眞弓子
	岐阜医療科学大学学長	山岡 一清
	岐阜聖徳学園大学学長	観山 正見

氏 名
藤井 輝彦
高橋 宗彦
乙津真由美
嘉根 礼子
古田菜穂子
水野 友有
西田 勝嘉
若山 宏
長縄 伸幸
山田 智直
水野 義弘
日比奈緒美
豊田 雅孝
平下 博文
今村 正子
水野佐知子
田口 真源
長谷川典彦
梅村 高志
小野 悟
兒玉 哲也
澤 奈央也
大友 克之
佐々木 淳
平野 宏司
阿部 雄介
宮崎征一郎
横山 浩之
北山三津子
原 英彰
大友 克之
原田 理人
高口 努
林 勇人
江馬 諭
神谷眞弓子
山岡 一清
観山 正見
河田 美紀
鈴木 宣也
涌井 史郎
畑中 重光
観山 正見
神谷 和孝
片桐 史恵
服部 篤典
山田 弘幸
坂井 歩
武内 康雄
林 勇人
伊津野真一

区 分	所属機関・団体及び役職名	氏 名
委員	放送大学岐阜学習センター所長	野々村修一
	(一社)岐阜県私立幼稚園連合会会長	加納 顯
	岐阜県公立幼稚園・こども園長会会長	堀江 秀樹
	(一社)岐阜県民間保育園・認定こども園連盟会長	鷹橋 賢淳
	岐阜県保育研究協議会会長	可児 亨
	岐阜県信用金庫協会会長	好岡 政宏
	(一社)生命保険協会岐阜県協会会長	清水 克浩
	日本労働組合総連合会岐阜県連合会会長	筒井 和浩
	岐阜県商工会議所女性会連合会会長	虫賀 恭子
	岐阜県商工会女性部連合会会長	奥村 佳子
	岐阜県商店街振興組合連合会理事長	日比野 豊
	(公社)日本青年会議所東海地区岐阜ブロック協議会会長	春山 大樹
	(一社)全国旅行業協会岐阜県支部長	神谷 利夫
	(一社)日本旅行業協会中部支部岐阜県支部長	杉浦 孝典
	岐阜県名産販売(株)代表取締役社長	森嶋 和美
	(公財)ソフトピアジャパン理事長	松島 桂樹
	(一社)岐阜県情報産業協会会長	辻 博文
	岐阜県繊維協会会長	川島 政樹
	(一社)岐阜ファッション産業連合会理事長	糸尾 幸治
	岐阜県陶磁器工業協同組合連合会理事長	松原 朝男
	岐阜県紙業連合会会長	中村勇太郎
	岐阜県関刃物産業連合会会長	鈴木 良春
	岐阜県木工連合会会長	岡田 賛三
	岐阜県プラスチック工業組合理事長	田中 肇
	岐阜県食品産業協議会会長	北野 茂樹
	岐阜県食生活改善推進員協議会会長	小藪 年枝
	岐阜県森林組合連合会代表理事会長	細江 広仲
	(公社)岐阜県山林協会会長	山内 登
	岐阜県木の国・山の国県民会議会長	伊藤 栄一
	岐阜県林業グループ連絡協議会会長	山田 輝幸
	岐阜県漁業協同組合連合会代表理事会長	尾藤 義昭
	岐阜長良川鵜飼保存会会長	杉山 雅彦
	小瀬鵜飼保存会代表	足立 太一
	岐阜花き流通センター農業協同組合代表理事組合長	浅野 寿晴
	ぎふ花と緑の振興コンソーシアム理事長	加藤 孝義
	(公社)日本フラワーデザイナー協会名誉本部講師	柿本 亜矢
	県立国際園芸アカデミー学長	今西 良共
	(一社)岐阜県トラック協会会長	山口 嘉彦
	岐阜県タクシー協会会長	川上 秀人
	東海旅客鉄道(株)岐阜駅長	岡本 章
	名古屋鉄道(株)地域活性化推進本部地域連携部付部長(高山駐在)	小澤 秀彦
	養老鉄道(株)代表取締役社長	大内 敬弘
	樽見鉄道(株)代表取締役社長	不破 道夫
	明知鉄道(株)代表取締役社長	小坂 喬峰
	長良川鉄道(株)代表取締役社長	山下 清司
	西日本電信電話(株)岐阜支店長	立木 祥平
	(一社)岐阜県建設業協会会長	各務 剛児
	(一社)岐阜県LPガス協会会長	澤田 栄一
	東邦ガス(株)岐阜地域支配人	村田 純一
	中部電力パワーグリッド(株)岐阜支社長	梅村英一郎
	(公社)岐阜県歯科医師会会長	阿部 義和
	(一社)岐阜県薬剤師会会長	棚瀬 友啓
	(一社)岐阜県病院協会会長	松波 英寿
	(公社)岐阜県看護協会会長	青木 京子

区 分	所属機関・団体及び役職名	氏 名
委員	岐阜県生活衛生同業組合連合会会長	平井 良樹
	(特非)岐阜県青年のつどい協議会理事長	家田 倫作
	(公社)岐阜県青少年育成県民会議会長	塩屋 節次
	(一財)岐阜県子ども会育成連合会理事長	森下 珠美
	日本ボーイスカウト岐阜県連盟理事長	三浦 英夫
	ガールスカウト岐阜県連盟連盟長	久野美智江
	国際ソロプチミスト岐阜会長	水谷登茂子
	国際ゾンタ26地区エリア2岐阜・ゾンタクラブ会長	安田多賀子
	(特非)ぎふNPOセンター理事長	市来 圭
	岐阜県公民館連合会会長	三輪 賢司
	岐阜県自治連絡協議会会長	神田 定夫
	(公財)岐阜県国際交流センター理事長	吉田 和弘
	大垣市長	石田 仁
	高山市長	田中 明
	多治見市長	高木 貴行
	関市長	山下 清司
	中津川市長	小栗 仁志
	美濃市長	武藤 鉄弘
	瑞浪市長	水野 光二
	羽島市長	松井 聡
	恵那市長	小坂 喬峰
	美濃加茂市長	藤井 浩人
	土岐市長	加藤 淳司
	各務原市長	浅野 健司
	可児市長	富田 成輝
	山県市長	林 宏優
	瑞穂市長	森 和之
	飛騨市長	都竹 淳也
	本巣市長	藤原 勉
	郡上市長	山川 弘保
	下呂市長	山内 登
	海津市長	横川 真澄
	岐南町長	後藤 友紀
	笠松町長	古田 聖人
	養老町長	川地 憲元
	垂井町長	早野 博文
	関ヶ原町長	西脇 康世
	神戸町長	藤井 弘之
	輪之内町長	朝倉 和仁
	安八町長	岡田 立
	揖斐川町長	岡部 栄一
	大野町長	宇佐美晃三
	池田町長	竹中 誉
	北方町長	戸部 哲哉
	坂祝町長	伊藤 敬宏
	富加町長	渡邊 圭太
	川辺町長	佐藤 光宏
	七宗町長	加納 福明
	八百津町長	金子 政則
	白川町長	佐伯 正貴
	東白川村長	今井 俊郎
	御嵩町長	渡辺 幸伸
	白川村長	成原 茂
	岐阜県秘書広報統括監	長沼 正信

区 分	所属機関・団体及び役職名	氏 名
委員	岐阜県総務部長	三木 文平
	岐阜県清流の国推進部長	市橋 貴仁
	岐阜県清流の国推進部デジタル推進局長	松本 順志
	岐阜県危機管理部長	平野 孝之
	岐阜県環境生活部長	渡辺 幸司
	岐阜県環境生活部県民文化局長	箆橋 智基
	岐阜県健康福祉部長	丹藤 昌治
	岐阜県健康福祉部子ども・女性局長	堀 智考
	岐阜県商工労働部長	兼松 伸和
	岐阜県観光国際部長	崎浦 理加
	岐阜県農政部長	足立 葉子
	岐阜県林政部長	久松 一男
	岐阜県土整備部長	野崎 眞司
	岐阜県都市建築部長	藤井 忠直
	岐阜県都市建築部都市公園・交通局長	舟久保 敏
	岐阜県議会議務局長	山田 恭
	岐阜県西濃県事務所長	西 哲也
	岐阜県揖斐県事務所長	山田 浩司
顧問	岐阜県中濃県事務所長	古田 和代
	岐阜県可茂県事務所長	浅井 克之
	岐阜県東濃県事務所長	広瀬 雅史
	岐阜県恵那県事務所長	清水 浩二
	岐阜県飛騨県事務所長	森 祥一
	衆議院議員	野田 聖子
	衆議院議員	棚橋 泰文
参与	衆議院議員	武藤 容治
	衆議院議員	金子 俊平
	衆議院議員	古屋 圭司
	参議院議員	渡辺 猛之
	参議院議員	大野 泰正
	岐阜県教育委員会教育委員(職務代理者)	竹中 裕紀
	岐阜県公安委員会委員長	林 正子
	岐阜県議会議員	玉田 和浩
	岐阜県議会議員	渡辺 嘉山
	岐阜県議会議員	水野 吉近
	岐阜県議会議員	長屋 光征
	岐阜県議会議員	若井 敦子
	岐阜県議会議員	澄川 寿之
	岐阜県議会議員	中川 裕子
	岐阜県議会議員	平野 恭子
	岐阜県議会議員	猫田 孝
	岐阜県議会議員	岩井豊太郎
	岐阜県議会議員	野村 美穂
	岐阜県議会議員	川上 哲也
	岐阜県議会議員	高殿 尚
	岐阜県議会議員	判治 康信
	岐阜県議会議員	今井 瑠々
	岐阜県議会議員	尾藤 義昭
	岐阜県議会議員	佐藤 武彦
	岐阜県議会議員	酒向 薫
	岐阜県議会議員	平岩 正光
	岐阜県議会議員	森 益基
	岐阜県議会議員	小川 祐輝
	岐阜県議会議員	牧田 秀憲

区 分	所属機関・団体及び役職名	氏 名
参与	岐阜県議会議員	山内 房壽
	岐阜県議会議員	伊藤 正博
	岐阜県議会議員	松岡 正人
	岐阜県議会議員	平野 祐也
	岐阜県議会議員	小原 尚
	岐阜県議会議員	伊藤 英生
	岐阜県議会議員	恩田 佳幸
	岐阜県議会議員	森 治久
	岐阜県議会議員	黒田 芳弘
	岐阜県議会議員	野島 征夫
	岐阜県議会議員	森 正弘
	岐阜県議会議員	田中 勝士
	岐阜県議会議員	村下 貴夫
	岐阜県議会議員	木村 千秋
	岐阜県議会議員	所 竜也
	岐阜県議会議員	加藤 大博
	(株)岐阜新聞社代表取締役社長	矢島 薫
	(株)中日新聞岐阜支社長	有賀 信彦
監事	(株)毎日新聞社岐阜支局長	安達 一正
	(株)朝日新聞社岐阜総局長	木村 俊介
	(株)読売新聞岐阜支局長	井上 晋治
	(株)中部経済新聞社岐阜支社長	大蔵 敦生
	(株)日本経済新聞社岐阜支局長	西堀 卓司
	(株)日刊工業新聞社岐阜支局長	立松 直樹
	(株)時事通信社岐阜支局長	中田 收治
	(一社)共同通信社岐阜支局長	濱口 健
	(株)岐阜放送代表取締役社長	山本 耕
	日本放送協会岐阜放送局長	小野寺茂樹
	(株)CBCテレビ岐阜支社長	八津川大輔
	東海テレビ放送(株)岐阜支社長	坂野 朋浩
	名古屋テレビ放送(株)岐阜支社長	松岡 明隆
	中京テレビ放送(株)岐阜支局長	佐藤 繁一
	シーシーエヌ(株)代表取締役社長	伊藤 英明

※衆議院議員については、衆議院解散日（令和6年10月9日）以前とする。

「清流の国ぎふ」文化祭 2024 企画委員会 規程

- (趣旨)
第1条 この規程は、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会会則第13条第3項の規定に基づき、企画委員会（以下「委員会」という。）の設置等に関し必要な事項を定めるものとする。
- (組織)
第2条 委員会は、会長が委嘱した委員をもって構成する。
- (委員会の種類等)
第3条 委員会は、実施事業の企画・立案及び審議等を行い、その結果を必要に応じて常任委員会に報告する。
- (役員)
第4条 委員会に次の役員を置く。
1 委員長 1名
2 副委員長 若干名
3 委員長及び副委員長は、実行委員会の会長（以下「会長」という。）が委嘱する。
4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、あらかじめ委員長の指名した副委員長がその職務を代理する。
- (任期)
第5条 委員及び役員の任期は、委嘱されたときから企画委員会の目的が達成されたときまでとする。ただし、委員及び役員が、就任時の機関及び団体の役職を離れた場合は、その後任者が前任者の残任期間を務めるものとする。
- (会議)
第6条 委員会の会議は、委員長が招集し、委員長が議長となる。
2 委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- (部会)
第7条 委員会は、運営上必要があるときは、部会を設けることができる。
2 部会の委員は、会長が指名する。
3 部会に関する事項は、委員長が定める。
- (委任)
第8条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、当該委員会の委員長が会長の承認を得て別に定める。
- 附則
この規程は、令和4年7月6日から施行する。

「清流の国ぎふ」文化祭 2024 企画委員会 構成員

(分野ごと五十音順)		
分 野	役職等	氏 名
文 化	岐阜県地歌舞伎保存振興協議会 会長	小栗 幸江
	OKBふれあい会館サランカホール 支配人	嘉根 礼子
	(公財)岐阜県教育文化財団 理事長	高木 敏彦
	岐阜県芸術文化会議 会長	土屋 明之
	岐阜県美術館 館長	日比野克彦 (委員長)
レクリエーション	みんなの森 ギふメディアコスモス 総合プロデューサー (令和6年4月まで)	吉成 信夫
	(一社)岐阜県レクリエーション協会 会長	渡邊 丈展
観光・国際交流	岐阜県観光国際戦略アドバイザー	古田菜穂子
産 業	情報科学芸術大学院大学 学長	鈴木 宣也
	岐阜県商工会議所連合会 会長	村瀬 幸雄
福 祉	(一財)岐阜県身体障害者福祉協会 会長	岡本 敏美
	中部学院大学人間福祉学部 准教授	水野 友有
教 育	岐阜県高等学校文化連盟 会長	高橋 宗彦
	岐阜大学 学長	吉田 和弘
	県立森林文化アカデミー 学長	涌井 史郎
市町村	岐阜市長	柴橋 正直

<オプザーバー>	
役職等	氏 名
演出家	小島 紀夫

「清流の国ぎふ」文化祭 2024 事業編集会議※ 構成員

（五十音順）	
役職等	氏 名
アートディレクター	北川フラム
岐阜県美術館 館長	日比野克彦
岐阜県観光国際戦略アドバイザー	古田菜穂子
岐阜県知事	古田 肇
みんなの森 ぎふメディアコスモス総合プロデューサー	吉成 信夫
県立森林文化アカデミー 学長	涌井 史郎

<オブザーバー>	
役職等	氏 名
演出家	小島 紀夫

※企画委員会での意思決定のために、企画委員から提案された事業案を編集するため、会則に基づく各種委員会（必要に応じて会長が設置）と位置付けて設置したもの。

「清流の国ぎふ」文化祭 2024 開閉会式実施本部 設置要綱

（設置）
第1条 第39回国民文化祭及び第24回全国障害者芸術・文化祭（「清流の国ぎふ」文化祭2024、以下「国文祭」という。）の開会式及び閉会式を円滑に運営するため、「清流の国ぎふ」文化祭2024開閉会式実施本部（以下「実施本部」という。）を設置する。

（本部長、副本部長、参与、統括部長及び副統括部長）
第2条 実施本部に、本部長、副本部長、参与、統括部長及び副統括部長を置く。
2 本部長は、知事をもって充てる。
3 副本部長は、副知事をもって充てる。
4 参与は、別表第1に掲げる職にある者をもって充てる。
5 統括部長は、県民文化局長をもって充てる。
6 副統括部長は、文化祭推進事務局長及び同事務局次長をもって充てる。
7 本部長は、実施本部の事務を総括する。
8 副本部長は、本部長を補佐し、本部長に事故があるときは、その職務を代理する。
9 参与は、実施本部の事務に参画する。
10 統括部長は、本部長の命を受け事務を処理する。
11 副統括部長は、統括部長を補佐し、統括部長に事故があるときは、その職務を代理する。

（組織及び分掌事務）
第3条 実施本部の運営に当たっては、別表第2の左欄に掲げる部及び同表の中欄に掲げる班を置き、それぞれ同表の右欄に掲げる事務を分掌させる。

（部長、班長、係長及び係員）
第4条 実施本部に、部長、班長、係長及び係員を置く。
2 部長は、本部長及び統括部長の命を受け、部の分掌事務を掌理し、その事務を処理するため、部の職員を指揮監督する。
3 班長は、部長の命を受け、班の分掌事務を掌理し、その事務を処理するため、班の職員を指揮監督する。
4 係長は、部長及び班長の命を受け、係の職員を指揮監督する。
5 係員は、部長、班長及び係長の命を受け、事務に従事する。
6 部長の判断により、第1項に定める者のほか、副部長、副班長等を置くことができる。

（庶務）
第5条 実施本部の庶務は、文化祭推進事務局において処理する。

（委任）
第6条 この要綱に定めるもののほか、実施本部の組織及び運営に関し必要な事項は、本部長が別に定める。

附則
（施行期日）
1 この要綱は、令和6年5月15日から施行する。
（要綱の失効）
2 この要綱の失効日は、本部長が別に定める。

別表第1（第2条関係）

秘書広報統括監、総務部長、清流の国推進部長、デジタル推進局長、危機管理部長、環境生活部長、健康福祉部長、子ども・女性局長、商工労働部長、観光国際部長、農政部長、林政部長、県土整備部長、都市建築部長、都市公園・交通局長、会計管理者、教育長、警察本部長、議会事務局長、労働委員会事務局長、人事委員会事務局長、監査委員事務局長
--

別表第2（第3条関係）

部	班	分掌事務
総務部	総務班	1 実施本部に係る事務の総括に関する事 2 部内及び各部との連絡調整に関する事 3 関係機関及び関係団体との連絡調整（他班の事務に属するものを除く。）に関する事 4 開・閉会式全般に関する問い合わせに関する事 5 報道関係者等との調整に関する事 6 開・閉会式の記録等の取りまとめに関する事 7 開・閉会式会場等における通信機器の保守管理及び貸出し等に関する事 8 他部の事務に属さない事項に関する事
	接遇班	1 行幸啓本部との連絡調整に関する事 2 御休所、ロイヤルボックス、控室等の設えに関する事 3 御交流の会場管理に関する事 4 開・閉会式における特別接伴対象者の案内、誘導等に関する事
	おもてなし班	1 おもてなし展示室の設営、運営、案内等に関する事
式典部	式典班	1 部内及び各部との連絡調整に関する事 2 開・閉会式の運営に関する事 3 開・閉会式の進行に関する事 4 開・閉会式における式典出演者の管理、誘導等に関する事
会場管理部	受付班	1 部内及び各部との連絡調整に関する事 2 開・閉会式会場における特別招待者、一般招待者、観覧者等の受付、案内に関する事 3 開・閉会式会場内における特別招待者、一般招待者、観覧者等の座席案内、誘導等に関する事 4 合理的配慮に関する事 5 閉会式における報道関係者等の受付に関する事 6 部内の他班の事務に属さない事項に関する事
	会場管理班	1 開・閉会式会場における警備、防災に関する事 2 開・閉会式会場の管理に関する事 3 開・閉会式会場外における来場者の案内、誘導等に関する事 4 救護所の管理、運営に関する事
	輸送班	1 駐車場の管理、運営に関する事 2 開・閉会式におけるシャトルバス及び計画バスの運行管理、問い合わせ対応に関する事

「清流の国ぎふ」文化祭2024 開閉会式実施本部 組織図

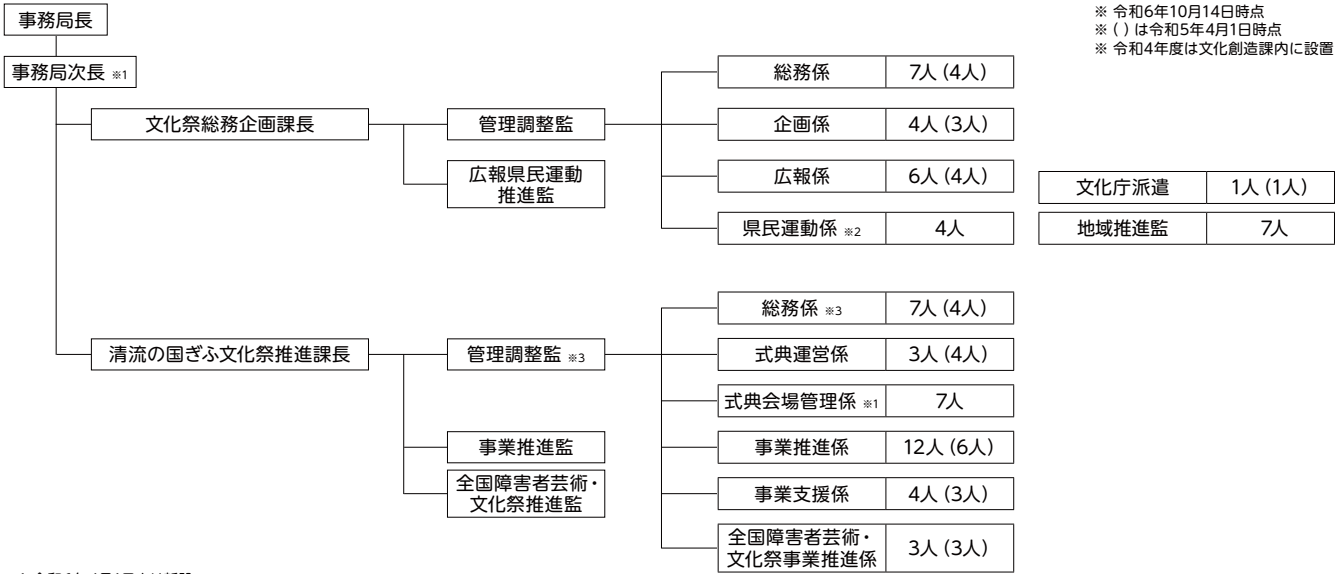


「清流の国ぎふ」文化祭2024 実行委員会事務局

令和6年10月14日時点			
担当課	担当名	職	氏 名
県民文化局	局長		箆橋 智基
	副局長		青木 伸泰
県民文化局文化祭推進事務局	事務局長		後藤 勝
	事務局次長		若山 典
文化祭総務企画課	課長		細川 敦
	管理調整監		谷口 哲一
	広報県民運動推進監		豊田 弘行
	地域推進監 (西濃)		一柳 秀樹
	地域推進監 (揖斐)		棚瀬 正樹
	地域推進監 (中濃)		早野 知久
	地域推進監 (可茂)		葛西 孝啓
	地域推進監 (東濃)		河田 淳司
	地域推進監 (恵那)		北村 哲
	地域推進監 (飛驒)		辻ノ上辰彦
	課長補佐兼係長		坪内 芳憲
	課長補佐		弥栄 剛
	主任	総務係	志津野彰太
	主任		鈴木 絵里
	主事		林 真帆
	会計・人事労務業務専門職		萩野圭衣子
	補助職員		早川 公香
	課長補佐兼係長	企画係	川口 義治
	主査		洞口 浩平
	主査		田中みのり
	主任		瀬戸 健太
	課長補佐兼係長	広報係	田中 真美
	主任		猪俣 成生
	主事		堀口 裕平
	主事		高木 健至
	補助職員		澤口 麻衣
	補助職員		大塚 由美
	課長補佐兼係長	県民運動係	鈴木 一史
	主任		押谷 彩音
	主事		今井 涼介
	主事		林 倫花
	文化庁派遣		佐藤 一步
清流の国ぎふ文化祭推進課	課長		中谷 裕次
	事業推進監		市岡 美咲
	全国障害者芸術・文化祭推進監		中原 吉博
	係長	式典運営係	入口 勝
	主査		清生 大貴
	主事		水野 公暉

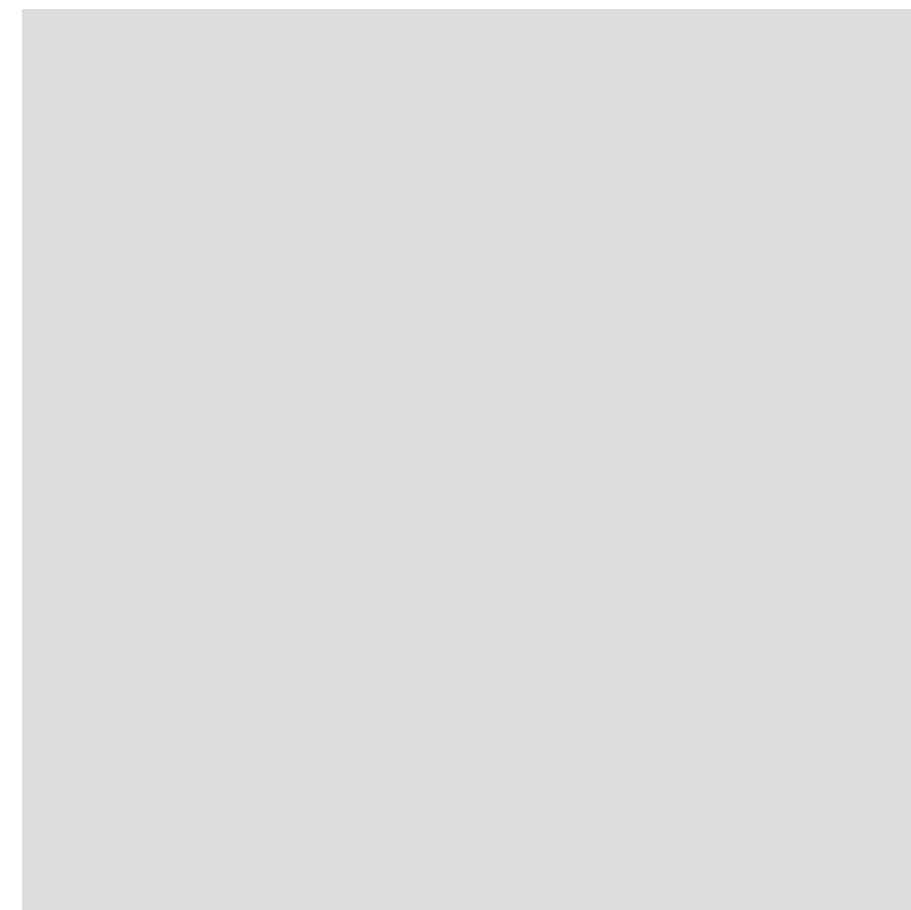
担当課	担当名	職	氏 名
清流の国ぎふ文化祭推進課	式典会場管理係	課長補佐兼係長	上野 尚哉
		課長補佐	野口 美樹
		課長補佐	中野真夕子
		主査	武藤 良典
		主任	長谷川大晃
		主事	高子 莉沙
		主事	植村 咲希
	事業推進係	課長補佐兼係長	橋本 昌樹
		課長補佐	熊崎 孝之
		主査	後藤 圭太
		主査	松原 新敏
		主査	玉腰 祐介
		主任	吉田 正司
		主任	金森啓一郎
		主任	大住 純平
		主任	岡橋 圭悟
		主事	國母 海斗
		主事	久保美沙紀
		主事	山田 弥侑
	事業支援係	課長補佐兼係長	田中 靖浩
		主任	山岡 裕香
		主任	奥村 昂紀
		主事	石井 正
	全国障害者芸術・文化祭事業推進係	主査	丹羽 貴士
		主任	渡辺 寛士
		主事	松見 堇

「清流の国ぎふ」文化祭 2024 実行委員会事務局 組織図



※1 令和6年4月1日より新設
※2 令和6年4月1日より広報県民運動係は広報係と県民運動係に分離
※3 兼務のため再掲

■ 公式記録映像Blu-ray



「清流の国ぎふ」文化祭2024 公式記録

発刊：令和7年2月

発行：「清流の国ぎふ」文化祭2024 実行委員会